

笠間市高齢者福祉計画策定のための アンケート調査結果報告書①

- I. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
- II. 要介護認定者調査
- III. 在宅介護実態調査

令和5年3月
笠間市

目 次

第1部 調査概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の対象と回収状況	1
3 調査の方法	1
4 調査の実施時期	1
5 分析・表示について	2
第2部 調査結果報告	3
I 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	3
本人について	3
問1 家族や生活状況について	6
問2 からだを動かすことについて	11
問3 食べることについて	17
問4 毎日の生活について	21
問5 地域での活動について	27
問6 たすけあいについて	39
問7 健康について	44
問8 日常の生活全般について	48
問9 認知症にかかる相談窓口の把握について	66
問10 認知症の予防と施策について	67
問11 生活上の不安、将来心配に思うことについて	71
問12 介護予防について	77
○リスク分析	90
(1) 運動器機能の低下	90
(2) 転倒リスク	91
(3) 閉じこもり傾向	92
(4) 低栄養傾向	93
(5) 口腔機能の低下	94
(6) 認知機能の低下	95
(8) うつ傾向	97
(9) 知的能動性の低下	98
(10) 社会的役割の低下	99
II 要介護認定者調査	103
本人について	103
問1 家族や生活状況について	107
問2 日常の生活全般について	112
問3 認知症にかかる相談窓口の把握について	121

問4	認知症の予防と施策について	122
問5	生活上の不安、将来心配に思うことについて	126
問6	ケアマネジャーについて	134
問7	介護サービスについて	137
問8	施設入所者の方について	146
Ⅲ	在宅介護実態調査	157

第1部 調査概要

第1部 調査概要

1 調査の目的

この調査は、令和6年度から令和8年度を計画期間とする「笠間市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画・成年後見制度利用促進計画」を策定するにあたって、高齢者の生活状況や健康状態などをうかがい、介護の実態や課題、意見や要望を把握し、策定の基礎資料とすることを目的として実施しました。

2 調査の対象と回収状況

調査対象は以下のとおり。

区分	調査対象者	配布数	回収数	回収率
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	65歳以上の方(総合事業対象者、要支援1、2の認定を受けている方含む)1,380人 (住民基本台帳 令和4年10月31日現在)	1,000件 (無作為)	615件	61.5%
要介護認定者調査	要介護認定1～5を受けている65歳以上の方 3,184人(令和4年10月31日現在)	1,000件 (無作為)	512件	51.2%
在宅介護実態調査	要介護認定更新者の内在宅者 920人 (調査期間中)	468件 (無作為)	465件	99.4%

3 調査の方法

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、要介護認定者調査:郵送による配布回収
在宅介護実態調査:認定調査員による聞き取り調査

4 調査の実施時期

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 :令和4年11月16日から令和4年12月6日まで

要介護認定者調査:令和4年11月16日から令和4年12月6日まで

在宅介護実態調査:平成4年6月15日から令和5年1月18日まで

5 分析・表示について

- (1) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しています。このため比率が 0.05 未満の場合には 0.0 と表記しています。また、合計が 100.0% とならないこともあります。
- (2) 複数回答の項目については、原則として、その項目に対しての有効回答者の数を基数とし、比率算出を行っています。このため、比率計が 100% を超えることがあります。
- (3) グラフ中の n:○○ という表記は、その項目の有効回答者数で、比率算出の基礎となります。
- (4) クロス集計については、集計の都合上、無回答者を除いた集計となっている部分があるため、単純集計の結果と合致しない場合があります。
- (5) 設問の項目名や選択肢においては、表記の省略をしている場合もあるため、巻末の調査票をご参照ください。

第2部 調査結果報告

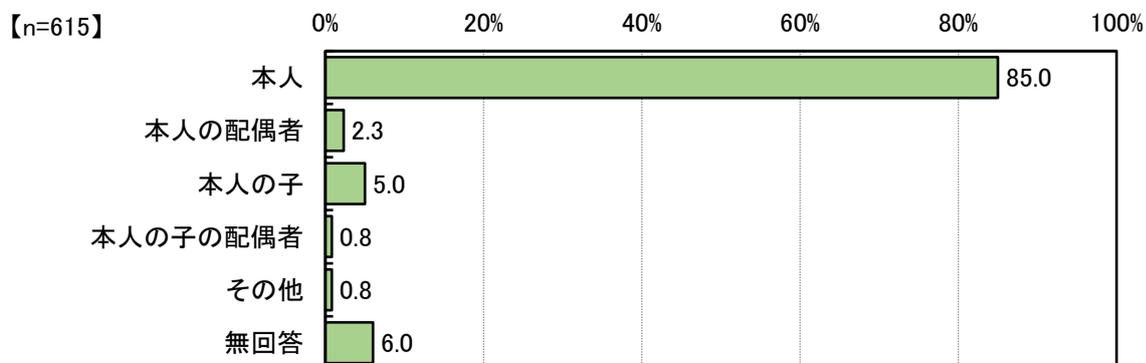
I 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

第2部 調査結果報告

I 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

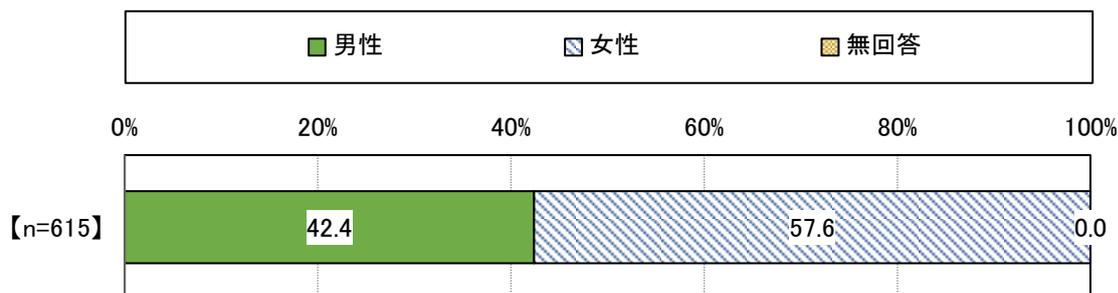
本人について

調査票を記入されるのはどなたですか。[1つに○]



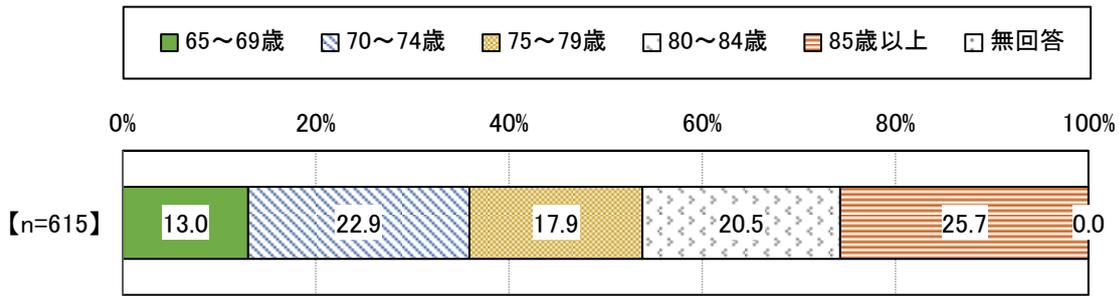
調査票記入者は、「本人」が 85.0%で最も多く、次いで「本人の子」(5.0%)、「本人の配偶者」(2.3%)、「本人の子の配偶者」(0.8%)となっています。

(1)性別は。[1つに○]



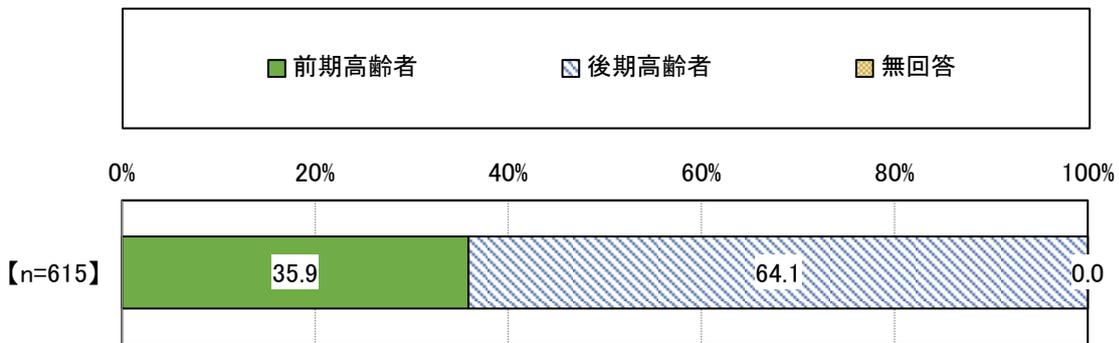
性別の構成は、「男性」が42.4%、「女性」が57.6%となっています。

(2)年齢は。[1つに○] (令和4年11月1日現在)



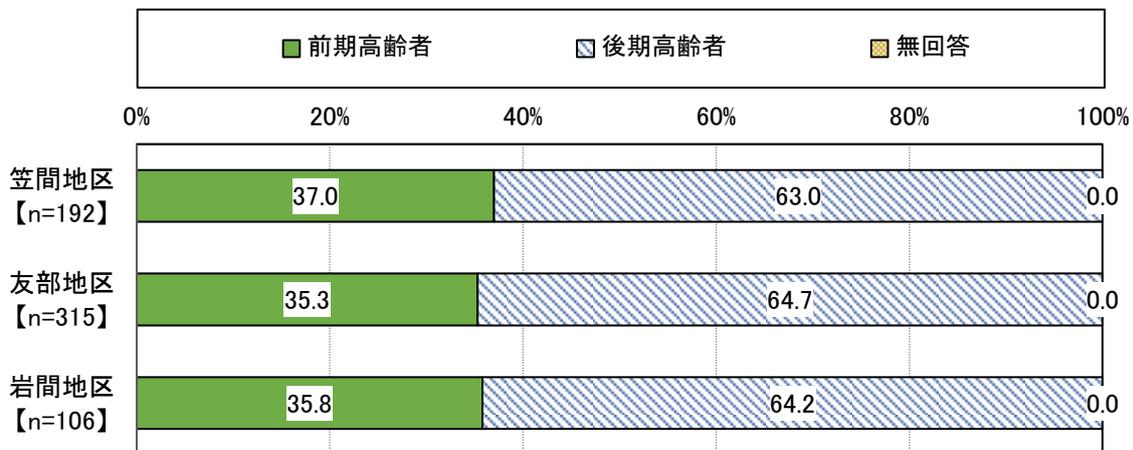
年齢構成は、「85歳以上」が25.7%で最も多く、次いで「70～74歳」(22.9%)、「80～84歳」(20.5%)、「75～79歳」(17.9%)、「65～69歳」(13.0%)となっています。

○前期高齢者・後期高齢者の割合



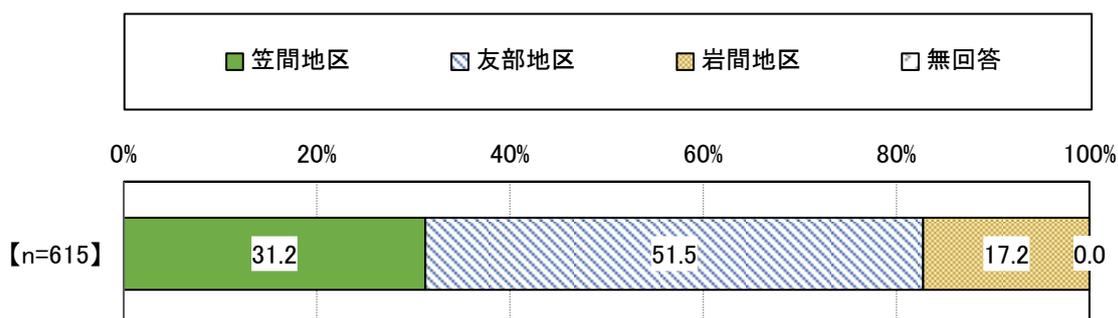
前期高齢者(65～74歳)の割合は35.9%、後期高齢者(75歳以上)の割合は64.1%となっています。

○地域別年齢



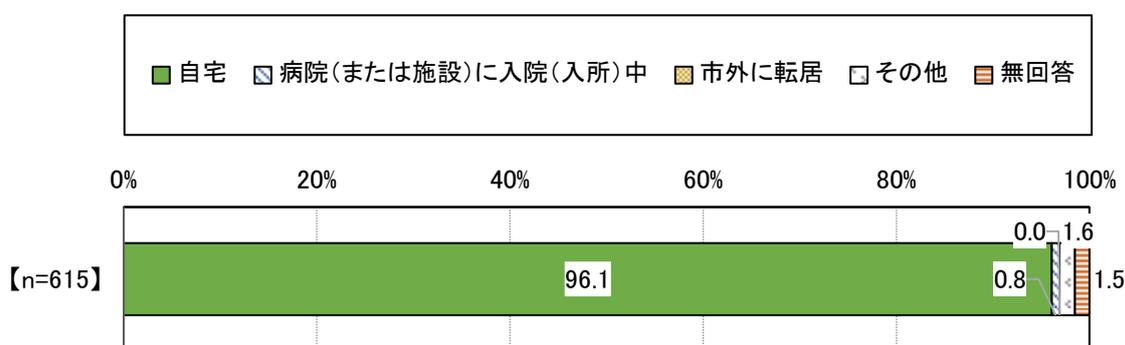
地域別に回答者の年齢をみると、全体と同様の傾向がうかがえます。

(3)お住まいの地域はどこですか。[1つに○]



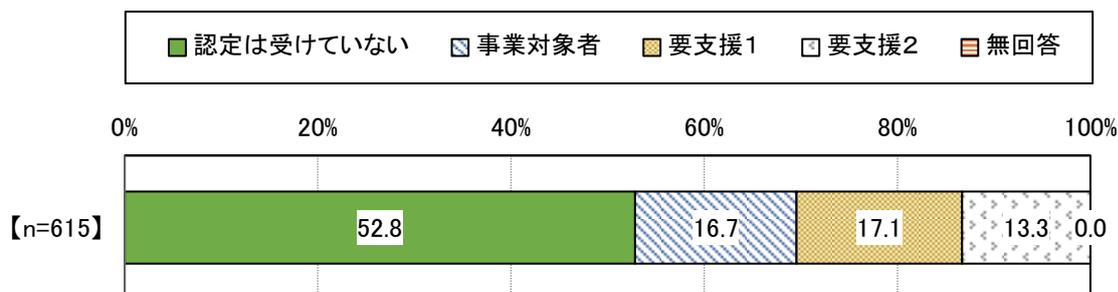
居住地区の構成は、「友部地区」が51.5%で最も多く、次いで「笠間地区」(31.2%)、「岩間地区」(17.2%)となっています。

(4)現在、ご本人はどちらで生活されていますか。[1つに○]



生活の状況については、「自宅」が96.1%となっています。

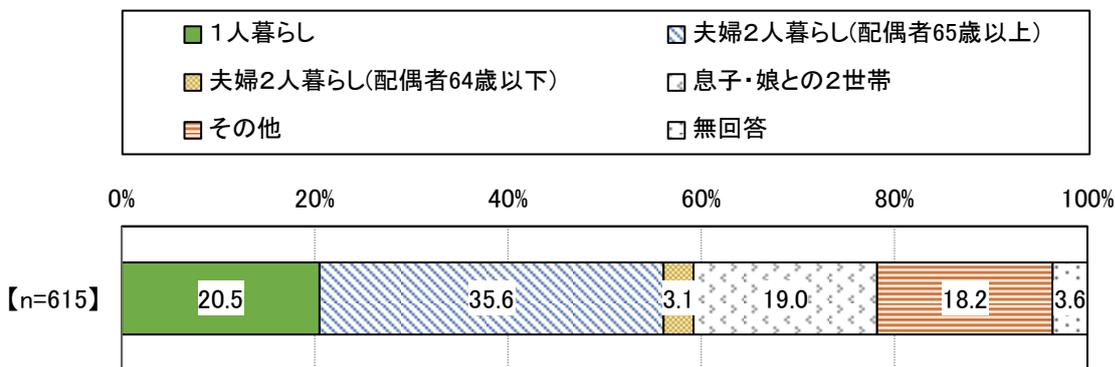
(5)現在、認定されている要介護度は。(要介護度は介護保険証に記載されています。)
[1つに○]



要介護認定状況については、「認定は受けていない」が52.8%で最も多く、次いで「要支援1」(17.1%)、「事業対象者」(16.7%)、「要支援2」(13.3%)となっています。

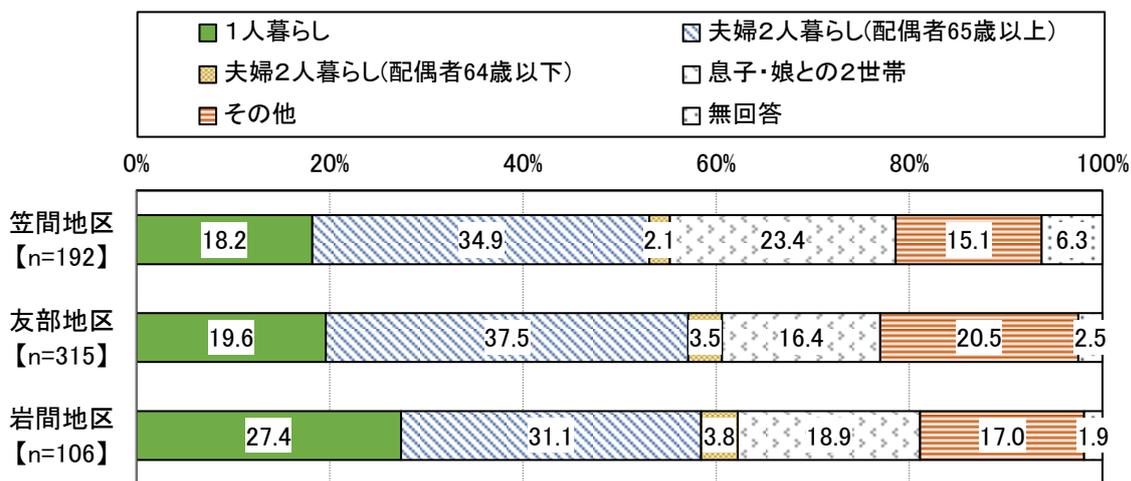
問1 家族や生活状況について

(1)家族構成をお教えてください。[1つに○]



家族構成については、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が35.6%で最も多く、次いで「1人暮らし」(20.5%)、「息子・娘との2世帯」(19.0%)、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」(3.1%)となっています。

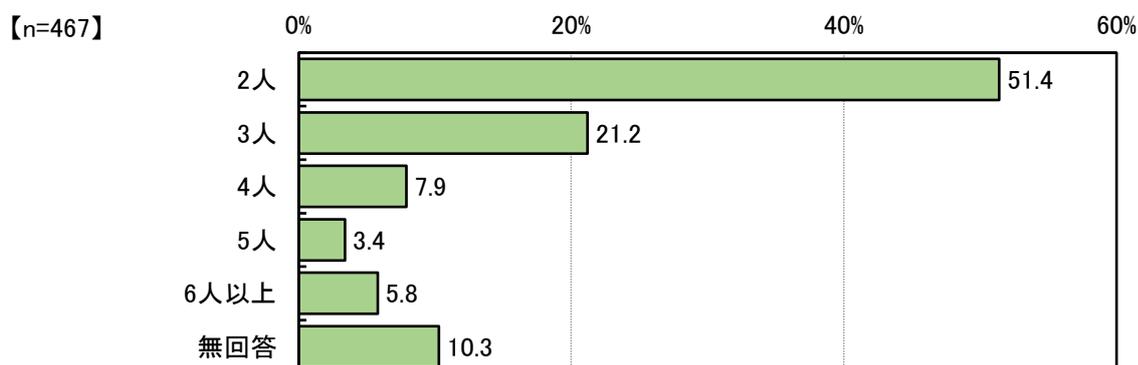
○地域別家族構成



地域別に家族構成をみると、岩間地区では「1人暮らし」と回答した人の割合が他の地区より高く、友部地区では「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」と回答した人の割合が他の地区より高くなっています。

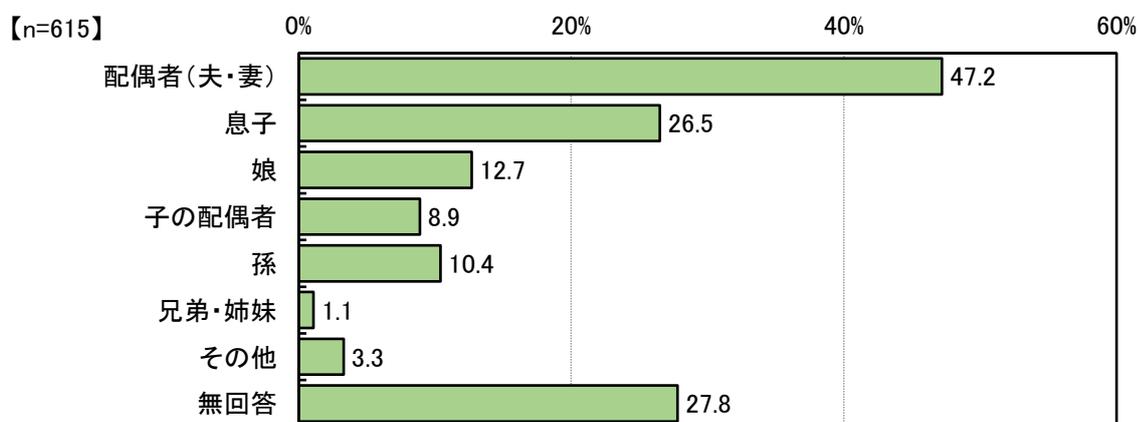
【ご家族等と同居されている方のみお答えください】

(1)－① あなたを含めて何人で暮らしていますか。



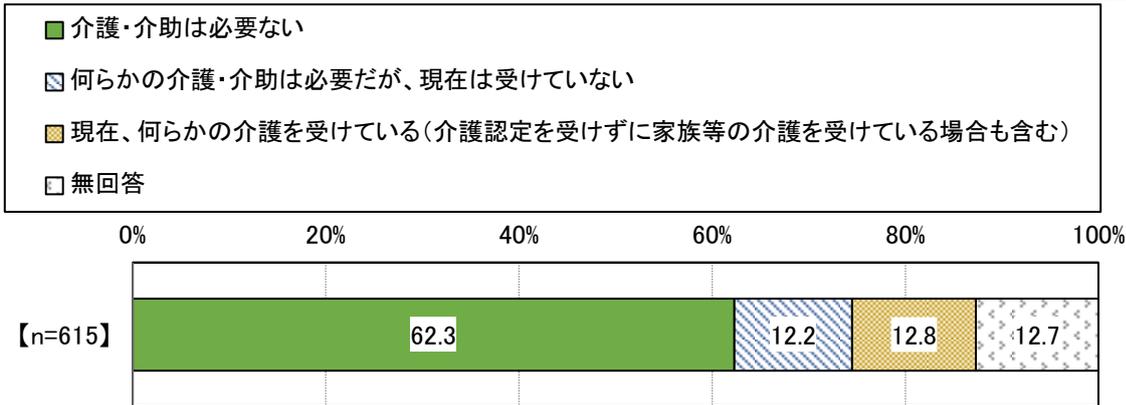
家族の同居人数については、「2人」が51.4%で最も多く、次いで「3人」(21.2%)、「4人」(7.9%)となっています。

(1)－② 同居されている方はどなたですか。[あてはまるものすべてに○]



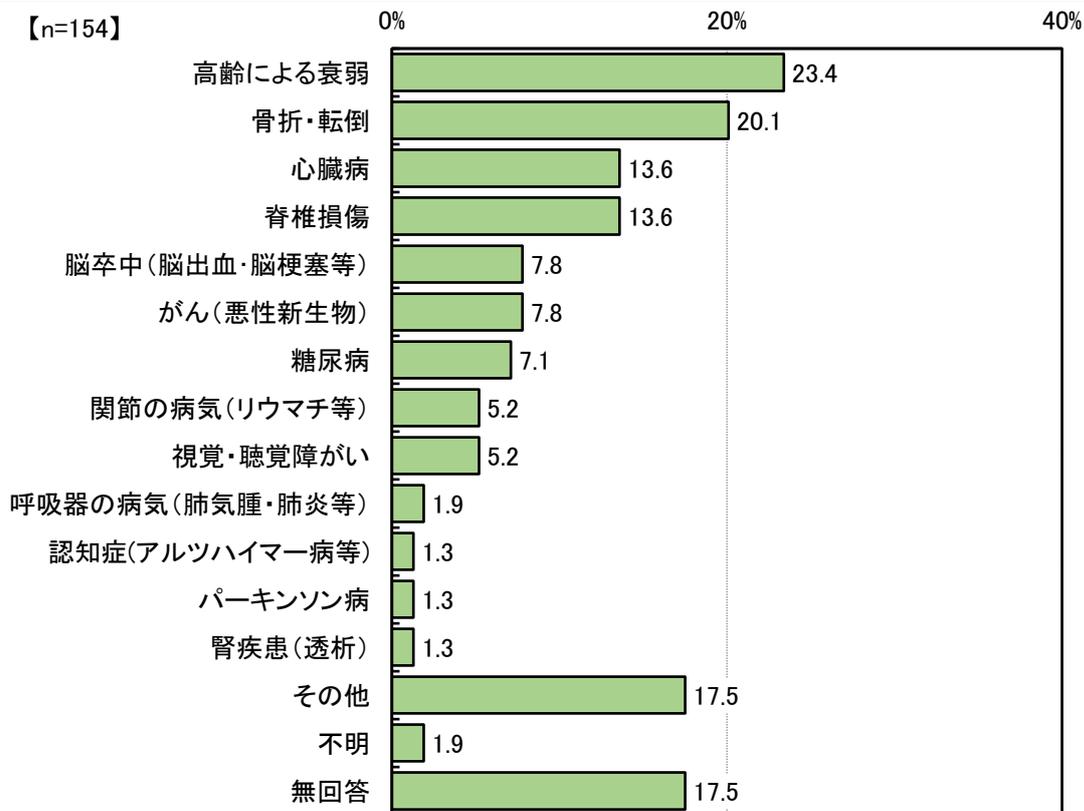
同居している家族については、「配偶者(夫・妻)」が47.2%で最も多く、次いで「息子」(26.5%)、「娘」(12.7%)となっています。

(2)あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。[1つに○]



普段の生活で介護・介助を必要とするかについては、「介護・介助は必要ない」が62.3%で最も多く、次いで「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族等の介護を受けている場合も含む)」(12.8%)、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」(12.2%)となっています。

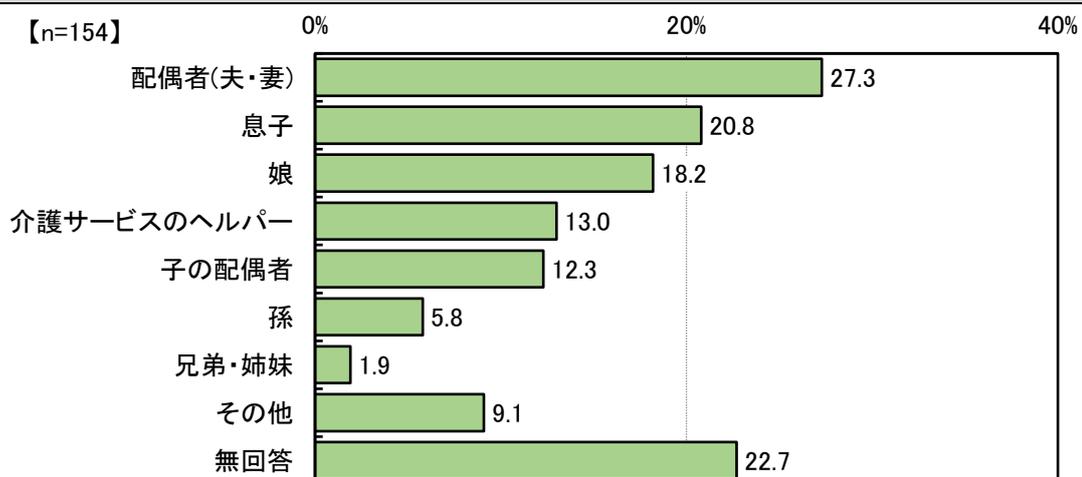
【(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】
 (2)－① 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。[あてはまるものすべてに○]



介護・介助が必要と回答した人に、介護・介助が必要になった主な原因を尋ねたところ、「高齢による衰弱」が 23.4%で最も多く、次いで「骨折・転倒」(20.1%)、「心臓病」、「脊椎損傷」(13.6%)となっています。

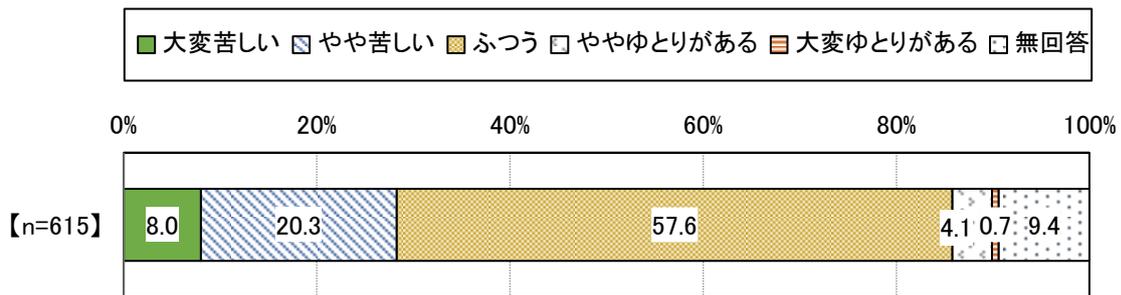
【(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

(2)－② 主にどなたの介護、介助を受けていますか。[あてはまるものすべてに○]



介護・介助を受けていると回答した人に、主な介護者・介助者を尋ねたところ、「配偶者(夫・妻)」が27.3%で最も多く、次いで「息子」(20.8%)、「娘」(18.2%)となっています。

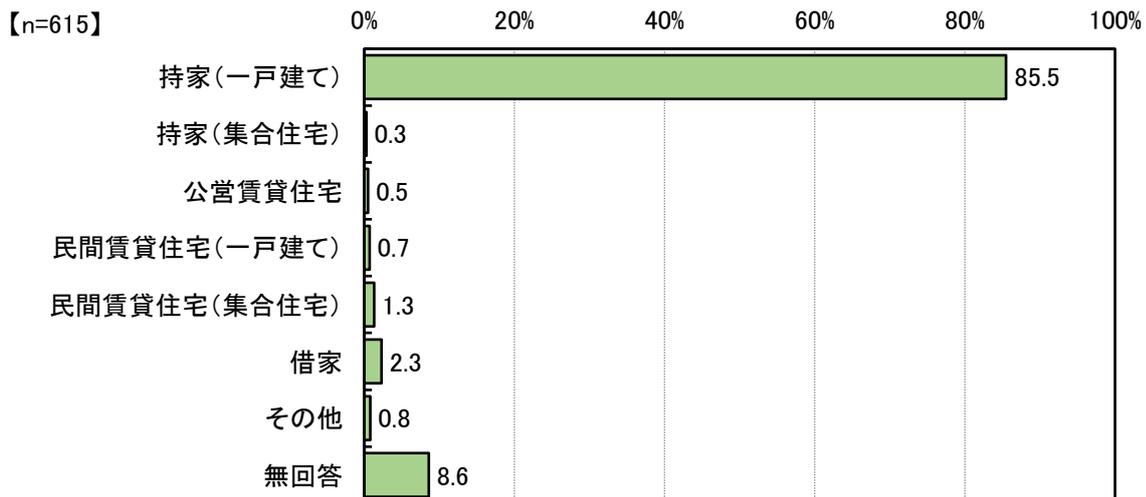
(3)現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。[1つに○]



現在の暮らしの経済的状况では、「ふつう」が57.6%で最も多く、次いで「やや苦しい」(20.3%)、「大変苦しい」(8.0%)となっています。大別して、『生活が苦しいと感じている人の割合』(「大変苦しい」及び「やや苦しい」の合計)は28.3%で、『生活にゆとりがあると感じている人の割合』(「ややゆとりがある」及び「大変ゆとりがある」の合計)の4.8%を大幅に上回っています。

(4)お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。[1つに○]

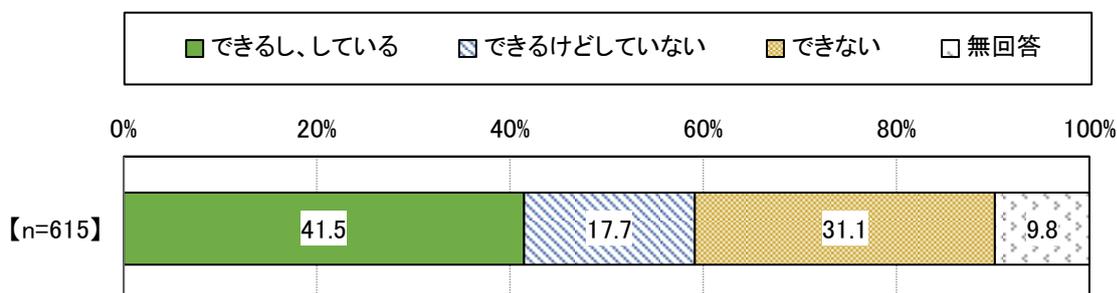
※サービス付き高齢者住宅(サ高住)、有料老人ホーム、ケアハウスにお住まいの方は、5. 民間賃貸住宅(集合住宅)をご選択ください。



住居の形態は、「持家(一戸建て)」が85.5%と最も多くなっています。

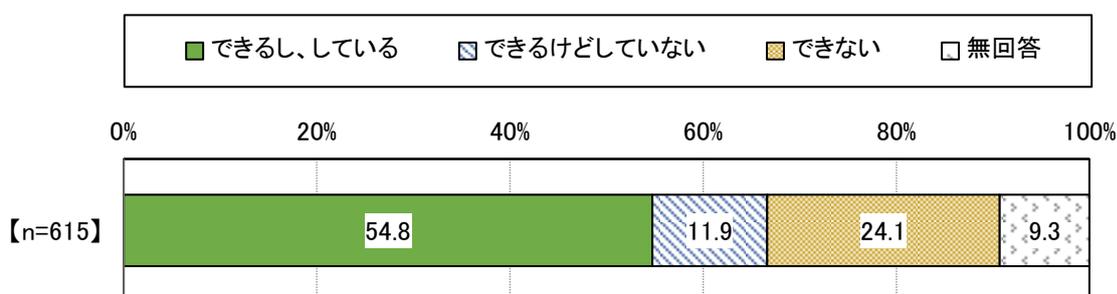
問2 からだを動かすことについて

(1)階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。[1つに○]



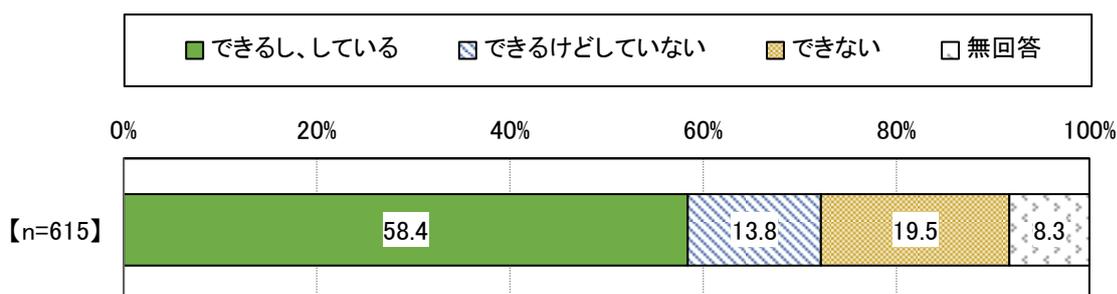
階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか尋ねたところ、運動器リスク及び虚弱のチェック該当となる「できない」の割合は31.1%となっています。

(2)椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。[1つに○]



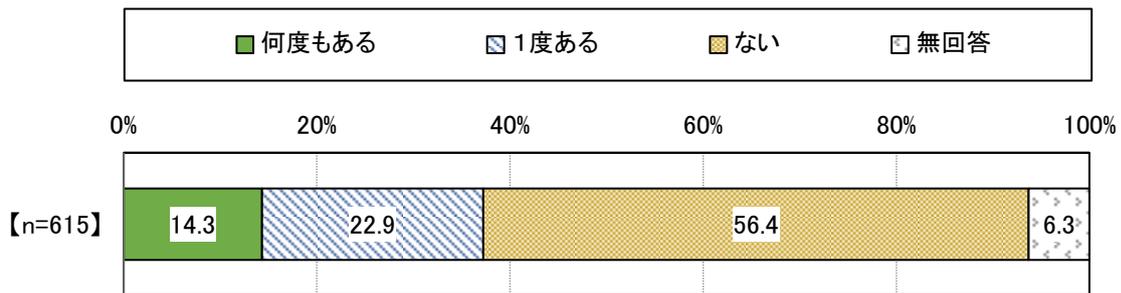
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか尋ねたところ、運動器リスク及び虚弱のチェック該当となる「できない」の割合は24.1%となっています。

(3)15分位続けて歩いていますか。[1つに○]



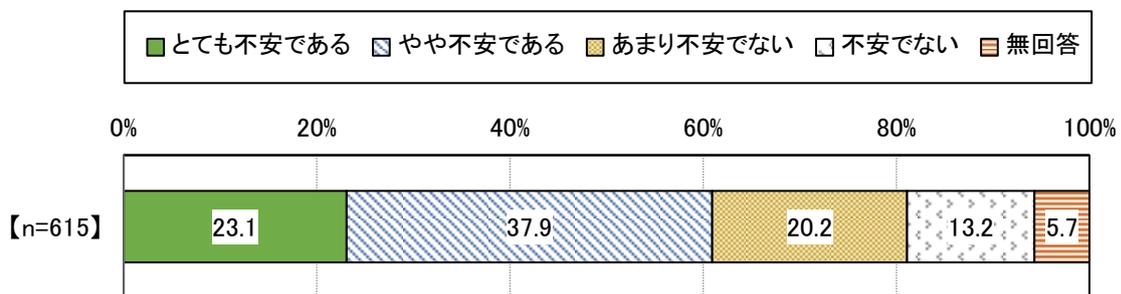
15分位続けて歩いているか尋ねたところ、運動器リスク及び虚弱のチェック該当となる「できない」の割合は19.5%となっています。

(4)過去1年間に転んだ経験がありますか。[1つに○]



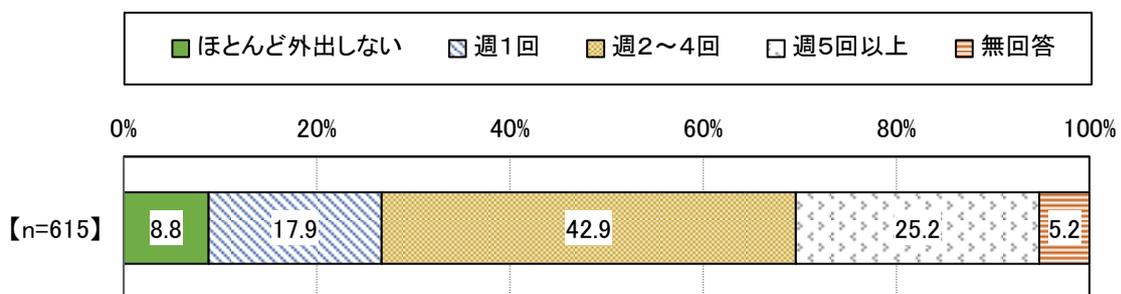
過去1年間に転んだことがあるか尋ねたところ、転倒リスク及び虚弱のチェック該当となる「何度もある」が14.3%、「1度ある」が22.9%となっています。

(5)転倒に対する不安は大きいですか。[1つに○]



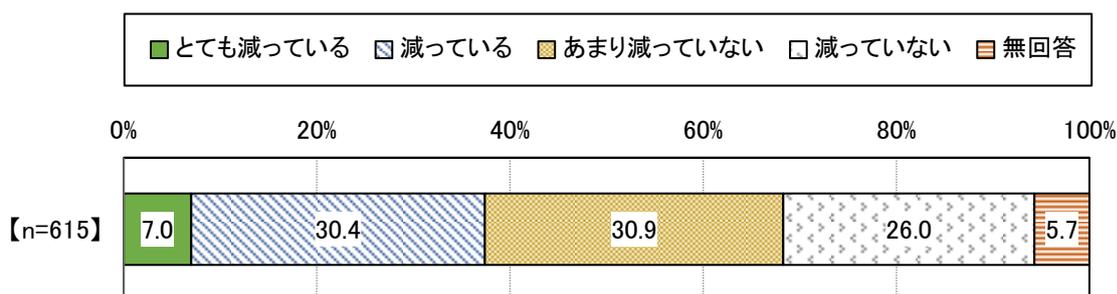
転倒に対する不安は大きいのか尋ねたところ、虚弱のチェック該当となる「とても不安である」が23.1%、「やや不安である」が37.9%となっています。

(6)週に1回以上は外出していますか。[1つに○]



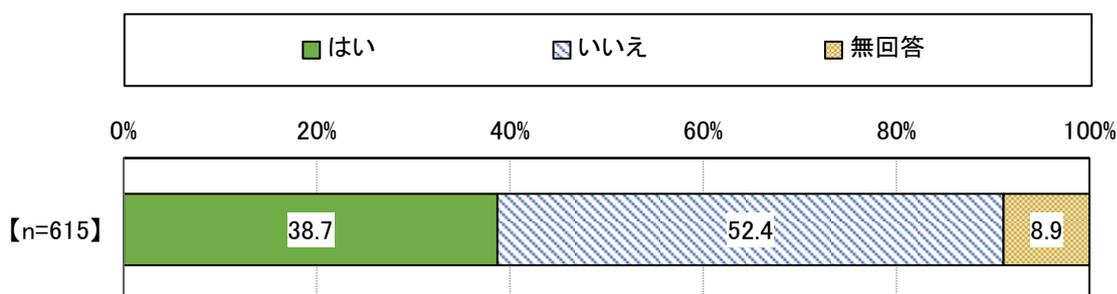
週に1回以上は外出しているか尋ねたところ、閉じこもりリスク及び虚弱のチェック該当となる「ほとんど外出しない」の割合は8.8%となっています。

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。[1つに○]



昨年と比べて外出の回数が減っているか尋ねたところ、虚弱のチェック該当となる「とても減っている」が7.0%、「減っている」が30.4%となっています。

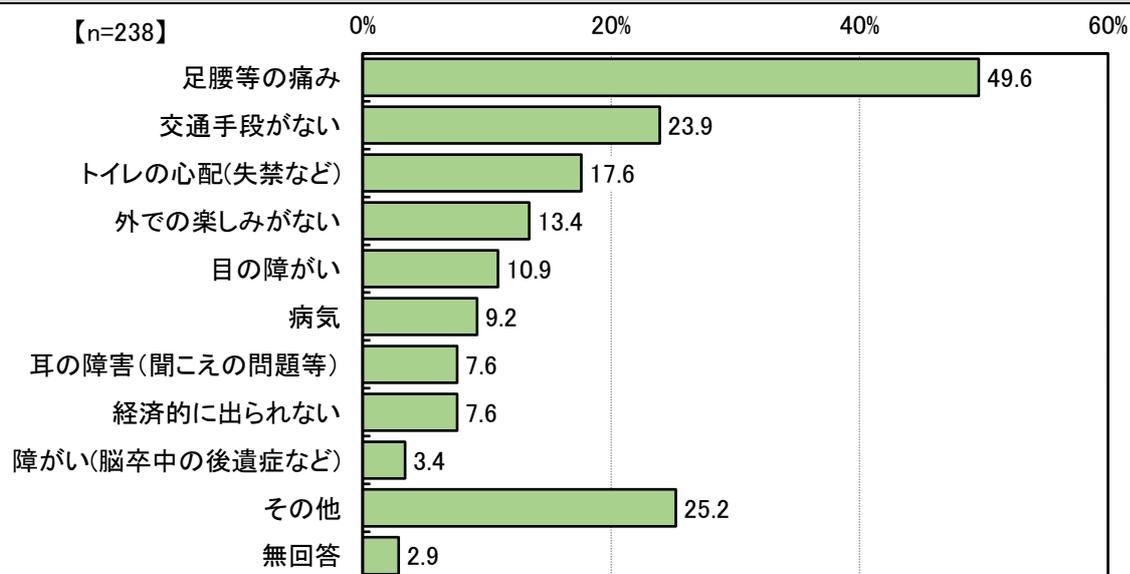
(8) 外出を控えていますか。[1つに○]



外出を控えているか尋ねたところ、「はい」が38.7%、「いいえ」が52.4%となっています。

【(8)で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】

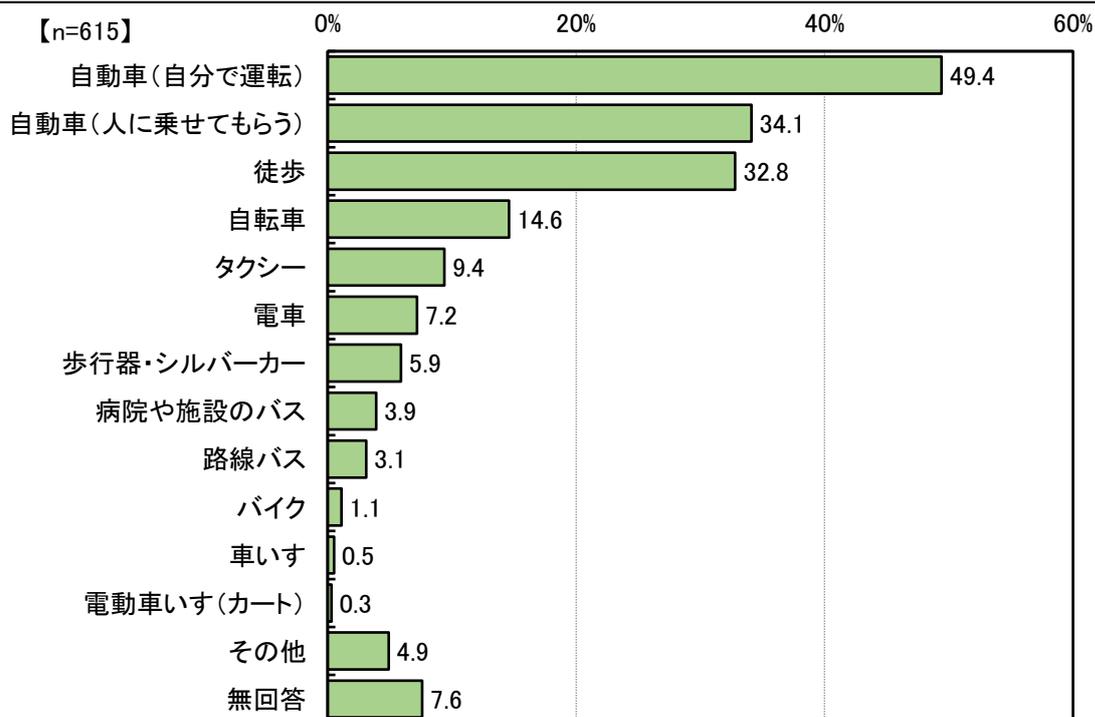
(8)－① 外出を控えている理由は、次のどれですか。[あてはまるものすべてに○]



外出を控えていると回答した人にその理由を尋ねたところ、「足腰等の痛み」が 49.6%で最も多く、次いで「交通手段がない」(23.9%)、「トイレの心配(失禁など)」(17.6%)となっています。

また、「その他」の回答では「新型コロナウイルス感染症予防のため」という回答が大半を占めています。

(9)外出する際の移動手段は何ですか。[あてはまるものすべてに○]



外出する際の移動手段については、「自動車(自分で運転)」が 49.4%で最も多く、次いで「自動車(人に乗せてもらう)」(34.1%)、「徒歩」(32.8%)となっています。

○地域別外出する際の移動手段

地域別で外出する際の移動手段をみると、笠間地区では「自動車(自分で運転)」が42.7%で最も多く、「自動車(人に乗せてもらう)」(35.9%)、「徒歩」(27.6%)、となっています。

友部地区では「自動車(自分で運転)」が53.6%で最も多く、「徒歩」(36.6%)、「自動車(人に乗せてもらう)」(31.2%)となっています。友部地区では「自転車」、「タクシー」の割合が他の地域に比べて高くなっています。

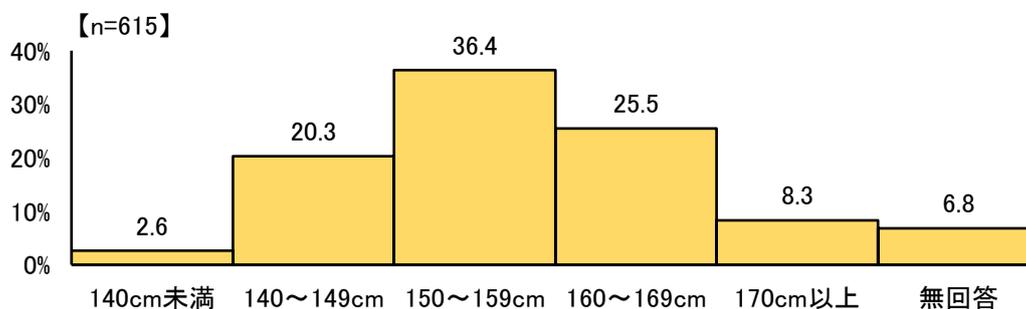
岩間地区では「自動車(自分で運転)」が49.1%で最も多く、「自動車(人に乗せてもらう)」(39.6%)、「徒歩」(31.1%)、となっています。

	全体 【n=615】	笠間地区 【n=192】	友部地区 【n=315】	岩間地区 【n=106】
自動車(自分で運転)	49.4	42.7	53.6	49.1
自動車(人に乗せてもらう)	34.1	35.9	31.2	39.6
徒歩	32.8	27.6	36.6	31.1
自転車	14.6	7.8	18.3	16
タクシー	9.4	5.7	13.6	3.8
電車	7.2	4.2	9.5	5.7
歩行器・シルバーカー	5.9	5.7	5.4	7.5
病院や施設のバス	3.9	1.6	5.4	3.8
路線バス	3.1	1	5.4	0
バイク	1.1	1	0.9	1.9
車いす	0.5	1.6	0	0
電動車いす(カート)	0.3	0.5	0.3	0
その他	4.9	5.7	4.4	4.7
無回答	7.6	10.4	6	7.5

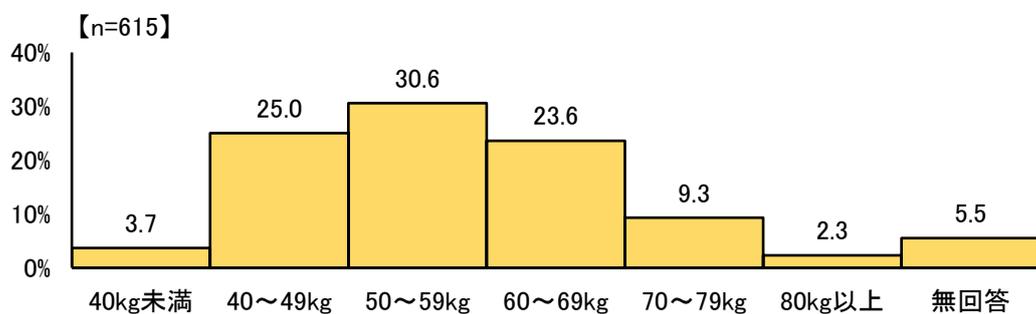
問3 食べることについて

(1)身長・体重をうかがいます。

【身長】



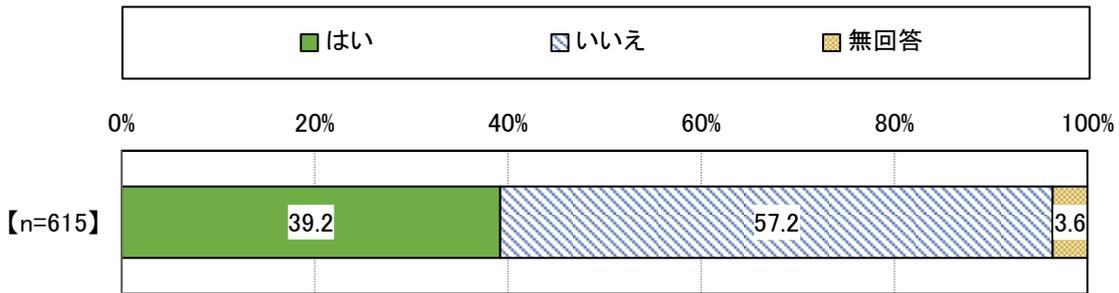
【体重】



身長は、「150～159cm」が36.4%で最も多く、次いで「160～169cm」(25.5%)、「140～149cm」(20.3%)となっています。

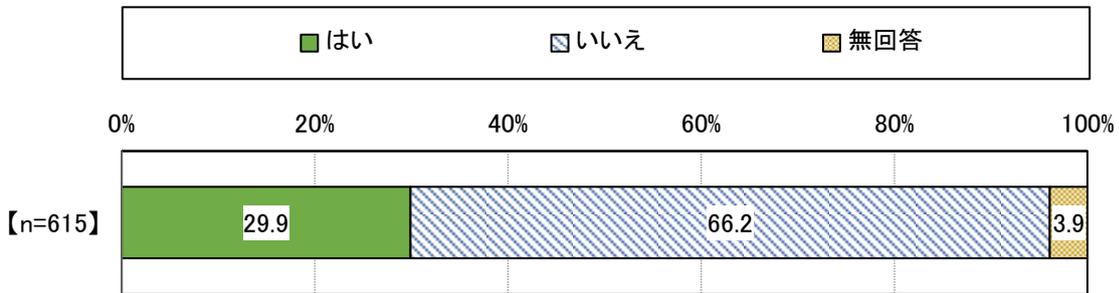
体重は、「50～59kg」が30.6%で最も多く、次いで「40～49kg」(25.0%)、「60～69kg」(23.6%)となっています。

(2)半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。[1つに○]



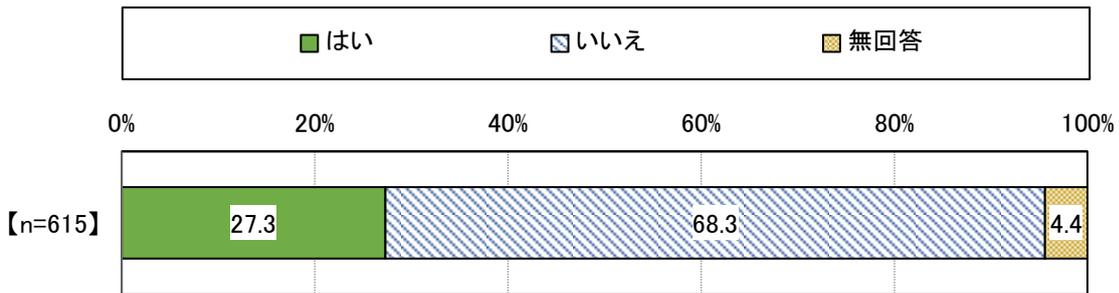
半年前と比べて固いものが食べにくくなったか尋ねたところ、口腔リスク及び虚弱のチェック該当となる「はい」の割合は39.2%となっています。

(3)お茶や汁物等でむせることがありますか。[1つに○]



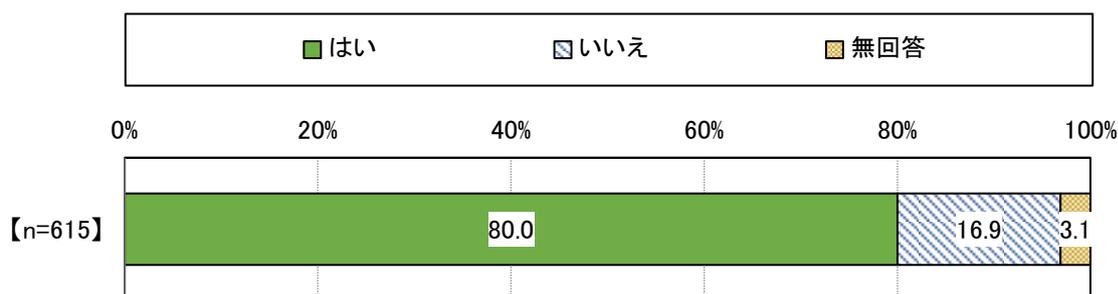
お茶や汁物等でむせることがあるか尋ねたところ、口腔リスク及び虚弱のチェック該当となる「はい」の割合は29.9%となっています。

(4)口の渇きが気になりますか。[1つに○]



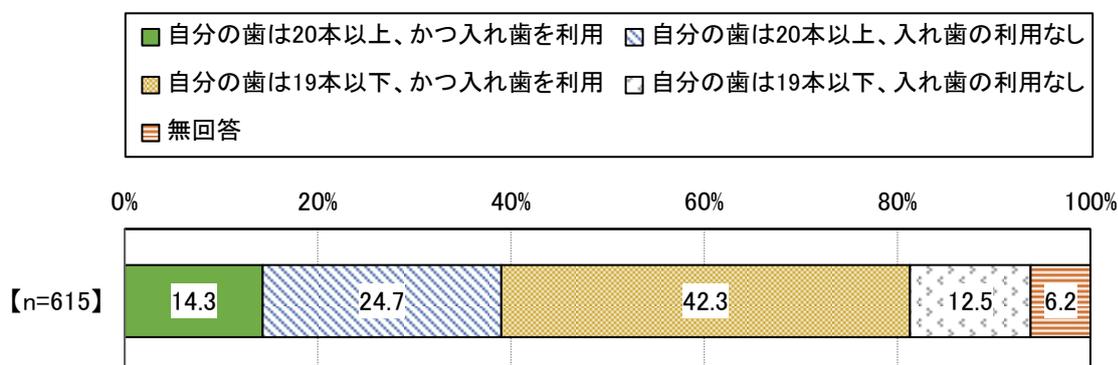
口の渇きが気になるか尋ねたところ、口腔リスク及び虚弱のチェック該当となる「はい」の割合は27.3%となっています。

(5) 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか。[1つに○]



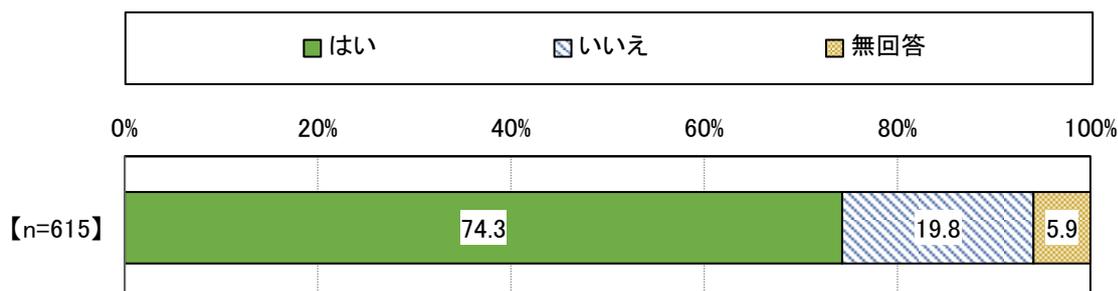
歯磨きを毎日しているか尋ねたところ、「はい」が80.0%、「いいえ」が16.9%となっています。

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。[1つに○]



歯の数と入れ歯の利用状況を尋ねたところ、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が42.3%で最も多く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」(24.7%)、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」(14.3%)、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」(12.5%)となっています。

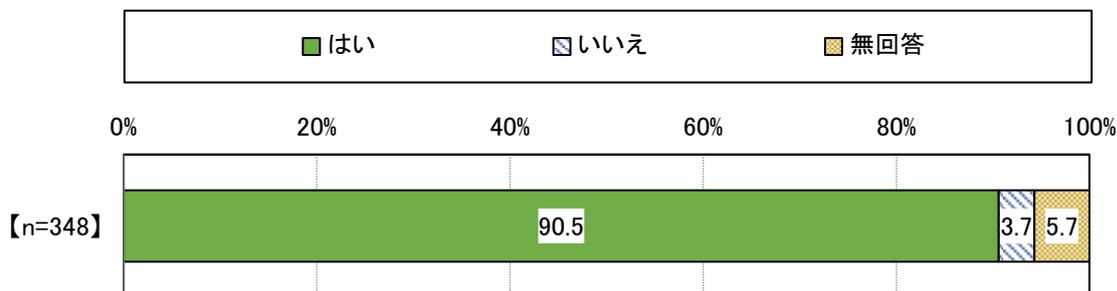
(6) - ① 噛み合わせは良いですか。[1つに○]



噛み合わせは良いか尋ねたところ、「はい」が74.3%、「いいえ」が19.8%となっています。

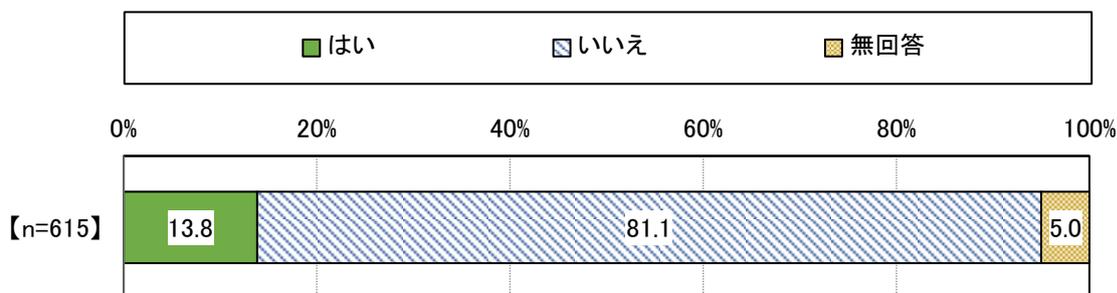
【(6)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】

(6)－② 毎日入れ歯の手入れをしていますか。[1つに○]



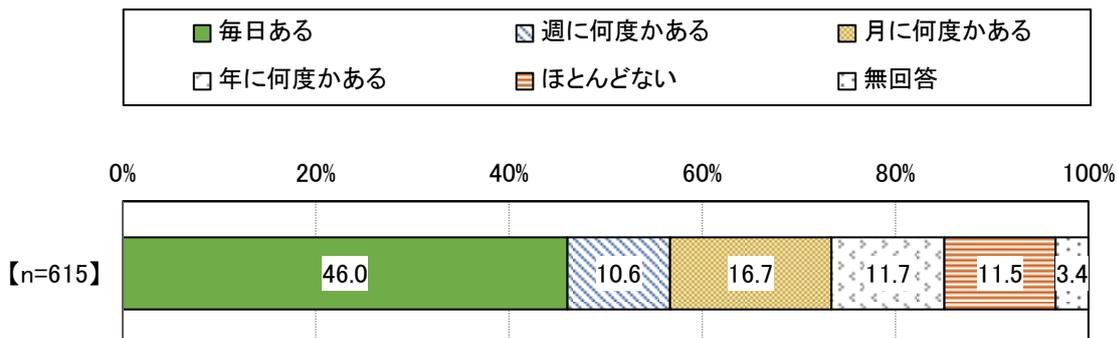
(6)で入れ歯を利用していると回答した人に毎日入れ歯の手入れをしているか尋ねたところ、「はい」が90.5%、「いいえ」が3.7%となっています。

(7)6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。[1つに○]



6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか尋ねたところ、栄養リスク及び虚弱のチェック該当となる「はい」の割合は13.8%となっています。

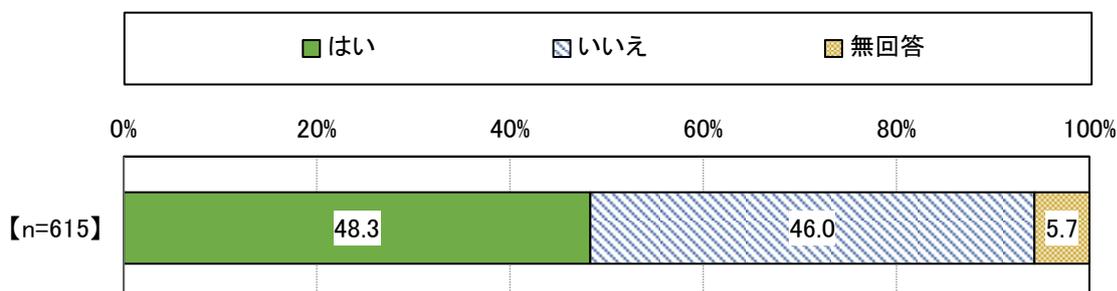
(8)どなたかと食事をとる機会がありますか。[1つに○]



だれかと食事をとる機会は、「毎日ある」が46.0%で最も多く、次いで「月に何度かある」(16.7%)、「年に何度かある」(11.7%)となっています。

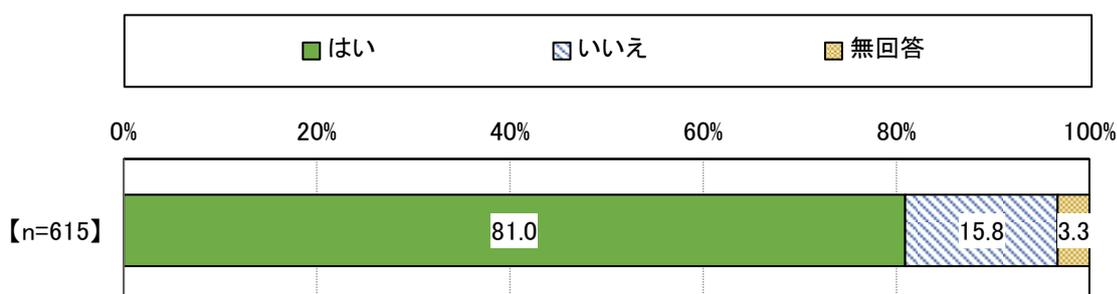
問4 毎日の生活について

(1)物忘れが多いと感じますか。[1つに○]



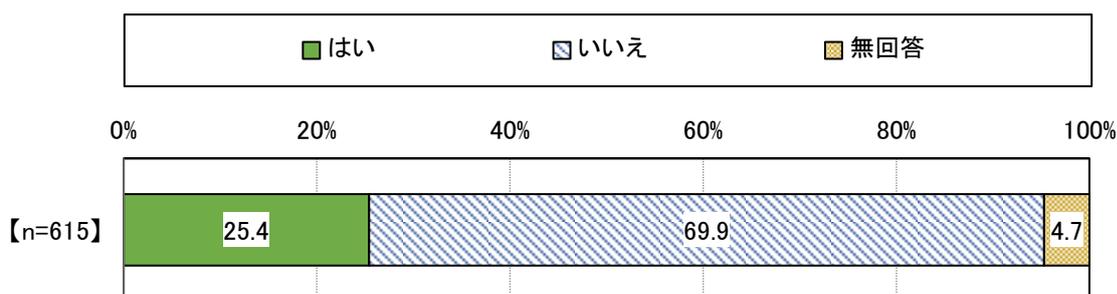
物忘れが多いと感じるか尋ねたところ、認知症リスク及び虚弱のチェック該当となる「はい」の割合は48.3%となっています。

(2)自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。[1つに○]



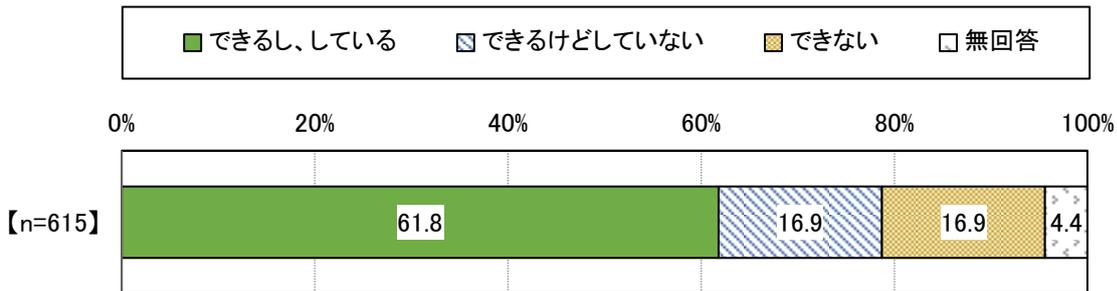
自分で電話番号を調べて電話をかけているか尋ねたところ、認知症リスク及び虚弱のチェック該当となる「いいえ」の割合は15.8%となっています。

(3)今日が何月何日かわからない時がありますか。[1つに○]



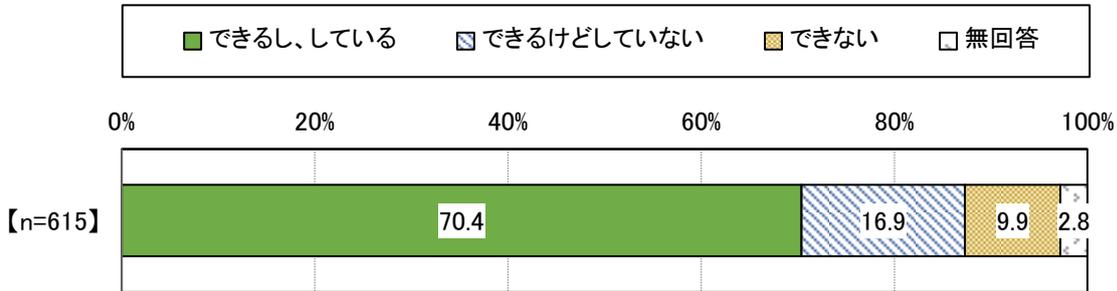
今日が何月何日かわからない時があるか尋ねたところ、認知症リスク及び虚弱のチェック該当となる「はい」の割合は25.4%となっています。

(4)バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)[1つに○]



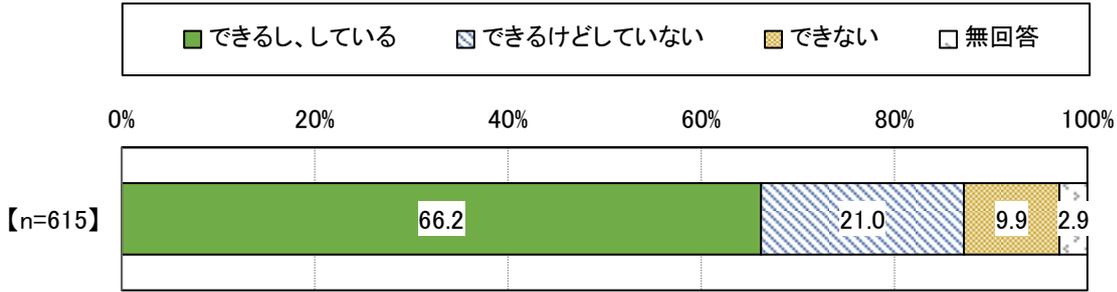
バスや電車を使って1人で外出しているか尋ねたところ、虚弱のチェック該当となる「できない」の割合は16.9%となっています。そのほか、「できるし、している」が61.8%、「できるけどしていない」が16.9%となっています。

(5)自分で食品・日用品の買物をしていますか。[1つに○]



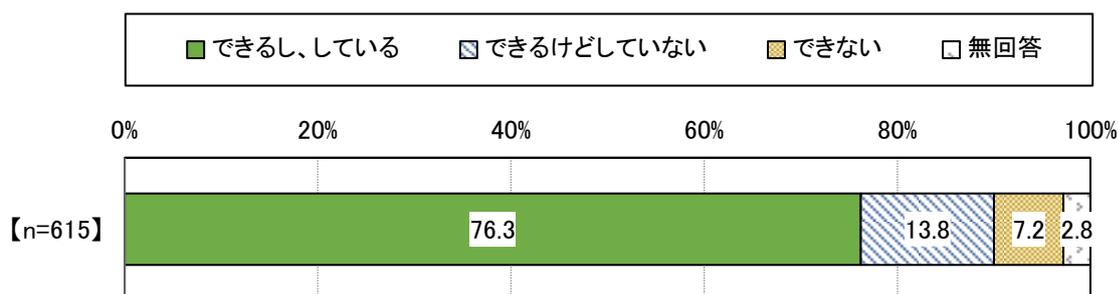
日用品の買物をしているか尋ねたところ、虚弱のチェック該当となる「できない」の割合は9.9%となっています。そのほか、「できるし、している」が70.4%、「できるけどしていない」が16.9%となっています。

(6)自分で食事の用意をしていますか。[1つに○]



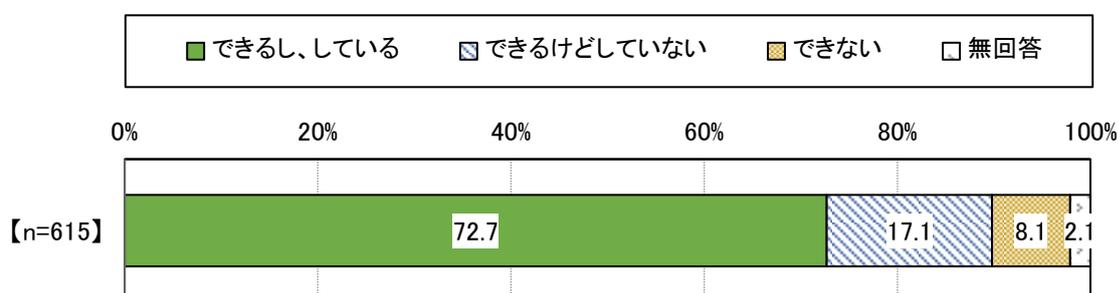
自分で食事の用意をしているか尋ねたところ、「できるし、している」が66.2%、「できるけどしていない」が21.0%、「できない」が9.9%となっています。

(7)自分で請求書の支払いをしていますか。[1つに○]



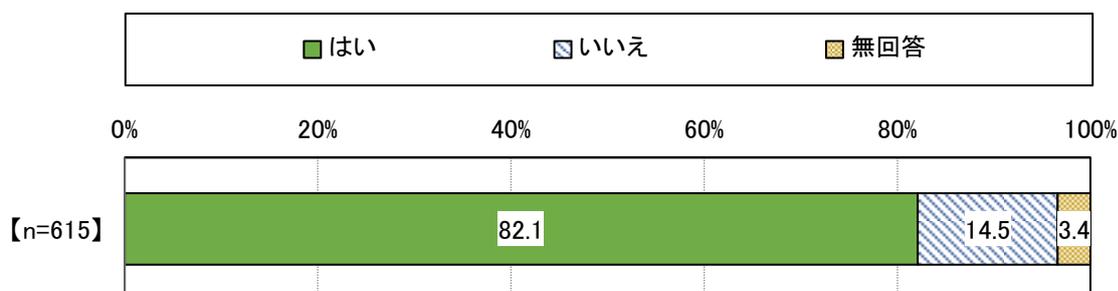
請求書の支払いをしているか尋ねたところ、「できるし、している」が76.3%、「できるけどしていない」が13.8%、「できない」が7.2%となっています。

(8)自分で預貯金の出し入れをしていますか。[1つに○]



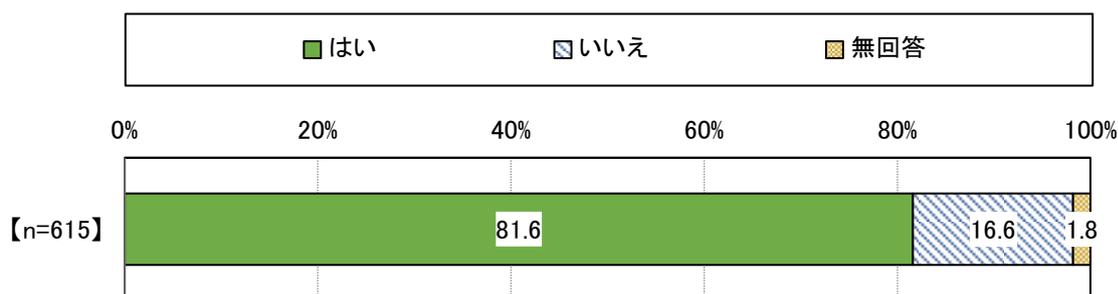
預貯金の出し入れをしているか尋ねたところ、虚弱のチェック該当となる「できない」の割合は8.1%となっています。そのほか、「できるし、している」が72.7%、「できるけどしていない」が17.1%となっています。

(9)年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか。[1つに○]



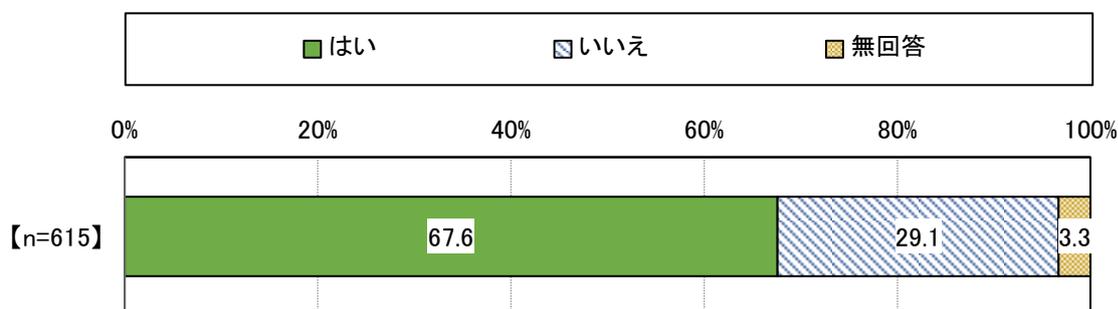
年金などの書類が書けるか尋ねたところ、知的能動性の低下チェック該当となる「いいえ」の割合は14.5%となっています。

(10)新聞を読んでいますか。[1つに○]



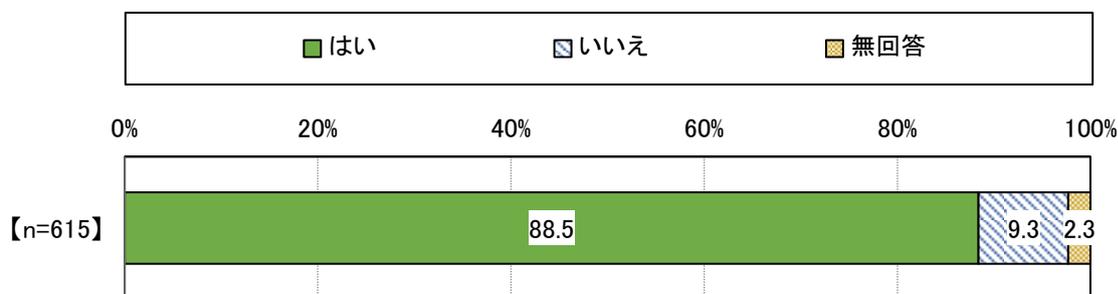
新聞を読んでいるか尋ねたところ、知的能動性の低下チェック該当となる「いいえ」の割合は16.6%となっています。

(11)本や雑誌を読んでいますか。[1つに○]



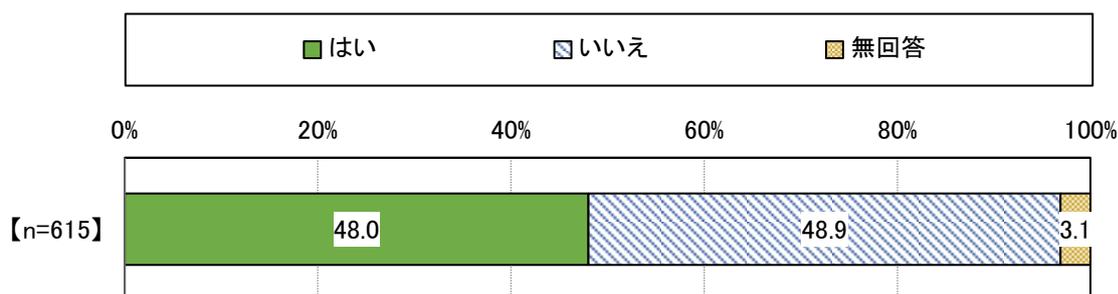
本や雑誌を読んでいるか尋ねたところ、知的能動性の低下チェック該当となる「いいえ」の割合は29.1%となっています。

(12)健康についての記事や番組に関心がありますか。[1つに○]



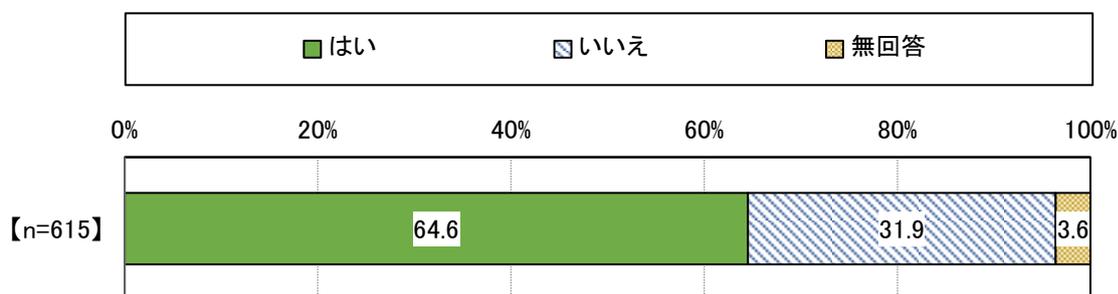
健康についての記事や番組に関心があるかを尋ねたところ、知的能動性の低下チェック該当となる「いいえ」の割合は9.3%となっています。

(13)友人の家を訪ねていますか。[1つに○]



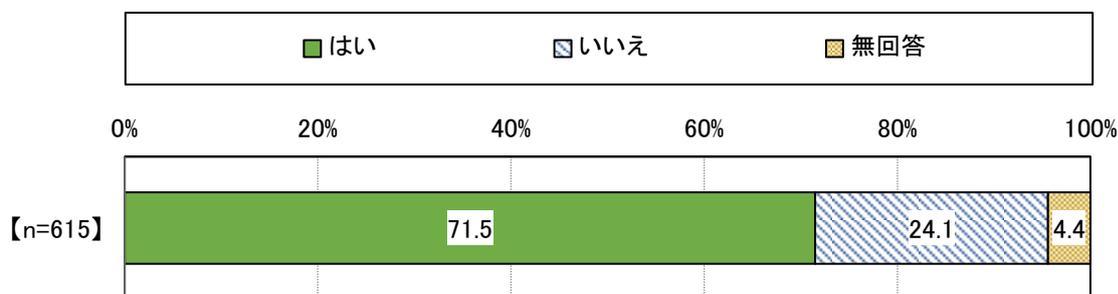
友人宅を訪ねているか尋ねたところ、虚弱及び社会的役割の低下チェック該当となる「いいえ」の割合は48.9%となっています。

(14)家族や友人の相談にのっていますか。[1つに○]



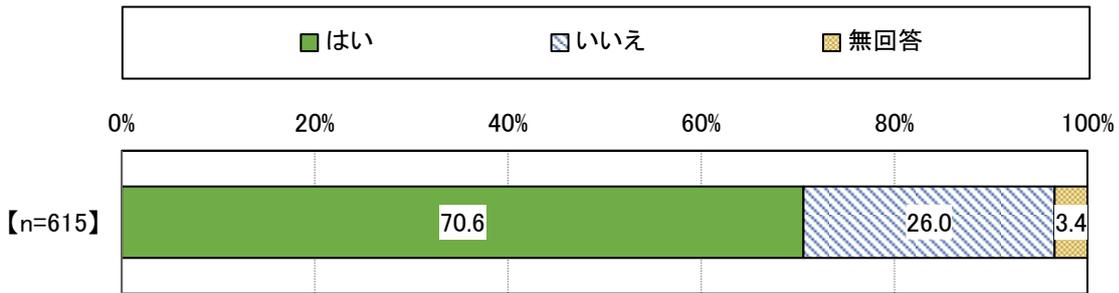
家族や友人の相談にのっているかを尋ねたところ、虚弱及び社会的役割の低下チェック該当となる「いいえ」の割合は31.9%となっています。

(15)病人を見舞うことができますか。[1つに○]



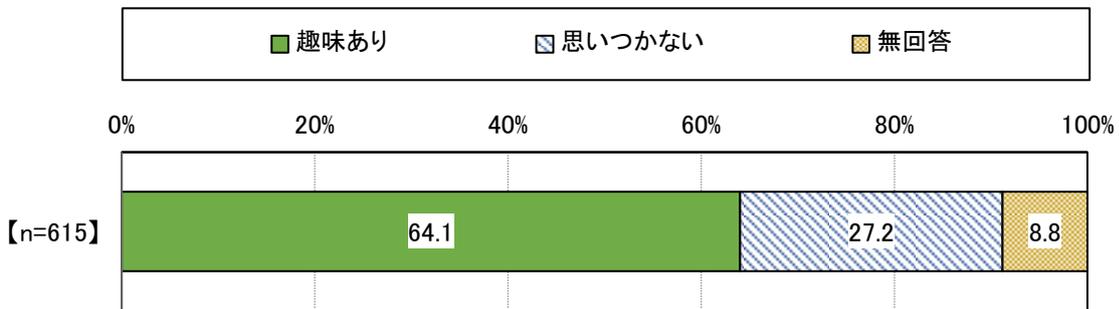
病人の見舞いができるか尋ねたところ、社会的役割の低下チェック該当となる「いいえ」の割合は24.1%となっています。

(16)若い人に自分から話しかけることがありますか。[1つに○]



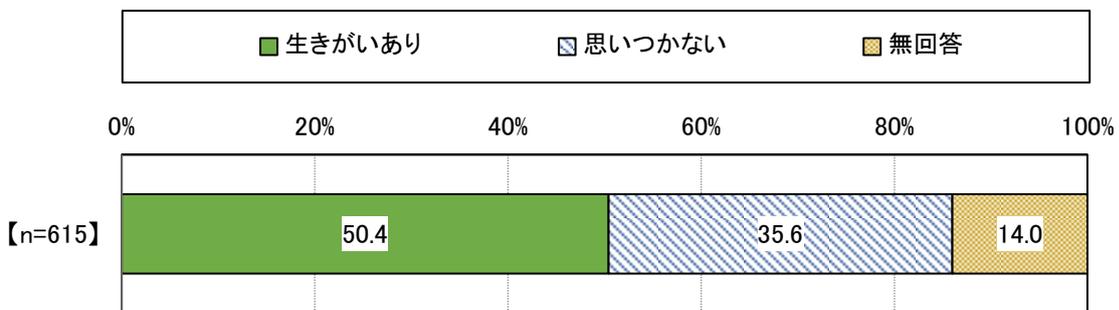
若い人に話しかけることがあるか尋ねたところ、社会的役割の低下チェック該当となる「いいえ」の割合は26.0%となっています。

(17)趣味はありますか。[1つに○]



趣味があるか尋ねたところ、「趣味あり」が64.1%、「思いつかない」が27.2%となっています。

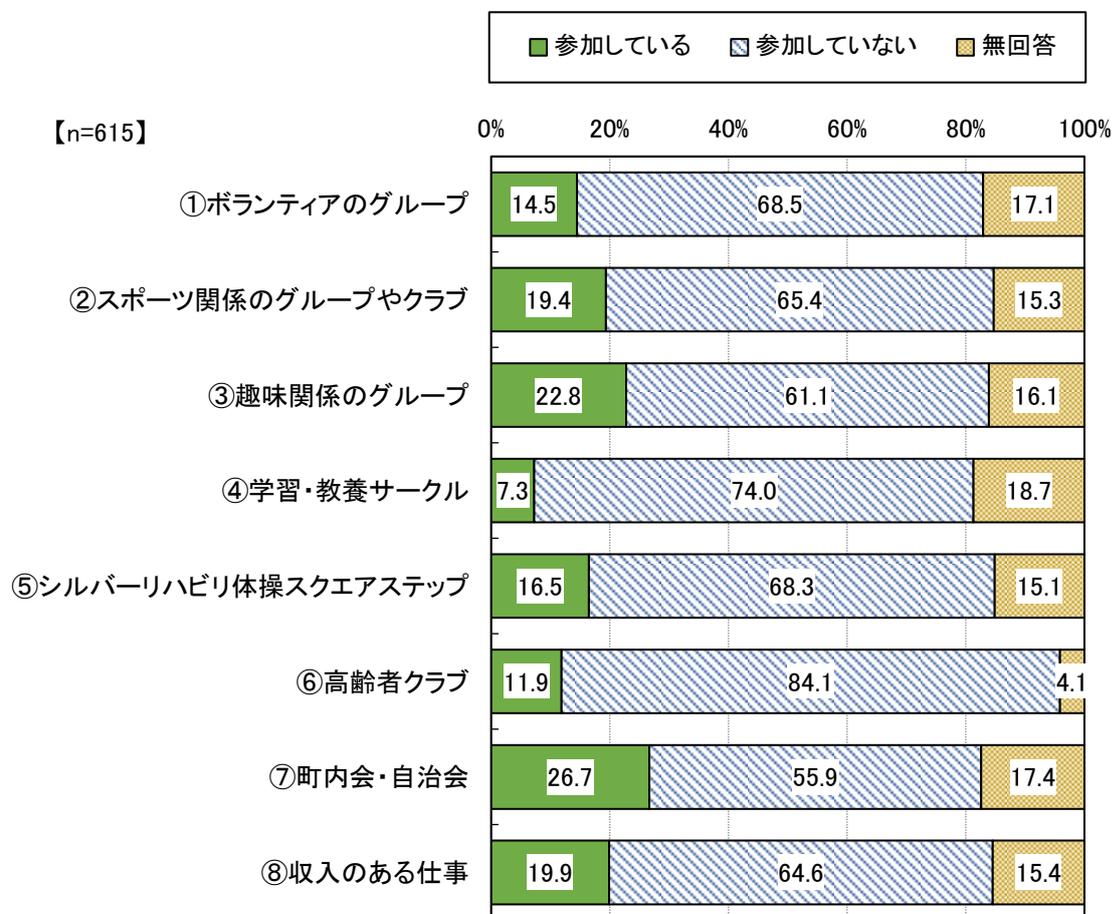
(18)生きがいがありますか。[1つに○]



生きがいはあるか尋ねたところ、「生きがいあり」が50.4%、「思いつかない」が35.6%となっています。

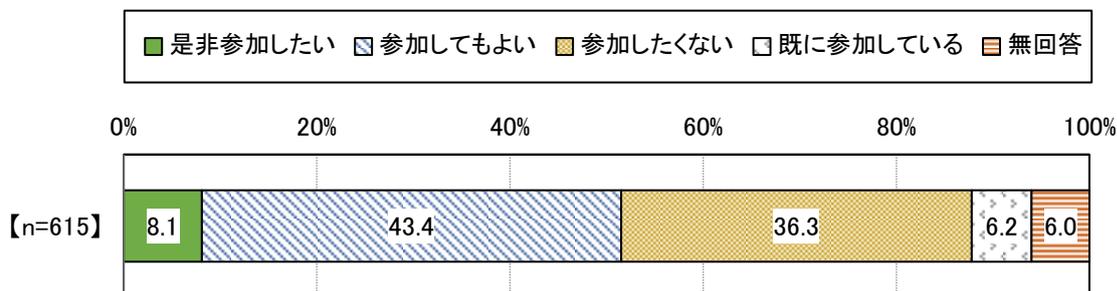
問5 地域での活動について

(1)以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
 [①～⑧それぞれに回答してください]



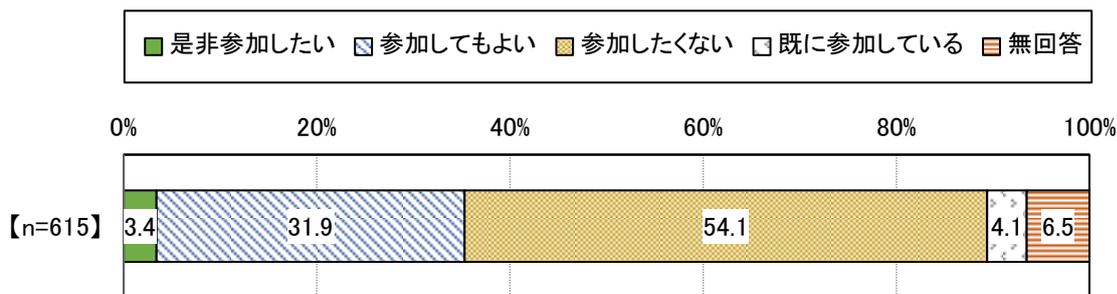
※「参加している」は、「週4日以上」～「年に数回」と回答した割合の合計
 会・グループ等への参加状況(参加している)は、「⑦町内会・自治会」への参加が26.7%
 で最も多くなっています。以下、「③趣味関係のグループ」が22.8%、「⑧収入のある仕事」
 への参加が19.9%となっています。

(2)地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。[1つに○]



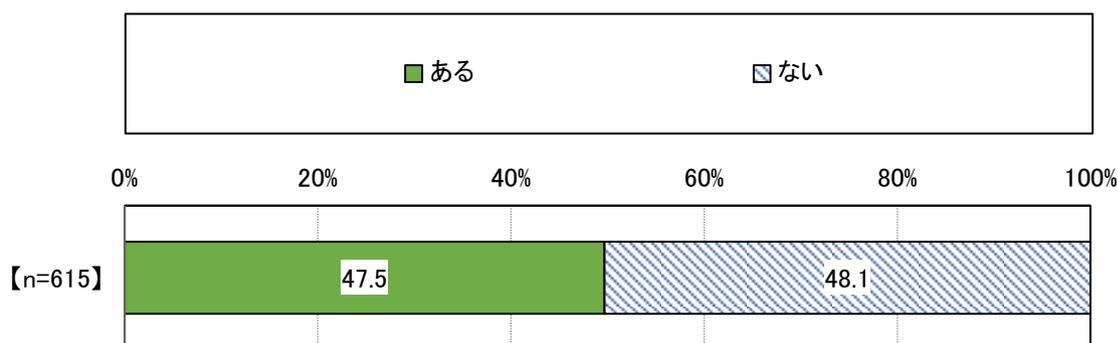
地域住民による活動に参加者として参加してみたいか尋ねたところ、「是非参加したい」が8.1%、「参加してもよい」が43.4%と、参加意向は5割となっています。一方、36.3%は「参加したくない」と回答しています。

(3)地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。[1つに○]



地域住民による活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいか尋ねたところ、「是非参加したい」が3.4%、「参加してもよい」が31.9%と、参加意向は3割となっています。一方、54.1%は「参加したくない」と回答しています。

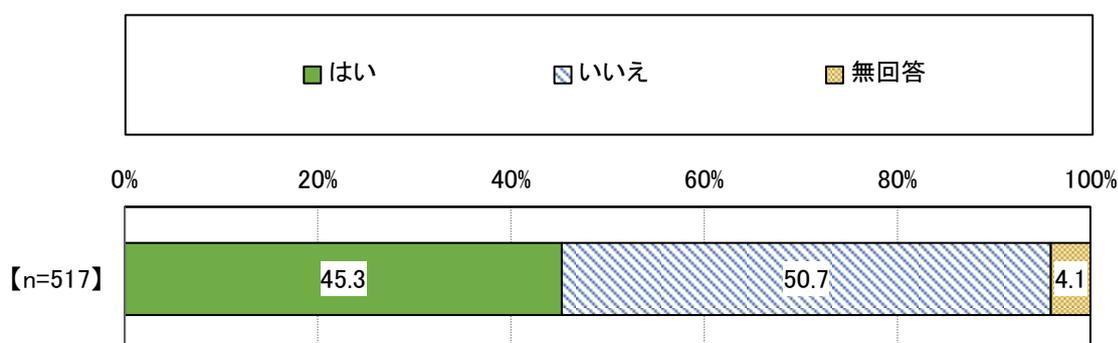
(4) 地域の人や趣味の仲間等と交流する場所がありますか。[1つに○]



地域の人や趣味のある仲間等と交流する場所はあるか尋ねたところ、「ある」が47.5%、「ない」が48.1%となっています。

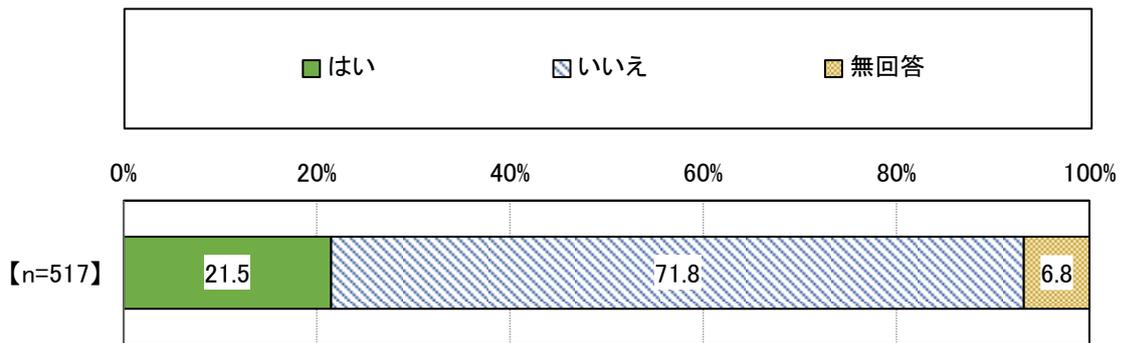
【(1)⑥で「6. 参加していない」と答えた方のみ】

(5) 高齢者クラブについて、ご存じですか。



高齢者クラブについて、知っているか尋ねたところ、「はい」が45.3%、「いいえ」が50.7%となっています。

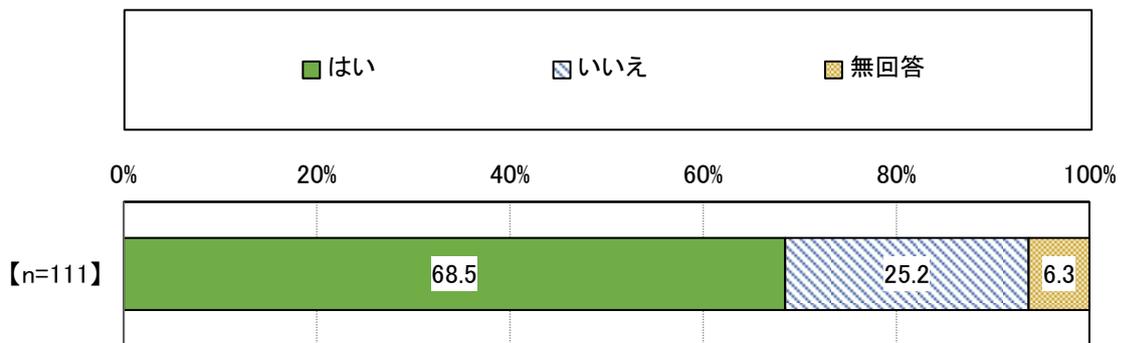
(5)－①高齢者クラブの活動に興味がありますか。



高齢者クラブの活動について、興味があるか尋ねたところ、「はい」が21.5%、「いいえ」が71.8%となっています。

【(5)－①で「1. はい」と答えた方のみ】

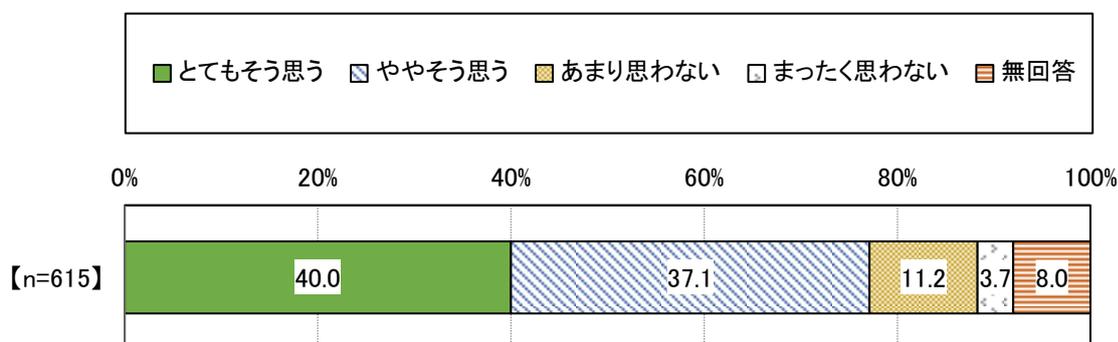
(5)－②今後、高齢者クラブに参加してみたいと思いますか。



高齢者クラブに参加してみたいか尋ねたところ、「はい」が68.5%、「いいえ」が25.2%となっています。

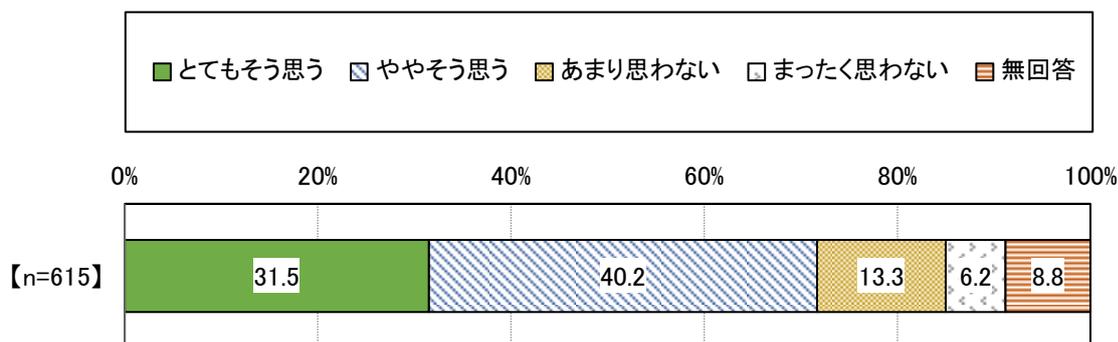
(6)近所(向こう三軒両隣)における、あなたの行動やお考えにもっとも近いものをお選びください。[①~⑤それぞれに回答してください]

①隣人宅の普段と違う様子(新聞がたまっている。数日、雨戸が閉まったまま等)に気づいた時は、声をかけると思う。



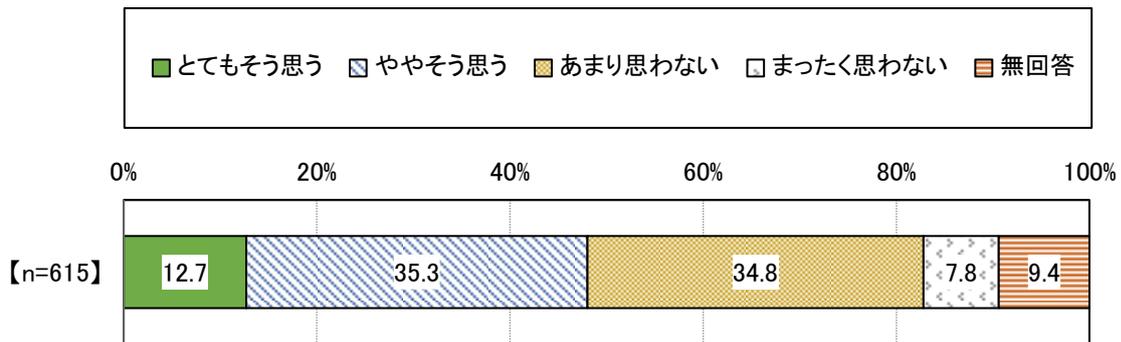
隣人宅の普段と違う様子(新聞がたまっている。数日、雨戸が閉まったまま等)に気づいた時は、声をかけると思うか尋ねたところ、『そう思うと回答した人の割合』(「とてもそう思う」及び「ややそう思う」の合計)は77.1%となっています。

②近所の高齢者等で、買い物やごみ出しに困っている人がいたら手助けをしたいと思う。



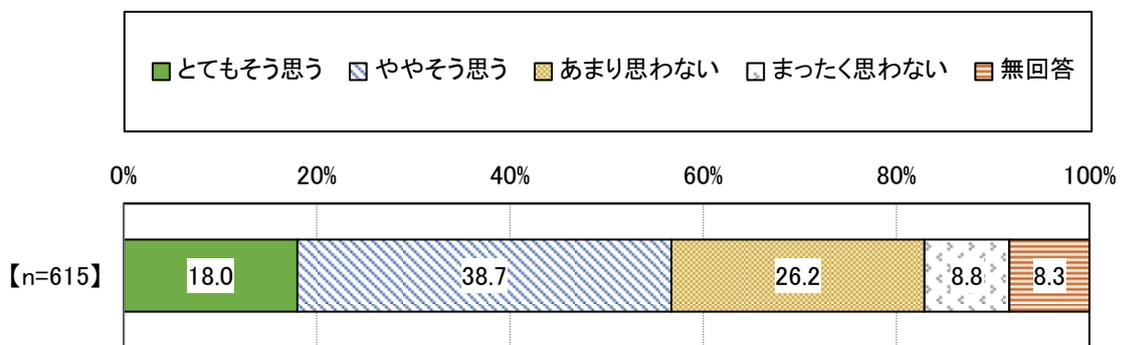
近所の高齢者等で、買い物やごみ出しに困っている人がいたら手助けをしたいと思うか尋ねたところ、『そう思うと回答した人の割合』(「とてもそう思う」及び「ややそう思う」の合計)は71.7%となっています。

③近所の家で訪問販売等見知らぬ人と話しているところを見かけたら声をかけると思う。



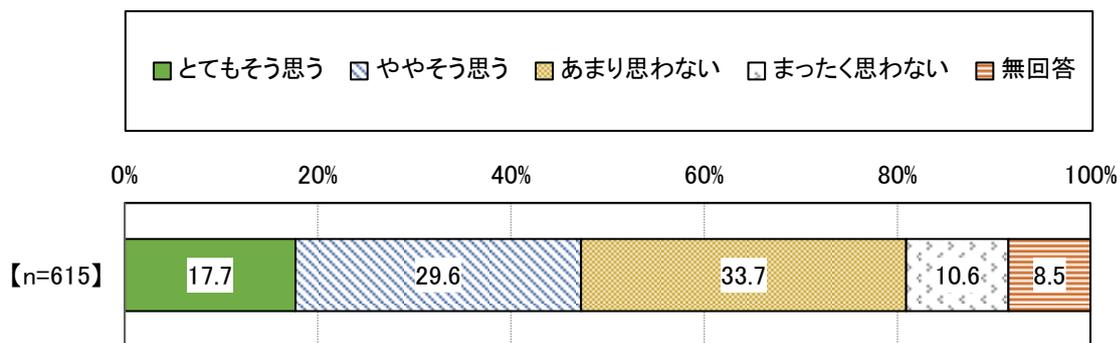
近所の家で訪問販売等見知らぬ人と話しているところを見かけたら声をかけると思うか尋ねたところ、『そう思うと回答した人の割合』（「とてもそう思う」及び「ややそう思う」の合計）は48.0%となっています。

④近所の人気が集まる場があれば、参加したいと思う。



近所の人気が集まる場があれば、参加したいと思うか尋ねたところ、『そう思うと回答した人の割合』（「とてもそう思う」及び「ややそう思う」の合計）は56.7%となっています。

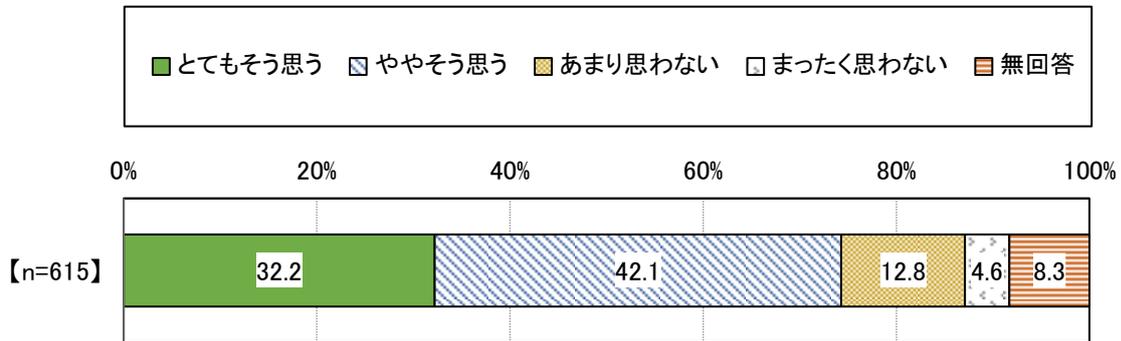
⑤地区の集会等には、隣人にも声をかけ、誘いあって行きたいと思う。



地区の集会等には、隣人にも声をかけ、誘いあって行きたいと思うか尋ねたところ、『そう思うと回答した人の割合』（「とてもそう思う」及び「ややそう思う」の合計）は47.3%となっています。

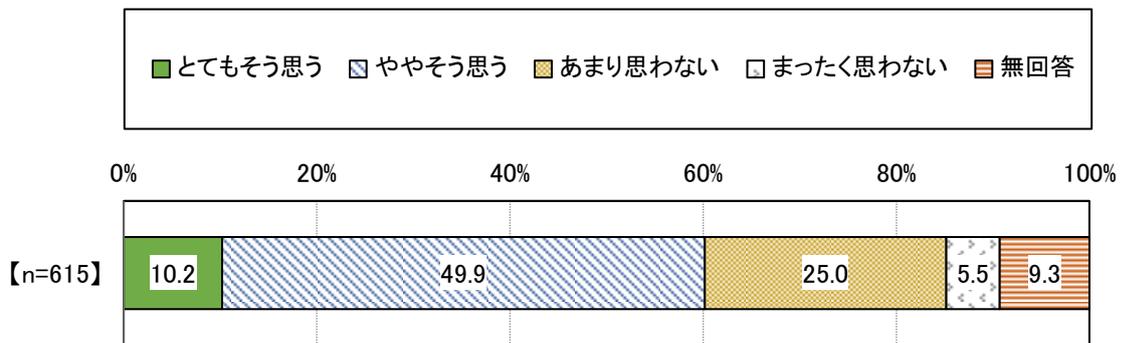
(7) 地域や地域活動(町内会や高齢者クラブ等)に対する、あなたのお考えにもっとも近いものをお選びください。[①～⑧それぞれに回答してください]

① 自分は地域の一員である。



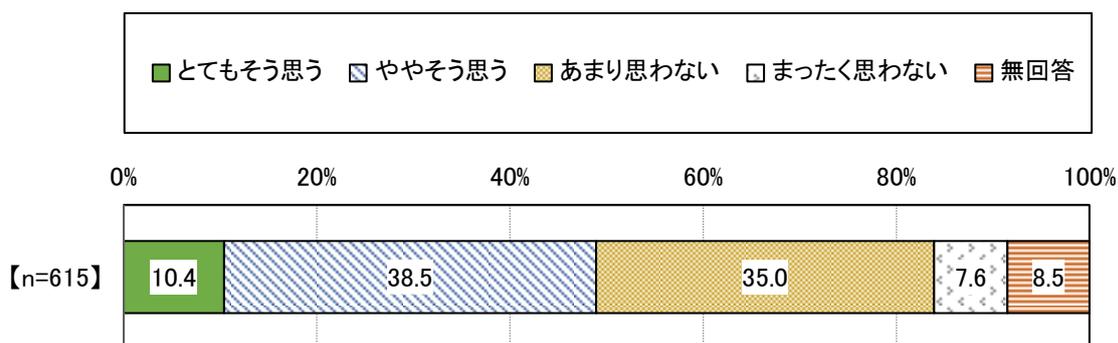
自分は地域の一員であると感じているか尋ねたところ、『そう思うと回答した人の割合』(「とてもそう思う」及び「ややそう思う」の合計)は74.3%となっています。

② 地域の人との付き合いについて、わずらわしさを感じたり、役員等の役割が増えたりしそうで気が重く感じる。



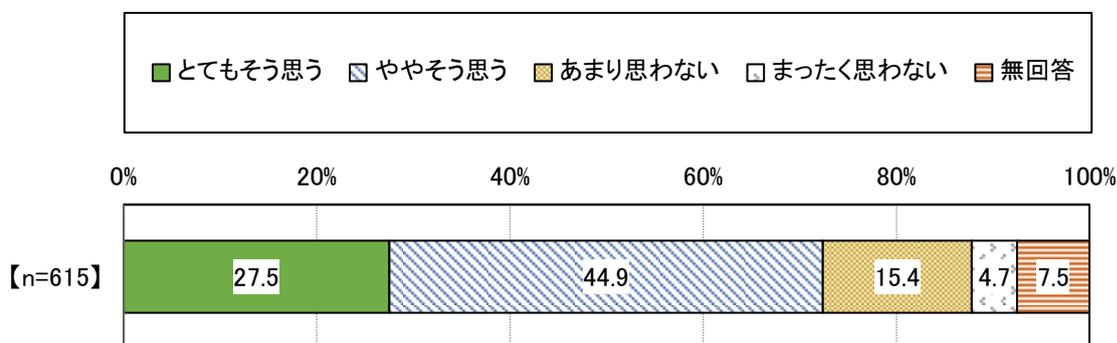
地域の人との付き合いについて、わずらわしさを感じたり、役員等の役割が増えたりしそうで気が重く感じるか尋ねたところ、『そう思うと回答した人の割合』(「とてもそう思う」及び「ややそう思う」の合計)は60.1%となっています。

③地域の人や地域活動について関心がある。



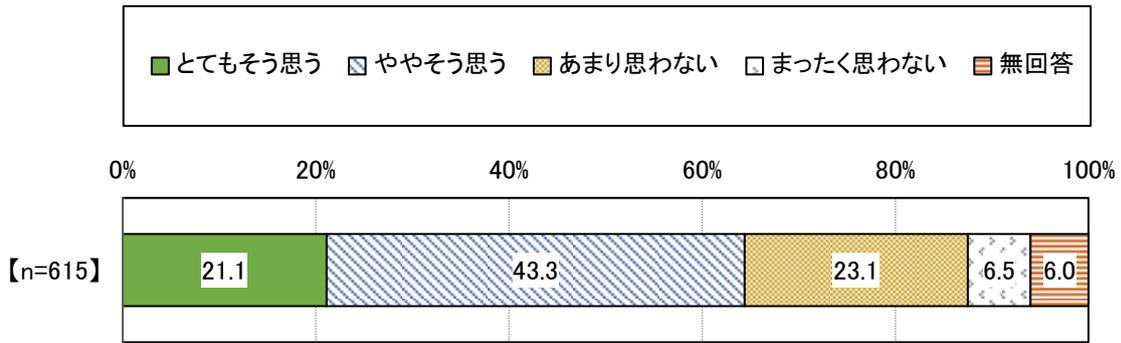
地域の人や地域活動について関心があるか尋ねたところ、『そう思うと回答した人の割合』（「とてもそう思う」及び「ややそう思う」の合計）は48.9%となっています。

④地域の人とは日頃から互いに気遣いや声かけをしている。



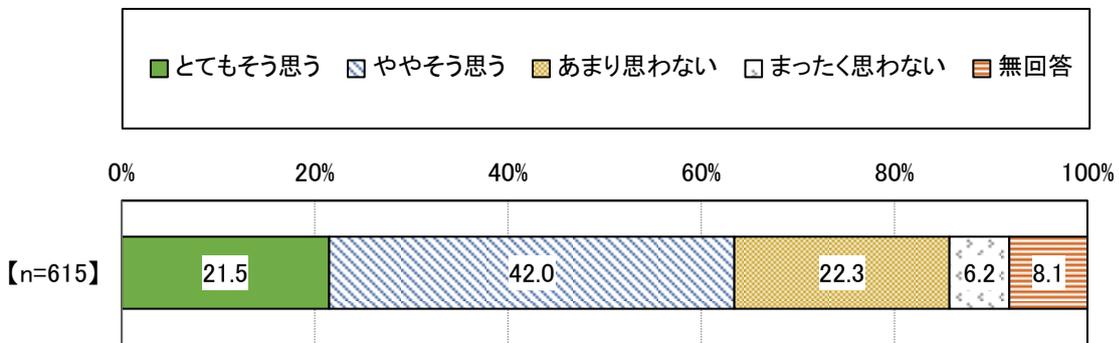
地域の人とは日頃から互いに気遣いや声かけをしているか尋ねたところ、『そう思うと回答した人の割合』（「とてもそう思う」及び「ややそう思う」の合計）は72.4%となっています。

⑤地域の人たちと過ごす時間は楽しい。



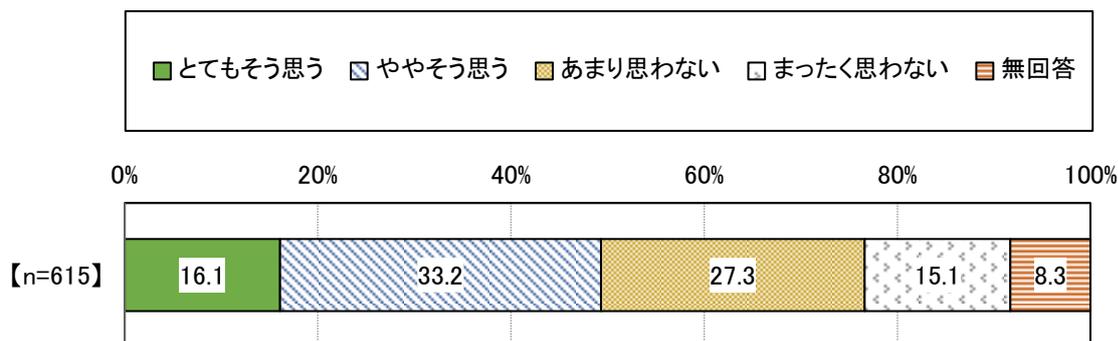
地域の人たちと過ごす時間は楽しいか尋ねたところ、『そう思うと回答した人の割合』（「とてもそう思う」及び「ややそう思う」の合計）は64.4%となっています。

⑥地域の人たちは、困った時には助けてくれる。



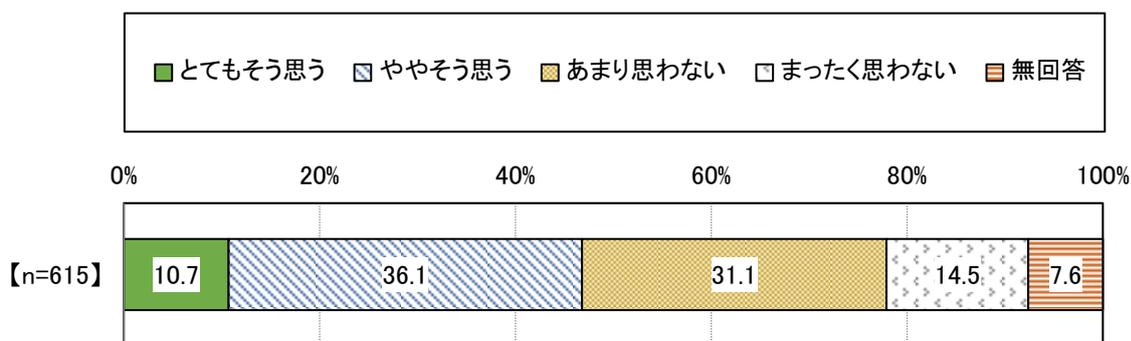
地域の人たちは、困った時には助けてくれるか尋ねたところ、『そう思うと回答した人の割合』（「とてもそう思う」及び「ややそう思う」の合計）は63.5%となっています。

⑦行事や高齢者クラブ活動、奉仕活動等には参加する。



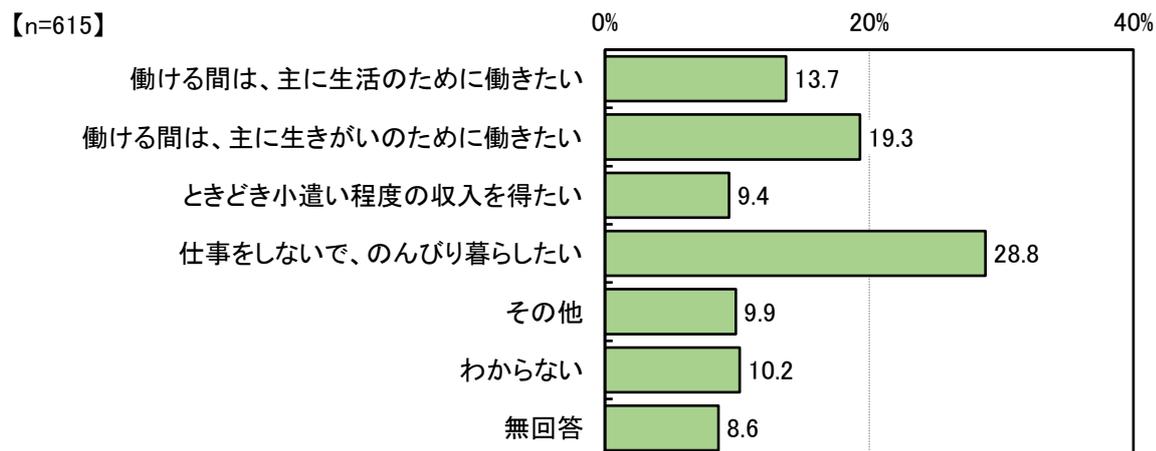
行事や高齢者クラブ活動、奉仕活動等には参加するか尋ねたところ、『そう思うと回答した人の割合』（「とてもそう思う」及び「ややそう思う」の合計）は49.3%となっています。

⑧地域づくりについて話し合う場があれば参加したい。



地域づくりについて話し合う場があれば参加したいか尋ねたところ、『そう思うと回答した人の割合』（「とてもそう思う」及び「ややそう思う」の合計）は46.8%となっています。

(8)今後の仕事について、お考えに近いものはどれですか。[1つに○]

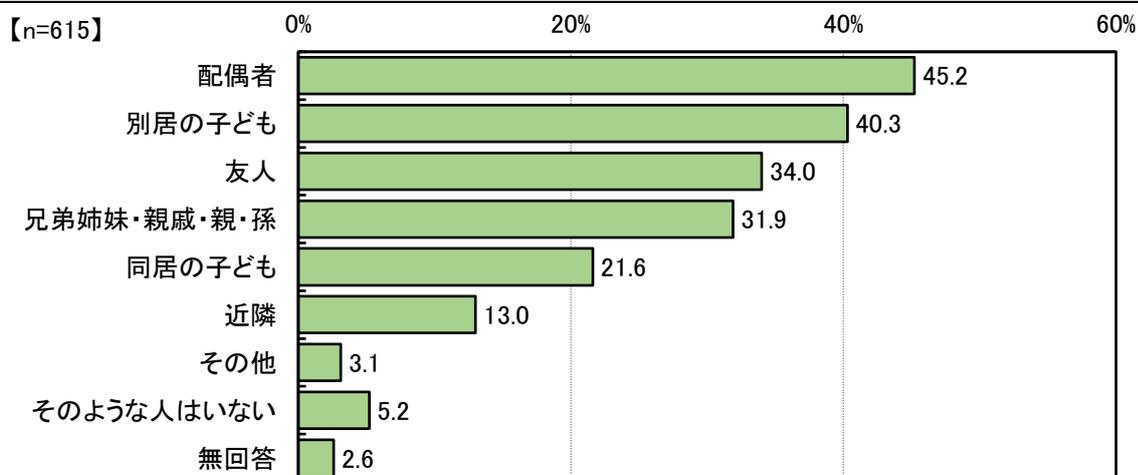


今後の仕事についてのお考えを尋ねたところ、「仕事をしないで、のんびり暮らしたい」が28.8%で最も多く、次いで「働ける間は、主に生きがいのために働きたい」(19.3%)、「働ける間は、主に生活のために働きたい」(13.7%)となっています。

問6 たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。

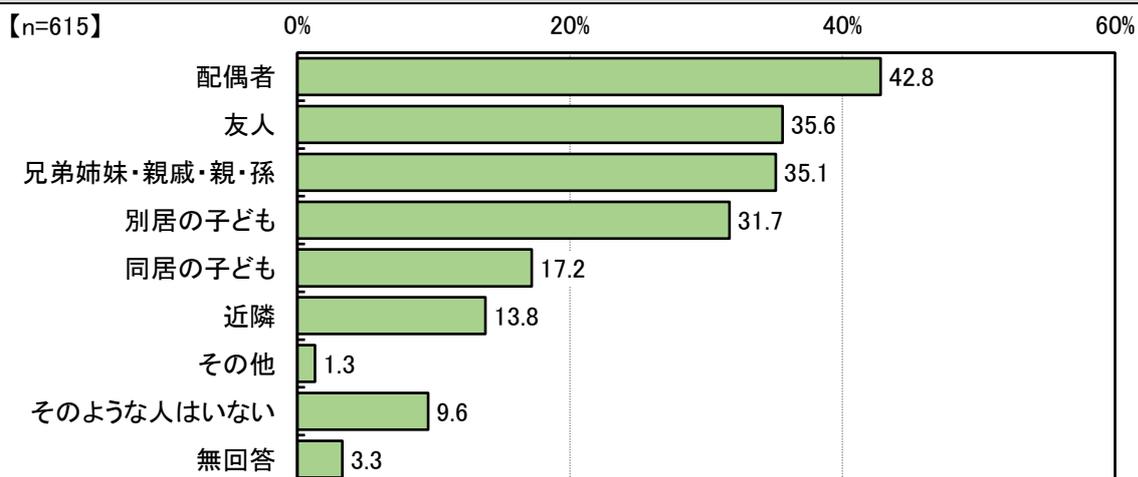
(1)あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はいますか。[あてはまるものすべてに○]



心配事や愚痴を聞いてくれる人を尋ねたところ、「配偶者」が45.2%で最も多く、次いで「別居の子ども」(40.3%)、「友人」(34.0%)となっています。

(2)反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人はいますか。

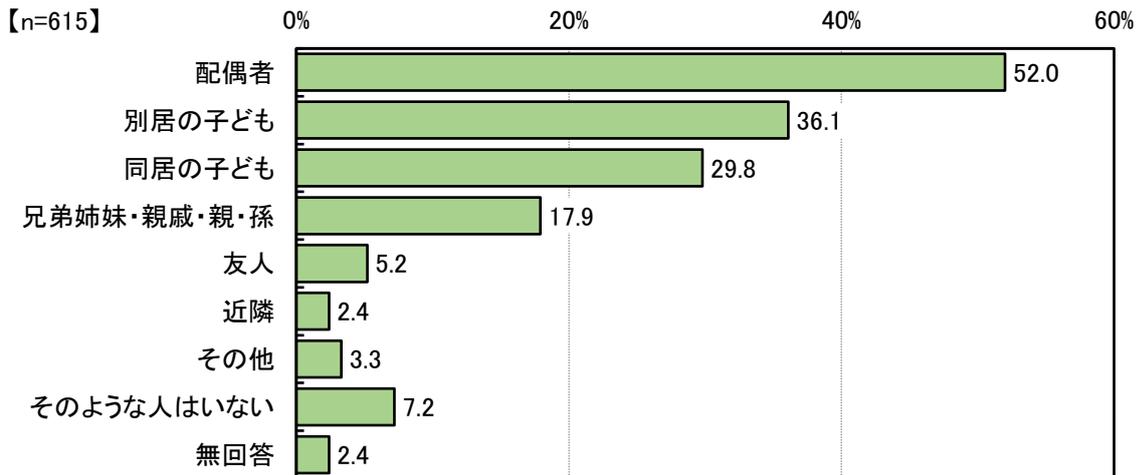
[あてはまるものすべてに○]



反対に、心配事や愚痴を聞いてあげる人を尋ねたところ、「配偶者」が 42.8%で最も多く、次いで「友人」(35.6%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(35.1%)となっています。

(3)あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいいますか。

[あてはまるものすべてに○]



病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人を尋ねたところ、「配偶者」が52.0%で最も多く、次いで「別居の子ども」(36.1%)、「同居の子ども」(29.8%)となっています。

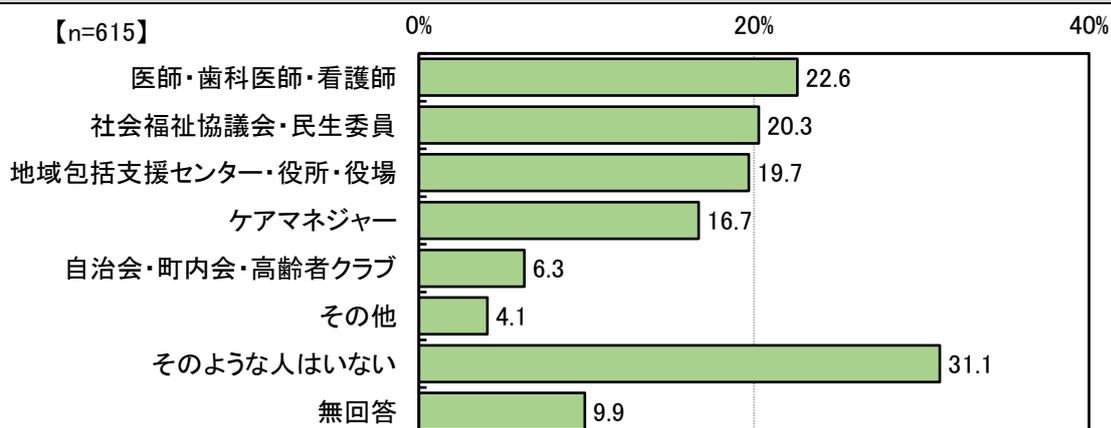
(4)反対に、看病や世話をしてあげる人はいいますか。[あてはまるものすべてに○]



反対に、看病や世話をしてあげる人を尋ねたところ、「配偶者」が43.1%で最も多く、次いで「そのような人はいない」(29.1%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(15.8%)となっています。

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。

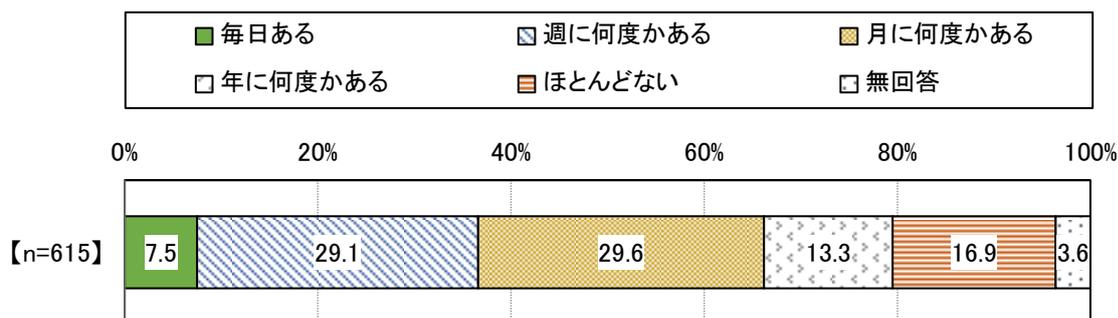
[あてはまるものすべてに○]



家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手を尋ねたところ、「医師・歯科医師・看護師」が 22.6%で最も多く、次いで「社会福祉協議会・民生委員」(20.3%)、「地域包括支援センター・役所・役場」(19.7%)となっています。

なお、31.1%は「そのような人はいない」と回答しています。

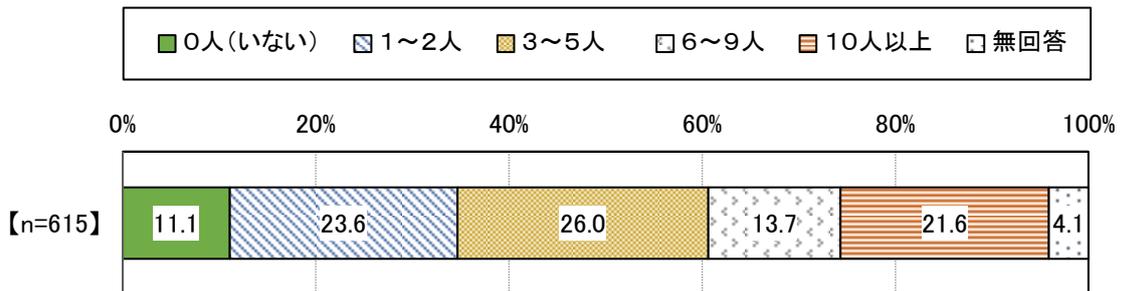
(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。[1つに○]



友人・知人と会う頻度については、「月に何度かある」が29.6%で最も多く、次いで「週に何度かある」(29.1%)、「年に何度かある」(13.3%)となっています。

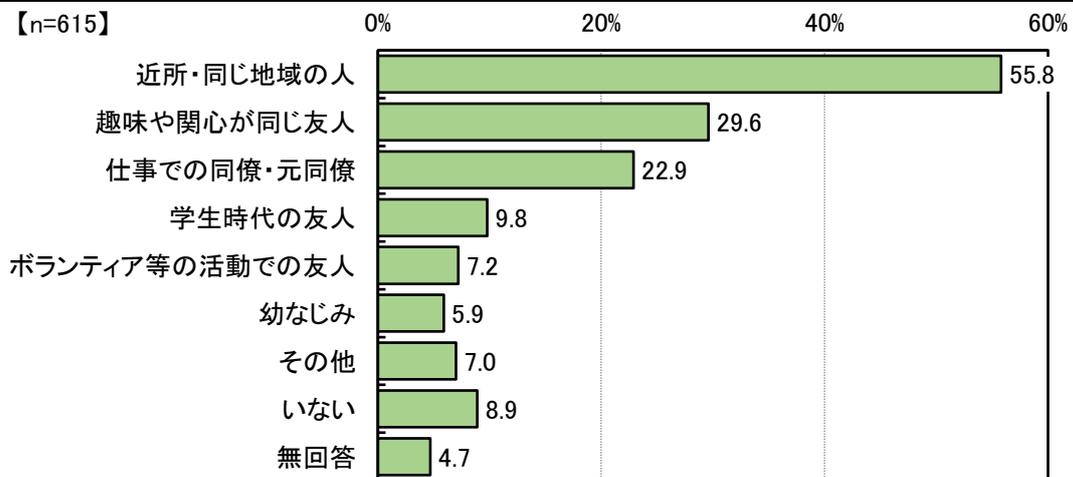
一方、16.9%は「ほとんどない」と回答しています。

(7)この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。(同じ人には何度会っても1人と数えることとします。)[1つに○]



この1か月間、何人の友人・知人と会ったか尋ねたところ、「3~5人」が26.0%で最も多く、次いで「1~2人」(23.6%)、「10人以上」(21.6%)となっています。
一方、11.1%は「0人(いない)」と回答しています。

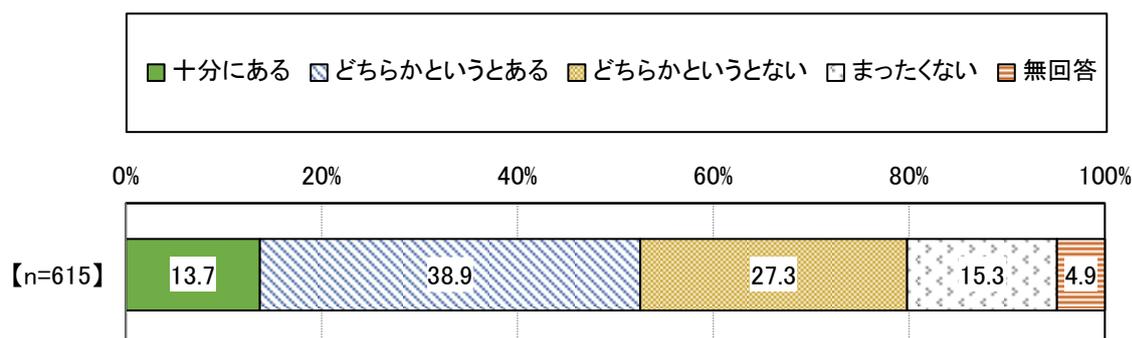
(8)よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。[あてはまるものすべてに○]



よく会う友人・知人はどのような関係の人が尋ねたところ、「近所・同じ地域の人」が55.8%で最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」(29.6%)、「仕事での同僚・元同僚」(22.9%)となっています。

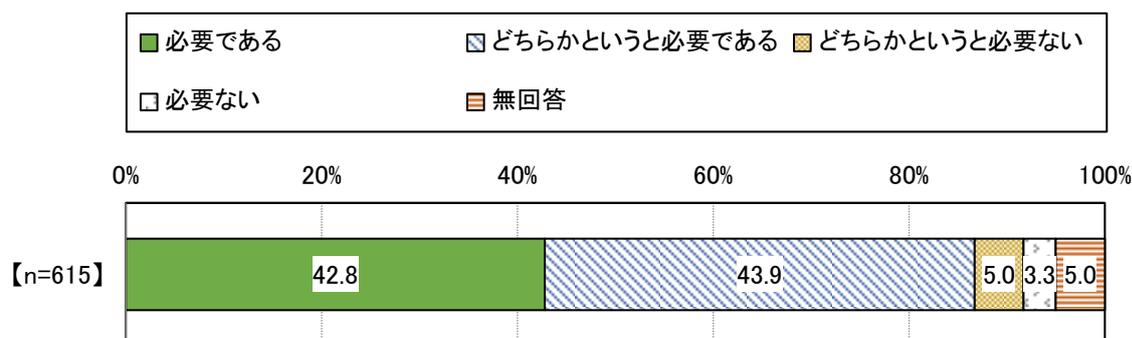
なお、8.9%は「いない」と回答しています。

(9)住民同士の助け合い(見守り、声かけ、ゴミ出し等の簡単な支援等)は、現在身近にありますか。
[1つに○]



住民同士の助け合いが現在身近にあるか尋ねたところ、「どちらかというところ」が38.9%で最も多く、次いで「どちらかというところない」(27.3%)、「まったくない」(15.3%)、となっています。大別して、『住民の助け合いが身近にあると回答した人の割合』(「十分にある」及び「どちらかというところ」の合計)は約5割を占めています。

(10)住民同士の助け合いは、お住まいの地域に今後必要だと思いますか。[1つに○]

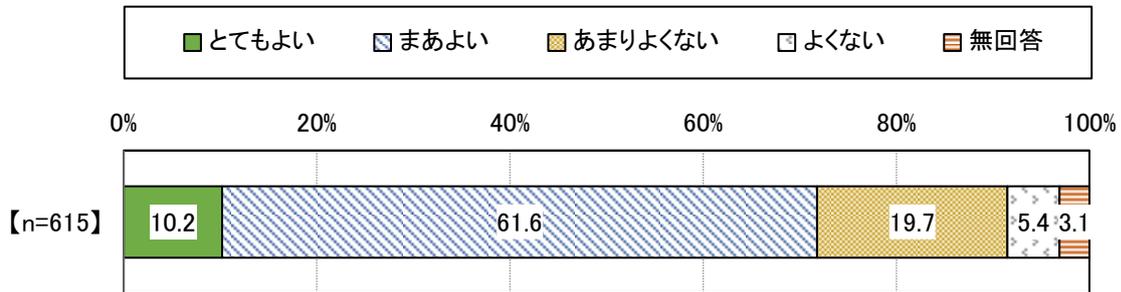


住民同士の助け合いがお住いの地域に今後必要だと思うか尋ねたところ、「どちらかというところ必要である」が43.9%で最も多く、次いで「必要である」(42.8%)、「どちらかというところ必要ない」(5.0%)となっています。

大別して、『住民同士の助け合いが今後必要だと思う人の割合』(「必要である」及び「どちらかというところ必要である」の合計)は8割を占めています。

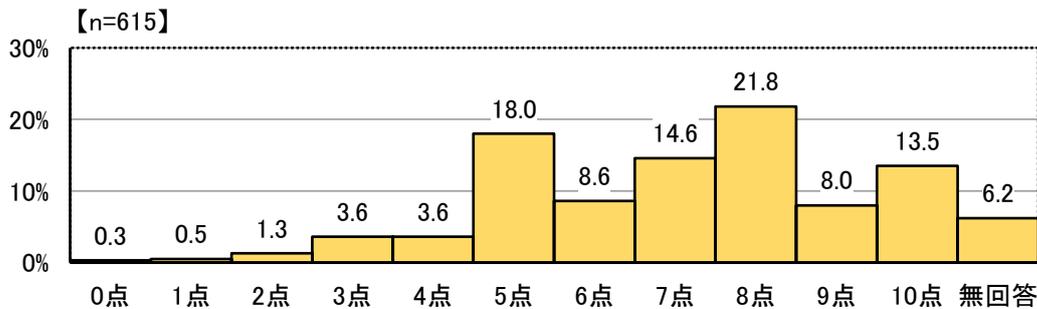
問7 健康について

(1)現在のあなたの健康状態はいかがですか。[1つに○]



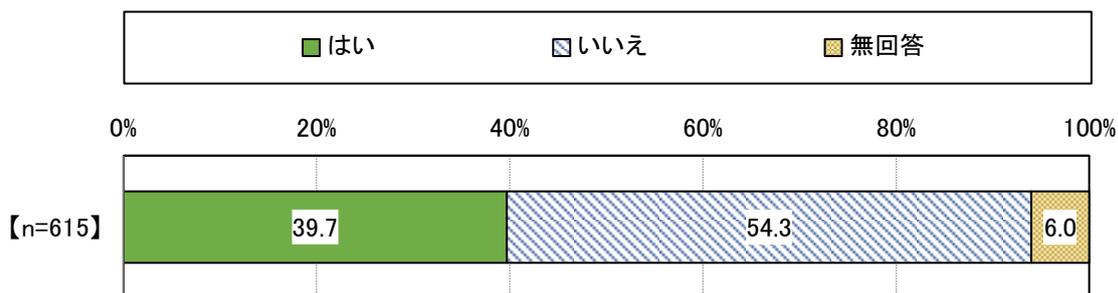
現在の健康状態を尋ねたところ、「まあよい」が61.6%で最も多く、次いで「あまりよくない」(19.7%)、「とてもよい」(10.2%)となっています。大別して、『健康状態がよいと思う人の割合』(「とてもよい」及び「まあよい」の合計)は7割を占めています。

(2)あなたは、現在どの程度幸せですか。[1つに○]



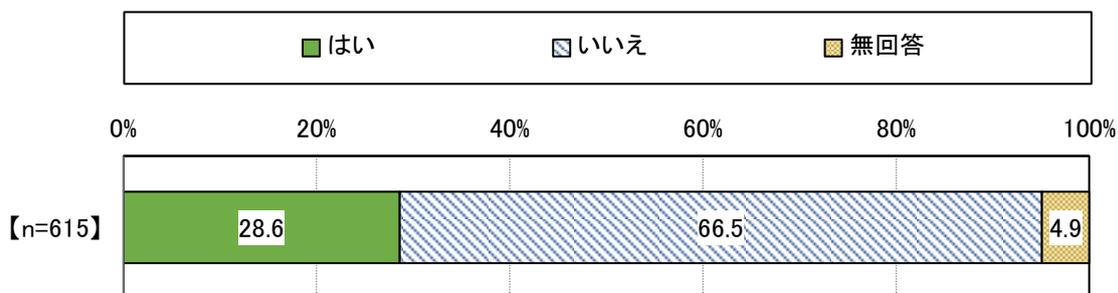
現在の幸せを点数で尋ねたところ、「8点」が21.8%で最も多く、次いで「5点」(18.0%)、「7点」(14.6%)となっています。5点以上が8割を占めています。

(3)この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。
[1つに○]



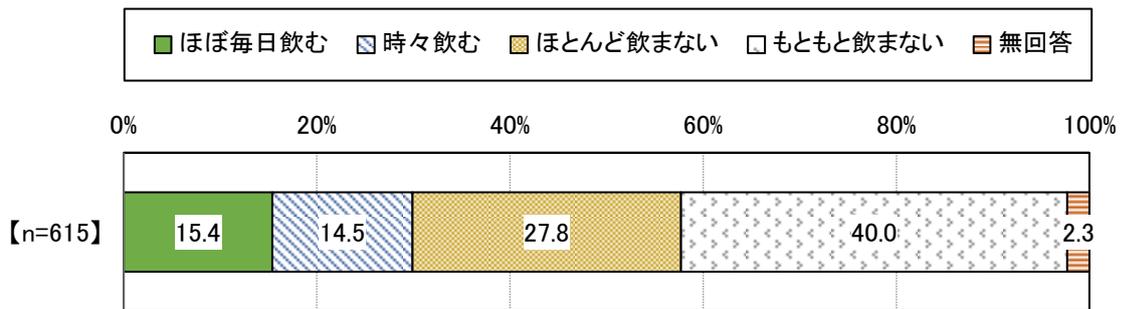
この一か月間、気分が沈んだり、憂鬱な気持ちになったりすることがあったか尋ねたところ、「はい」の割合は39.7%となっています。

(4)この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。[1つに○]



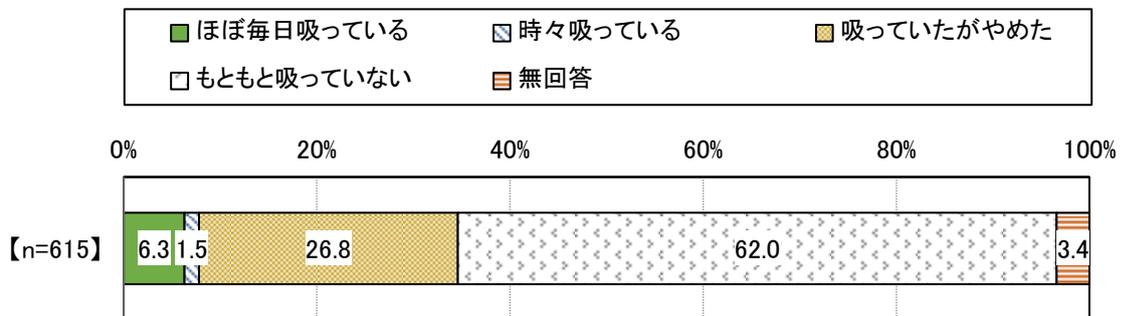
この一か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったか尋ねたところ、「はい」の割合は28.6%となっています。

(5) お酒は飲みますか。[1つに○]



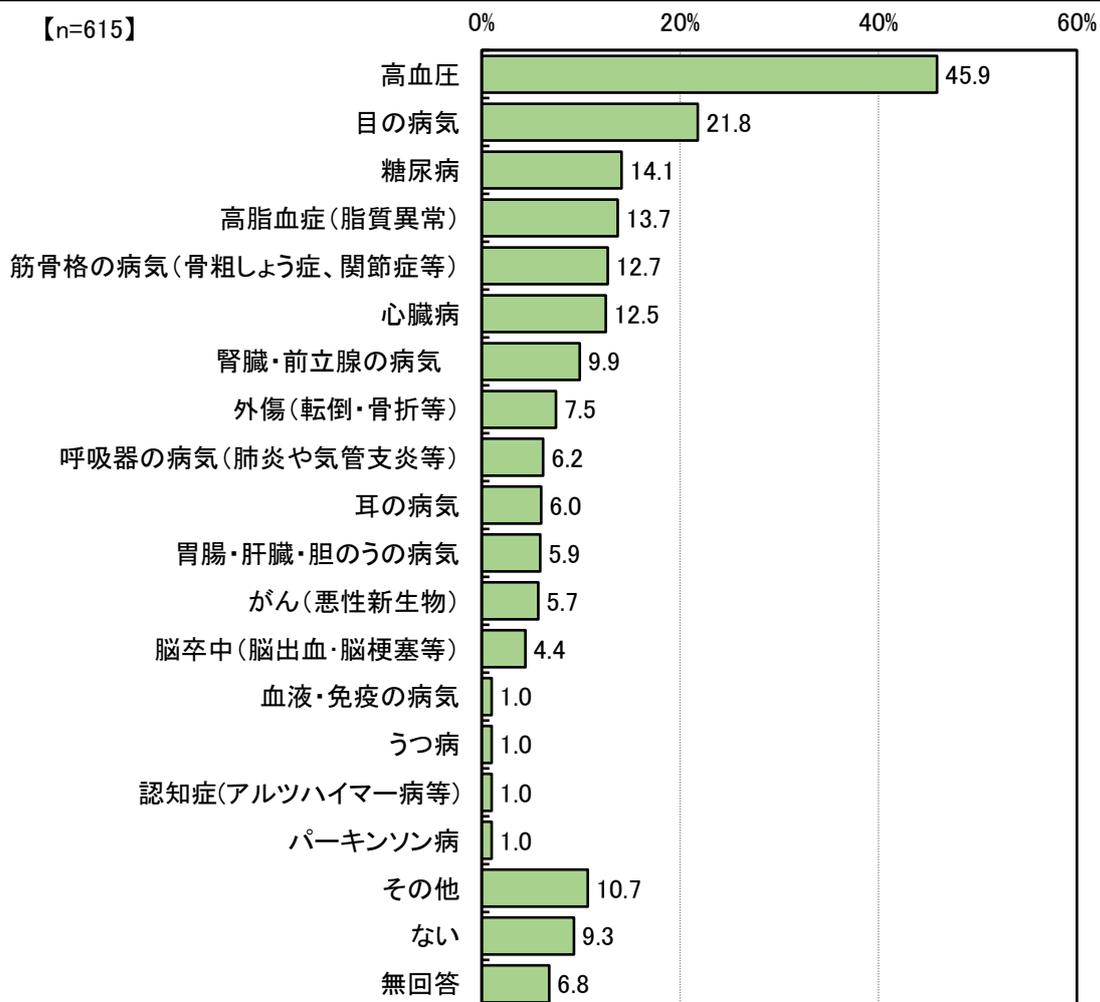
飲酒については、「もともと飲まない」が40.0%で最も多く、次いで「ほとんど飲まない」(27.8%)、「ほぼ毎日飲む」(15.4%)となっています。『飲酒する人の割合』(「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」の合計)は29.9%となっています。

(6) タバコは吸っていますか。[1つに○]



喫煙については、「もともと吸っていない」が62.0%で最も多く、次いで「吸っていたがやめた」(26.8%)、「ほぼ毎日吸っている」(6.3%)となっています。『喫煙者の割合』(「ほぼ毎日吸っている」及び「時々吸っている」の合計)は7.8%となっています。

(7)現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。[あてはまるものすべてに○]

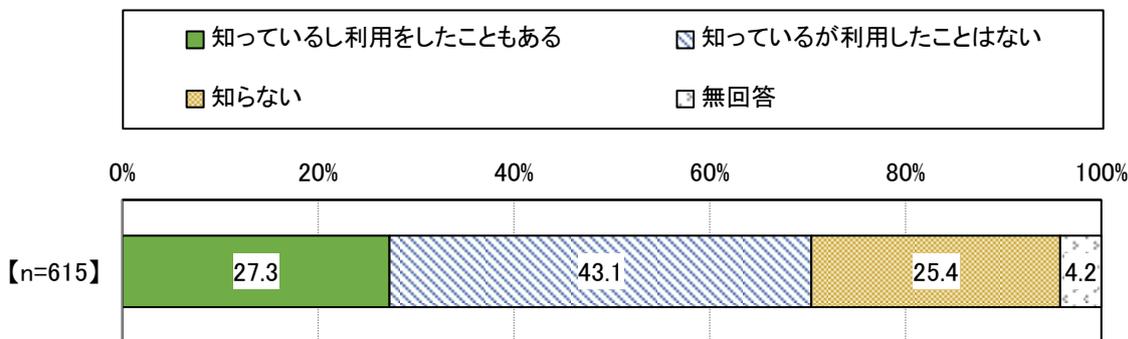


現在治療中もしくは後遺症のある病気は、「高血圧」が45.9%で最も多く、次いで「目の病気」(21.8%)、「糖尿病」(14.1%)となっています。

なお、9.3%は「ない」と回答しています。

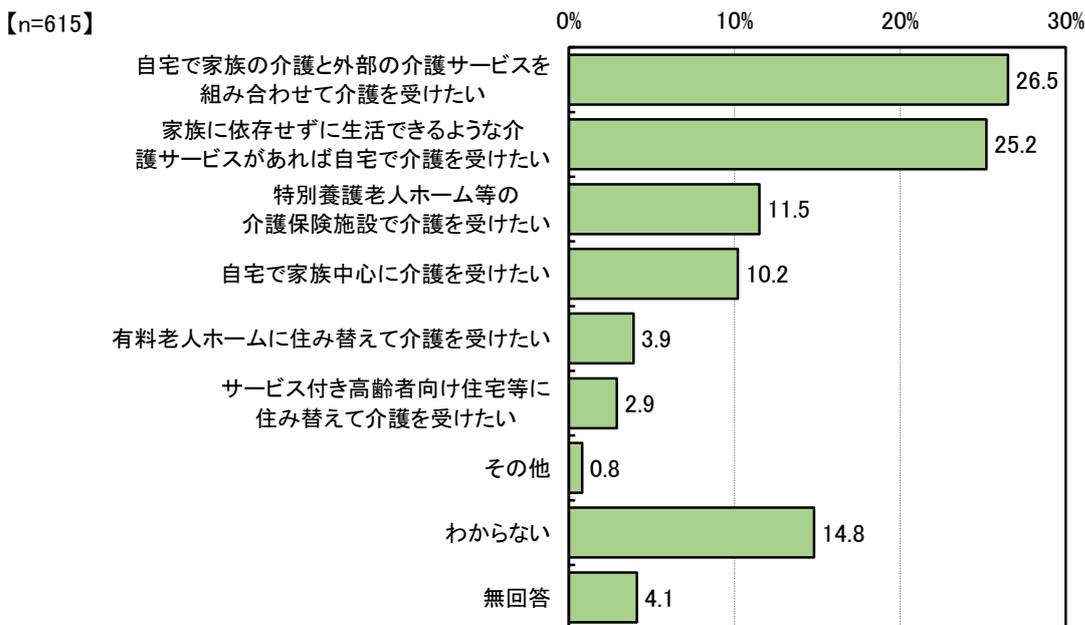
問8 日常の生活全般について

(1)地域包括支援センターを知っていますか。[1つに○]
 ※地域包括支援センターとは、高齢者が住み慣れた地域で、保健、医療、介護等の必要なサービスを総合的、継続的に受けられるように設けられている、介護予防や高齢者の生活全般に関する相談窓口です。



地域包括支援センターを知っているか尋ねたところ、「知っているが利用したことはない」が43.1%で最も多く、次いで「知っているし利用をしたこともある」(27.3%)、「知らない」(25.4%)となっています。

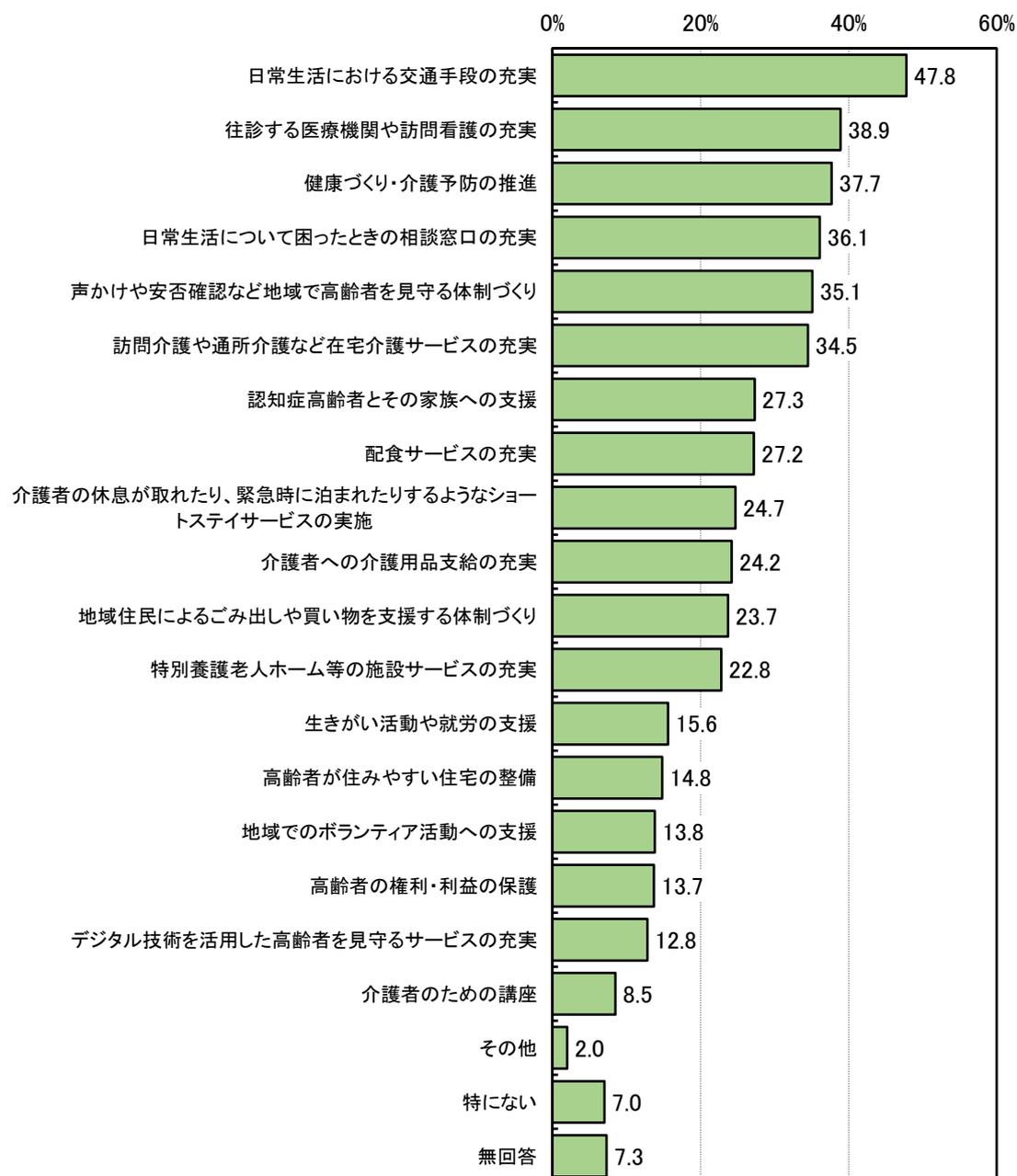
(2)あなたは、将来介護が必要な状態になった時、どのような介護サービスを望みますか。
 [1つに○]



今後どのような形で介護を受けたいか尋ねたところ、「自宅で家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい」が26.5%で最も多く、次いで「家族に依存せずに生活できるような介護サービスがあれば自宅で介護を受けたい」(25.2%)、「特別養護老人ホーム等の介護保険施設で介護を受けたい」(11.5%)となっています。

(3)高齢者の住みよいまちを作るために、今後、市においてはどのようなことに、力を入れていくべきだと思いますか。[あてはまるものすべてに○]

【n=615】



住み慣れた地域で暮らし続けられるようにするために、特に力を入れていくべきことでは、「日常生活における交通手段の充実」が 47.8%で最も多く、次いで「往診する医療機関や訪問看護の充実」(38.9%)、「健康づくり・介護予防の推進」(37.7%)となっています。

○地域別住み慣れた地域で暮らし続けられるようにするために、特に力を入れていくべきこと

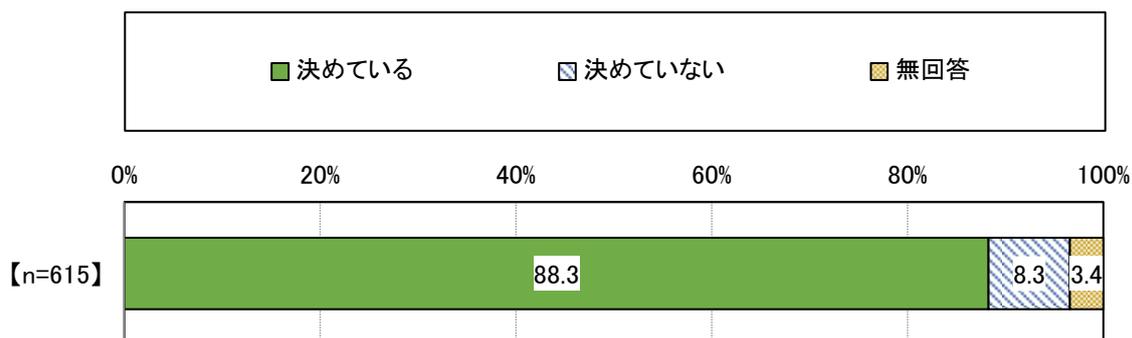
地域別で住み慣れた地域で暮らし続けられるようにするために、特に力を入れていくべきことをみると、いずれの地区においても「日常生活における交通手段の充実」が最も高く、それ以外では、笠間地区で「健康づくり・介護予防の推進」(36.7%)、「往診する医療機関や訪問看護の充実」、「声かけや安否確認など地域で高齢者を見守る体制づくり」(34.9%)となっています。

友部地区では「往診する医療機関や訪問看護の充実」(41.6%)、「健康づくり・介護予防の推進」(39.1%)となっています。

岩間地区では「往診する医療機関や訪問看護の充実」(37.7%)、「健康づくり・介護予防の推進」(35.8%)となっています。

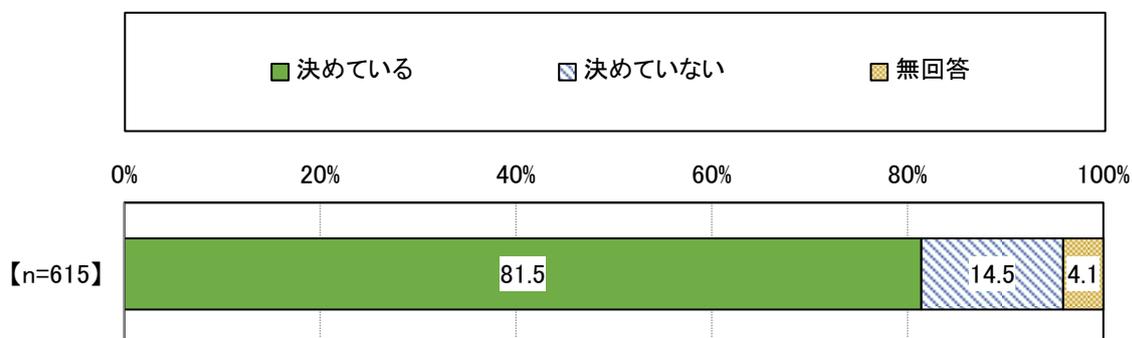
	全体 【n=615】	笠間地区 【n=192】	友部地区 【n=315】	岩間地区 【n=106】
日常生活における交通手段の充実	47.8	42.2	53.0	42.5
往診する医療機関や訪問看護の充実	38.9	34.9	41.6	37.7
健康づくり・介護予防の推進	37.7	36.5	39.1	35.8
日常生活について困ったときの相談窓口の充実	36.1	33.3	38.2	34.9
声かけや安否確認など地域で高齢者を見守る体制づくり	35.1	34.9	37.2	29.2
訪問介護や通所介護など在宅介護サービスの充実	34.5	31.3	37.5	31.1
認知症高齢者とその家族への支援	27.3	25.5	28.4	27.4
配食サービスの充実	27.2	28.1	27.4	24.5
介護者の休息が取れたり、緊急時に泊まられたりするようなショートステイサービスの実施	24.7	22.4	26.8	22.6
介護者への介護用品支給の充実	24.2	26.0	24.6	19.8
地域住民によるごみ出しや買い物支援する体制づくり	23.7	27.6	21.5	23.6
特別養護老人ホーム等の施設サービスの充実	22.8	19.8	24.6	22.6
生きがい活動や就労の支援	15.6	16.7	15.1	15.1
高齢者が住みやすい住宅の整備	14.8	15.1	15.1	13.2
地域でのボランティア活動への支援	13.8	11.5	14.8	15.1
高齢者の権利・利益の保護	13.7	13.5	13.9	13.2
デジタル技術を活用した高齢者を見守るサービスの充実	12.8	12.0	13.6	12.3
介護者のための講座	8.5	7.8	10.4	3.8
その他	2.0	1.0	2.2	2.8
特になし	7.0	6.3	7.6	6.6
無回答	7.3	10.4	5.4	7.5

(4)あなたは、かかりつけ医(病院・診療所)を決めていますか。[1つに○]



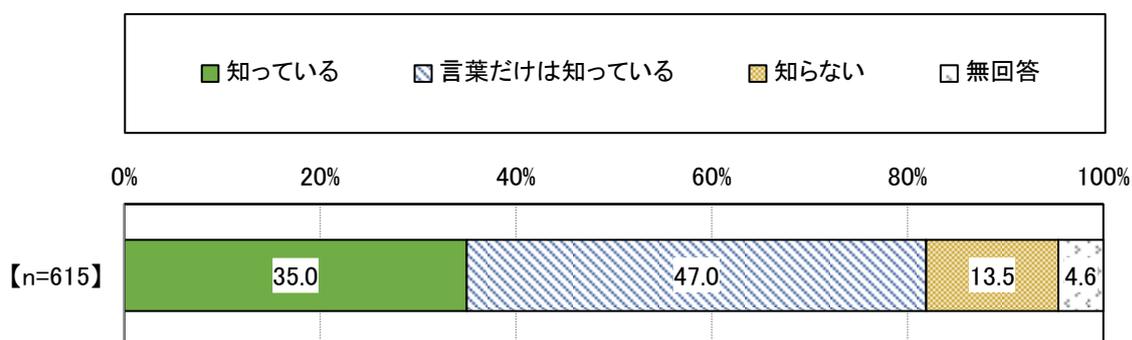
かかりつけ医(病院・診療所)を決めているか尋ねたところ、「決めている」が88.3%、「決めていない」が8.3%となっています。

(5)あなたは、かかりつけの歯科医を決めていますか。[1つに○]



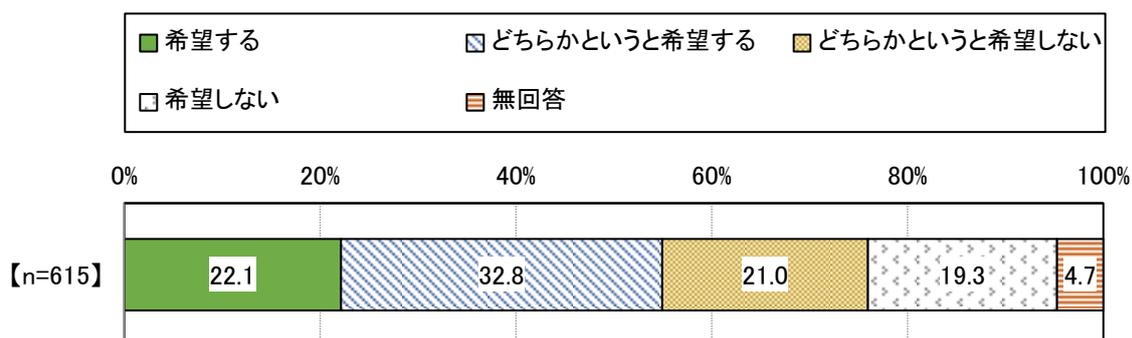
かかりつけの歯科医を決めているか尋ねたところ、「決めている」が81.5%、「決めていない」が14.5%となっています。

(6) 医師や看護師等の訪問を受けながら居住の場(自宅・有料老人ホーム等)で治療・療養する医療のあり方を「在宅医療」といいますが、あなたはこの「在宅医療」についてご存知ですか。
[1つに○]



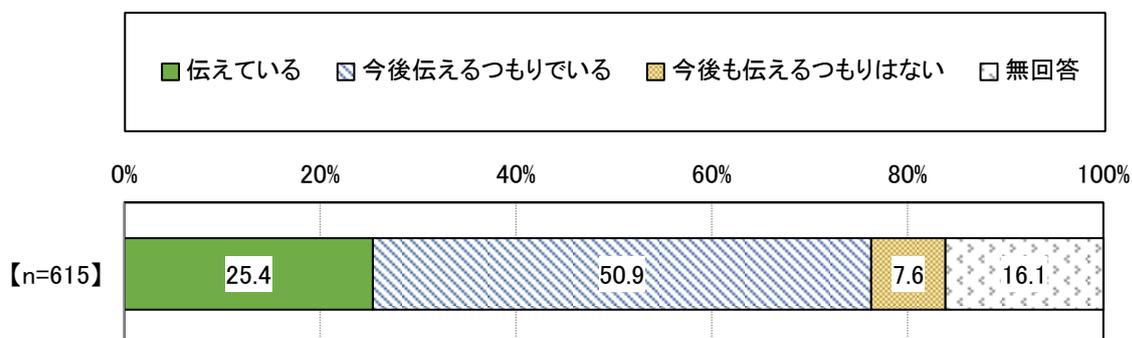
在宅医療を知っているか尋ねたところ、「知っている」が35.0%、「言葉だけは知っている」が47.0%、「知らない」が13.5%となっています。

(7)仮にあなたが、病気やけがで長期の治療・療養が必要になった場合、入院せず在宅での医療を希望しますか。[1つに○]



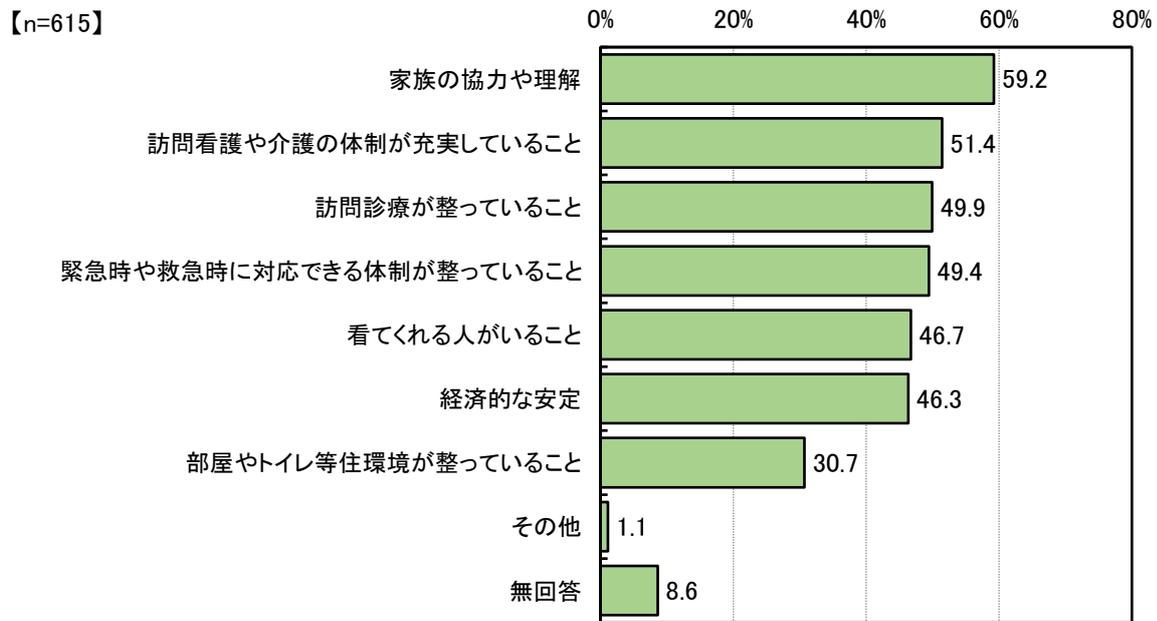
あなたが、病気やケガで長期の治療・療養が必要になった場合、在宅医療を希望するか尋ねたところ、「どちらかという并希望する」が 32.8%で最も多く、次いで「希望する」(22.1%)、「どちらかという并希望しない」(21.0%)となっています。

(7)－① (7)で答えた自分の意向を、家族や周囲の人に伝えていますか。[1つに○]



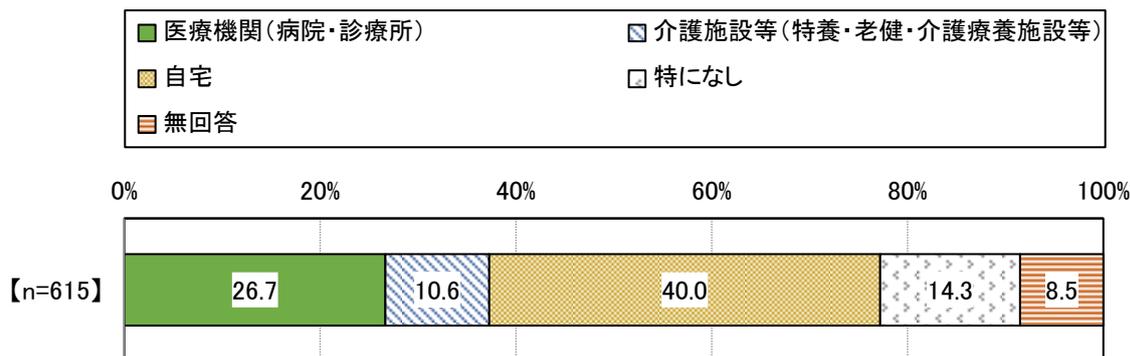
自分の意向を家族や周囲の人に伝えているかについては、「今後伝えるつもりでいる」が 50.9%で最も多く、次いで「伝えている」(25.4%)、「今後も伝えるつもりはない」(7.6%)、となっています。

(7)–② 地域でどのような体制があれば在宅医療が可能になると思いますか。
 [あてはまるものすべてに○]



地域でどのような体制が整えば在宅医療が可能になると思うか尋ねたところ、「家族の協力や理解」が 59.2%で最も多く、次いで「訪問看護や介護の体制が充実していること」(51.4%)、「訪問診療が整っていること」(49.9%)となっています。

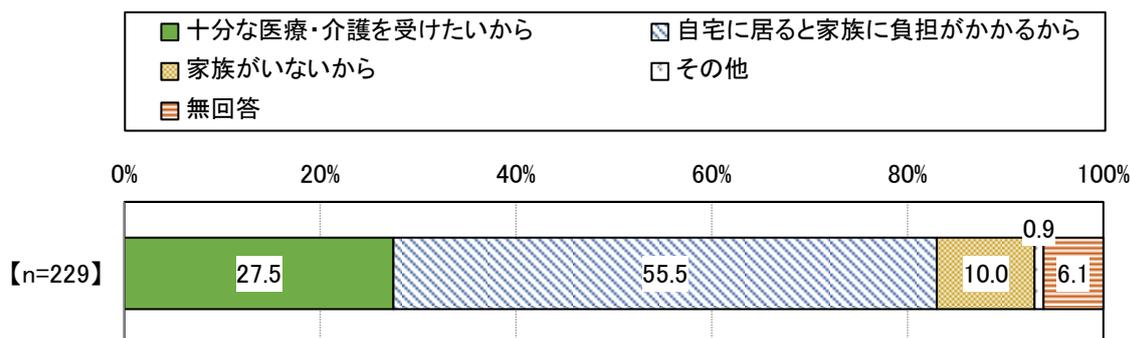
(8)あなた自身が最期を迎える場所として、希望する所をお選びください。[1つに○]



将来、最期を迎える場所として、医療機関(病院や診療所)と、居住の場のどちらを希望するか尋ねたところ、「自宅」が40.0%で最も多く、次いで「医療機関(病院・診療所)」(26.7%)、「介護施設等(特養・老健・介護療養施設等)」(10.6%)となっています。

【(8)で「医療機関(病院・診療所)」、「2. 介護施設等(特養・老健・介護療養施設等)」と答えた方のみ】

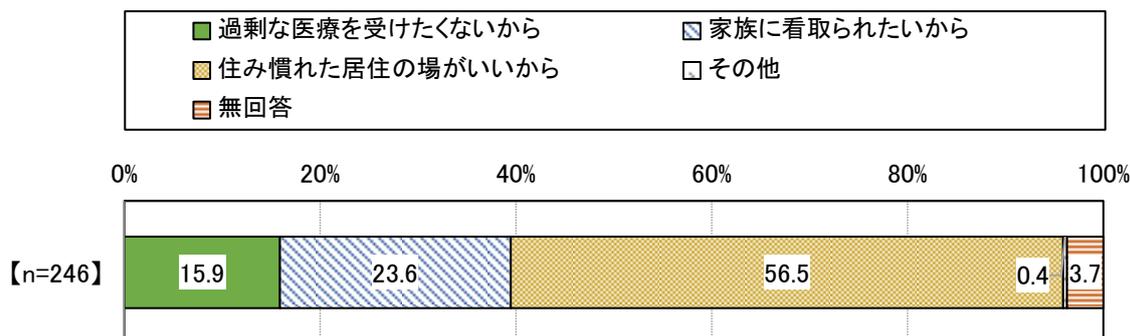
(8)－① それはなぜですか。今のお考えに一番近いものをお選びください。[1つに○]



将来、最期を迎える場所として、医療機関(病院・診療所)、介護施設等(特養・老健・介護療養施設等)と答えた理由を尋ねたところ、「自宅に居ると家族に負担がかかるから」が55.5%で最も多く、次いで「十分な医療・介護を受けたいから」(27.5%)、「家族がないから」(10.0%)となっています。

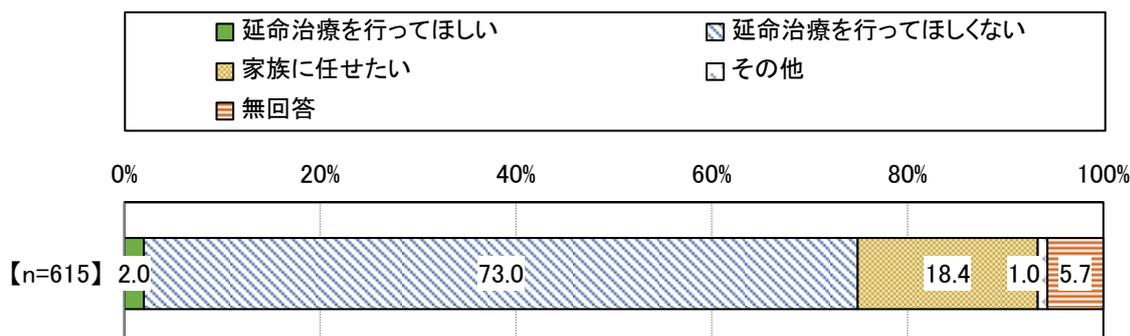
【(8)で「3. 自宅」と答えた方のみ】

(8)－② それはなぜですか。今のお考えに一番近いものをお選びください。[1つに○]



将来、最期を迎える場所として、自宅と答えた理由を尋ねたところ、「住み慣れた居住の場がいいから」が56.5%で最も多く、次いで「家族に看取られたいから」(23.6%)、「過剰な医療を受けたくないから」(15.9%)となっています。

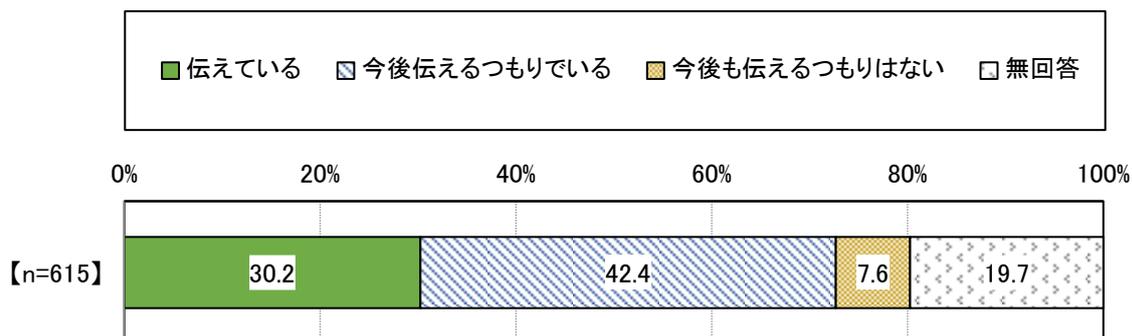
(9)延命治療(回復の見込みがなく、死期が迫っている患者への生命維持のための治療行為)について、あなた自身の現時点でのお考えを教えてください。[1つに○]



延命治療について現時点でのお考えを尋ねたところ、「延命治療を行ってほしくない」が73.0%で最も多く、次いで「家族に任せたい」(18.4%)、「延命治療を行ってほしい」(2.0%)となっています。

(9)－①

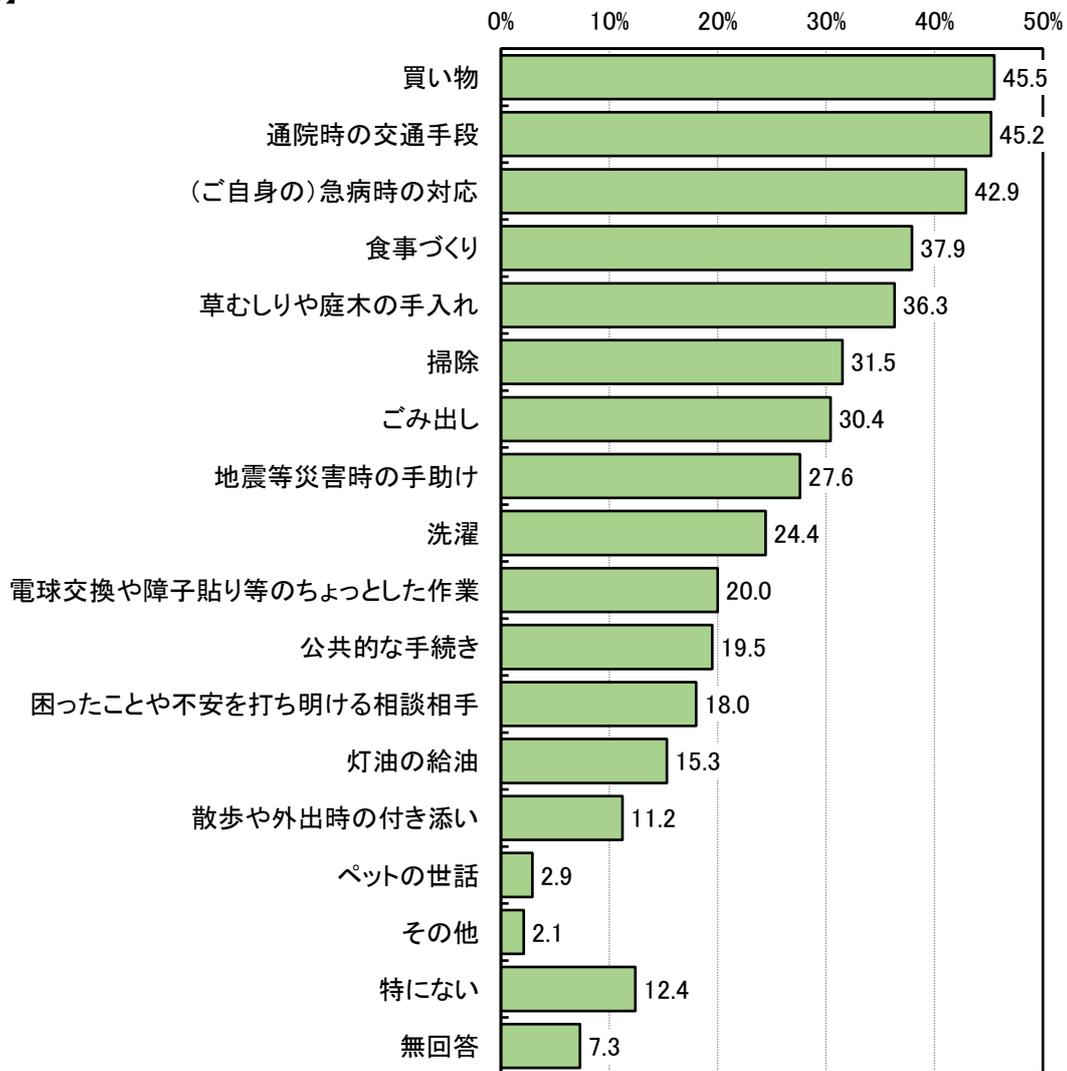
(9)で答えた延命治療に対する自分の意向を、家族や周囲の人に伝えていますか。[1つに○]



延命治療に対する自分の意向を家族や周囲の人に伝えているかについては、「今後伝えるつもりである」が 42.4%で最も多く、次いで「伝えている」(30.2%)、「今後も伝えるつもりはない」(7.6%)となっています。

(10)あなたは、どのような支援があれば、これからも在宅で安心して暮らし続けることができると思いますか。[あてはまるものすべてに○]

【n=615】



どのような支援があれば在宅で安心して暮らし続けることができると思うか尋ねたところ、「買い物」が 45.5%で最も多く、次いで「通院時の交通手段」(45.2%)、「(ご自身の)急病時の対応」(42.9%)となっています。

○地域別どのような支援があれば在宅で安心して暮らし続けることができると思うこと

地域別でどのような支援があれば在宅で安心して暮らし続けることができると思うことをみると、笠間地区では「通院時の交通手段」が 42.2%で最も多く、「(ご自身の)急病時の対応」(39.6%)、「買い物」(39.1%)となっています。

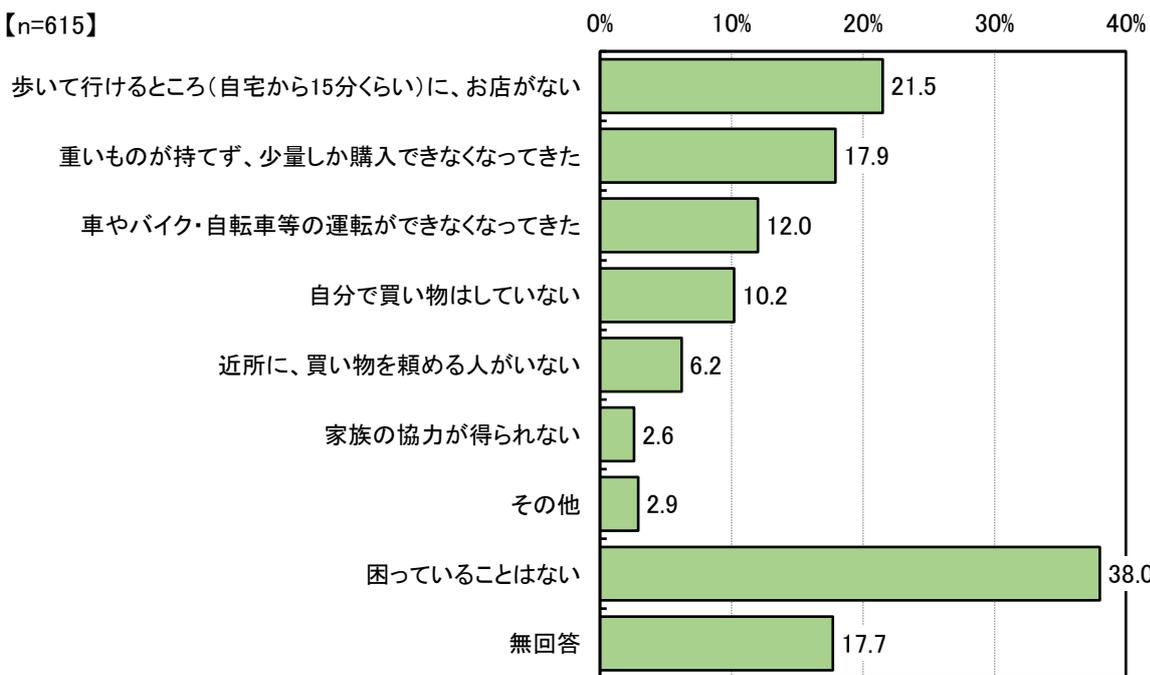
友部地区では「買い物」が 48.6%で最も多く、「(ご自身の)急病時の対応」(46.7%)、「通院時の交通手段」(46.1%)となっています。

岩間地区では「買い物」、「通院時の交通手段」が 48.1%で最も多く、「(ご自身の)急病時の対応」(37.7%)となっています。

	全体 【n=615】	笠間地区 【n=192】	友部地区 【n=315】	岩間地区 【n=106】
買い物	45.5	39.1	48.6	48.1
通院時の交通手段	45.2	42.2	46.1	48.1
(ご自身の)急病時の対応	42.9	39.6	46.7	37.7
食事づくり	37.9	36.5	39.1	36.8
草むしりや庭木の手入れ	36.3	33.3	38.2	35.8
掃除	31.5	29.2	32.2	34.0
ごみ出し	30.4	26.0	32.5	32.1
地震等災害時の手助け	27.6	26.0	30.6	21.7
洗濯	24.4	20.3	27.4	22.6
電球交換や障子貼り等のちょっとした作業	20.0	19.3	20.8	18.9
公共的な手続き	19.5	14.1	23.0	18.9
困ったことや不安を打ち明ける相談相手	18.0	18.2	17.7	18.9
灯油の給油	15.3	14.1	16.4	14.2
散歩や外出時の付き添い	11.2	9.9	13.9	5.7
ペットの世話	2.9	3.6	2.5	2.8
その他	2.1	1.6	2.5	1.9
特になし	12.4	16.7	10.7	9.4
無回答	7.3	6.3	7.6	8.5

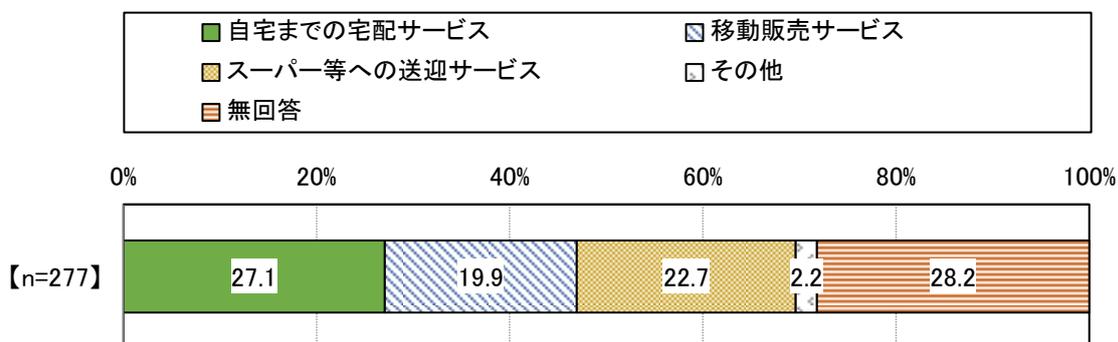
(11) 買い物で困っていることはありますか。[あてはまるものすべてに○]

【n=615】



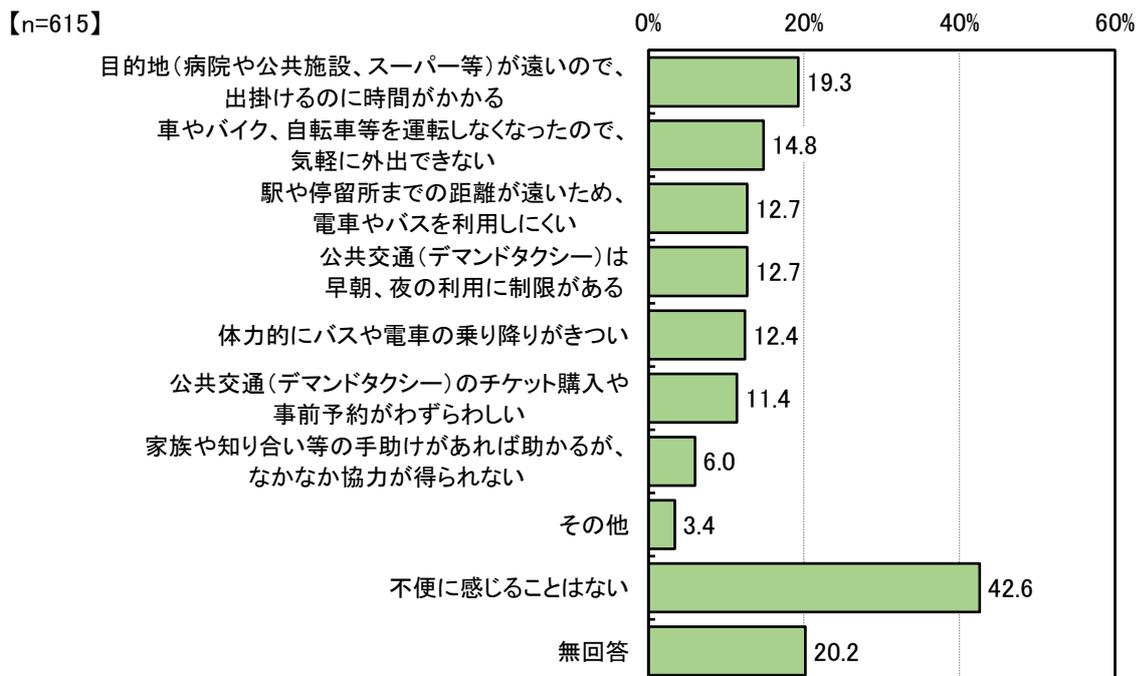
買い物で困っていることでは、「歩いて行けるところ(自宅から15分くらい)に、お店がない」が 21.5%で最も多く、次いで「重いものが持てず、少量しか購入できなくなってきた」(17.9%)、「車やバイク・自転車等の運転ができなくなってきた」(12.0%)となっています。なお、38.0%は「困っていることはない」と回答しています。

【(11)で困っていると回答した方のみ(「8. 困っていることはない」以外の方)】
 (11)－① 食材・日用品等の買い物について、あればよいと思うものをお選びください。
 [1つに○]



食材・日用品等の買い物について、あれば良いと思うものでは、「自宅までの宅配サービス」が 27.1%で最も多く、次いで「スーパー等への送迎サービス」(22.7%)、「移動販売サービス」(19.9%)となっています。

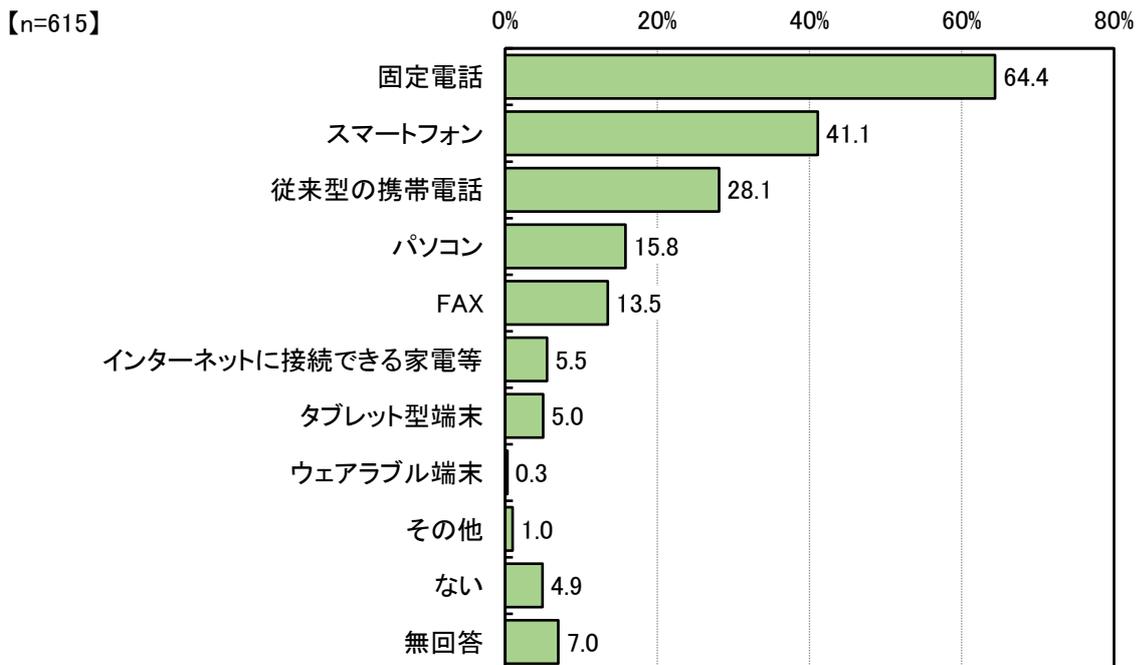
(12)移動手段で、不便だと感じていることはありますか。[あてはまるものすべてに○]



移動手段で不便だと感じていることでは、「目的地(病院や公共施設、スーパー等)が遠いので、出掛けるのに時間がかかる」が 19.3%で最も多く、次いで「車やバイク、自転車等を運転しなくなったので、気軽に外出できない」(14.8%)、「駅や停留所までの距離が遠いため、電車やバスを利用しにくい」、「公共交通(デマンドタクシー)は早朝、夜の利用に制限がある」(12.7%)となっています。

なお、42.6%は「不便に感じることはない」と回答しています。

(13)あなたは、どのような情報通信機器をお持ちですか。[あてはまるものすべてに○]



どのような情報通信機器を持っているか尋ねたところ、「固定電話」が 64.4%で最も多く、次いで「スマートフォン」(41.1%)、「従来型の携帯電話」(28.1%)、「パソコン」(15.8%)、「FAX」(13.5%)となっています。

○年齢別情報通信機器の所有状況

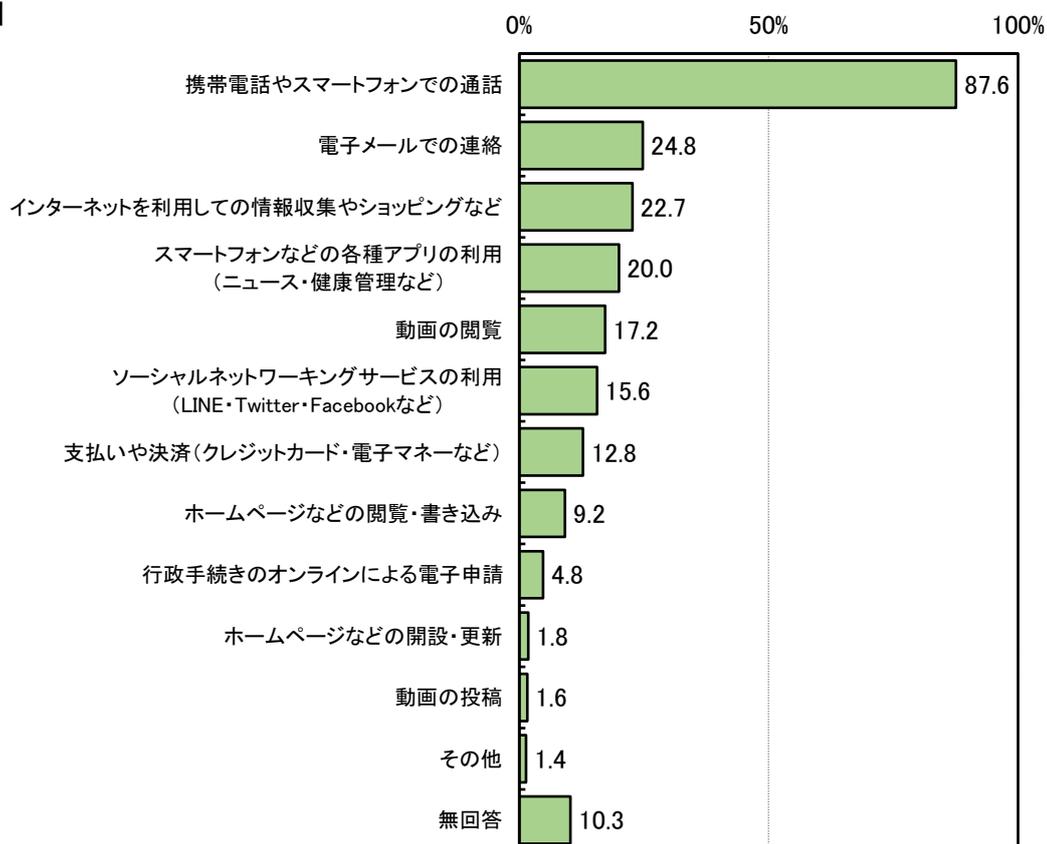
年齢別で情報通信機器の所有状況を見ると、いずれの年代でも「固定電話」が 6 割以上となっています。また、「スマートフォン」は 65～74 歳で6割以上、75～84 歳で3～4割が所有しています。

	全体 【n=615】	65～69歳 【n=80】	70～74歳 【n=141】	75～79歳 【n=110】	80～84歳 【n=126】	85歳以上 【n=158】
固定電話	64.4	68.8	62.4	70.0	63.5	60.8
スマートフォン	41.1	78.8	62.4	41.8	34.1	8.2
従来型の携帯電話	28.1	13.8	17.7	34.5	37.3	32.9
パソコン	15.8	37.5	22.0	11.8	14.3	3.2
FAX	13.5	21.3	17.0	18.2	11.9	4.4
インターネットに接続できる家電等	5.5	13.8	9.2	1.8	4.8	1.3
タブレット型端末	5.0	18.8	6.4	1.8	1.6	1.9
ウェアラブル端末	0.3	0.0	0.0	0.9	0.8	0.0
その他	1.0	0.0	1.4	0.9	2.4	0.0
ない	4.9	3.8	5.0	1.8	4.8	7.6
無回答	7.0	1.3	6.4	5.5	4.8	13.3

【(13)で「4.」～「10.」と答えた方のみ】

(13)－① お持ちの情報通信機器をどのように使用していますか。[あてはまるものすべてに○]

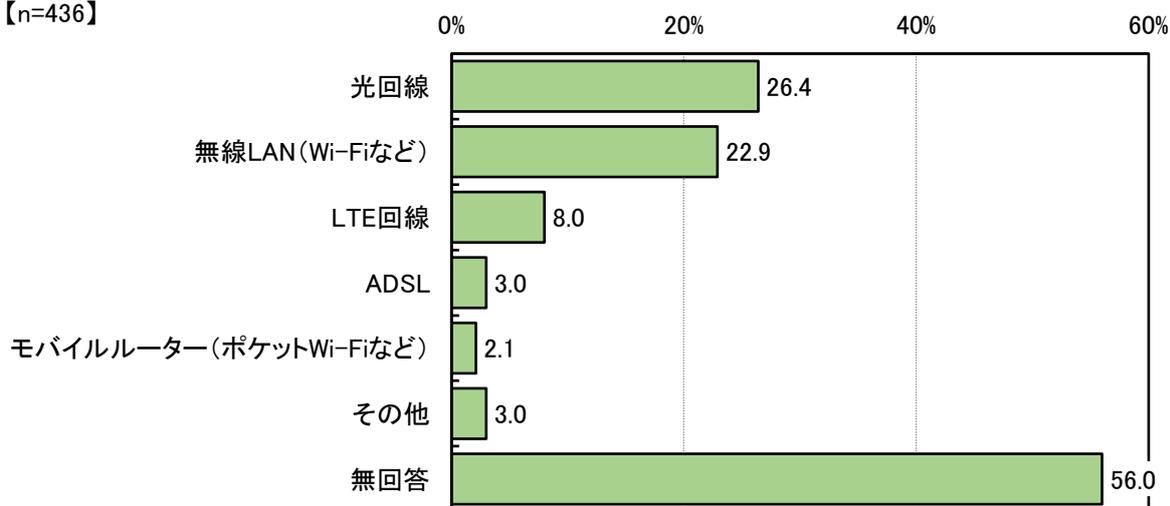
【n=436】



情報通信機器をどのように使用しているか尋ねたところ、「携帯電話やスマートフォンでの通話」が 87.6%で最も多く、次いで「電子メールでの連絡」(24.8%)、「インターネットを利用した情報収集やショッピングなど」(22.7%)となっています。

(13)－② インターネットに接続する方法をお教えてください。[あてはまるものすべてに○]

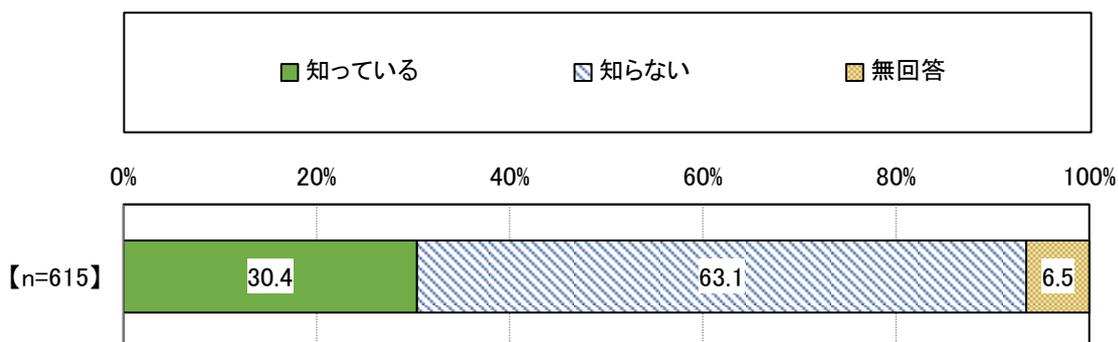
【n=436】



インターネットに接続する方法を尋ねたところ、「光回線」が 26.4%で最も多く、次いで「無線 LAN(Wi-Fi など)」、(22.9%)、「LTE 回線」(8.0%)となっています。

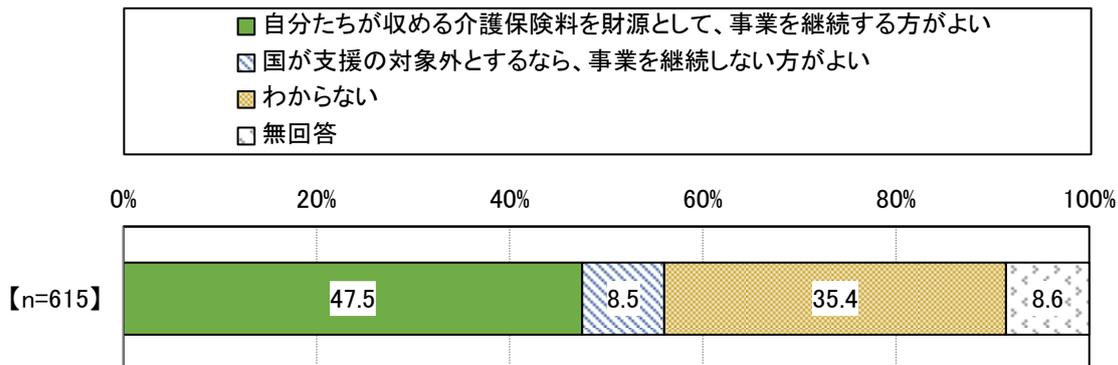
(14)－①介護用品支給事業の内容をご存知ですか。[1つに○]

※介護用品支給事業では、要介護3以上で一定の条件を満たす在宅の高齢者のうち住民税非課税の方を介護している家族等に、紙おむつなどの介護用品を購入するための助成券(月額 4,000 円)を交付しています。



介護用品支給事業の内容を知っているか尋ねたところ、「知っている」が30.4%、「知らない」が63.1%となっています。

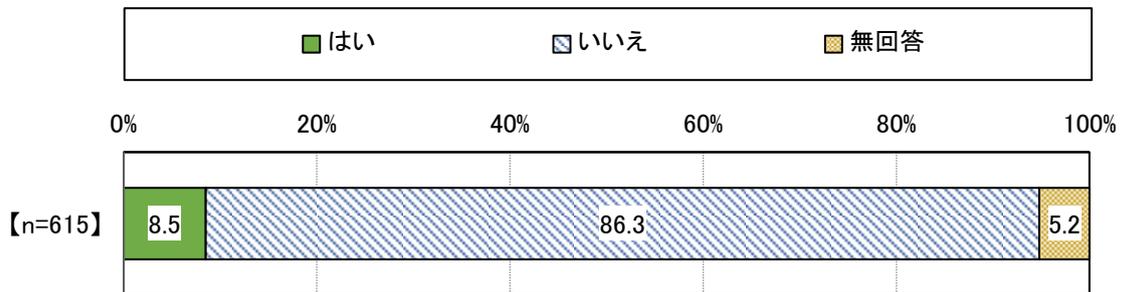
(14)－②介護用品支給事業は、今後、国が認める地域支援事業のメニューから除外される予定です(国、県の補助がなくなる見込みです)。今後、事業の根本的な見直しをする予定ですが、今後の対応として、あなたの考えに一番近いのはどれですか。[1つに○]



介護用品支給事業の見直しについて一番近い考えを尋ねたところ、「自分たちが収める介護保険料を財源として、事業を継続する方がよい」が 47.5%で最も多く、次いで「国が支援の対象外とするなら、事業を継続しない方がよい」(8.5%)となっています。

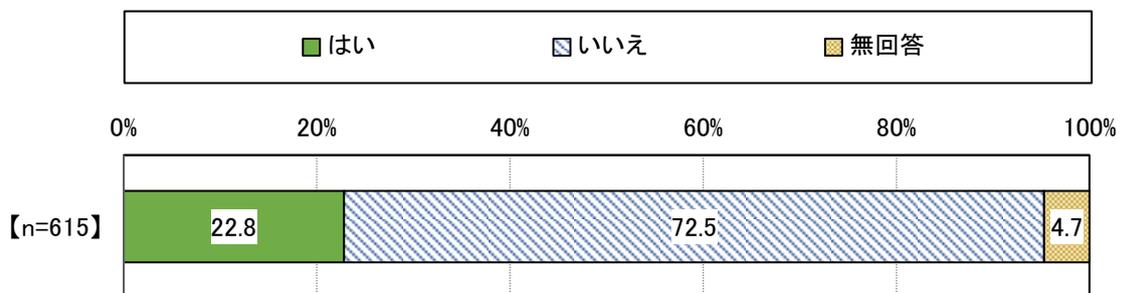
問9 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。[1つに○]



認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかについて尋ねたところ、「はい」が8.5%、「いいえ」が86.3%となっています。

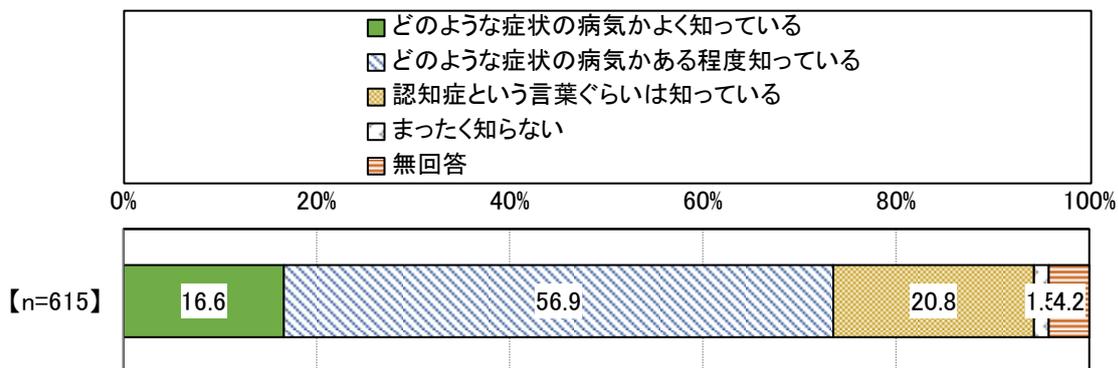
(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。[1つに○]



認知症に関する相談窓口を知っているかについて尋ねたところ、「はい」が22.8%、「いいえ」が72.5%となっています。

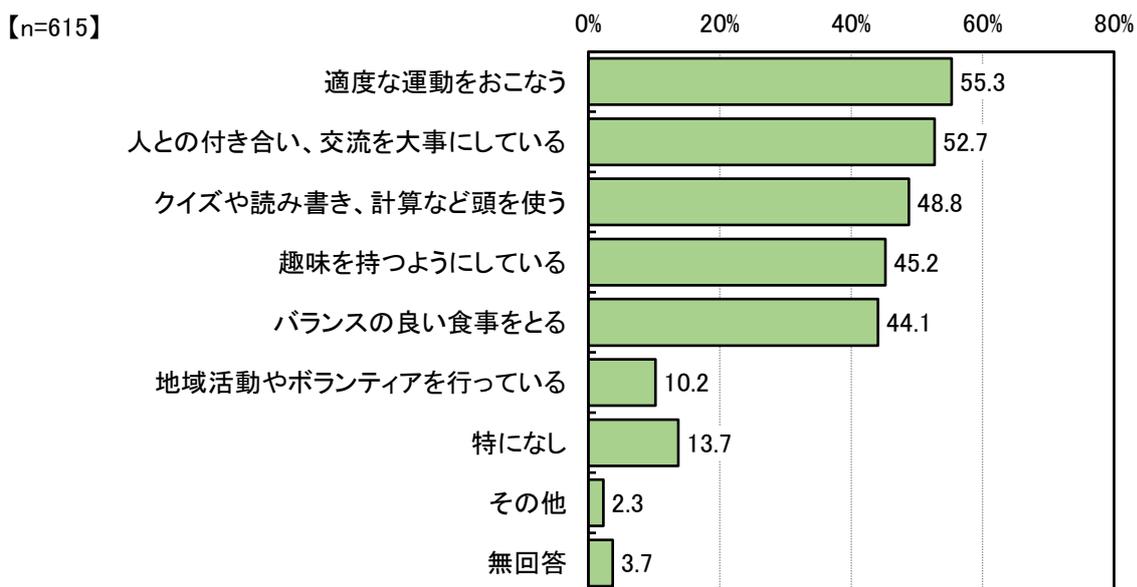
問 10 認知症の予防と施策について

(1)あなたは、認知症という病気について、どの程度ご存知ですか。[1つに○]



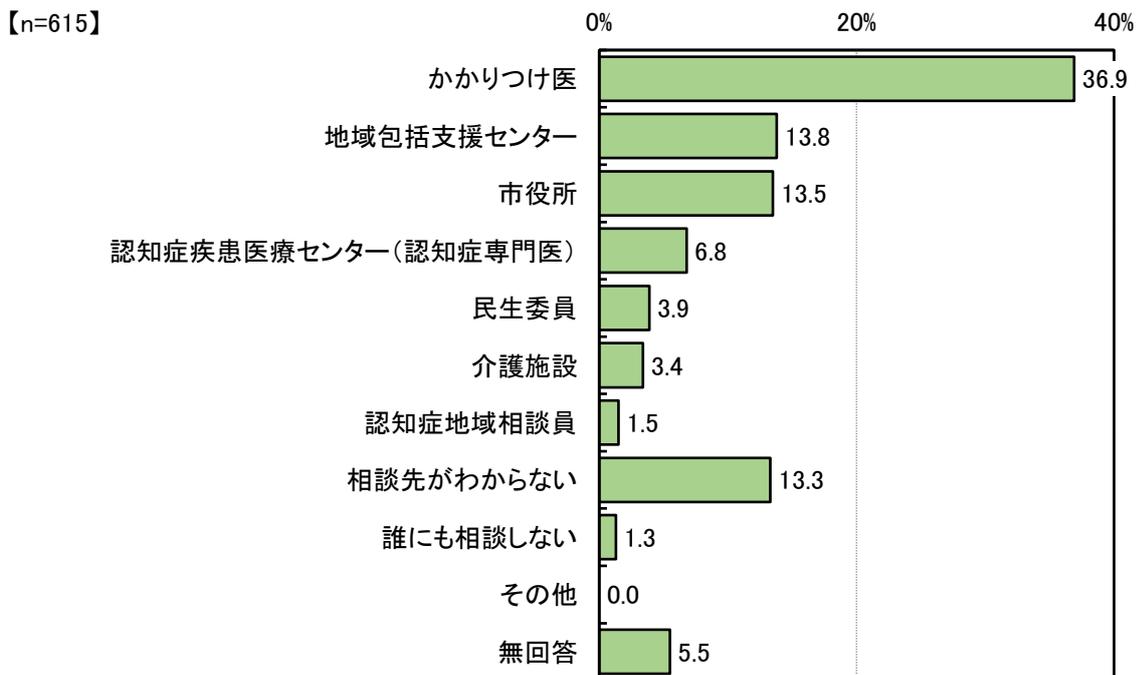
認知症という病気について、どの程度ご存知か尋ねたところ、「どのよう症状の病気がある程度知っている」が56.9%で最も多く、次いで「認知症という言葉ぐらひは知っている」(20.8%)、「どのよう症状の病気がよく知っている」(16.6%)となっています。

(2)認知症を予防するために、ご自身が取り組んでいること(心がけ)はありますか。[あてはまるものすべてに○]



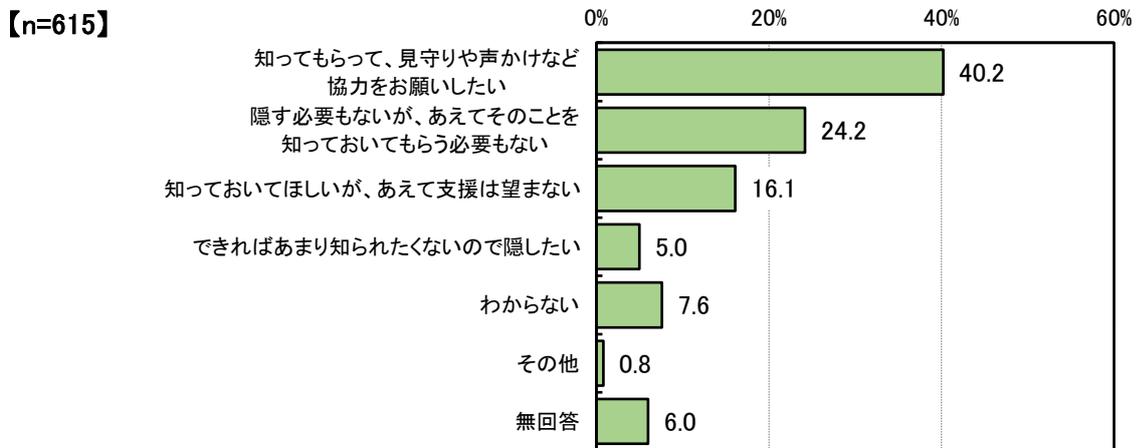
認知症を予防するために、ご自身が取り組んでいることについて尋ねたところ、「適度な運動をおこなう」が55.3%で最も多く、次いで「人との付き合い、交流を大事にしている」(52.7%)、「クイズや読み書き、計算など頭を使う」(48.8%)となっています。

(3)あなたやあなたの家族が認知症の疑いがあるとき、家族、知人以外で最初にどこに相談しますか。[1つに○]



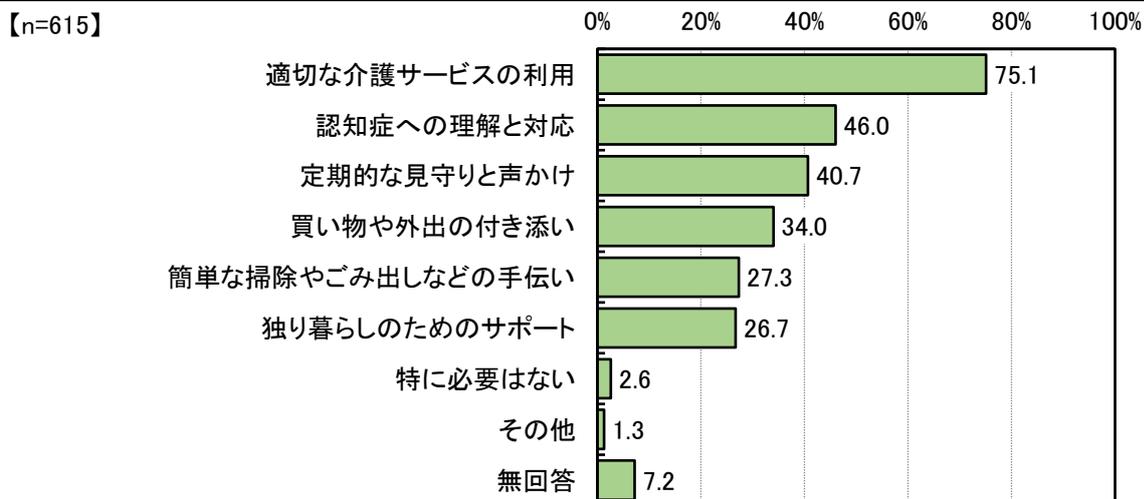
あなたやあなたの家族が認知症の疑いがあるとき、家族、知人以外で最初にどこに相談するか尋ねたところ、「かかりつけ医」が36.9%で最も多く、次いで「地域包括支援センター」(13.8%)、「市役所」(13.5%)となっています。

(4)もし、あなたの家族が認知症になったら、そのことを近所の人に知ってもらおうと思いますか。[1つに○]



あなたの家族が認知症になったら、そのことを近所の人に知ってもらおうと思いますか尋ねたところ、「知ってもらって、見守りや声かけなど協力をお願いしたい」が40.2%で最も多く、次いで「隠す必要もないが、あえてそのことを知っておいてもらう必要もない」(24.2%)、「知っておいてほしいが、あえて支援は望まない」(16.1%)となっています。

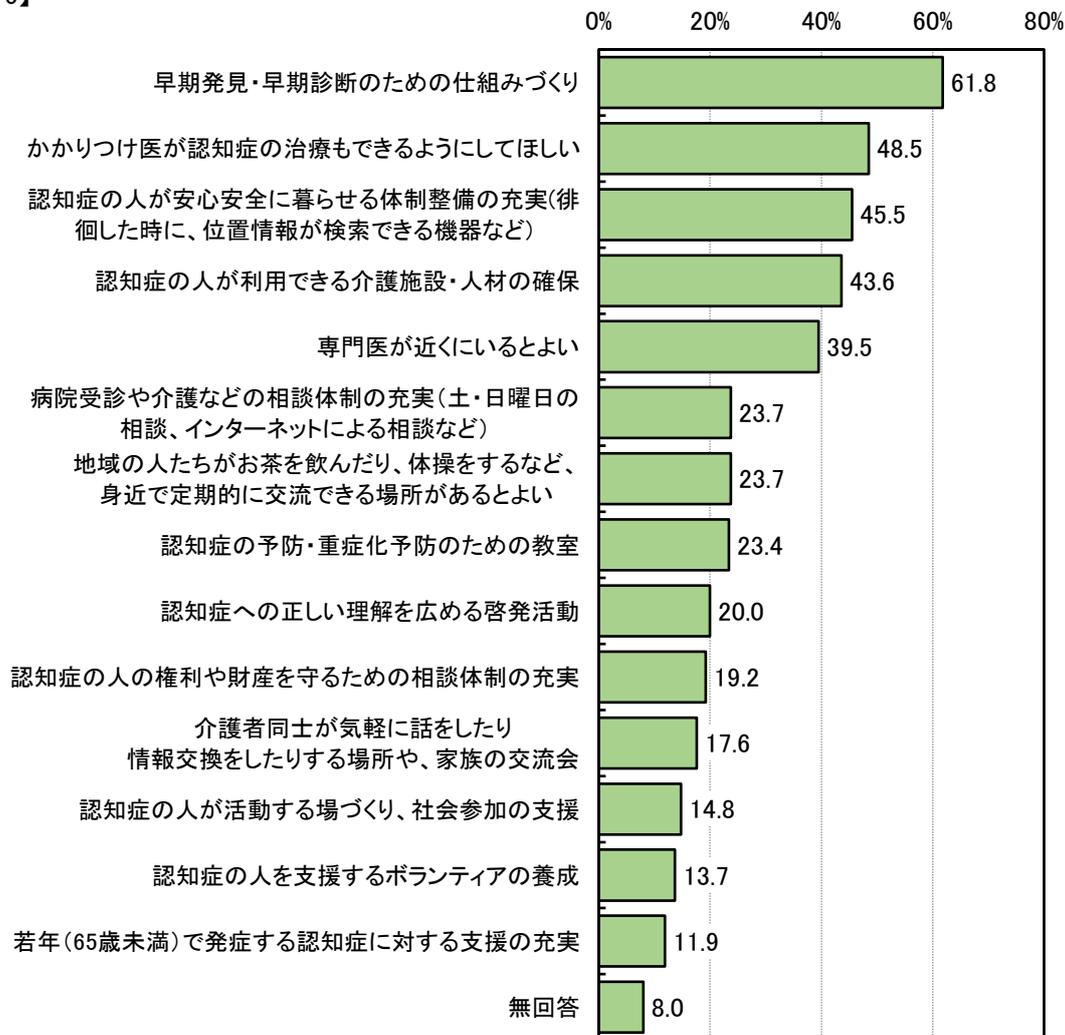
(5)あなたやあなたの家族が認知症になっても自宅で暮らしていくためには、どのようなことが必要になると思いますか。[あてはまるものすべてに○]



あなたやあなたの家族が認知症になっても自宅で暮らしていくためには、どのようなことが必要になるかについて尋ねたところ、「適切な介護サービスの利用」が75.1%で最も多く、次いで「認知症への理解と対応」(46.0%)、「定期的な見守りと声かけ」(40.7%)となっています。

(6) 今後、認知症施策を進めていくうえで、どのようなことに重点を置くべきだと思いますか。
 [あてはまるものすべてに○]

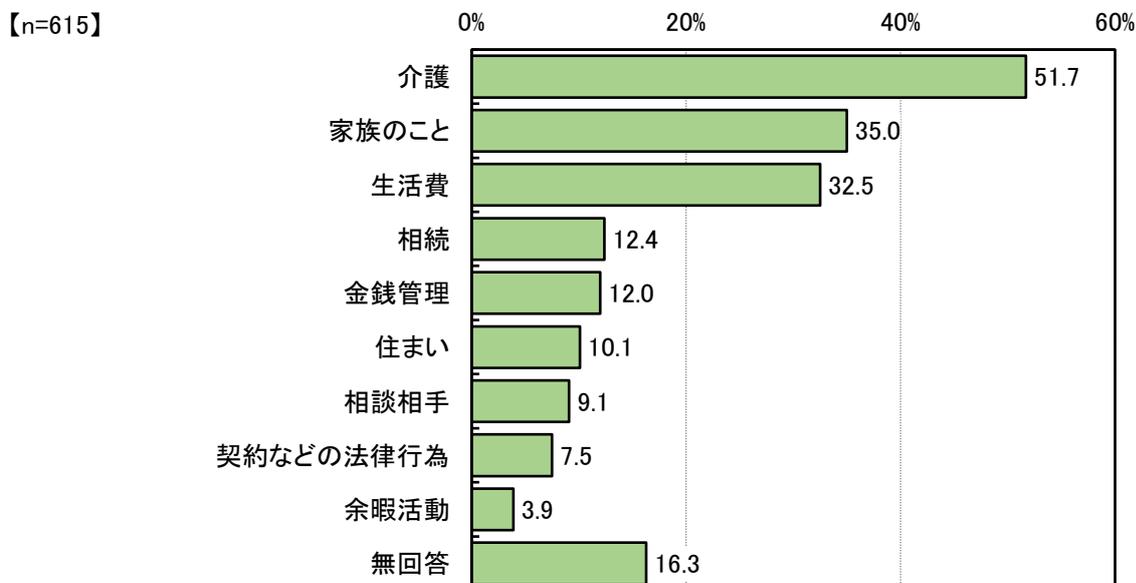
【n=615】



認知症対策を進めていくうえで、どのようなことに重点を置くべきか尋ねたところ、「早期発見・早期診断のための仕組みづくり」が61.8%で最も多く、次いで「かかりつけ医が認知症の治療もできるようにしてほしい」(48.5%)、「認知症の人が安心して暮らせる体制整備の充実(徘徊した時に、位置情報が検索できる機器など)」(45.5%)となっています。

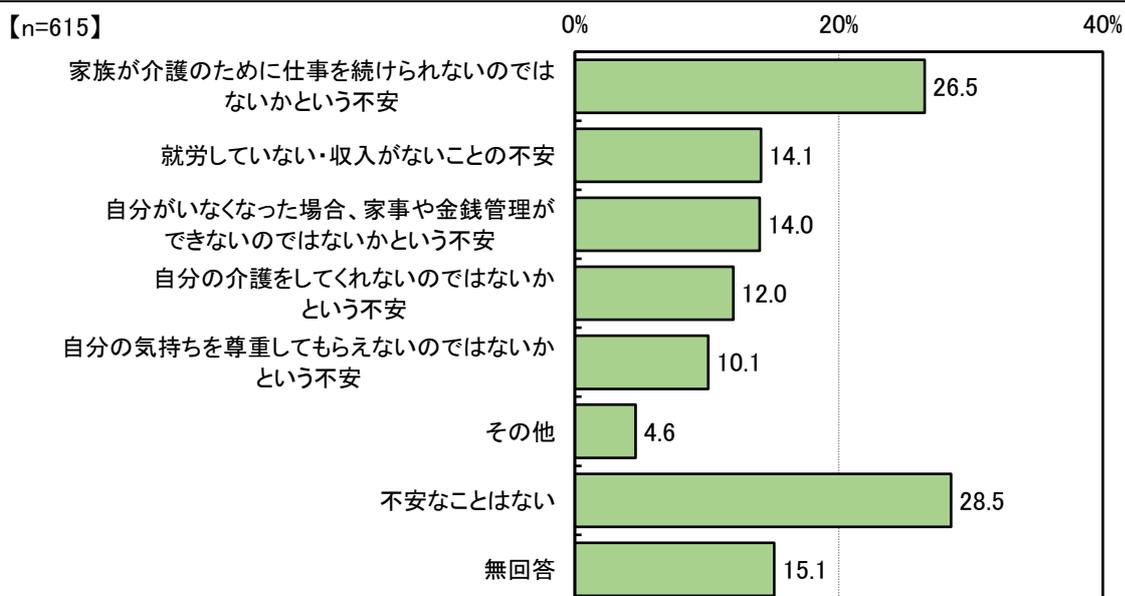
問 11 生活上の不安、将来心配に思うことについて

(1)あなたの今後の生活について、不安に感じることは何ですか。[あてはまるものすべてに○]



今後の生活での不安に感じることについて尋ねたところ、「介護」が51.7%で最も多く、次いで「家族のこと」(35.0%)、「生活費」(32.5%)となっています。

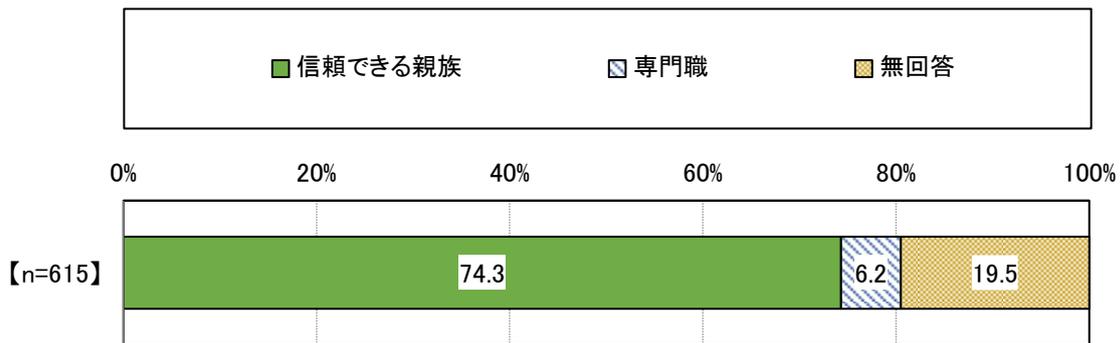
(2)家族について不安なことがありますか。[あてはまるものすべてに○]



家族について不安なことを尋ねたところ、「家族が介護のために仕事を続けられないのではないかと不安」が26.5%で最も多く、次いで「就労していない・収入がないことの不安」(14.1%)、「自分がいなくなった場合、家事や金銭管理ができないのではないかと不安」(14.0%)となっています。

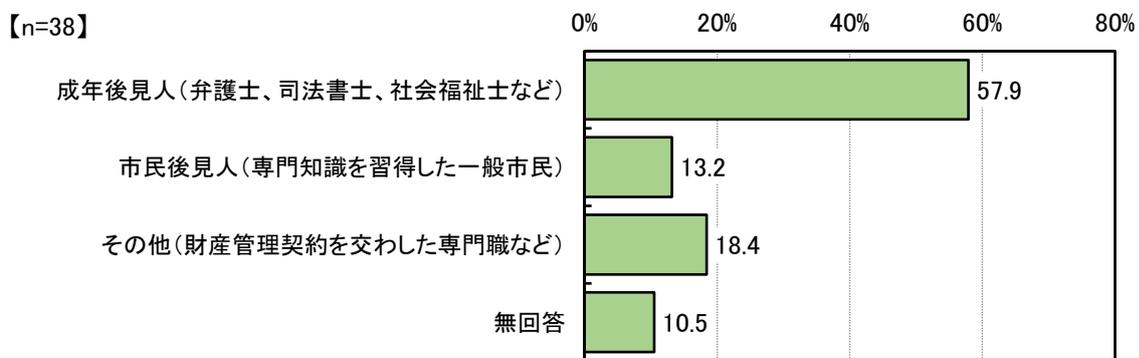
また、28.5%は「不安なことはない」と回答しています。

(3)自分で金銭管理ができなくなった場合、誰にお願いしたいですか。[1つに○]



自分で金銭管理ができなくなった場合、誰にお願いしたいか尋ねたところ、「信頼できる家族」が74.3%、「専門職」が6.2%となっています。

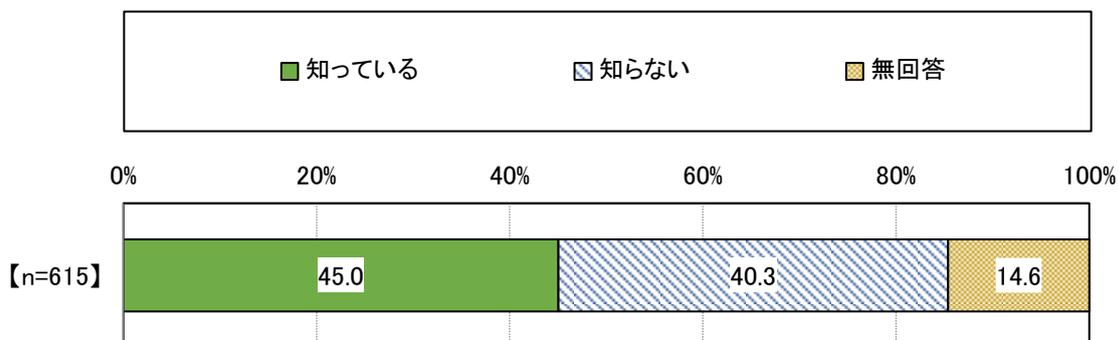
【(3)で「2.専門職」と答えた方のみ】
 (3)－① どのような専門職を希望しますか。[1つに○]



どのような専門家か尋ねたところ、「成年後見人(弁護士、司法書士、社会福祉士など)」が57.9%で最も多く、次いで「その他(財産管理契約を交わした専門職など)」(18.4%)、「市民後見人(専門知識を習得した一般市民)」(13.2%)となっています。

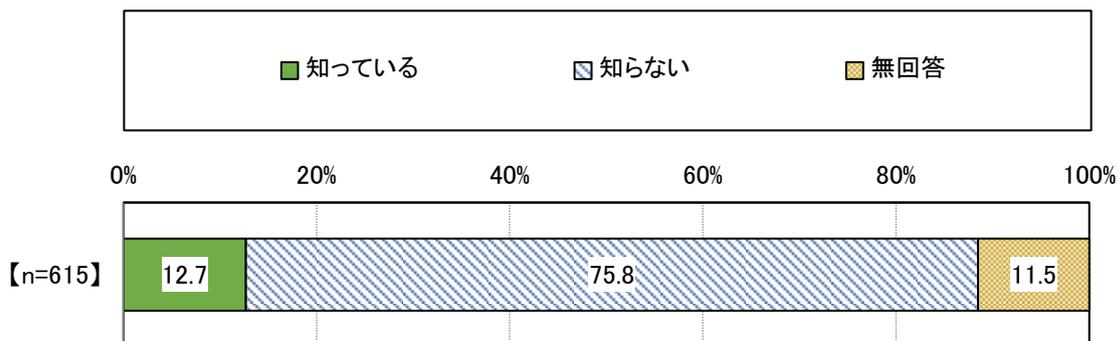
(4) 成年後見制度の内容をご存知ですか。[1つに○]

※成年後見制度とは、認知症、知的障がい、精神障がい等によって判断能力が十分でない方について、法律に基づき家庭裁判所が本人の権利を守る援助者(成年後見人等)を選ぶことで本人の権利の保護、財産管理を支援する制度です。



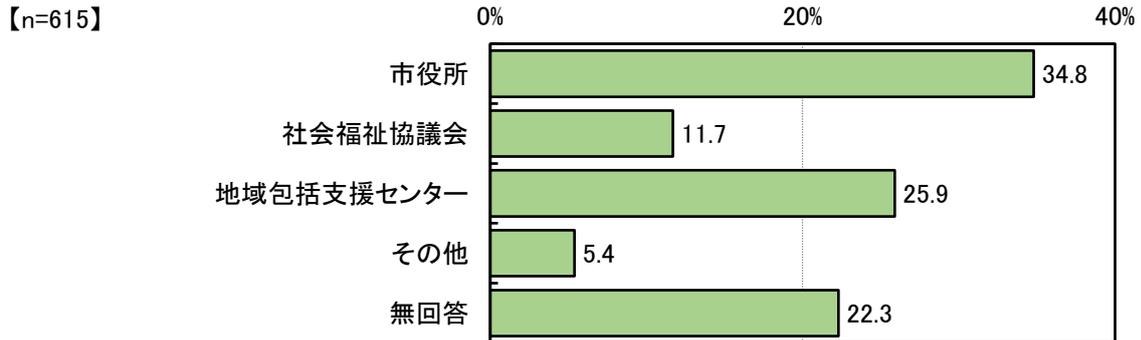
成年後見制度の内容を知っているか尋ねたところ、「知っている」が45.0%、「知らない」が40.3%となっています。

(5) 地域包括支援センターが成年後見制度利用促進の中核機関であることをご存じですか。[1つに○]



地域包括支援センターが成年後見制度利用促進の中核機関であることを知っているか尋ねたところ、「知っている」が12.7%、「知らない」が75.8%となっています。

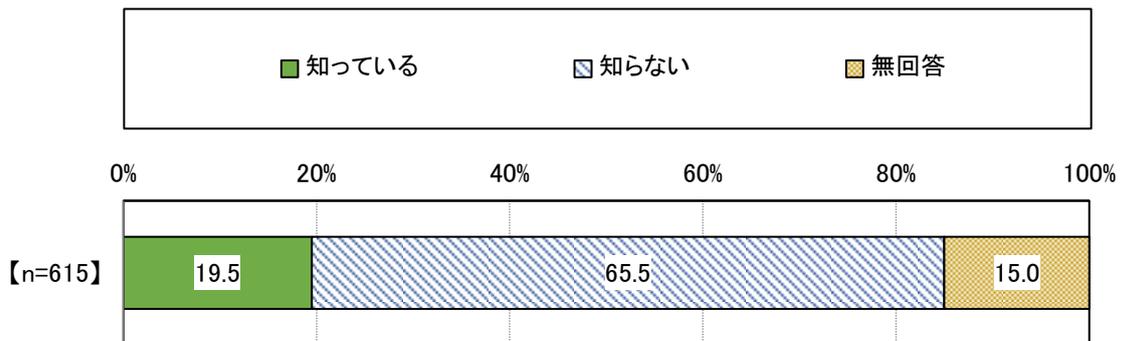
(6) 成年後見制度について、どこに相談しますか。[1つに○]



成年後見制度について、どこに相談したいか尋ねたところ、「市役所」が 34.8%で最も多く、次いで「地域包括支援センター」(25.9%)、「社会福祉協議会」(11.7%)となっています。

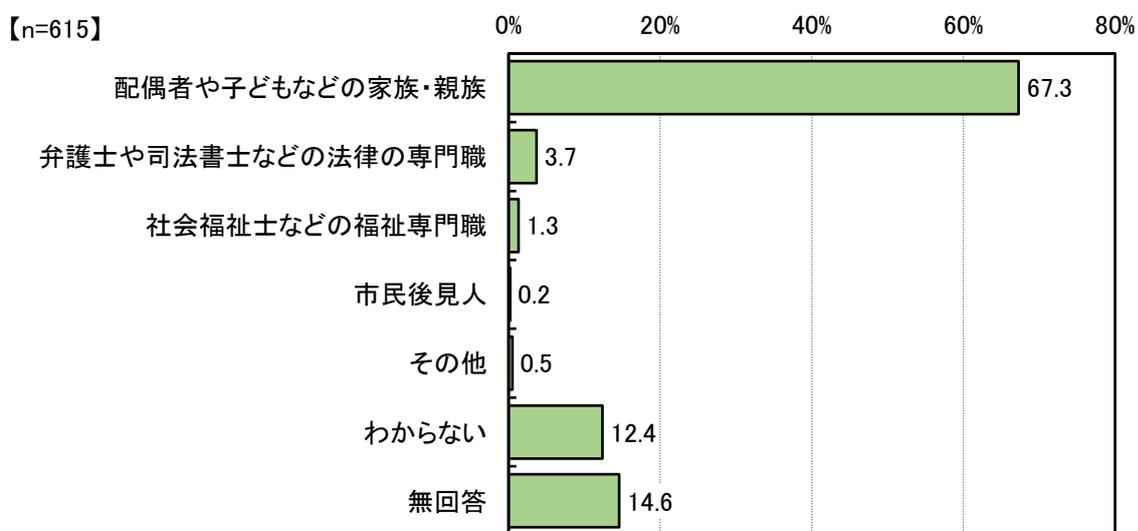
(7) 任意後見制度の内容をご存知ですか。[1つに○]

※任意後見制度とは、本人が十分な判断能力を有する時に、あらかじめ、任意後見人となる方や将来その方に委任する事務の内容を公正証書による契約で定めておき、本人の判断能力が不十分になった後に、任意後見人が委任された事務を本人に代わって行う制度です。



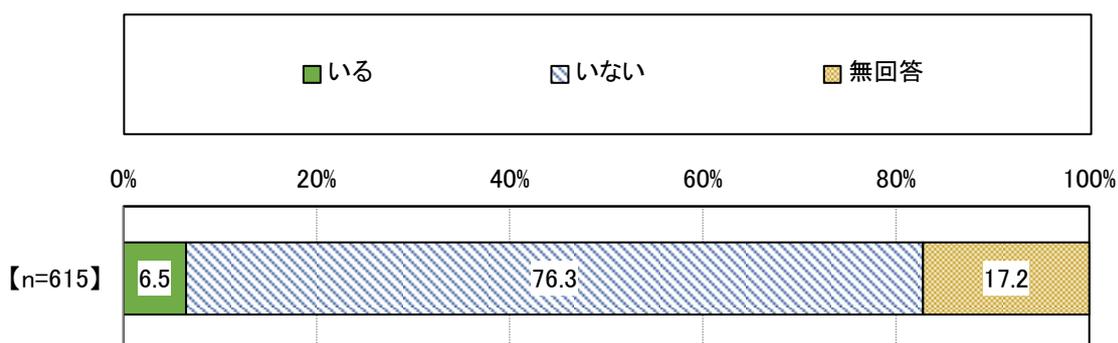
任意後見制度の内容を知っているか尋ねたところ、「知っている」が 19.5%、「知らない」が 65.5%となっています。

(8)「成年後見制度」を利用したい場合、誰に財産管理や契約手続き等をお願いしたいですか。
[1つに○]



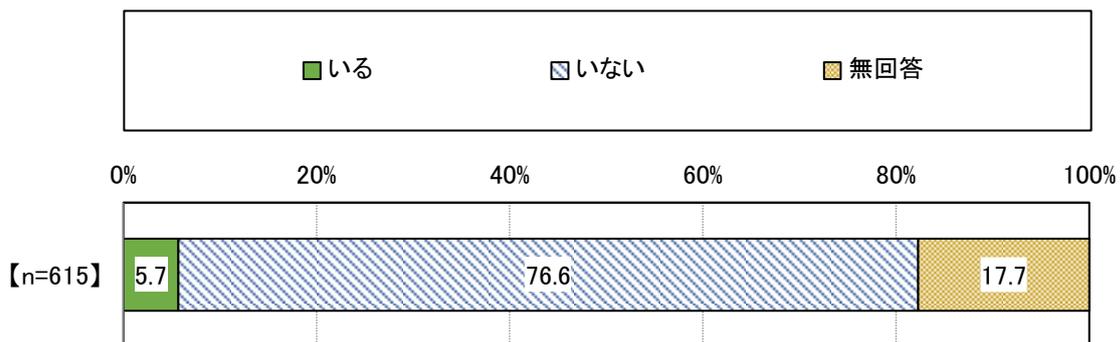
「成年後見制度」を利用したい場合、誰に財産管理や契約手続き等をお願いしたいか尋ねたところ、「配偶者や子どもなどの家族・親族」が 67.3%で最も多く、次いで「弁護士や司法書士などの法律の専門職」(3.7%)、「社会福祉士などの福祉専門職」(1.3%)となっています。

(9)周りの方で、成年後見制度が必要な方はいますか。[1つに○]



周りの方で、成年後見制度が必要な方がいるか尋ねたところ、「いる」が 6.5%、「いない」が 76.3%となっています。

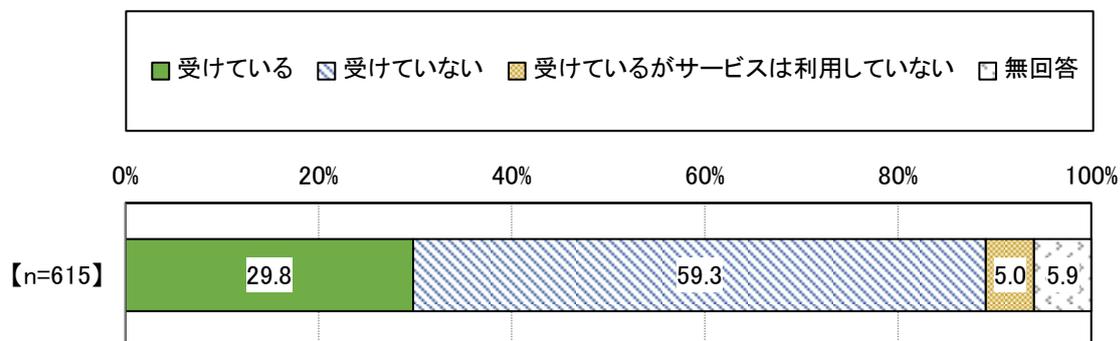
(10) 周りの方で、日常生活自立支援事業が必要な方はいますか。[1つに○]



周りの方で、日常生活自立支援事業が必要な方がいるか尋ねたところ、「いる」が 5.7%、「いない」が 76.6%となっています。

問12 介護予防について

(1)現在あなたは介護認定等(要支援1、要支援2、事業対象者)を受けていますか。
[1つに○]



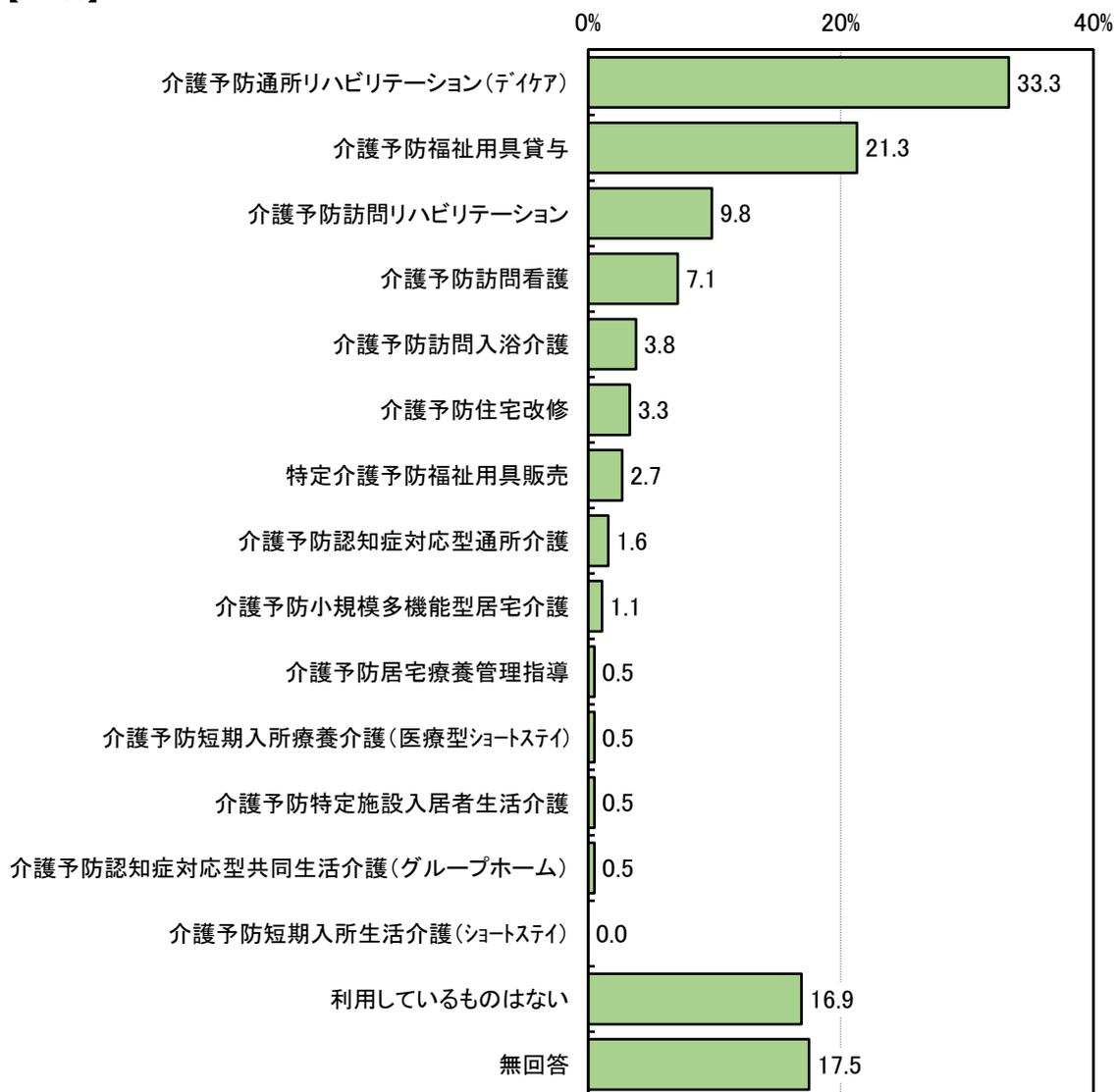
現在あなたは介護認定等を受けているか尋ねたところ、「受けている」が29.8%、「受けていない」が59.3%、「受けているがサービスは利用していない」が5.0%となっています。

【(1)で「1.受けている」と答えた方のみ】

(1)－① 以下のサービスで、現在あなたが利用しているものはありますか。

[あてはまるものすべてに○]

【n=183】



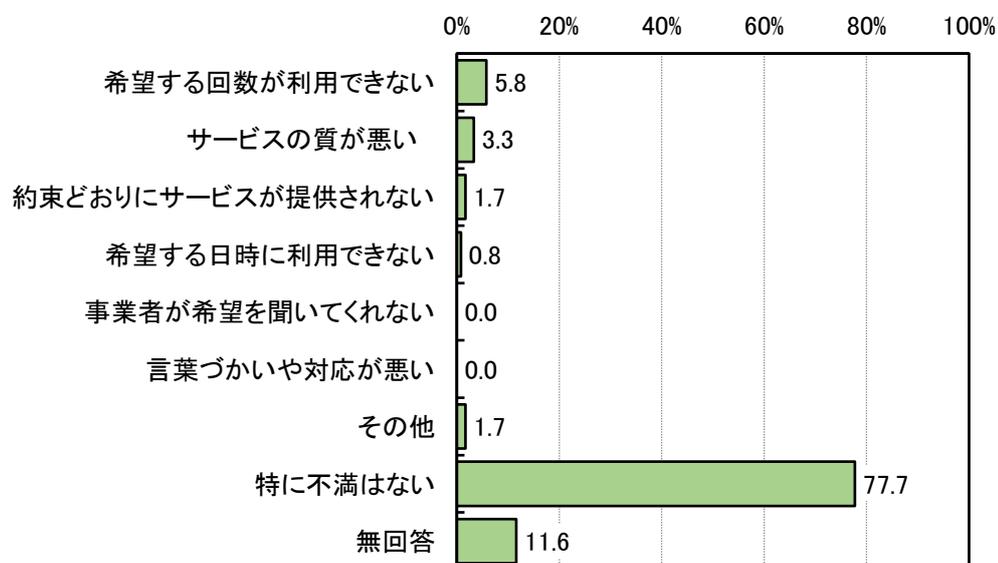
介護認定等を受けている方に、現在利用しているサービスを尋ねたところ、「介護予防通所リハビリテーション(デイケア)」が 33.3%で最も多く、次いで「介護予防福祉用具貸与」(21.3%)、「介護予防訪問リハビリテーション」(9.8%)となっています。

【(1)－①で「利用しているサービスがある」と答えた方のみ】

(1)－② 上記のサービスの内容に不満がありますか。その原因は何ですか。

[あてはまるものすべてに○]

【n=121】



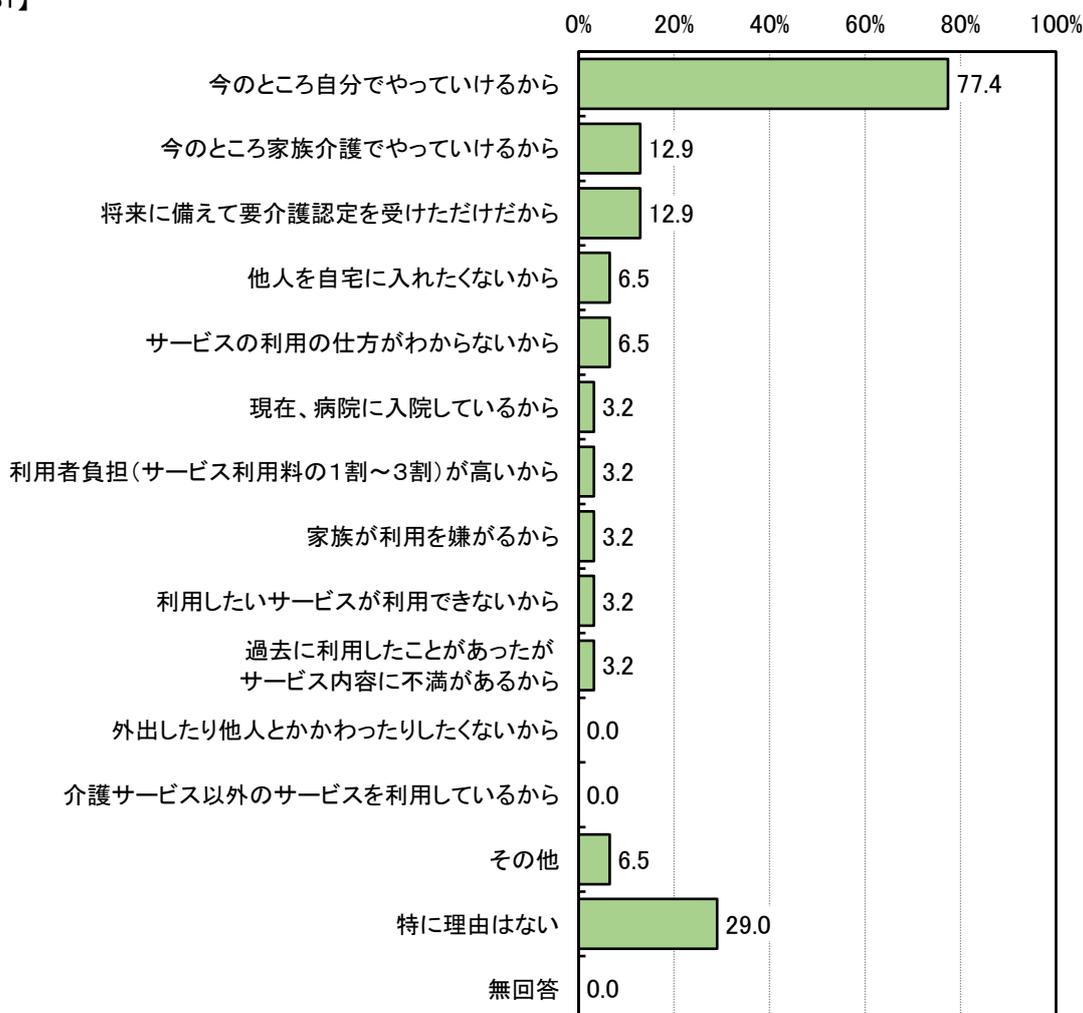
現在利用しているサービスの内容の不満とその原因について尋ねたところ、「希望する回数が利用できない」が 5.8%となっています。

なお、「特に不満はない」が 77.7%と最も多くなっています。

【(1)で「3. 受けているがサービスは利用していない」と答えた方のみ】

(1)－③ 介護予防サービスを利用していない理由は何ですか。[3つに〇]

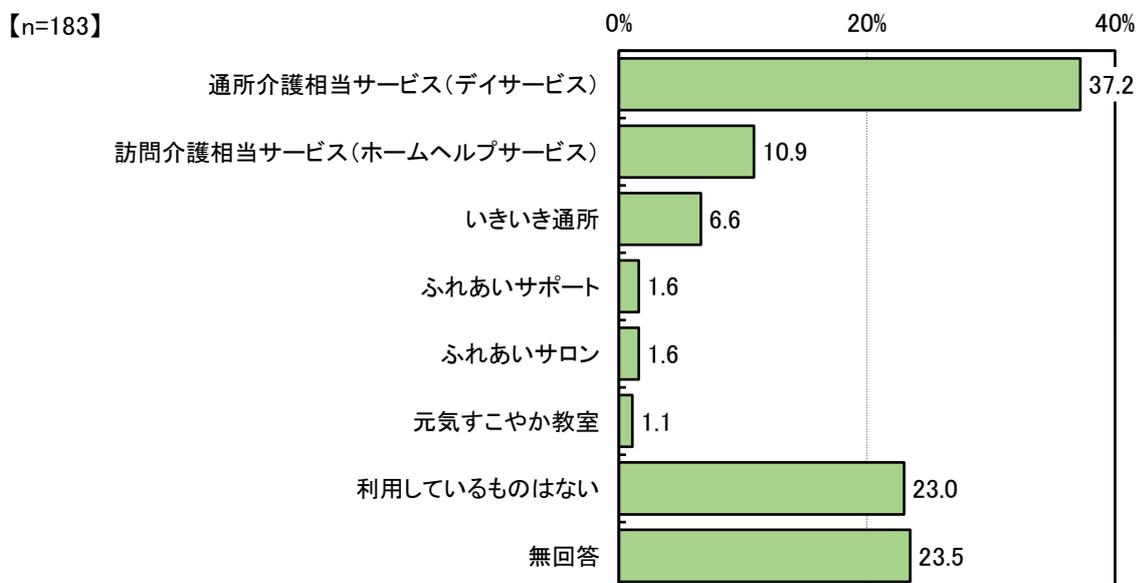
【n=31】



介護認定等を受けているが介護予防サービスを利用していない理由について尋ねたところ、「今のところ自分でやっていけるから」が 77.4%で最も多く、次いで「特に理由はない」(29.0%)、「今のところ家族介護でやっていけるから」、「将来に備えて要介護認定を受けたただから」(12.9%)となっています。

【(1)で「1. 受けている」と答えた方のみ】

(1)－④ 以下の介護予防・生活支援サービスで、現在あなたが利用しているものはありますか。
[あてはまるものすべてに○]



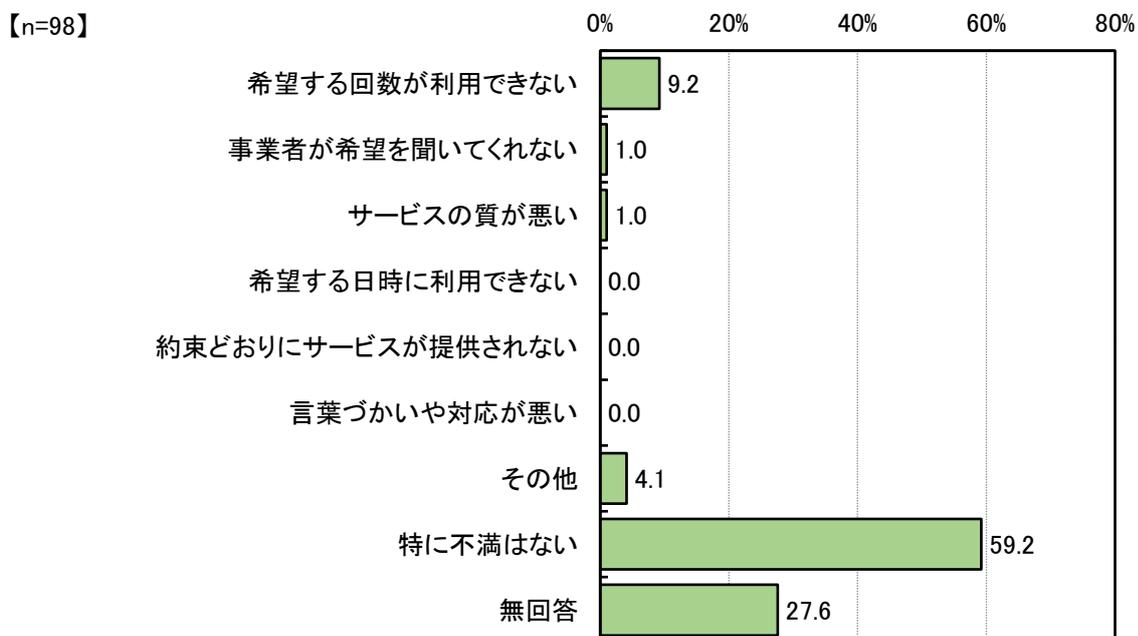
介護認定等を受けている方に、現在利用している介護予防・生活支援サービスを尋ねたところ、「通所介護相当サービス(デイサービス)」が 37.2%で最も多く、次いで「訪問介護相当サービス(ホームヘルプサービス)」(10.9%)、「いきいき通所」(6.6%)となっています。

なお、「利用しているものはない」は 23.0%となっています。

【(1)－④で「利用しているサービスがある」と答えた方のみ】

(1)－⑤ 上記のサービスの内容に不満がありますか。その原因は何ですか。

[あてはまるものすべてに○]



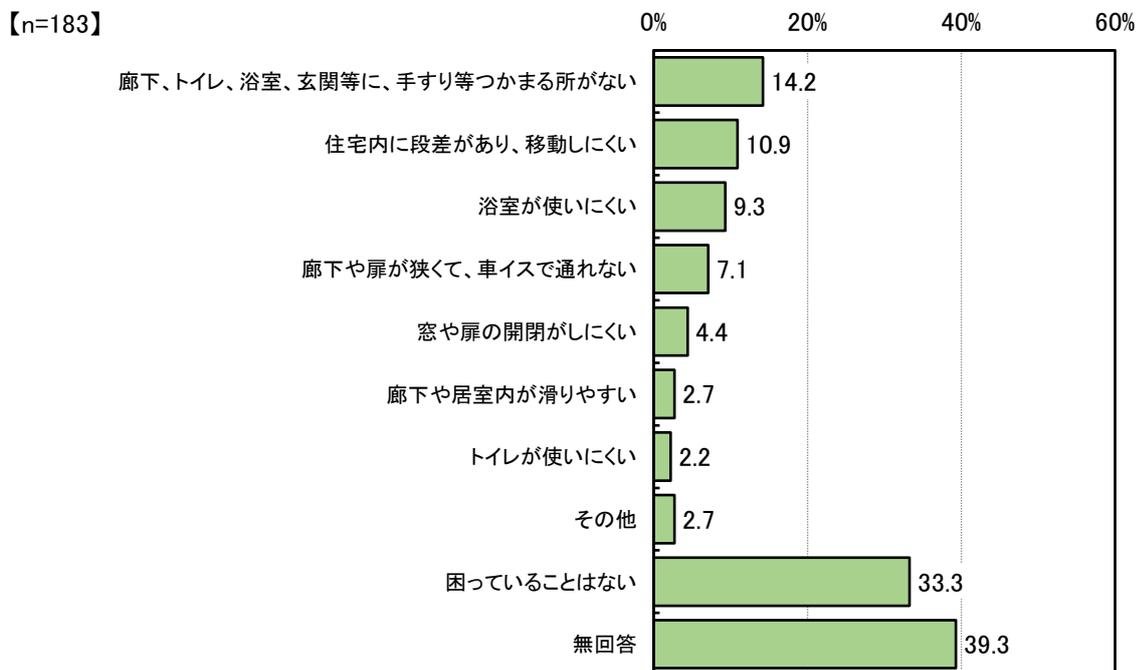
利用しているサービスの内容に不満とその原因を尋ねたところ、「希望する回数が利用できない」が 9.2%となっています。

なお、「特に不満はない」が 59.2%となっています。

【(1)で「1. 受けている」と答えた方のうち、要支援1・2の方のみ】

(1)－⑥ あなたの住宅環境を整えるために、改善が必要なところがありますか。

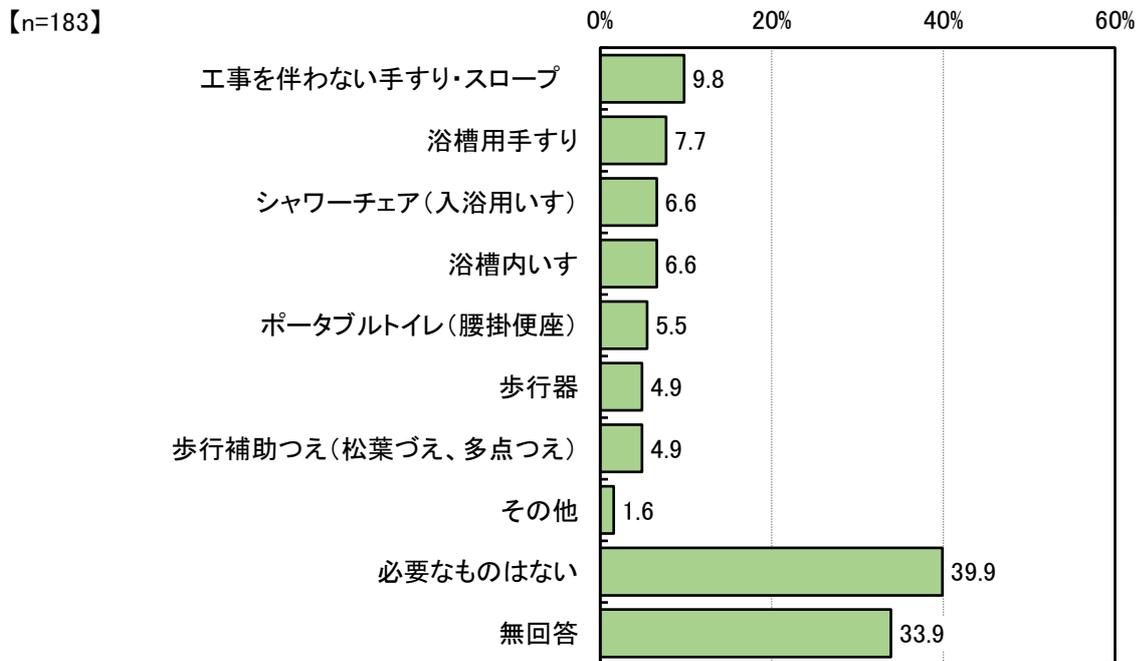
[あてはまるものすべてに○]



要支援1・2の方に、住宅環境を整えるために、改善が必要なところを尋ねたところ、「廊下、トイレ、浴室、玄関等に、手すり等つかまる所がない」が 14.2%で最も多く、次いで「住宅内に段差があり、移動しにくい」(10.9%)、「浴室が使いにくい」(9.3%)となっています。

なお、「困っていることはない」は 33.3%となっています。

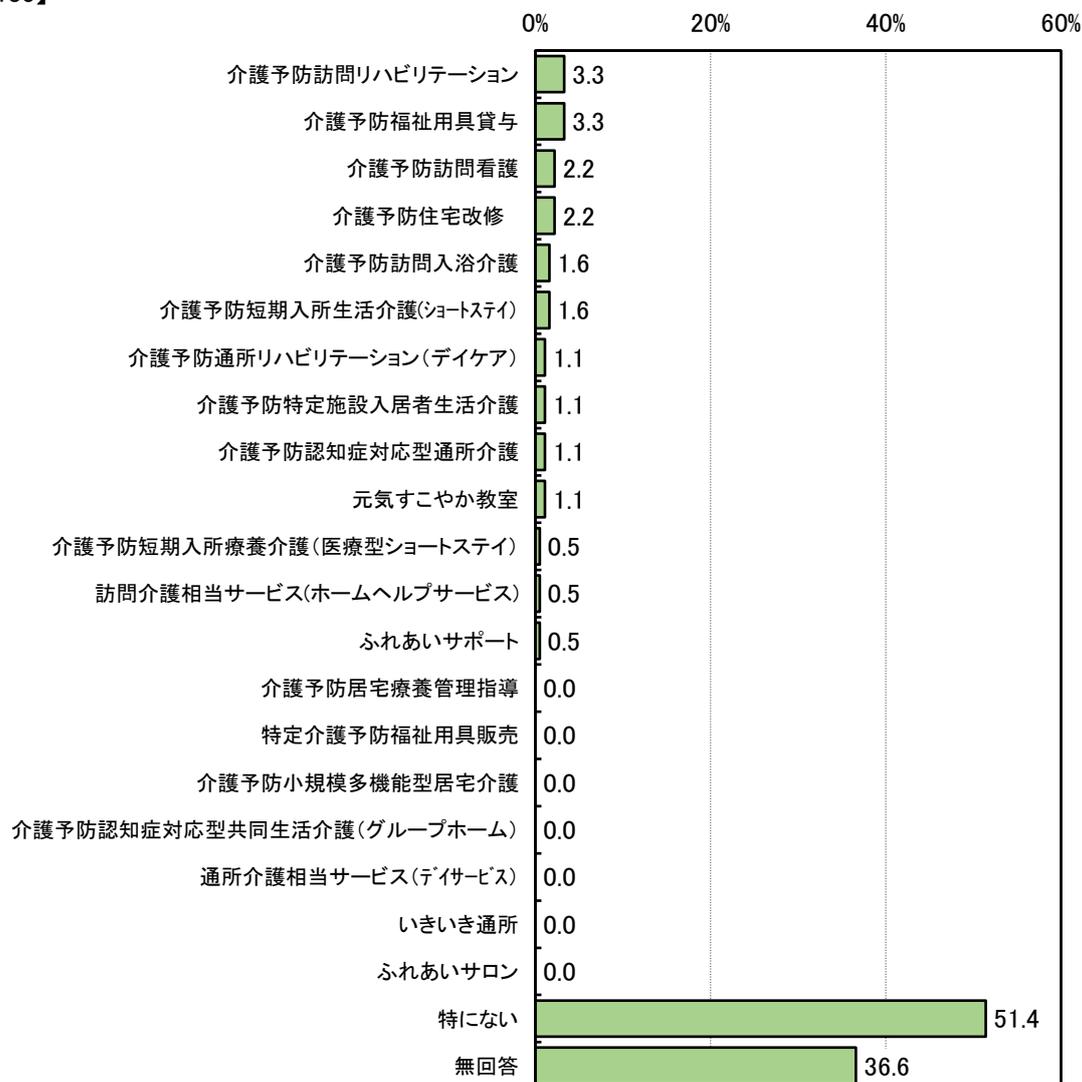
(1)－⑦ あなたの在宅での生活環境を整えるために、必要な福祉用具はありますか。
 [現在使用しているもの以外で、あてはまるものすべてに○]



在宅での生活環境を整えるために、現在使用しているもの以外に必要な福祉用具を尋ねたところ、「工事を伴わない手すり・スロープ」が 9.8%で最も多く、次いで「浴槽用手すり」(7.7%)、「シャワーチェア(入浴用いす)」、「浴槽内いす」(6.6%)となっています。
 なお、「必要なものはない」は 39.9%となっています。

(2)現在、あなたが、利用したいのに利用できない在宅サービスはありますか。
 [あてはまるものすべてに○]

【n=183】

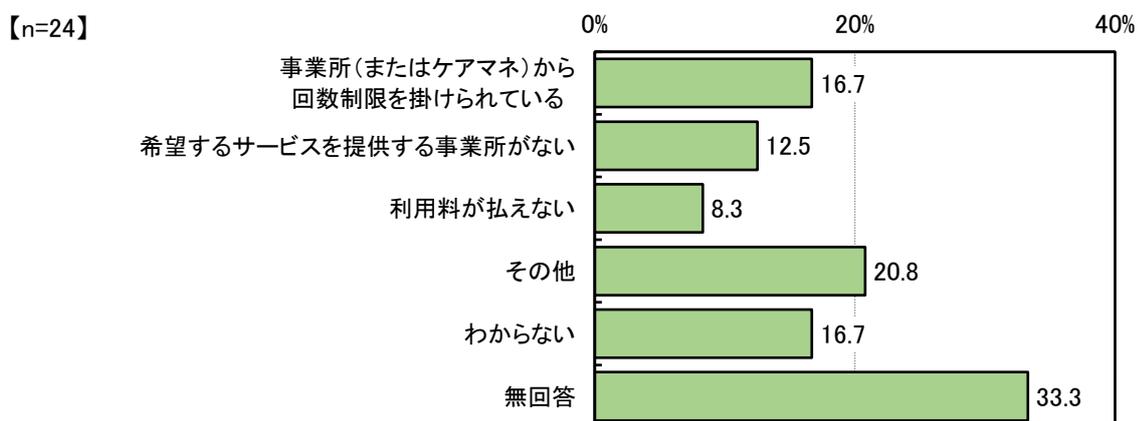


利用したいのに利用できない在宅サービスを尋ねたところ、「介護予防訪問リハビリテーション」、「介護予防福祉用具貸与」が 3.3.%で最も多く、次いで「介護予防訪問看護」、「介護予防住宅改修」(2.2%)となっています。

なお、「特にない」は 51.4%となっています。

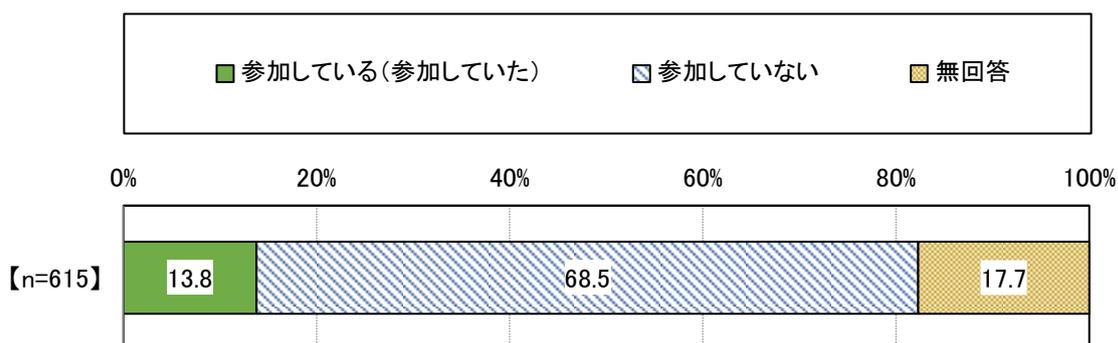
【(2)で利用したいのに利用できない在宅サービスがあると答えた方のみ】

(2)－① 利用したいのに利用できないのはなぜですか。[あてはまるものすべてに○]



利用したいのに利用できない理由を尋ねたところ、「事業所(またはケアマネ)から回数制限を掛けられている」が 16.7%で最も多く、次いで「希望するサービスを提供する事業所がない」(12.5%)、「利用料が払えない」(8.3%)となっています。

(3)介護予防事業に参加していますか。[1つに○]

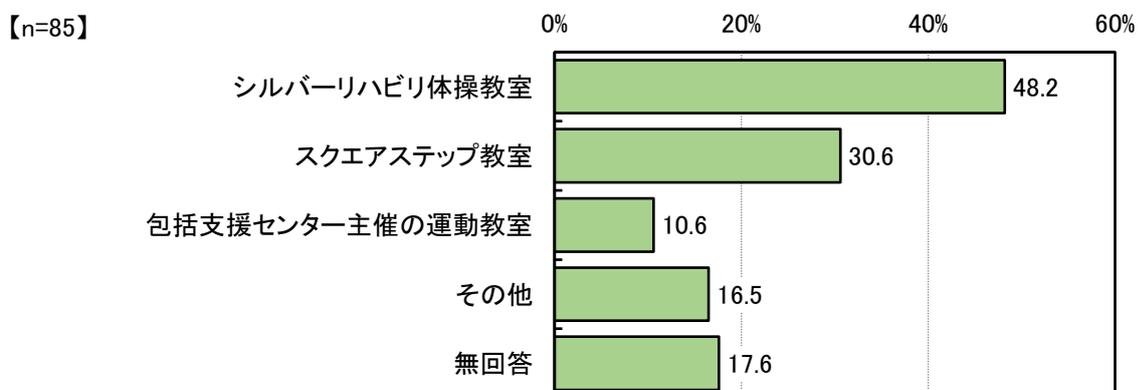


介護予防事業に参加しているかを尋ねたところ、「参加している(参加していた)」が13.8%、「参加していない」が68.5%となっています。

【(3)で「1. 参加している(参加していた)」と答えた方のみ】

(3)－① あなたが参加している(参加していた)介護予防事業は何ですか。

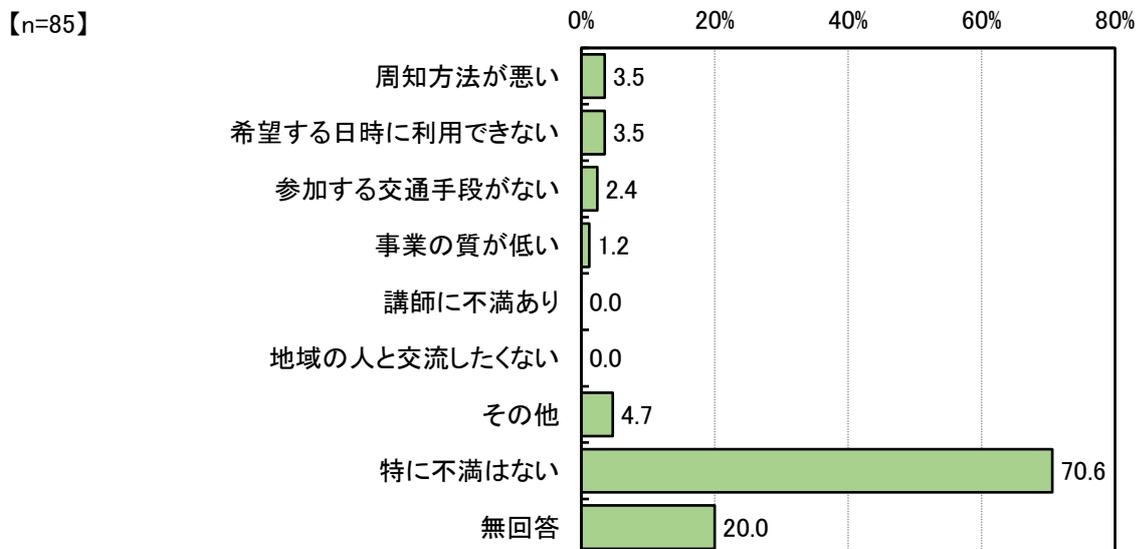
[あてはまるものすべてに○]



参加している(参加していた)介護予防事業が何かを尋ねたところ、「シルバーリハビリ体操教室」が48.2%で最も多く、次いで「スクエアステップ教室」(30.6%)、「包括支援センター主催の運動教室」(10.6%)となっています。

【(3)で「1. 参加している(参加していた)」と答えた方のみ】

(3)－② 上記サービスに何か不満はありますか。その原因と思われるものは何ですか。[あてはまるものすべてに○]

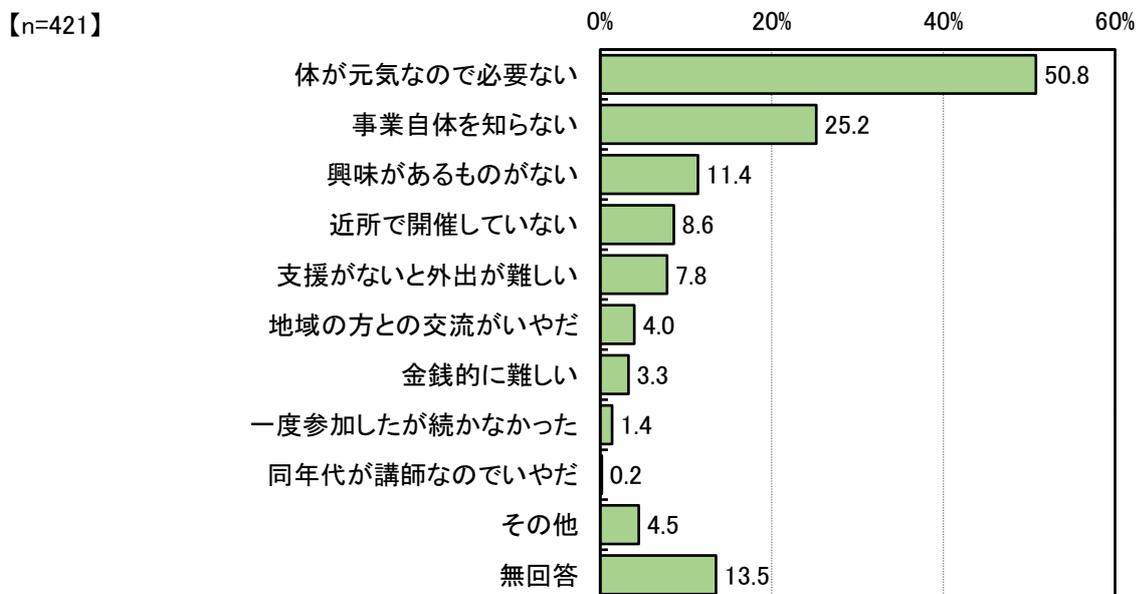


参加している(参加していた)サービスに不満とその理由を尋ねたところ、「周知方法が悪い」、「希望する日時に利用できない」が 3.5%となっています。

なお、「特に不満はない」が 70.6%となっています。

【(3)で「2. 参加していない」と答えた方のみ】

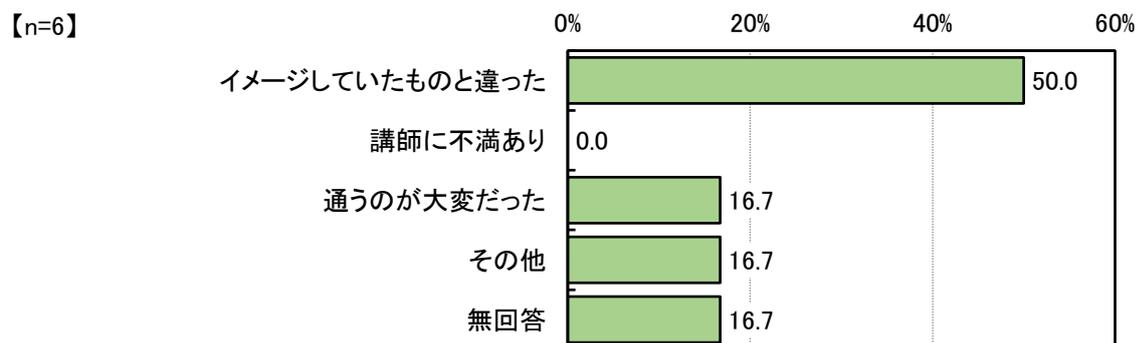
(3)－③ 介護予防教室に参加しない理由は何ですか。[あてはまるものすべてに○]



介護予防教室に参加しない理由を尋ねたところ、「体が元気なので必要ない」が 50.8%で最も多く、次いで「事業自体を知らない」(25.2%)、「興味があるものがない」(11.4%)となっています。

【(3)－③で「4. 一度参加したが続かなかった」と答えた方のみ】

(3)－④ 参加が続けられなかった理由は何ですか。[あてはまるものすべてに○]



参加を続けられなかった理由を尋ねたところ、回答者6名のみですが、「イメージしていたものと違った」が 50.0%、「通うのが大変だった」が 16.7%となっています。

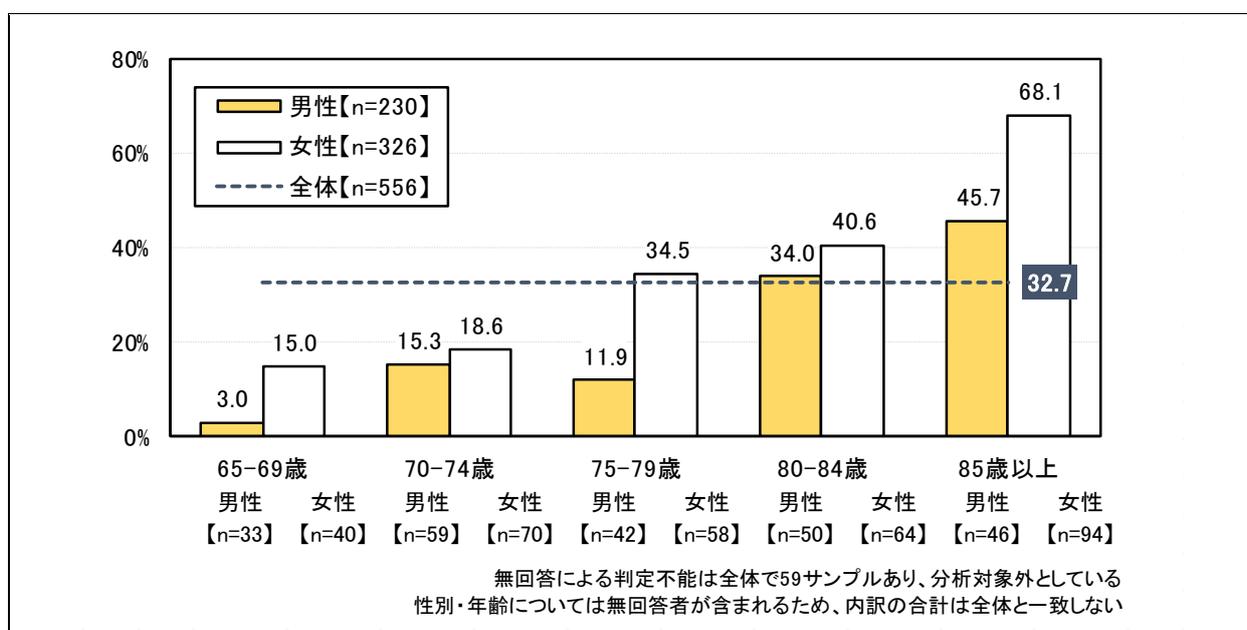
○リスク分析

(1)運動器機能の低下

【リスク判定方法】

下記の設問で3問以上、該当する選択肢(網掛け箇所)が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
15分位続けて歩いていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない
転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない



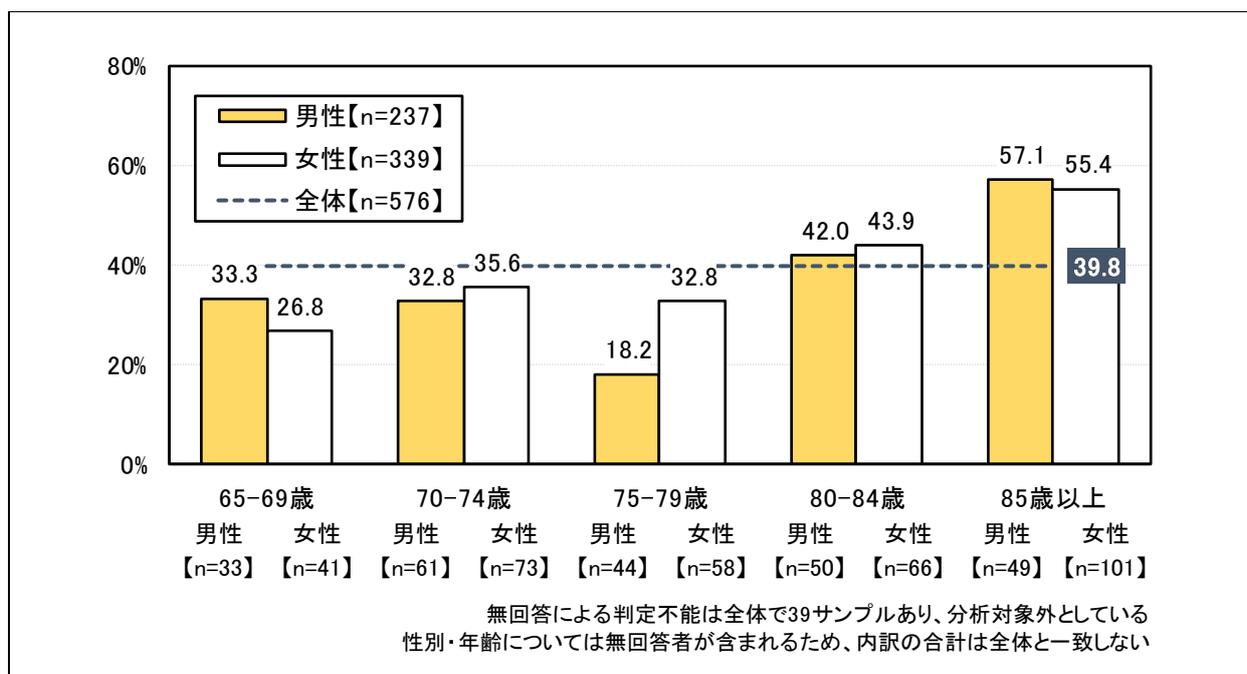
運動器機能の低下リスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、男女ともに年齢が上がるにつれて数値が高くなる傾向がみられ、「85歳以上」においては男性では45.7%、女性では68.1%が有リスクとなっています。

(2) 転倒リスク

【リスク判定方法】

下記の設問で、該当する選択肢(網掛け箇所)が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢
過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない



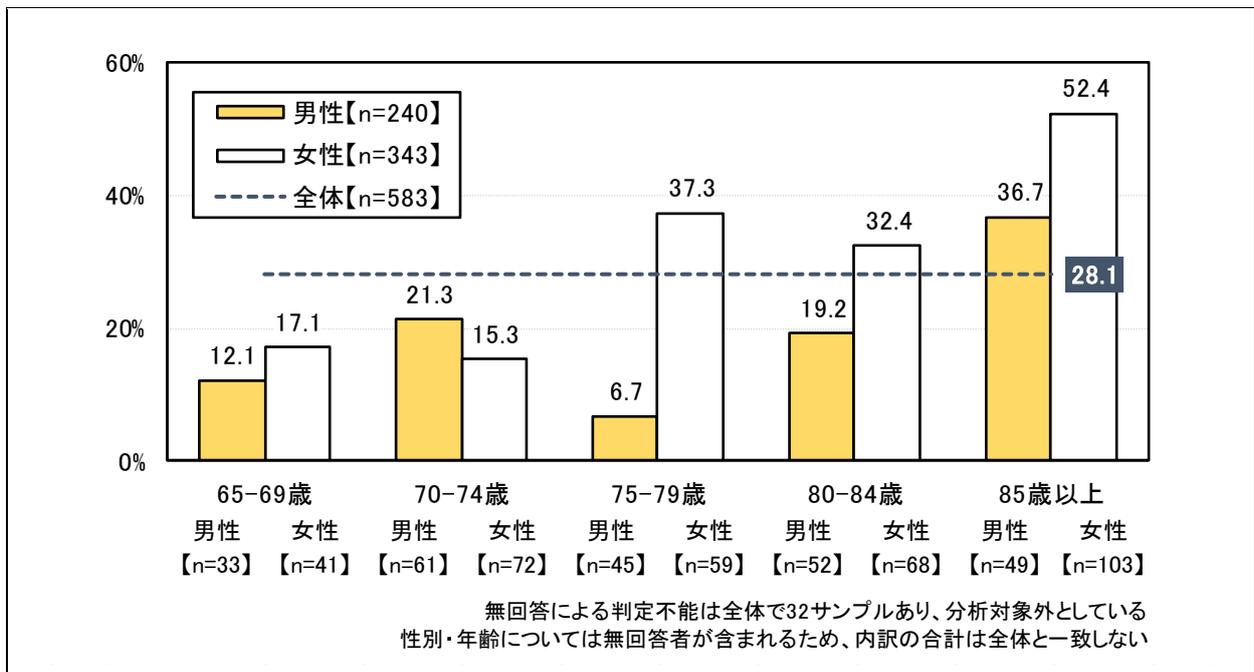
転倒リスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、「85歳以上」においては、男性では57.1%、女性では55.4%が有リスクとなっています。男女ともに後期高齢者が多く該当する傾向が顕著と言えます。

(3)閉じこもり傾向

【リスク判定方法】

下記の設問で、該当する選択肢(網掛け箇所)が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢
週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2~4回 4. 週5回以上



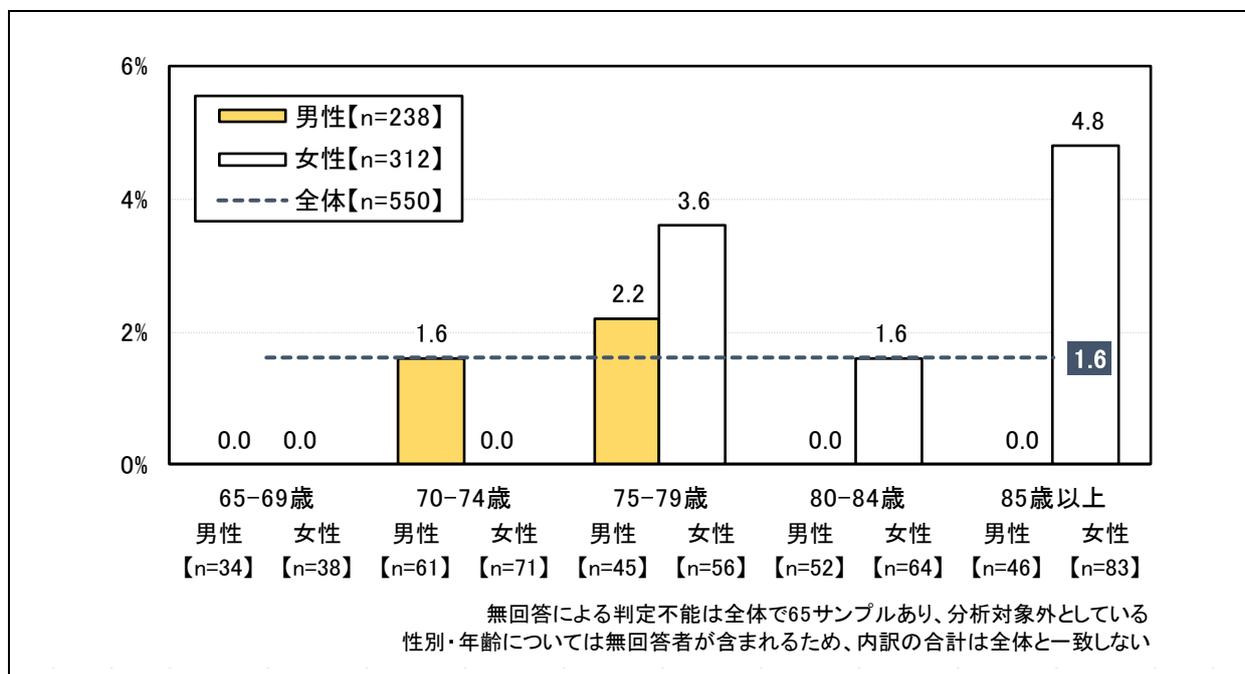
閉じこもり傾向のリスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、「85歳以上」においては男性では36.7%、女性では52.4%が有リスクとなっています。

(4)低栄養傾向

【リスク判定方法】

下記の設問で、BMIが18.5以下となり、該当する選択肢(網掛け箇所)が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢
身長・体重	身長・体重から算出される BMI(体重(kg)÷{身長(m)×身長(m)})が 18.5 以下の場合、低栄養が疑われる
6ヶ月間で2~3kg 以上の体重減少がありましたか	1. はい 2. いいえ



低栄養傾向のリスクについて、全体の該当割合が1.6%と他のリスクに比べて高い数値ではないほか、性別・年齢別に該当割合をみても性別及び年齢による目立った傾向はみられません。

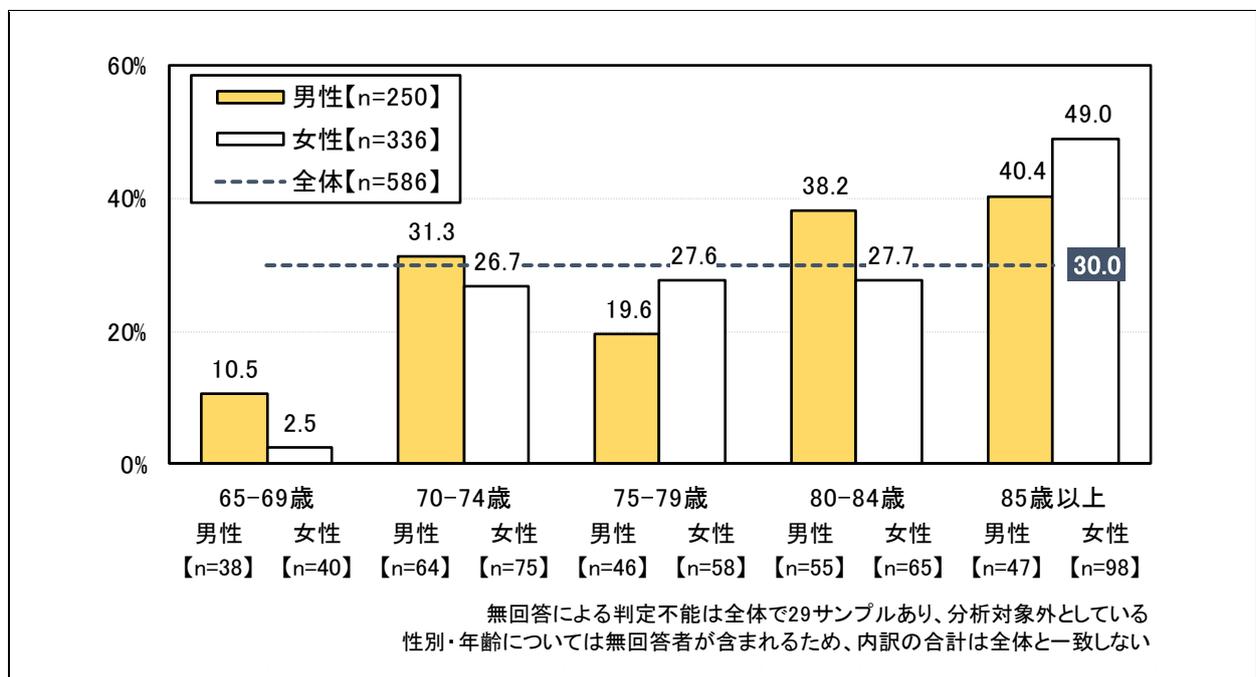
その中で、「85歳以上」女性の数値が4.8%で最も高くなっています。

(5) 口腔機能の低下

【リスク判定方法】

下記の設問で2問以上、該当する選択肢(網掛け箇所)が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢
半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい 2. いいえ
お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい 2. いいえ
口の渇きが気になりますか	1. はい 2. いいえ



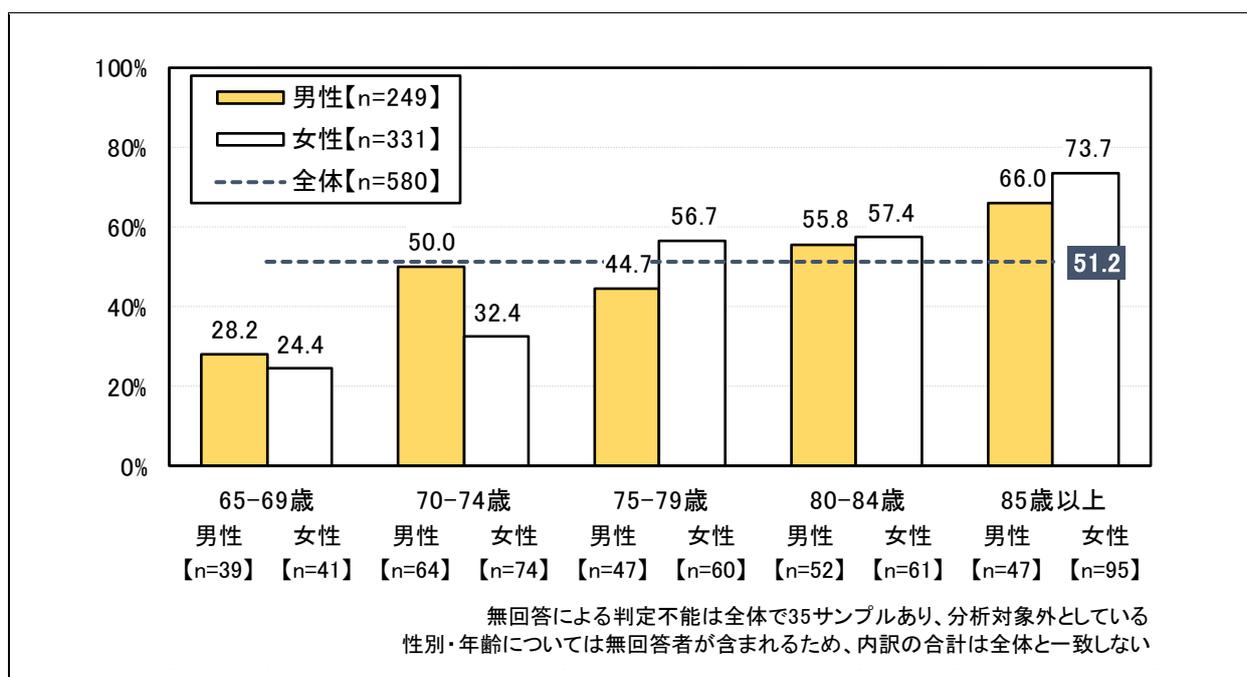
口腔機能の低下リスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、男女ともに「70-74歳以上」で数値が高くなる傾向がみられ、「85歳以上」においては、男性では40.4%、女性では49.0%が有リスクとなっています。

(6)認知機能の低下

【リスク判定方法】

下記の設問で、該当する選択肢(網掛け箇所)が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢
物忘れが多いと感じますか	1. はい 2. いいえ



認知機能の低下リスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、男女ともにおおむね年齢が上がるにつれて数値が高くなる傾向がみられ、男女ともに後期高齢者が該当する傾向が顕著です。

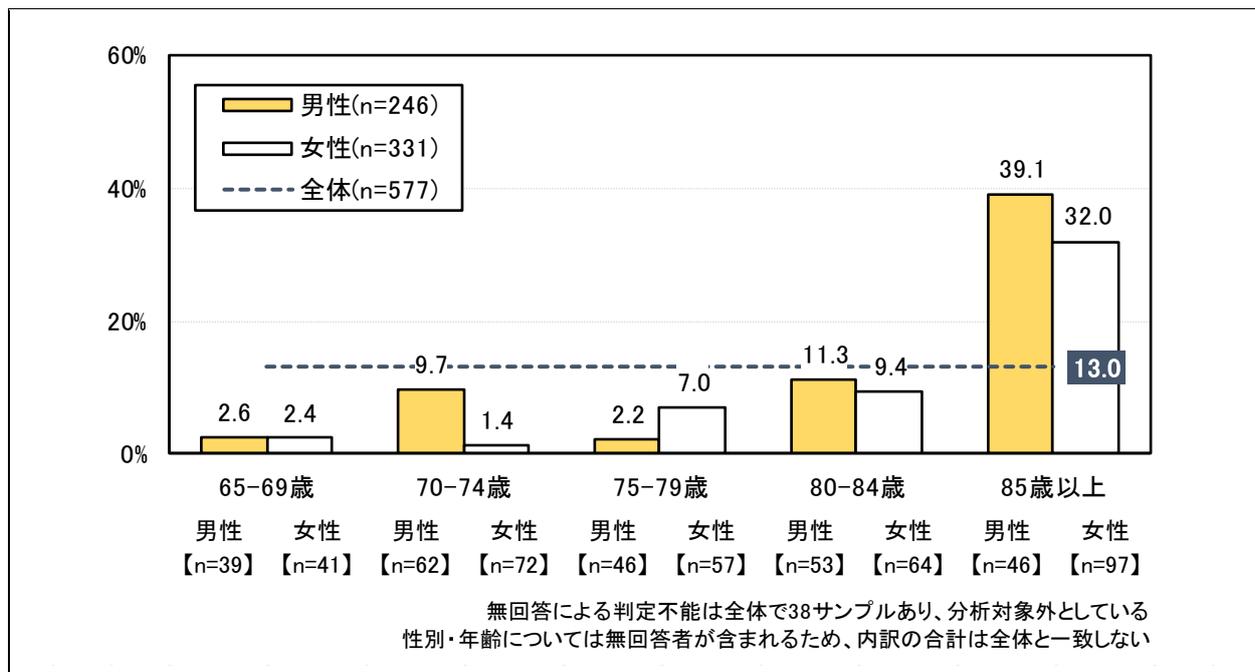
(7)IADL(手段的自立度)の低下

【リスク判定方法】

下記の設問で、5点満点中、3点以下を「低下」として評価します。

IADLは、外出や買物など、自立した日常生活を送るために必要な能力の判断基準となります。

設問内容	選択肢
バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)	1. できるし、している 1点 2. できるけどしていない 1点 3. できない 0点
自分で食品・日用品の買物をしていますか	1. できるし、している 1点 2. できるけどしていない 1点 3. できない 0点
自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している 1点 2. できるけどしていない 1点 3. できない 0点
自分で請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している 1点 2. できるけどしていない 1点 3. できない 0点
自分で預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している 1点 2. できるけどしていない 1点 3. できない 0点



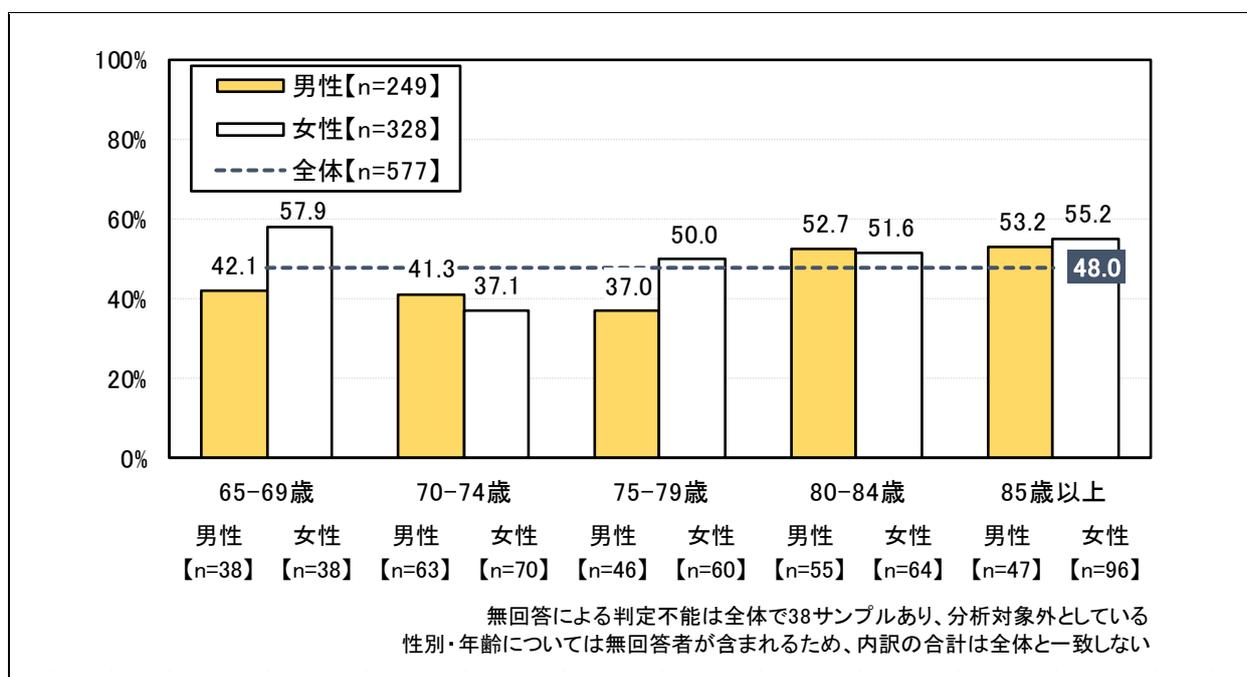
IADL(手段的自立度)の低下リスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、男女ともに後期高齢者が比較的多く該当する傾向がみられます。男女いずれも「85歳以上」の該当割合が最も高く、特に男性については39.1%と最も高くなっています。

(8)うつ傾向

【リスク判定方法】

下記の設問で1問以上、該当する選択肢(網掛け箇所)が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢
この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい 2. いいえ
この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい 2. いいえ



うつ傾向のリスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、年齢階級による数値の差がそれほど大きくないことが読み取れます。

また、男性よりも女性の方が有リスク者の割合が高くなっていることが特徴的です。

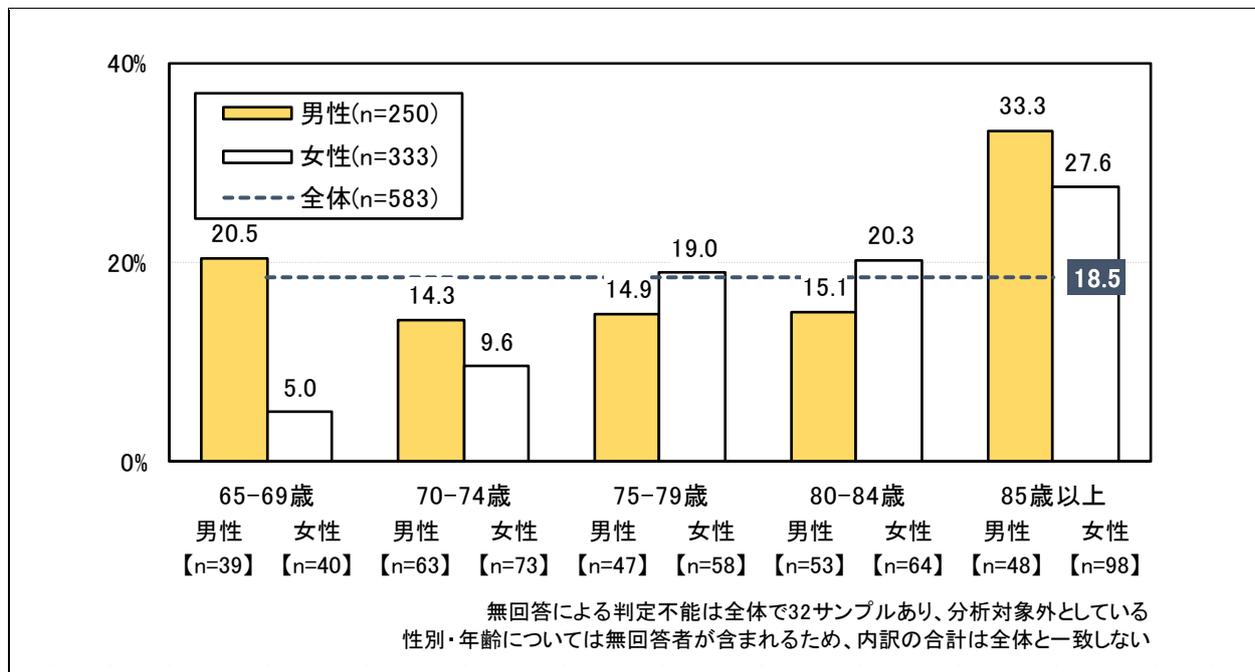
(9) 知的能動性の低下

【リスク判定方法】

下記の設問で、4点満点中、2点以下を「低下」として評価します。

知的能動性は、探索、創作、余暇活動などの知的な活動をすることです。

設問内容	選択肢
年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点
新聞を読んでいますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点
本や雑誌を読んでいますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点
健康についての記事や番組に関心がありますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点



知的能動性の低下リスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、男女ともに「85歳以上」が多く該当する傾向がみられます、
また、男性については「85歳以上」が33.3%で最も高くなっています。

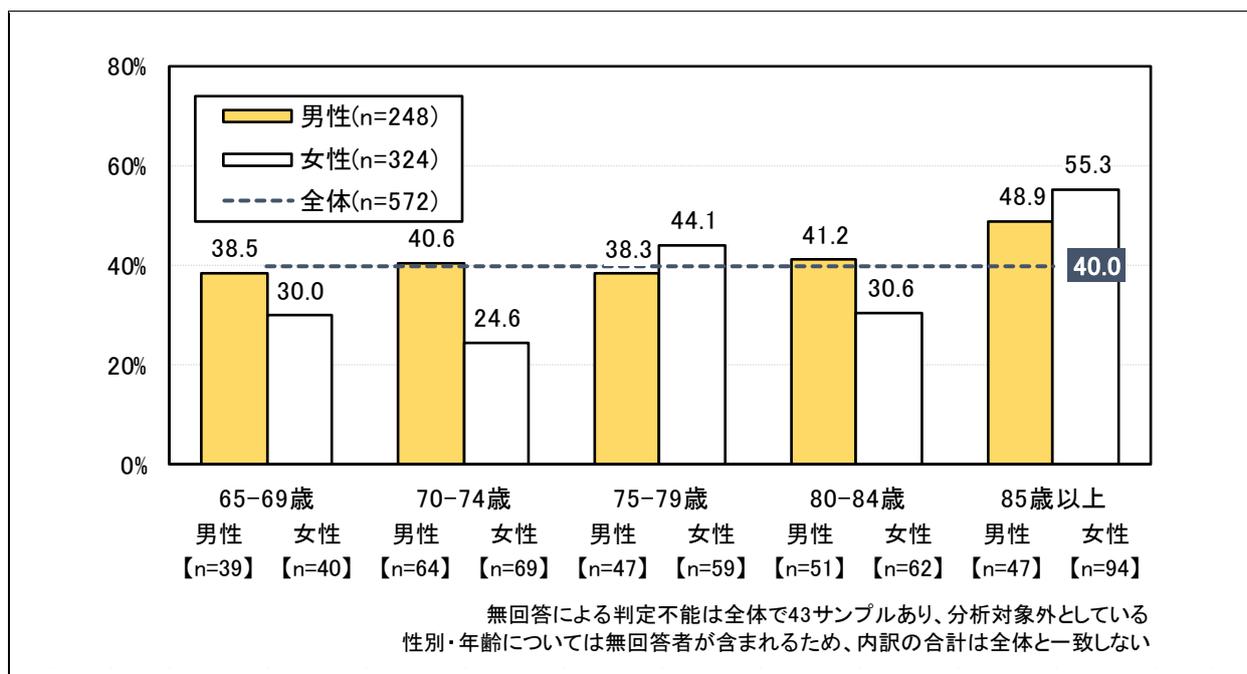
(10)社会的役割の低下

【リスク判定方法】

下記の設問で、4点満点中、3点以下を「低下」として評価します。

社会的役割は、仲間と会食の機会を持ったり、地域の活動に参加したりするなど、地域で社会的な役割を果たすことです。

設問内容	選択肢
友人の家を訪ねていますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点
家族や友人の相談にのっていますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点
病人を見舞うことができますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点
若い人に自分から話しかけることがありますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点



社会的役割の低下リスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、男性は年齢階級における数値に大きな差が見られません。

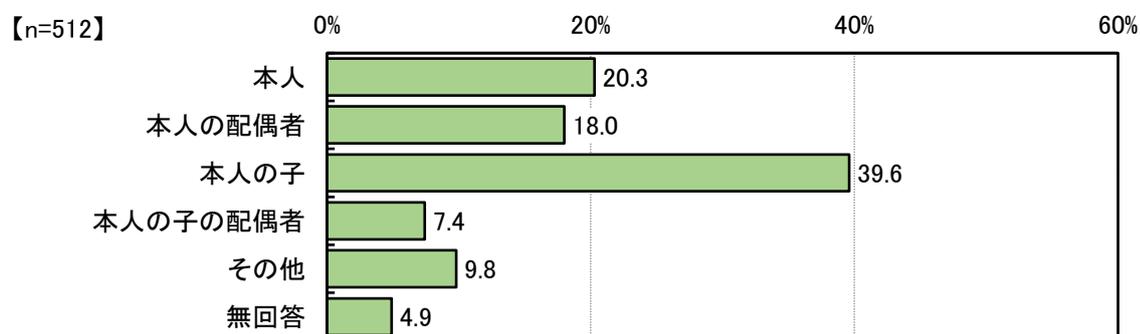
一方女性は、「85歳以上」では55.3%最も高い数値となっています。

Ⅱ 要介護認定者調査

II 要介護認定者調査

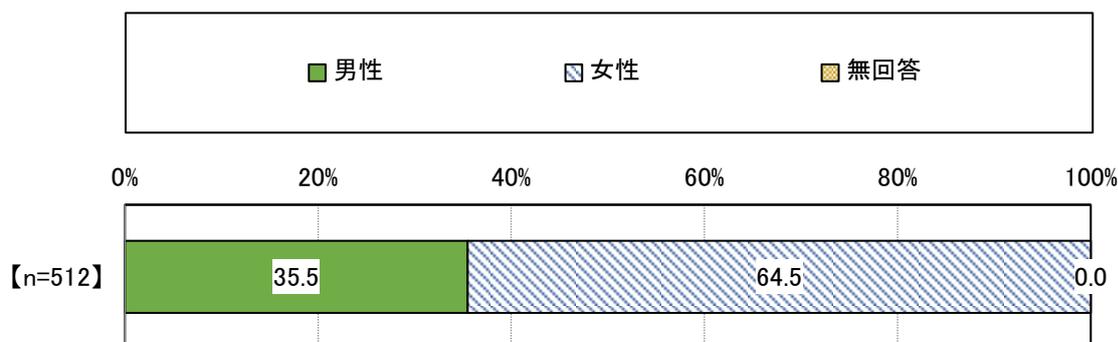
本人について

調査票を記入されるのはどなたですか。[1つに○]



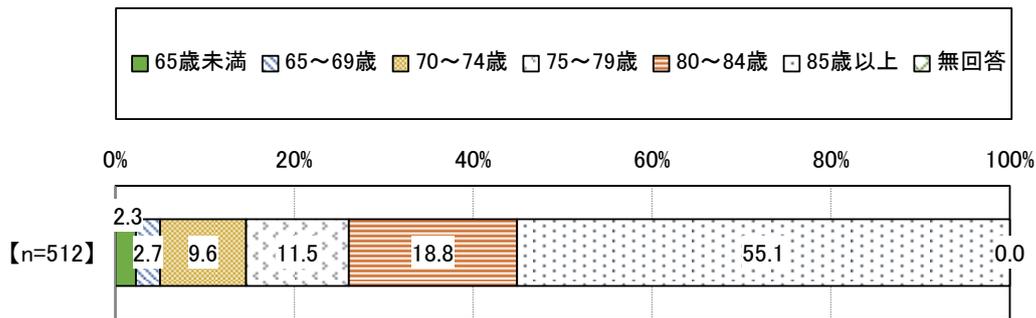
調査票記入者は、「本人の子」が 39.6%で最も多く、次いで「本人」(20.3%)、「本人の配偶者」(18.0%)となっています。

(1)性別は。[1つに○]



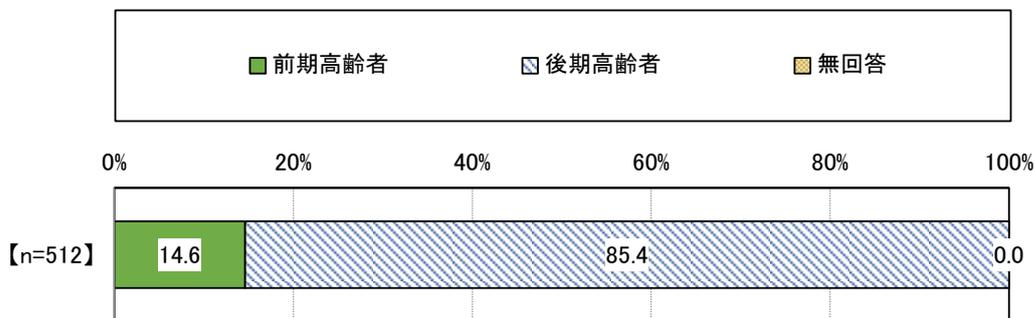
性別の構成は、「男性」が35.5%、「女性」が64.5%となっています。

(2)年齢は。[1つに〇] (平成 29 年 1 月 1 日現在)



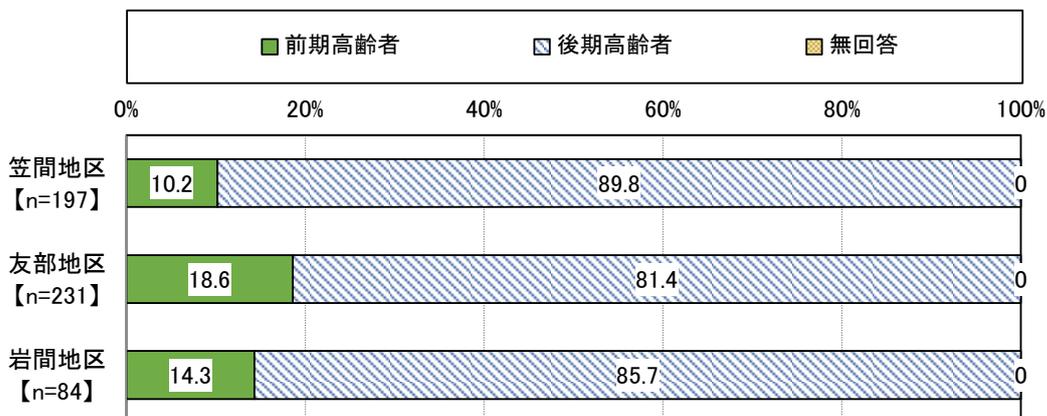
年齢構成は、「85歳以上」が55.1%で最も多く、次いで「80～84歳」(18.8%)、「75～79歳」(11.5%)となっています。

○前期高齢者・後期高齢者の割合



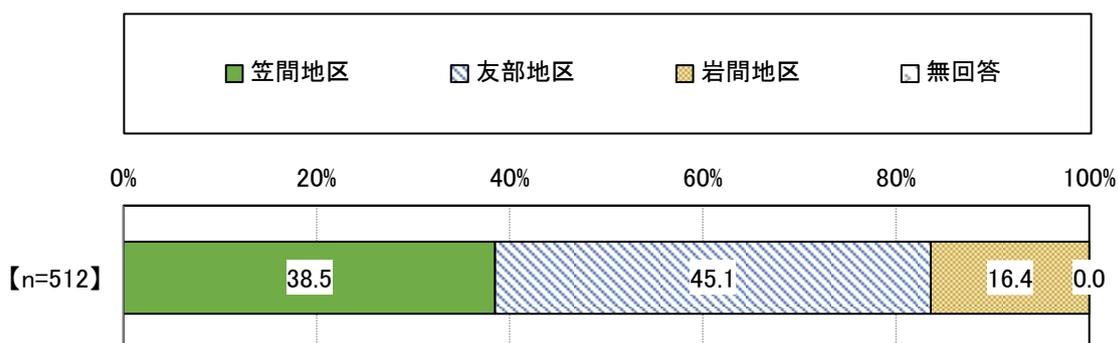
前期高齢者(65～74歳)の割合は14.6%、後期高齢者(75歳以上)の割合は85.4%となっています。

○地域別年齢



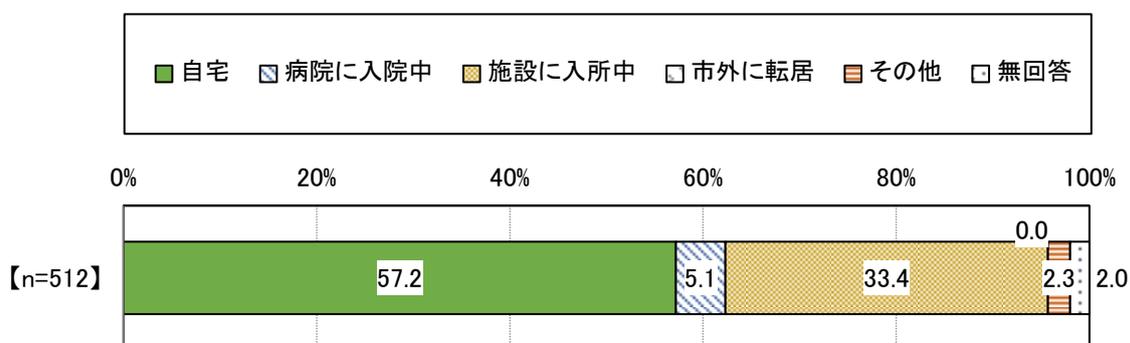
地域別に回答者の年齢をみると、どの地区でも後期高齢者(75歳以上)の回答の割合が高く、特に笠間地区が高くなっています。

(3)お住まいの地域はどこですか。[1つに○]



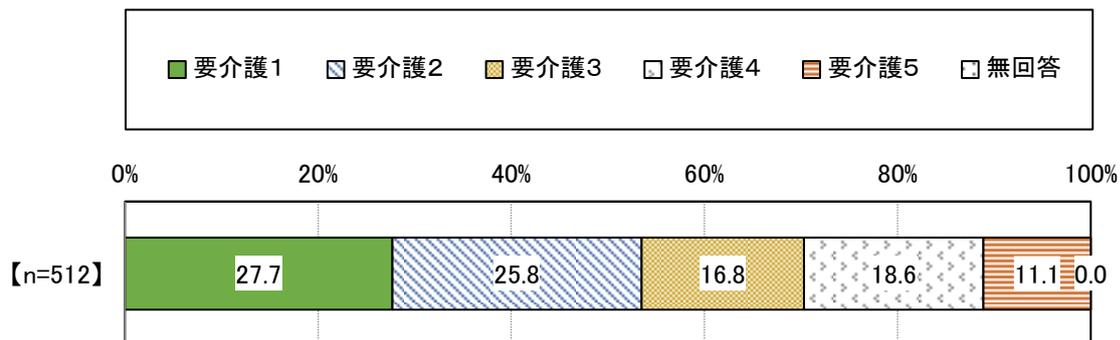
居住地区の構成は、「友部地区」が45.1%で最も多く、次いで「笠間地区」(38.5%)、「岩間地区」(16.4%)となっています。

(4)現在、ご本人はどちらで生活されていますか。[1つに○]



生活の状況については、「自宅」が 57.2%、「病院(または施設)に入院(入所)中」が 33.4%となっています。

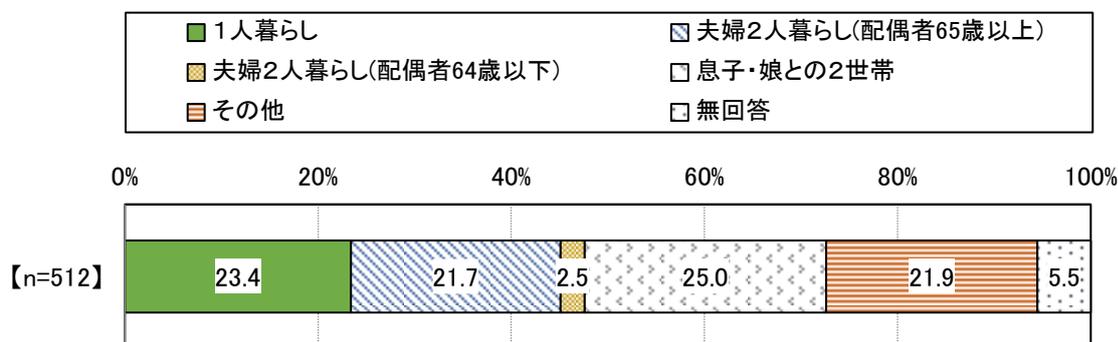
(5)現在、認定されている要介護度は。(要介護度は介護保険証に記載されています。)
[1つに○]



要介護認定状況については、「要介護1」が27.7%で最も多く、次いで「要介護2」(25.8%)、「要介護4」(18.6%)となっています。

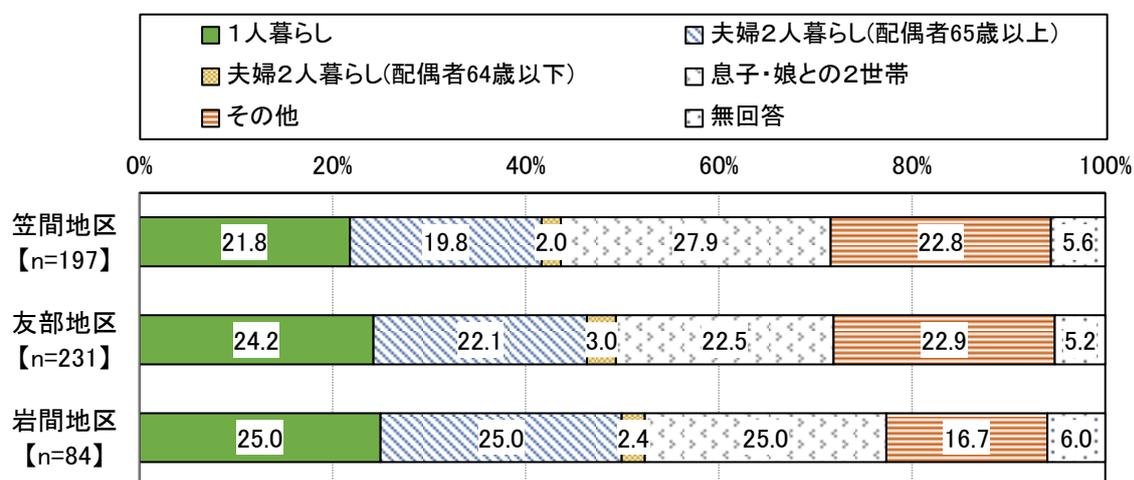
問1 家族や生活状況について

(1)家族構成をお教えてください。[1つに○]



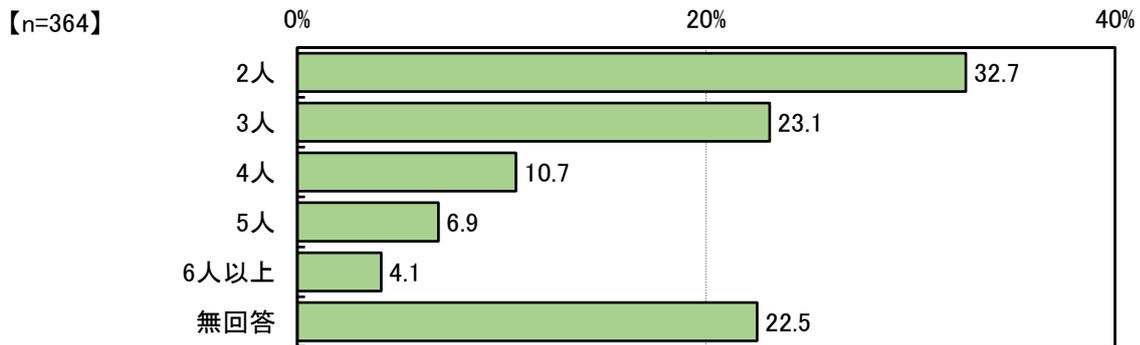
家族構成については、「息子・娘との2世帯」が25.0%で最も多く、次いで「1人暮らし」(23.4%)、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」(21.7%)となっています。

○地域別家族構成



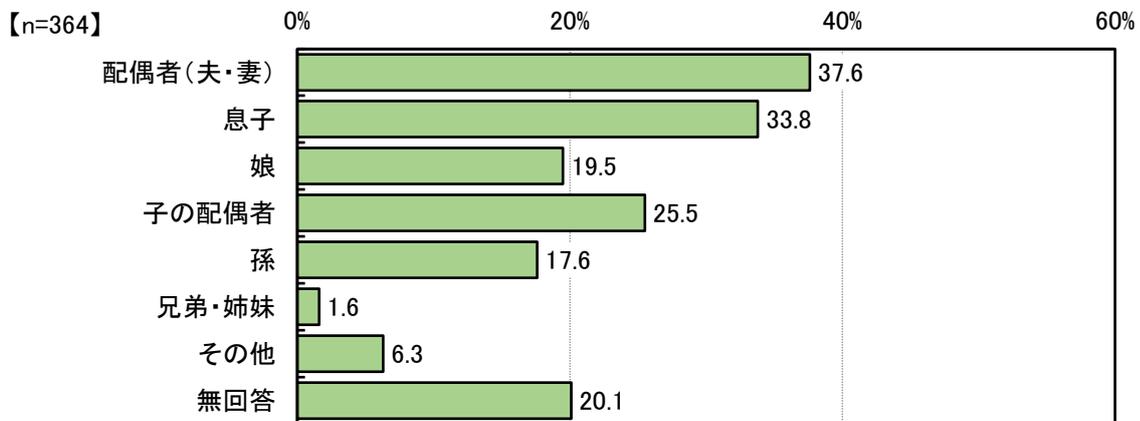
地域別に家族構成をみると、全体と同様の傾向がうかがえます。

(1)－① ご家族等と同居されている方のみ
宛名のご本人を含めて何人で暮らしていますか。



家族の同居人数については、「2人」が32.7%で最も多く、次いで「3人」(23.1%)、「4人」(10.7%)となっています。

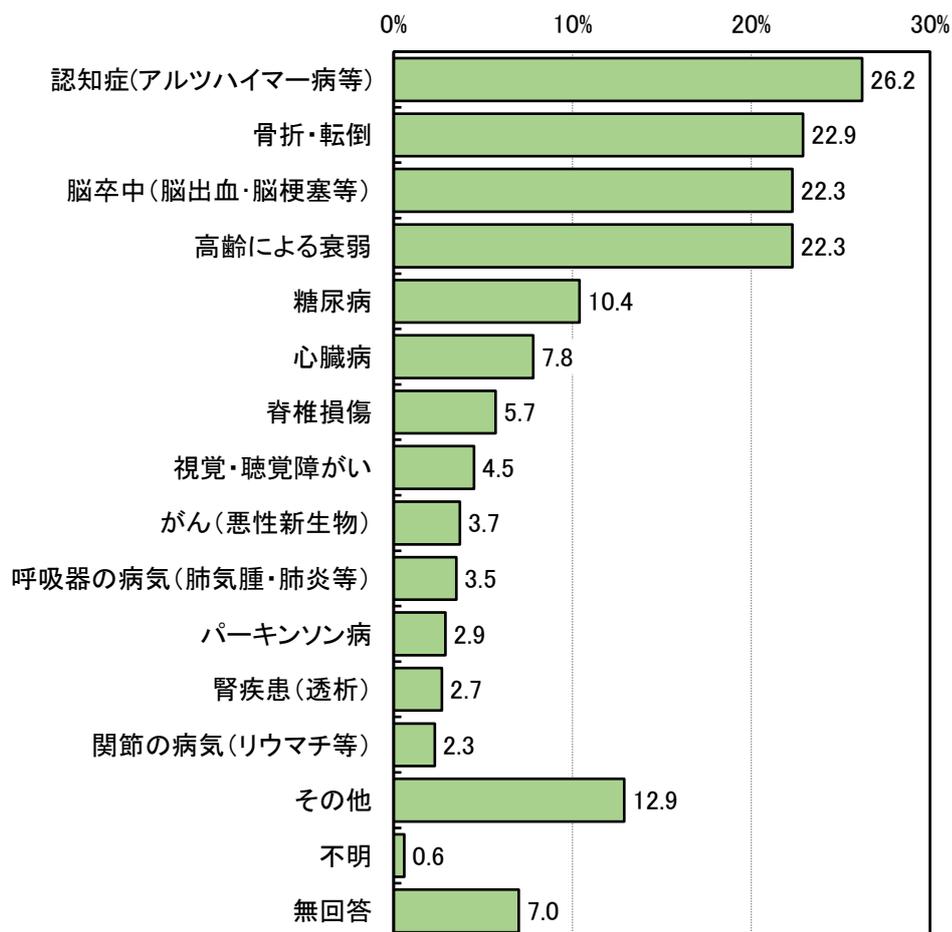
(1)－② ご家族等と同居されている方のみ
同居されている方はどなたですか。[あてはまるものすべてに○]



同居している家族については、「配偶者(夫・妻)」が37.6%で最も多く、次いで「息子」(33.8%)、「子の配偶者」(25.5%)となっています。

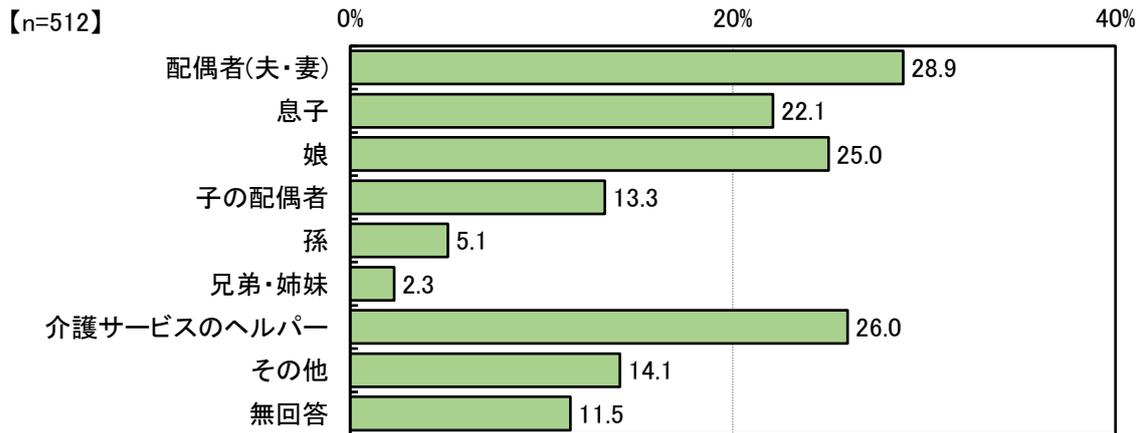
(2)介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。[あてはまるものすべてに○]

【n=512】



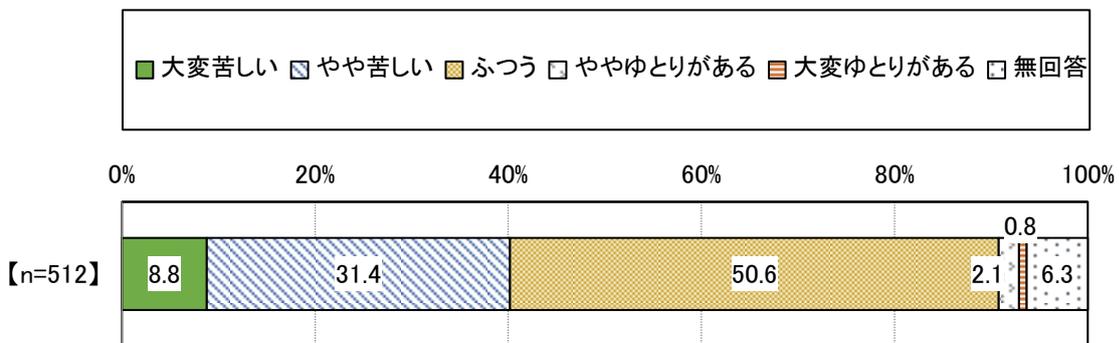
介護・介助が必要になった原因を尋ねたところ、「認知症(アルツハイマー病等)」が 26.2%で最も多く、次いで「骨折・転倒」(22.9%)、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」、「高齢による衰弱」(22.3%)となっています。

(2)－① 主にどなたの介護、介助を受けていますか。[あてはまるものすべてに○]



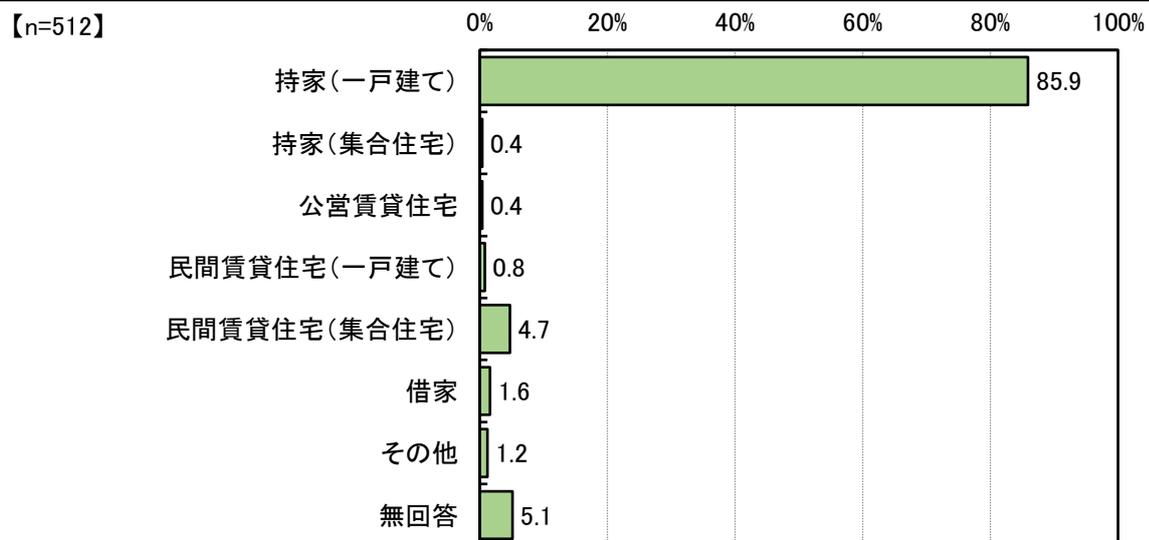
主な介護者・介助者を尋ねたところ、「配偶者(夫・妻)」が 28.9%で最も多く、次いで「介護サービスのヘルパー」(26.0%)、「娘」(25.0%)となっています。

(3)現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。[1つに○]



現在の暮らしの経済的状況では、「ふつう」が50.6%で最も多く、次いで「やや苦しい」(31.4%)、「大変苦しい」(8.8%)となっています。大別して、『生活が苦しいと感じている人の割合』(「大変苦しい」及び「やや苦しい」の合計)は40.2%で、『生活にゆとりがあると感じている人の割合』(「ややゆとりがある」及び「大変ゆとりがある」の合計)の2.9%を大幅に上回っています。

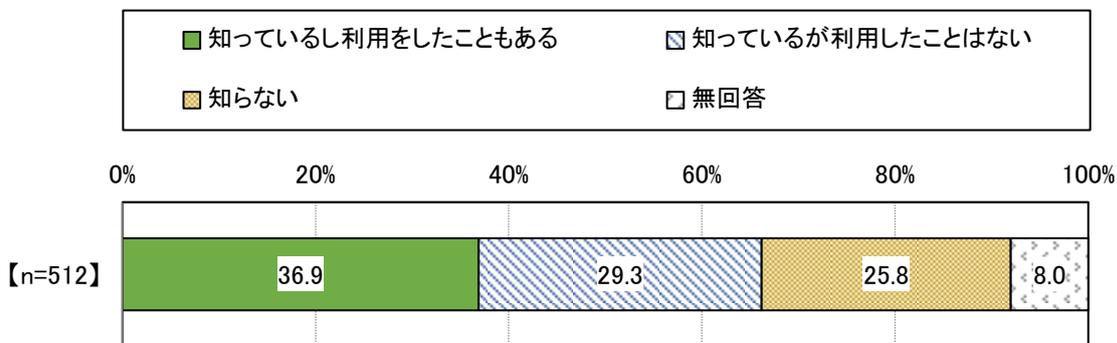
(4)お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。[1つに○]



住居の形態は、「持家(一戸建て)」が85.9%と最も多くなっています。

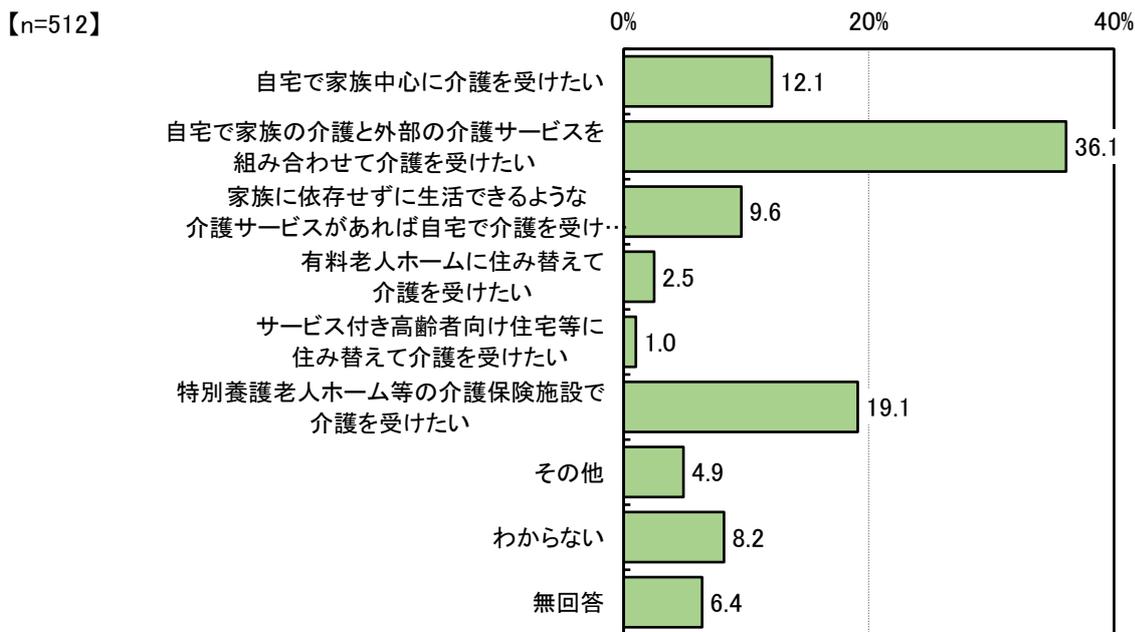
問2 日常生活全般について

(1)地域包括支援センターを知っていますか。[1つに○]
 ※地域包括支援センターとは、高齢者が住み慣れた地域で、保健、医療、介護等の必要なサービスを総合的、継続的に受けられるように設けられている、介護予防や高齢者の生活全般に関する相談窓口です。



地域包括支援センターを知っているか尋ねたところ、「知っているし利用をしたこともある」が36.9%で最も多く、次いで「知っているが利用したことはない」(29.3%)、「知らない」(25.8%)となっています。

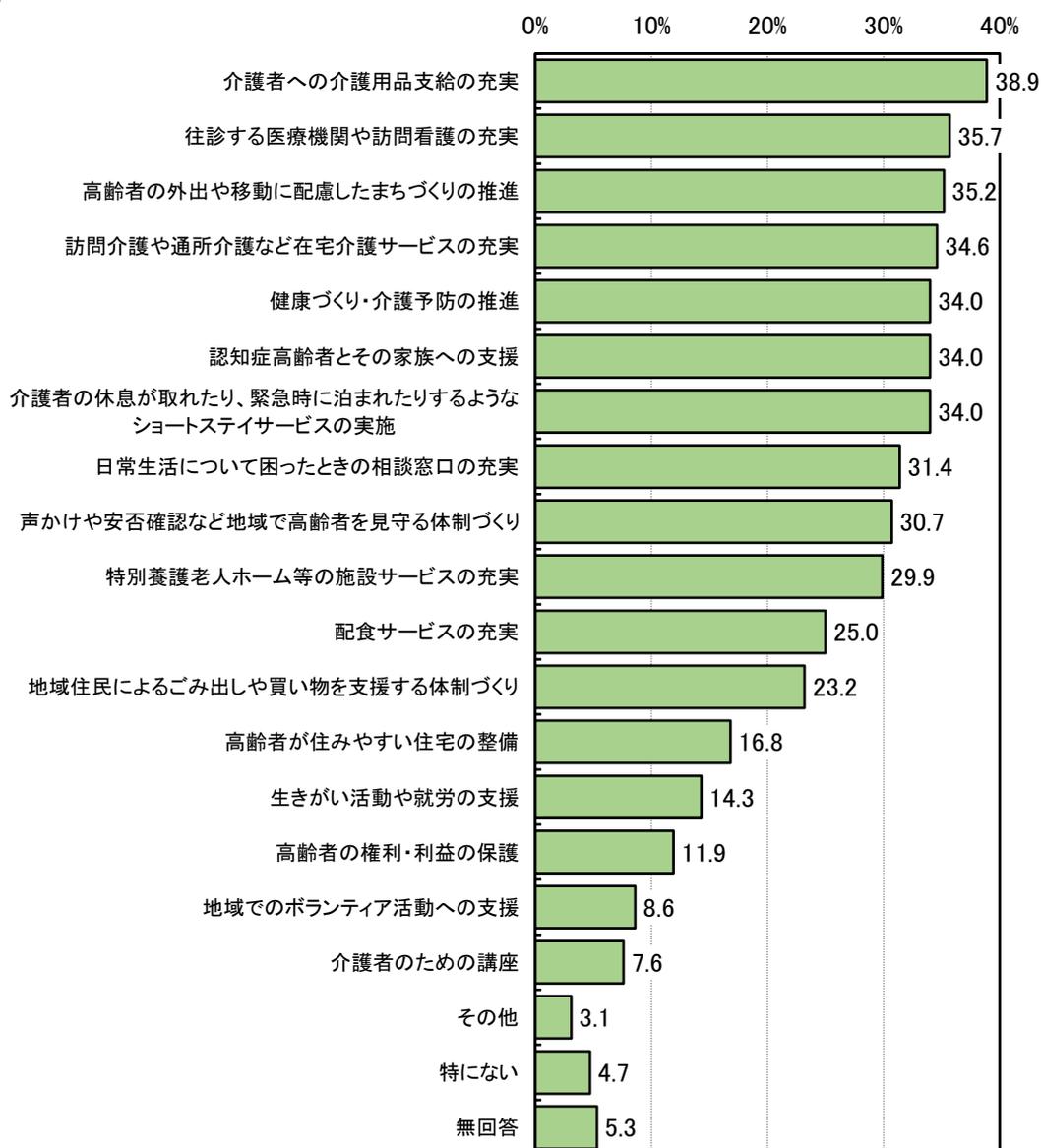
(2)あなたは、今後、どのような形で介護を受けたいですか。[1つに○]



今後どのような形で介護を受けたいか尋ねたところ、「自宅で家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい」が 36.1%で最も多く、次いで「特別養護老人ホーム等の介護保険施設で介護を受けたい」(19.1%)、「自宅で家族中心に介護を受けたい」(12.1%)となっています。

(3)高齢者の住みよいまちを作るために、今後、市においてはどのようなことに、力を入れていくべきだと思いますか。【あてはまるものすべてに○】

【n=512】



住み慣れた地域で暮らし続けられるようにするために、特に力を入れていくべきことでは、「介護者への介護用品支給の充実」が 38.9%で最も多く、次いで「往診する医療機関や訪問看護の充実」(35.7%)、「高齢者の外出や移動に配慮したまちづくりの推進」(35.2%)となっています。

○地域別住み慣れた地域で暮らし続けられるようにするために、特に力を入れていくべきこと

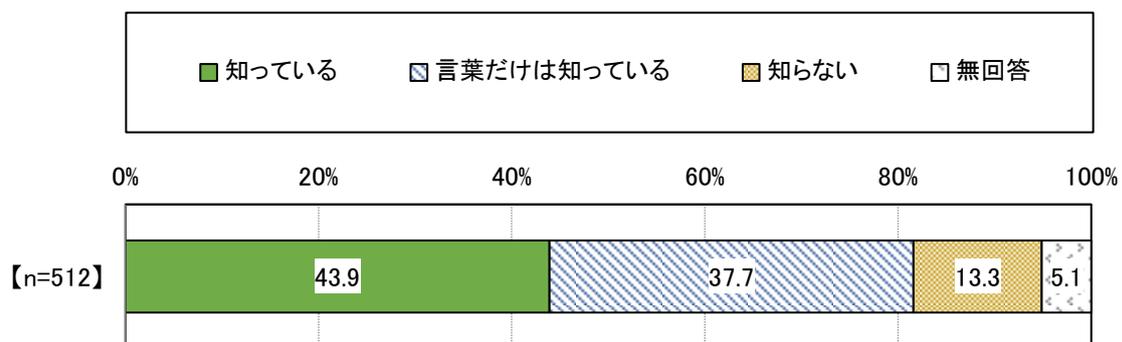
地域別で住み慣れた地域で暮らし続けられるようにするために、特に力を入れていくべきことをみると、笠間地区では「介護者への介護用品支給の充実」が 38.1%で最も多く、「健康づくり・介護予防の推進」(37.6%)、「往診する医療機関や訪問看護の充実」(36.5%)となっています。

友部地区では「高齢者の外出や移動に配慮したまちづくりの推進」が 37.7%で最も多く、「介護者への介護用品支給の充実」(36.8%)、「往診する医療機関や訪問看護の充実」(35.9%)となっています。

岩間地区では「介護者への介護用品支給の充実」が 46.4%で最も多く、「訪問介護や通所介護など在宅介護サービスの充実」(41.7%)、「認知症高齢者とその家族への支援」(39.3%)となっています。

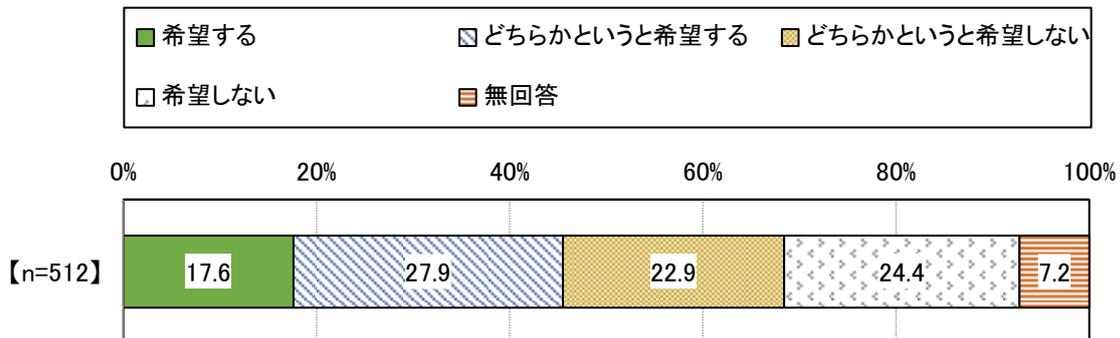
	全体 【n=512】	笠間地区 【n=197】	友部地区 【n=231】	岩間地区 【n=84】
介護者への介護用品支給の充実	38.9	38.1	36.8	46.4
往診する医療機関や訪問看護の充実	35.7	36.5	35.9	33.3
高齢者の外出や移動に配慮したまちづくりの推進	35.2	33.0	37.7	33.3
訪問介護や通所介護など在宅介護サービスの充実	34.6	33.5	32.9	41.7
健康づくり・介護予防の推進	34.0	37.6	33.3	27.4
認知症高齢者とその家族への支援	34.0	34.0	32.0	39.3
介護者の休息が取れたり、緊急時に泊まれたりするようなショートステイサービスの実施	34.0	32.5	34.6	35.7
日常生活について困ったときの相談窓口の充実	31.4	29.4	33.3	31.0
声かけや安否確認など地域で高齢者を見守る体制づくり	30.7	31.5	30.7	28.6
特別養護老人ホーム等の施設サービスの充実	29.9	27.9	30.7	32.1
配食サービスの充実	25.0	21.8	25.5	31.0
地域住民によるごみ出しや買い物支援する体制づくり	23.2	22.8	22.1	27.4
高齢者が住みやすい住宅の整備	16.8	16.2	14.7	23.8
生きがい活動や就労の支援	14.3	16.8	12.1	14.3
高齢者の権利・利益の保護	11.9	10.7	11.7	15.5
地域でのボランティア活動への支援	8.6	9.6	6.9	10.7
介護者のための講座	7.6	8.1	7.4	7.1
その他	3.1	2.0	3.5	4.8
特になし	4.7	2.5	5.2	8.3
無回答	5.3	4.6	5.2	7.1

(4) 医師や看護師等の訪問を受けながら居住の場(自宅・有料老人ホーム等)で治療・療養する医療のあり方を「在宅医療」といいますが、あなたはこの「在宅医療」についてご存知ですか。
[1つに○]



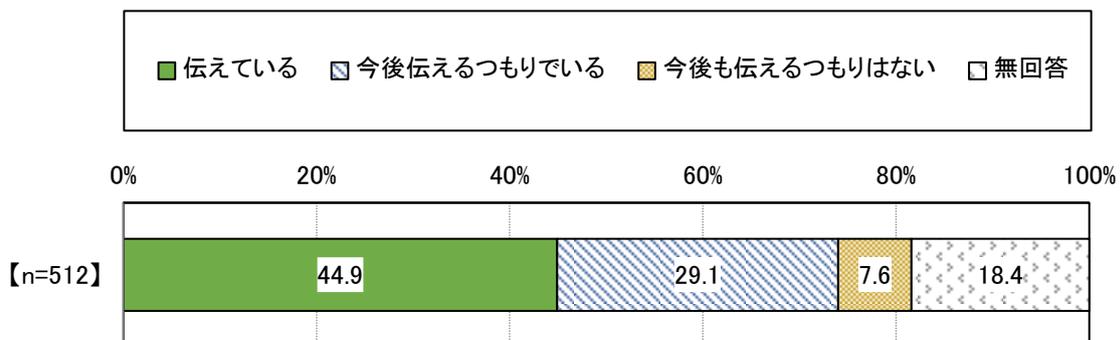
在宅医療を知っているか尋ねたところ、「知っている」が43.9%で最も多く、次いで「言葉だけは知っている」(37.7%)、「知らない」(13.3%)となっています。

(5)仮にあなたが、病気やけがで長期の治療・療養が必要になった場合、入院せず在宅での医療を希望しますか。[1つに○]



あなたが、病気やケガで長期の治療・療養が必要になった場合、在宅医療を希望するか尋ねたところ、「どちらかという并希望する」が 27.9%で最も多く、次いで「希望しない」(24.4%)、「どちらかという并希望しない」(22.9%)となっています。

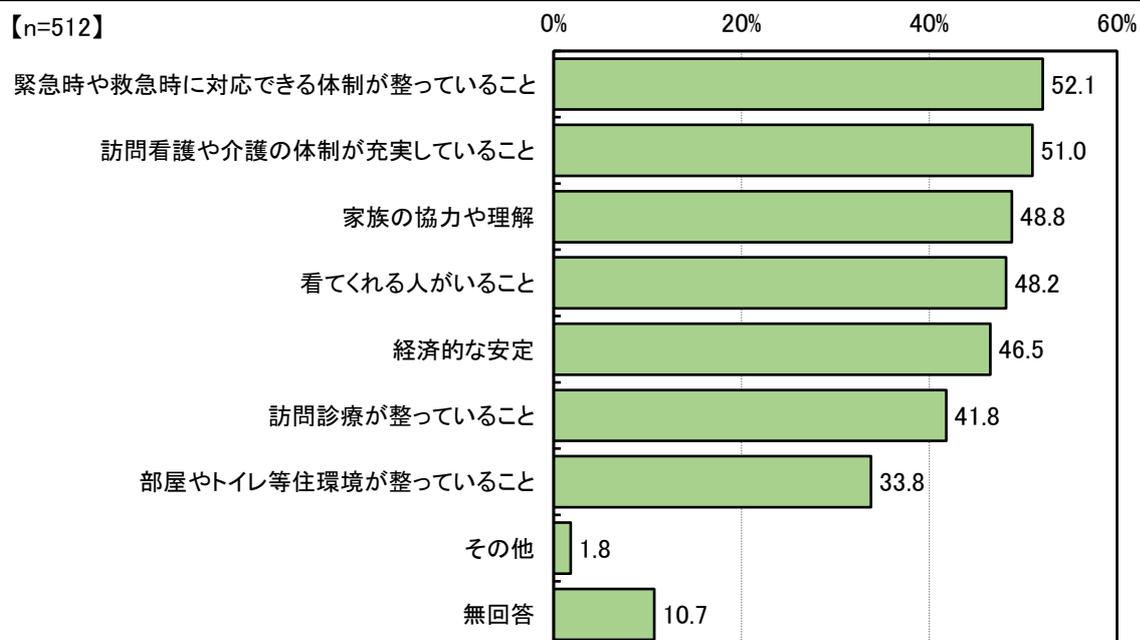
(5)－① (5)で答えた自分の意向を、家族や周囲の人に伝えていきますか。[1つに○]



在宅医療に関する自分の意向を家族や周囲の人に伝えているか尋ねたところ、「伝えている」が 44.9%で最も多く、次いで「今後伝えるつもりでいる」(29.1%)、「今後も伝えるつもりはない」(7.6%)となっています。

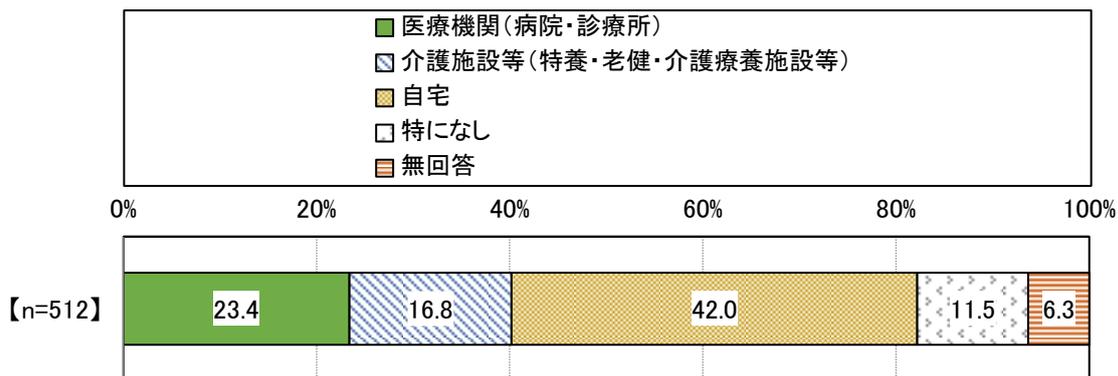
(5)－② 地域でどのような体制が整えば在宅医療が可能になると思いますか。

[あてはまるものすべてに○]



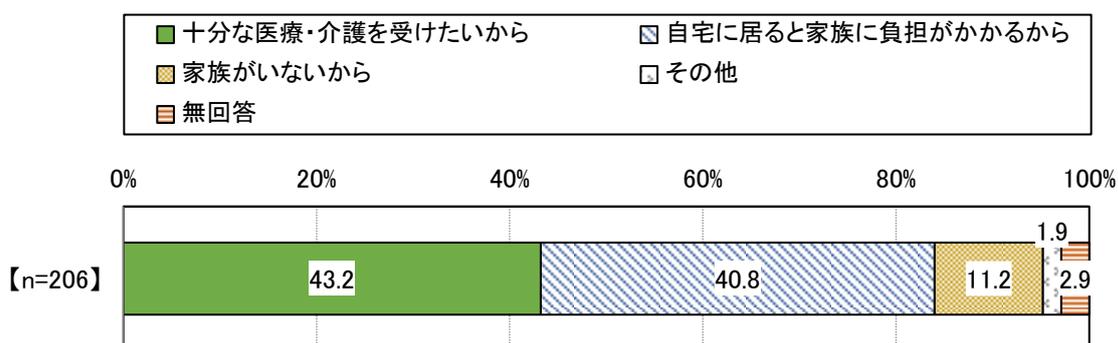
地域でどのような体制が整えば在宅医療が可能になると思うか尋ねたところ、「緊急時や救急時に対応できる体制が整っていること」が 52.1%で最も多く、次いで「訪問看護や介護の体制が充実していること」(51.0%)、「家族の協力や理解」(48.8%)となっています。

(6)あなた自身が最期を迎える場所として、希望する所をお選びください。[1つに○]



将来、最期を迎える場所として、医療機関(病院や診療所)と、居住の場のどちらを希望するか尋ねたところ、「自宅」が 42.0%で最も多く、次いで「医療機関(病院・診療所)」(23.4%)、「介護施設等(特養・老健・介護療養施設等)」(16.8%)となっています。

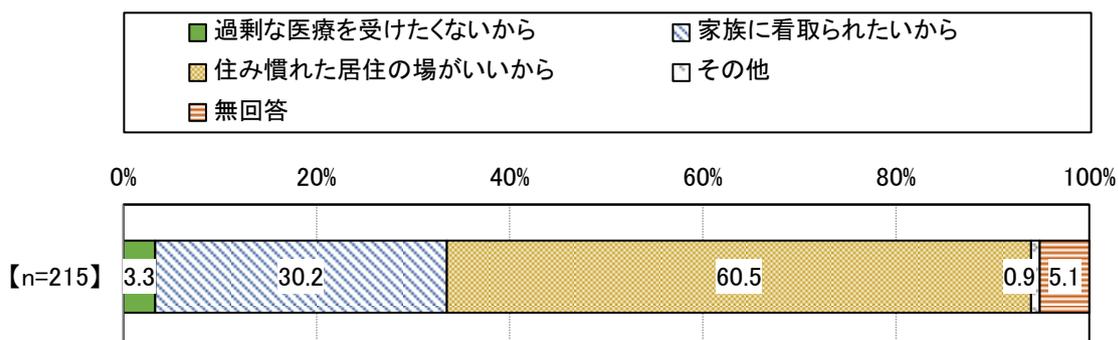
【(6)で「医療機関(病院・診療所)」、「2. 介護施設等(特養・老健・介護療養施設等)」と答えた方のみ】(6)－① それはなぜですか。今のお考えに一番近いものをお選びください。[1つに○]



将来、最期を迎える場所として、医療機関(病院・診療所)、介護施設等(特養・老健・介護療養施設等)と答えた理由を尋ねたところ、「十分な医療・介護を受けたいから」が43.2%で最も多く、次いで「自宅に居ると家族に負担がかかるから」(40.8%)、「家族がいないから」(11.2%)となっています。

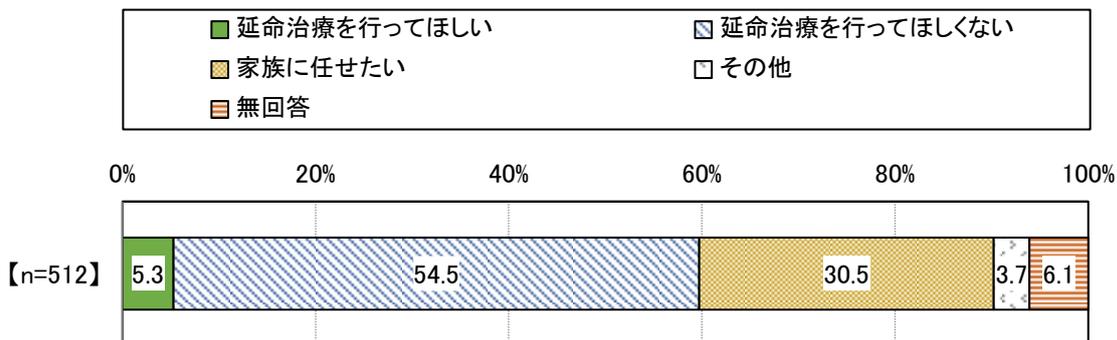
【(6)で「3. 自宅」と答えた方のみ】

(6)－② それはなぜですか。今のお考えに一番近いものをお選びください。[1つに○]



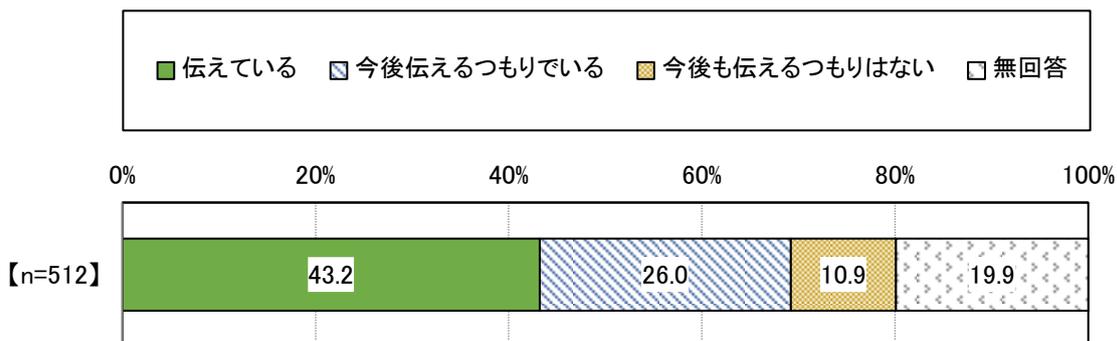
将来、最期を迎える場所として、自宅と答えた理由を尋ねたところ、「住み慣れた居住の場がいいから」が60.5%で最も多く、次いで「家族に看取られたいから」(30.2%)、「過剰な医療を受けたくないから」(3.3%)となっています。

(7)延命治療(回復の見込みがなく、死期が迫っている患者への生命維持のための治療行為)について、あなた自身の現時点でのお考えを教えてください。[1つに○]



延命治療(回復の見込みがなく、死期が迫っている患者への生命維持のための治療行為)について、の現時点でのお考えを尋ねたところ、「延命治療を行ってほしくない」が54.5%で最も多く、次いで「家族に任せたい」(30.5%)、「延命治療を行ってほしい」(5.3%)となっています。

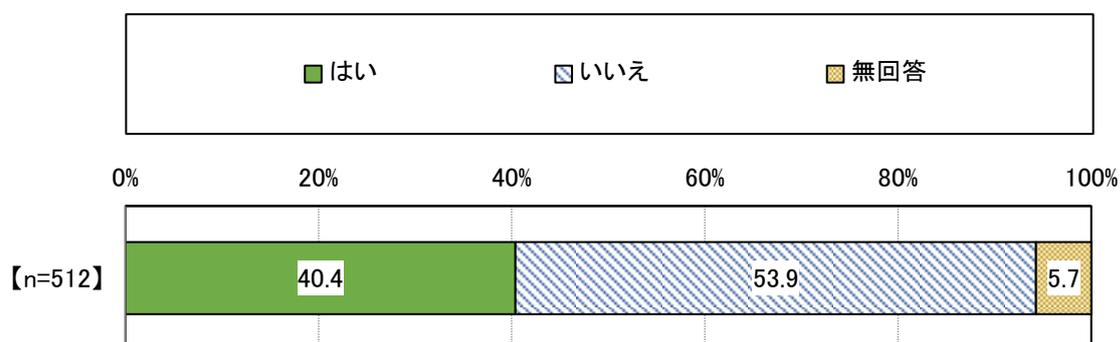
(7)－① (7)で答えた延命治療に対する自分の意向を、家族や周囲の人に伝えていますか。[1つに○]



延命治療に対する自分の意向を、家族や周囲の人に伝えているか尋ねたところ、「伝えている」が43.2%で最も多く、次いで「今後伝えるつもりでいる」(26.0%)、「今後も伝えるつもりはない」(10.9%)となっています。

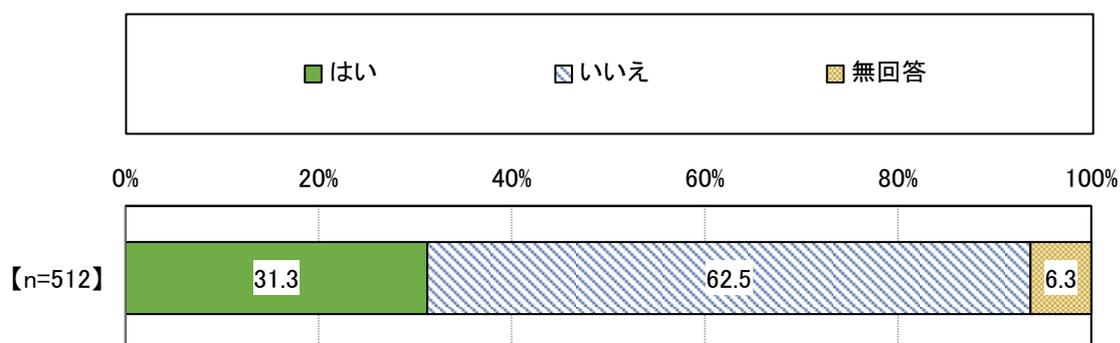
問3 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。[1つに○]



認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかについて尋ねたところ、「はい」が40.4%、「いいえ」が53.9%となっています。

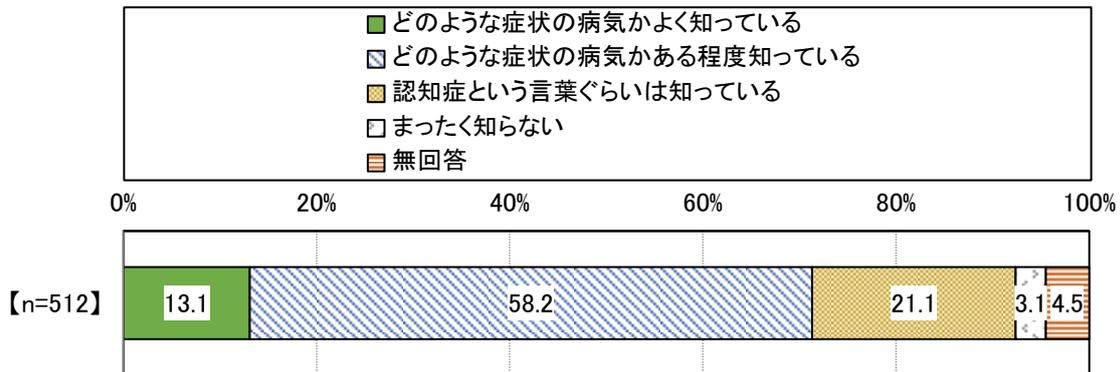
(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。[1つに○]



認知症に関する相談窓口を知っているかについて尋ねたところ、「はい」が31.3%、「いいえ」が62.5%となっています。

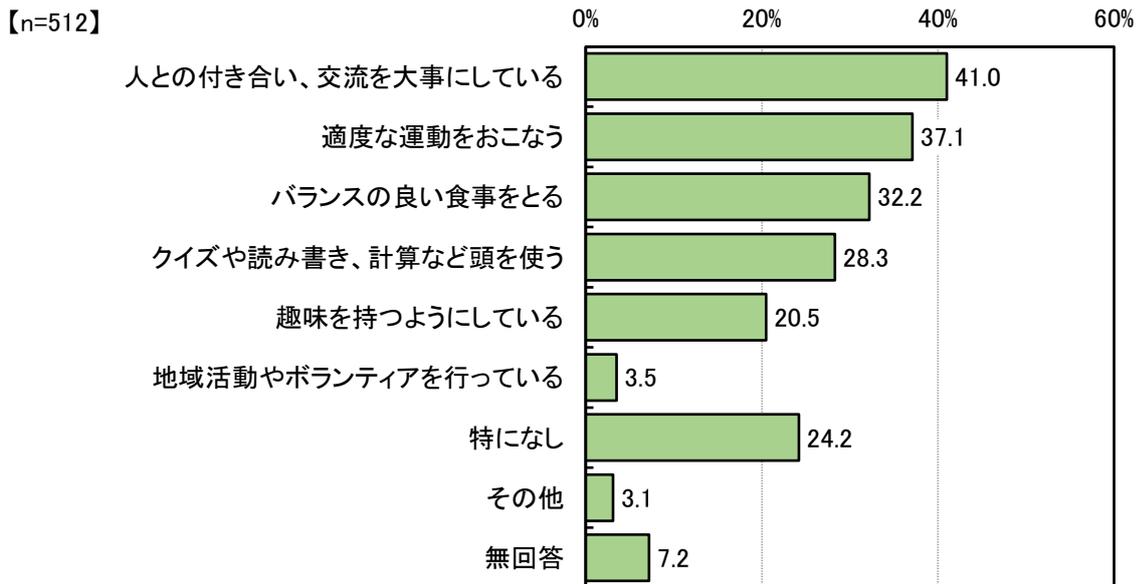
問4 認知症の予防と施策について

(1)あなたは、認知症という病気について、どの程度ご存知ですか。[1つに○]



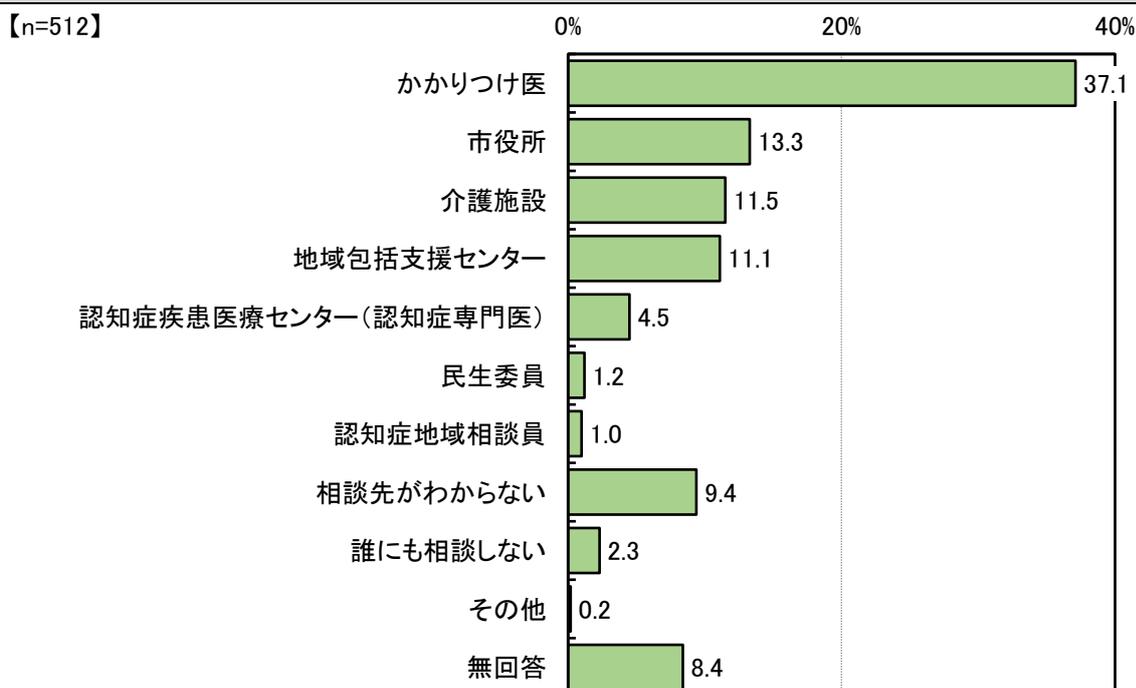
認知症という病気について、どの程度ご存知か尋ねたところ、「どのよう症状の病気がある程度知っている」が58.2%で最も多く、次いで「認知症という言葉ぐらいは知っている」(21.1%)、「どのよう症状の病気がよく知っている」(13.1%)となっています。

(2)認知症を予防するために、ご自身が取り組んでいること(心がけ)はありますか。[あてはまるものすべてに○]



認知症を予防するために、ご自身が取り組んでいることについて尋ねたところ、「人との付き合い、交流を大事にしている」が41.0%で最も多く、次いで「適度な運動をおこなう」(37.1%)、「バランスの良い食事をとる」(32.2%)、「クイズや読み書き、計算など頭を使う」(28.3%)となっています。

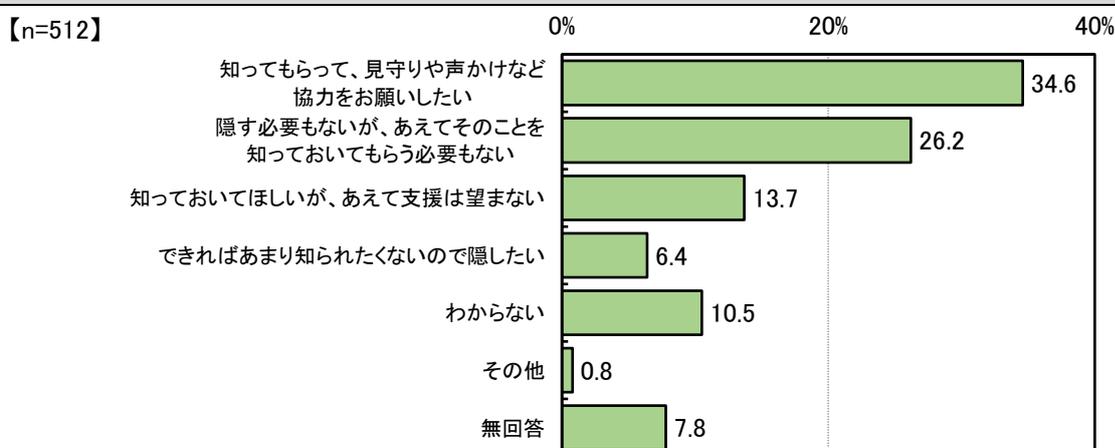
(3)あなたやあなたの家族が認知症の疑いがあるとき、家族、知人以外で最初にどこに相談しますか。[1つに○]



あなたやあなたの家族が認知症の疑いがあるとき、家族、知人以外で最初にどこに相談するか尋ねたところ、「かかりつけ医」が37.1%で最も多く、次いで「市役所」(13.3%)、「介護施設」(11.5%)となっています。

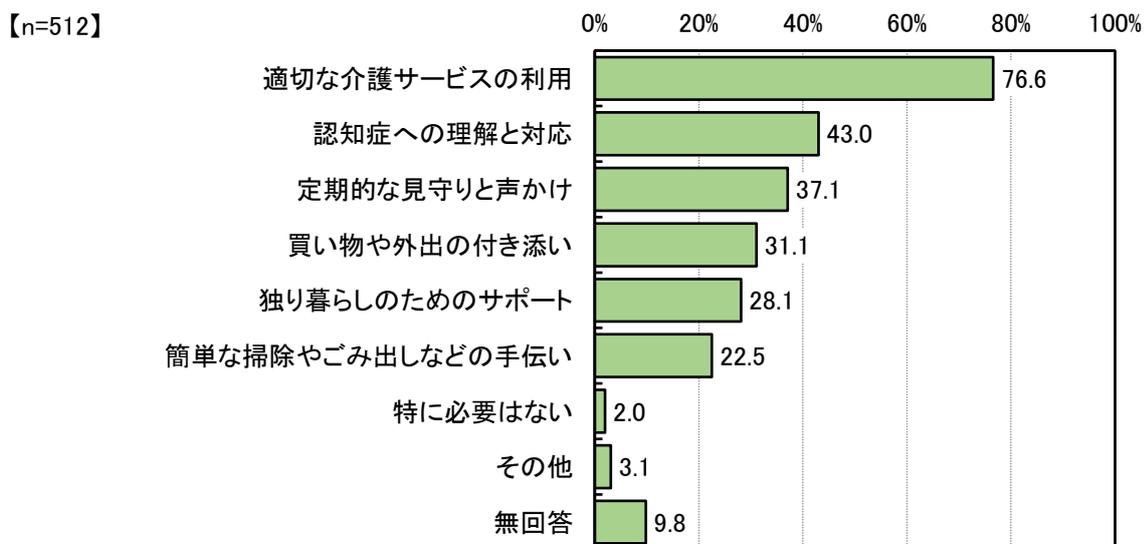
また、9.4%が「相談先がわからない」と回答しています。

(4)もし、あなたの家族が認知症になったら、そのことを近所の人に知ってもらおうと思いますか。[1つに○]



あなたの家族が認知症になったら、そのことを近所の人に知ってもらおうと思いますか尋ねたところ、「知ってもらって、見守りや声かけなど協力をお願いしたい」が34.6%で最も多く、次いで「隠す必要もないが、あえてそのことを知っておいてもらう必要もない」(26.2%)、「知っておいてほしいが、あえて支援は望まない」(13.7%)となっています。

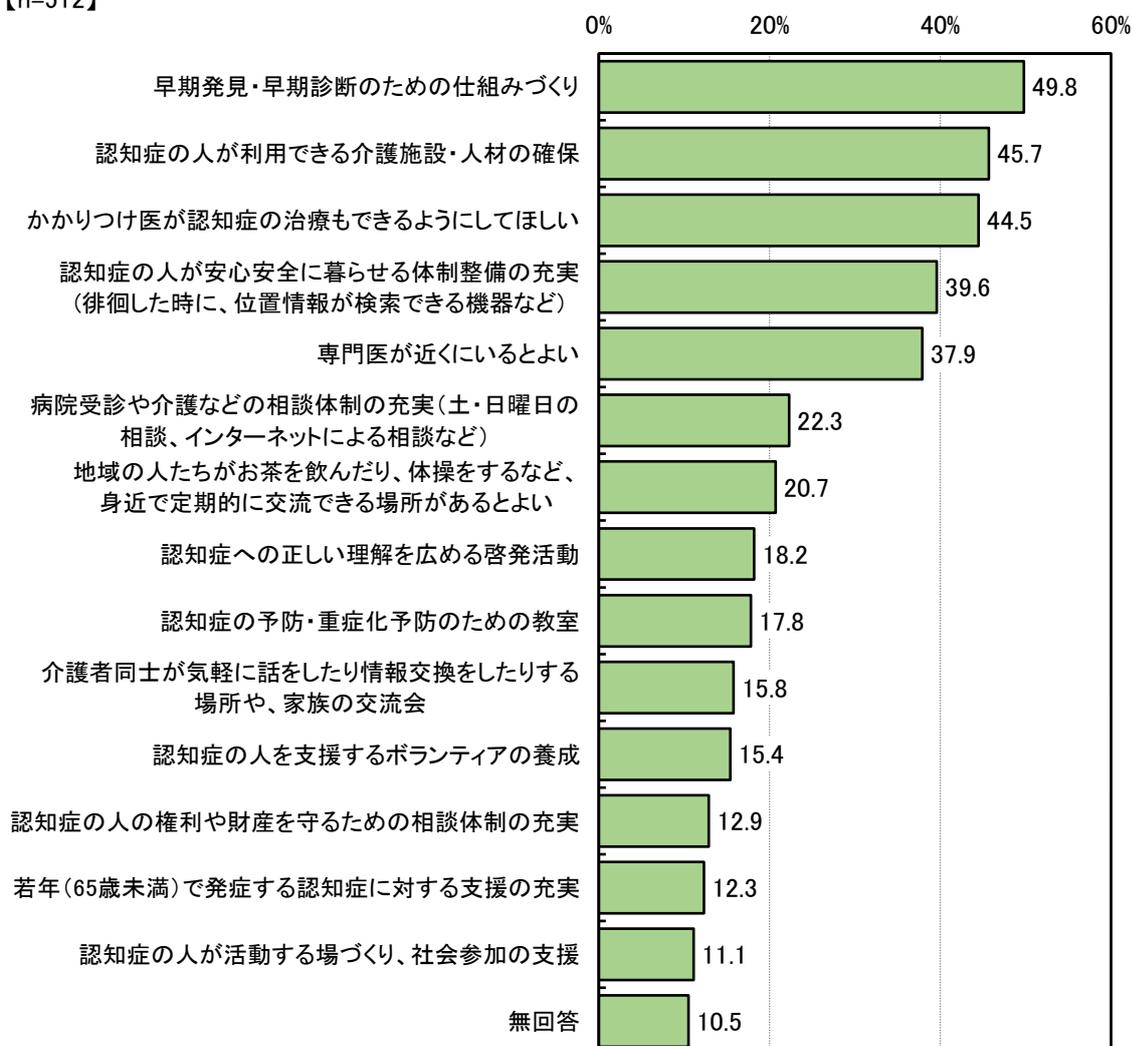
(5)あなたやあなたの家族が認知症になっても自宅で暮らしていくためには、どのようなことが必要になると思いますか。[あてはまるものすべてに○]



あなたやあなたの家族が認知症になっても自宅で暮らしていくためには、どのようなことが必要になるかについて尋ねたところ、「適切な介護サービスの利用」が76.6%で最も多く、次いで「認知症への理解と対応」(43.0%)、「定期的な見守りと声かけ」(37.1%)となっています。

(6) 今後、認知症施策を進めていくうえで、どのようなことに重点を置くべきだと思いますか。
 [あてはまるものすべてに○]

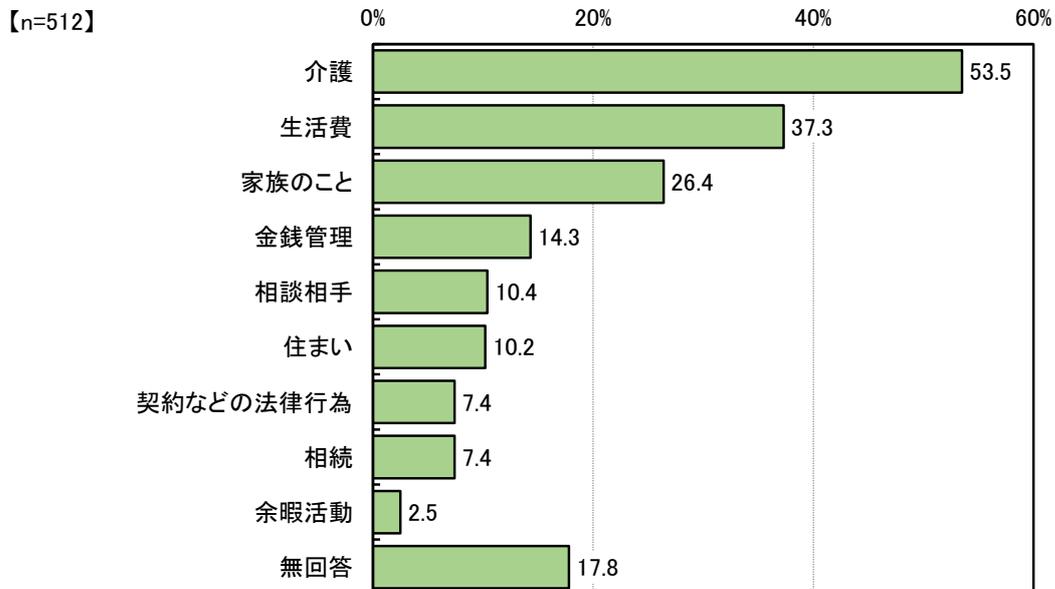
【n=512】



認知症対策を進めていくうえで、どのようなことに重点を置くべきか尋ねたところ、「早期発見・早期診断のための仕組みづくり」が 49.8%で最も多く、次いで「認知症の人が利用できる介護施設・人材の確保」(45.7%)、「かかりつけ医が認知症の治療もできるようにしてほしい」(44.5%)となっています。

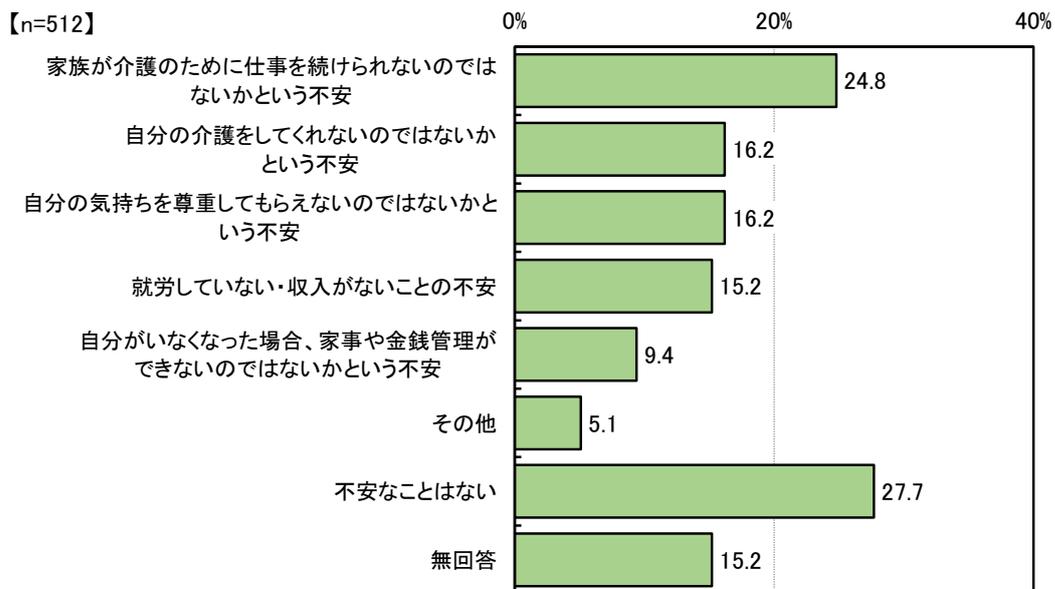
問5 生活上の不安、将来心配に思うことについて

(1)あなたの今後の生活について、不安に感じることは何ですか。[あてはまるものすべてに○]



今後の生活での不安に感じることについて尋ねたところ、「介護」が53.5%で最も多く、次いで「生活費」(37.3%)、「家族のこと」(26.4%)となっています。

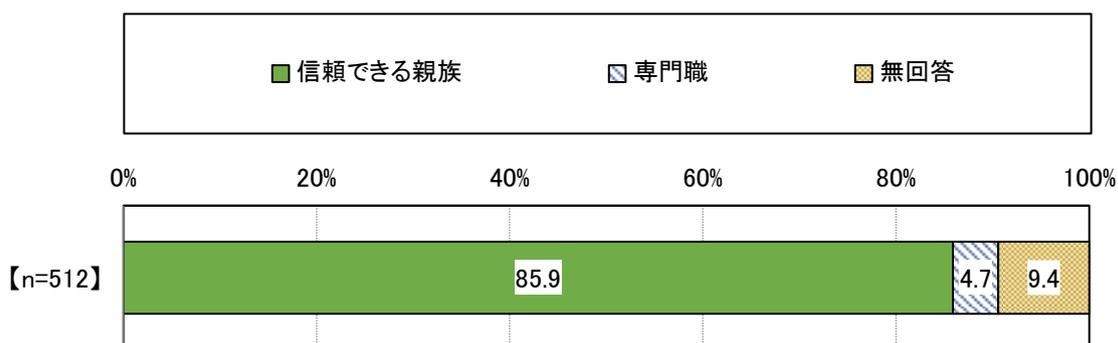
(2)家族について不安なことがありますか。[あてはまるものすべてに○]



家族について不安なことを尋ねたところ、「家族が介護のために仕事を続けられないのではないかと不安」が24.8%で最も多く、次いで「自分の介護をしてくれないのではないかと不安」、「自分の気持ちを尊重してもらえないのではないかと不安」(同率16.2%)となっています。

また、27.7%は「不安なことはない」と回答しています。

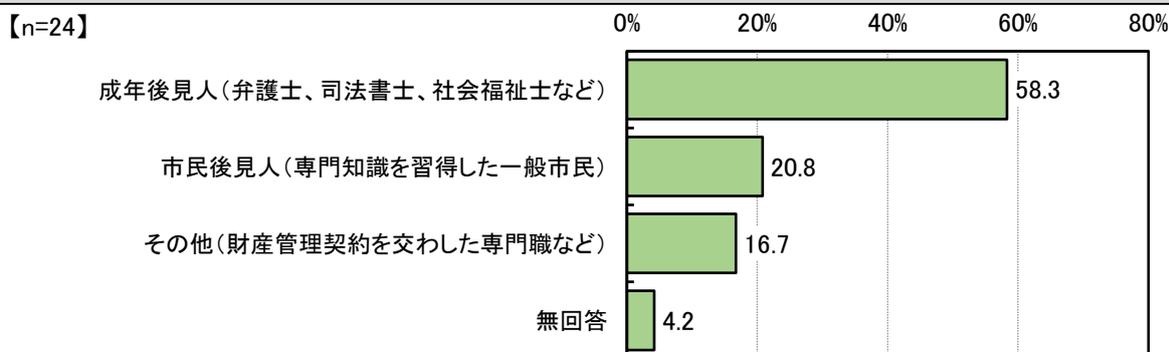
(3)自分で金銭管理ができなくなった場合、誰にお願いしたいですか。[1つに○]



自分で金銭管理ができなくなった場合、誰にお願いしたいか尋ねたところ、「信頼できる家族」が85.9%、「専門職」が4.7%となっています。

【(3)で「2.専門職」と答えた方のみ】

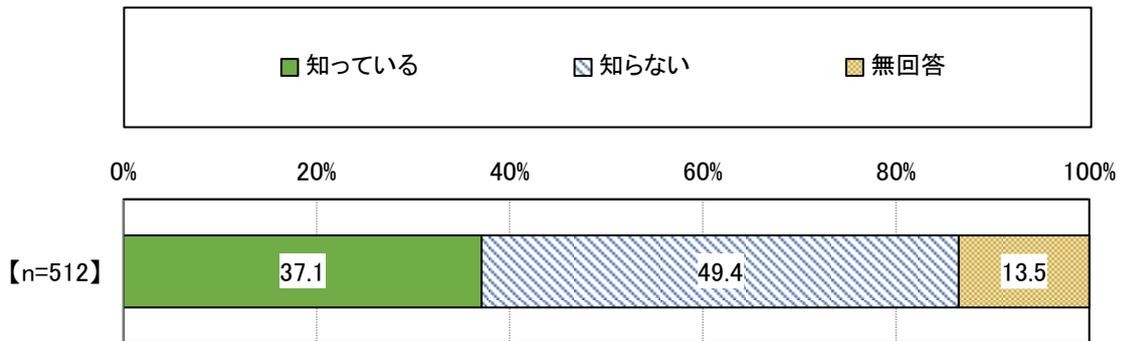
(3)－① どのような専門職を希望しますか。[1つに○]



どのような専門家か尋ねたところ、「成年後見人(弁護士、司法書士、社会福祉士など)」が58.3%で最も多く、次いで「市民後見人(専門知識を習得した一般市民)」(20.8%)、「その他(財産管理契約を交わした専門職など)」(16.7%)となっています。

(4) 成年後見制度の内容をご存知ですか。[1つに○]

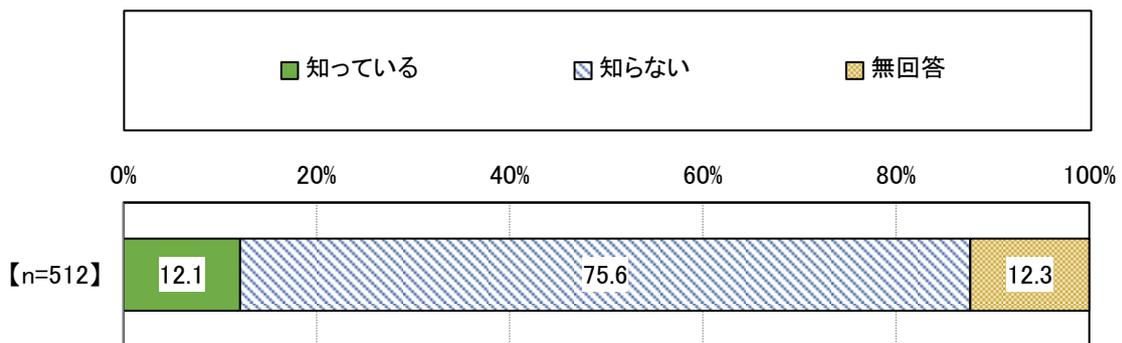
※成年後見制度とは、認知症、知的障がい、精神障がい等によって判断能力が十分でない方について、法律に基づき家庭裁判所が本人の権利を守る援助者(成年後見人等)を選ぶことで本人の権利の保護、財産管理を支援する制度です。



成年後見制度の内容を知っているか尋ねたところ、「知っている」が37.1%、「知らない」が49.4%となっています。

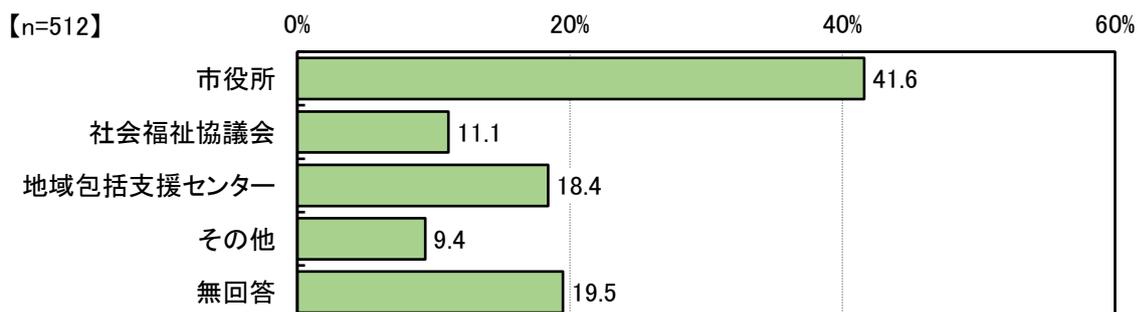
(5) 地域包括支援センターが成年後見制度利用促進の中核機関であることをご存じですか。

[1つに○]



地域包括支援センターが成年後見制度利用促進の中核機関であることを知っているか尋ねたところ、「知っている」が12.1%、「知らない」が75.6%となっています。

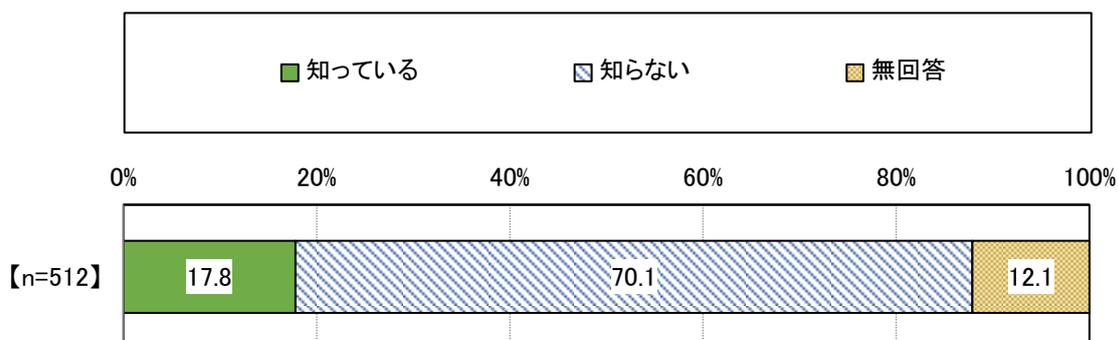
(6) 成年後見制度について、どこに相談しますか。[1つに○]



成年後見制度について、どこに相談したいか尋ねたところ、「市役所」が41.6%で最も多く、次いで「地域包括支援センター」(18.4%)、「社会福祉協議会」(11.1%)となっています。

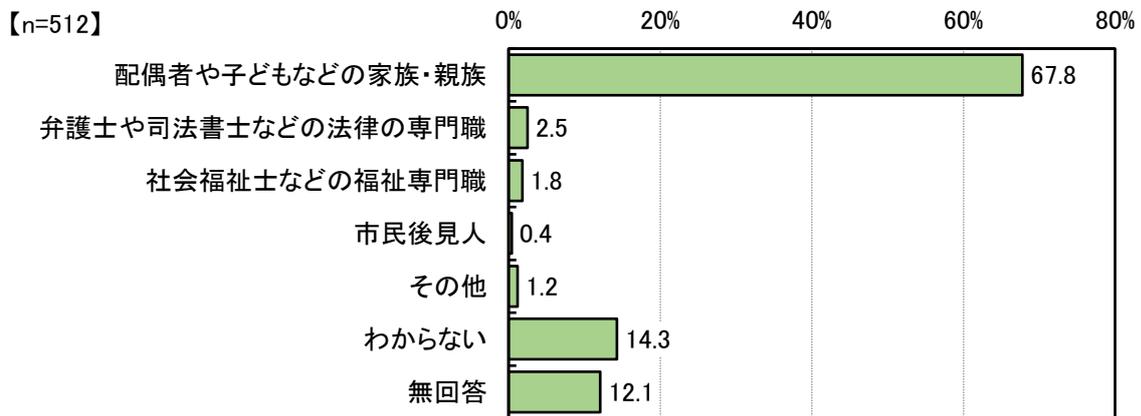
(7) 任意後見制度の内容をご存知ですか。[1つに○]

※任意後見制度とは、本人が十分な判断能力を有する時に、あらかじめ、任意後見人となる方や将来その方に委任する事務の内容を公正証書による契約で定めておき、本人の判断能力が不十分になった後に、任意後見人が委任された事務を本人に代わって行う制度です。



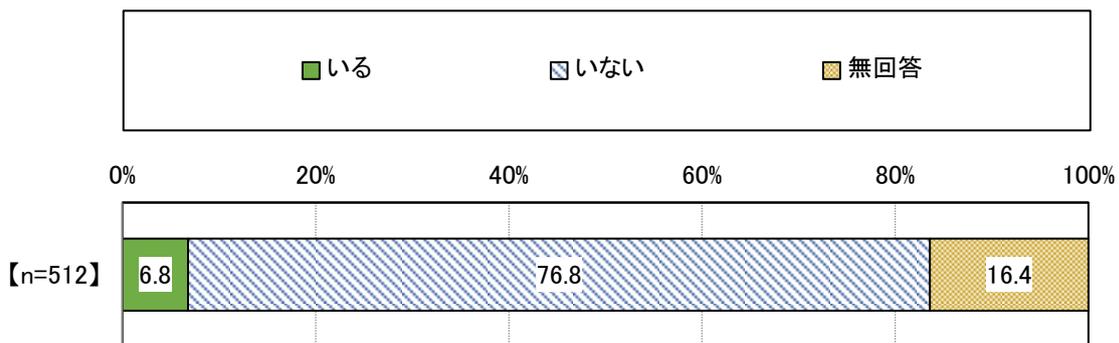
任意後見制度の内容を知っているか尋ねたところ、「知っている」が17.8%、「知らない」が70.1%となっています。

(8)「成年後見制度」を利用したい場合、誰に財産管理や契約手続き等をお願いしたいですか。
[1つに○]



「成年後見制度」を利用したい場合、誰に財産管理や契約手続き等をお願いしたいか尋ねたところ、「配偶者や子どもなどの家族・親族」が 67.8%で最も多く、次いで「弁護士や司法書士などの法律の専門職」(2.5%)、「社会福祉士などの福祉専門職」(1.8%)となっています。

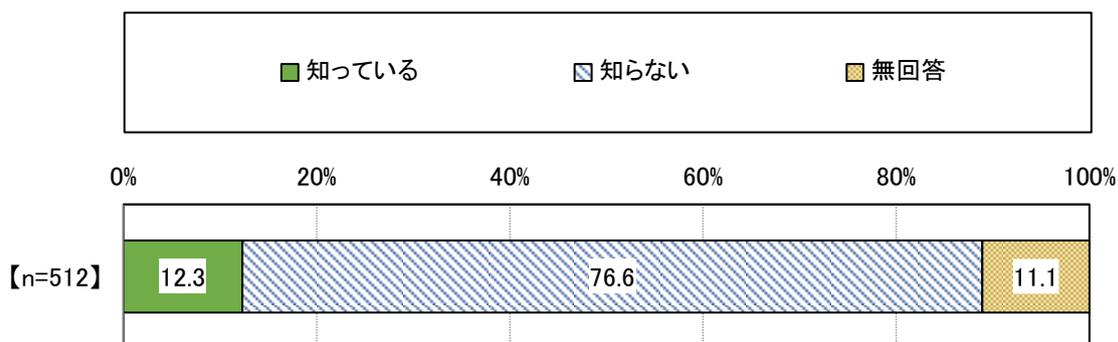
(9)周りの方で、成年後見制度が必要な方はいますか。[1つに○]



周りの方で、成年後見制度が必要な方がいるか尋ねたところ、「いる」が 6.8%、「いない」が 76.8%となっています。

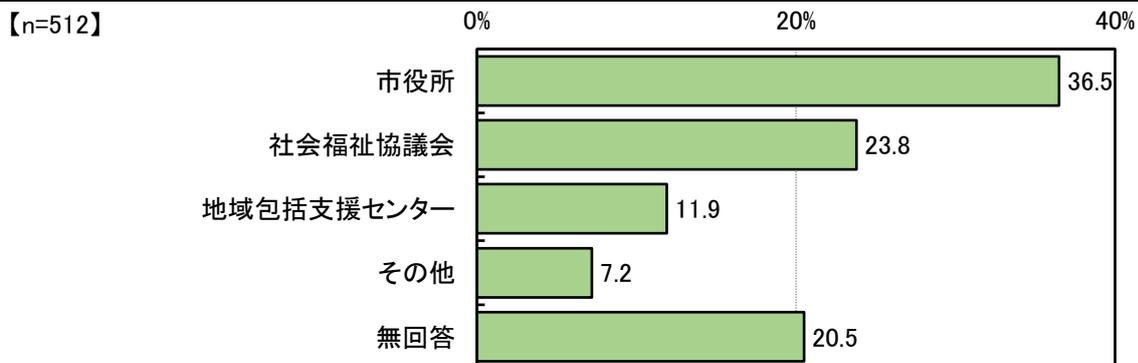
(10)日常生活自立支援事業の内容をご存知ですか。[1つに○]

※日常生活自立支援事業とは、認知症、知的障がい、精神障がい等によって判断能力が低下している方に契約により金銭管理等を支援する事業で、社会福祉協議会で行っています。



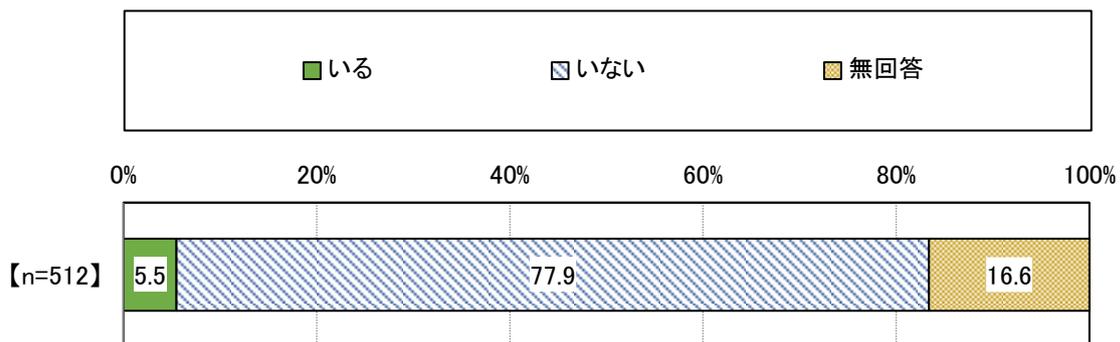
日常生活自立支援事業の内容を知っているか尋ねたところ、「知っている」が12.3%、「知らない」が76.6%となっています。

(11)日常生活自立支援事業について、どこに相談しますか。[1つに○]



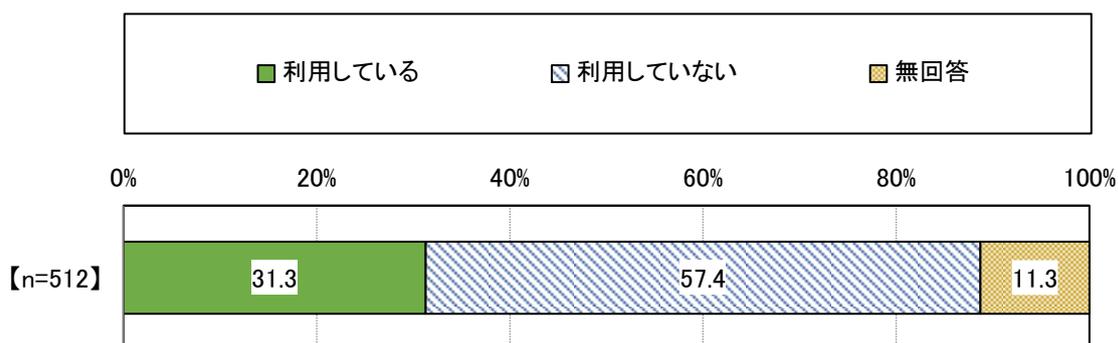
日常生活自立支援事業について、どこに相談したいか尋ねたところ、「市役所」が36.5%で最も多く、次いで「社会福祉協議会」(23.8%)、「地域包括支援センター」(11.9%)となっています。

(12)周りの方で、日常生活自立支援事業が必要な方はいますか。[1つに○]



周りの方で、日常生活自立支援事業が必要な方がいるか尋ねたところ、「いる」が 5.5%、「いない」が 77.9%となっています。

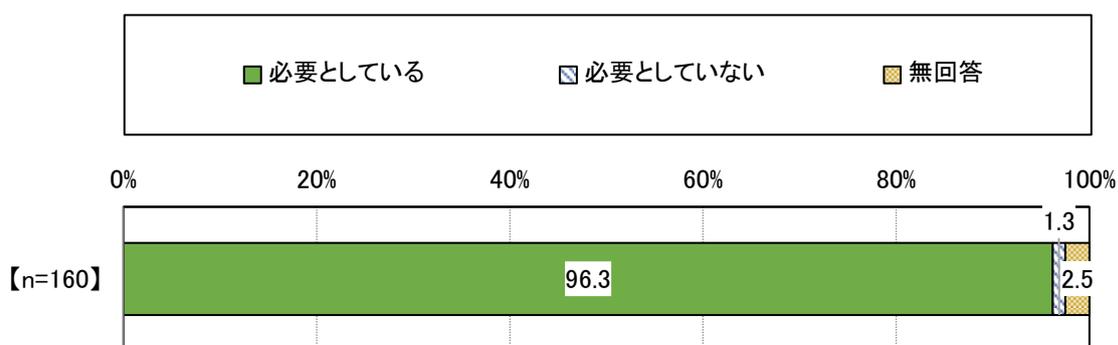
(13)介護用品支給事業を利用していますか。[1つに○]



介護用品支給事業を利用しているか尋ねたところ、「利用している」が 31.3%、「利用していない」が 57.4%となっています。

【(13)で「1.利用している」と答えた方のみ】

(13)－①この事業を必要としていますか。

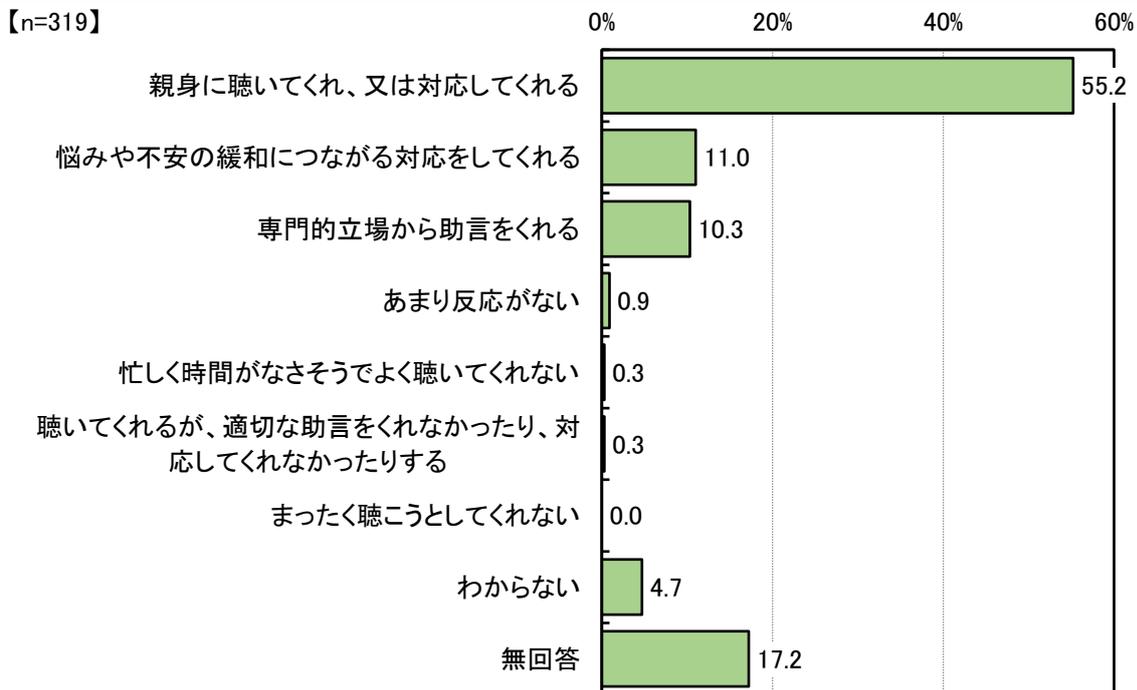


介護用品支給事業を必要か尋ねたところ、「必要としている」が 96.3%となっています。

問6 ケアマネジャーについて

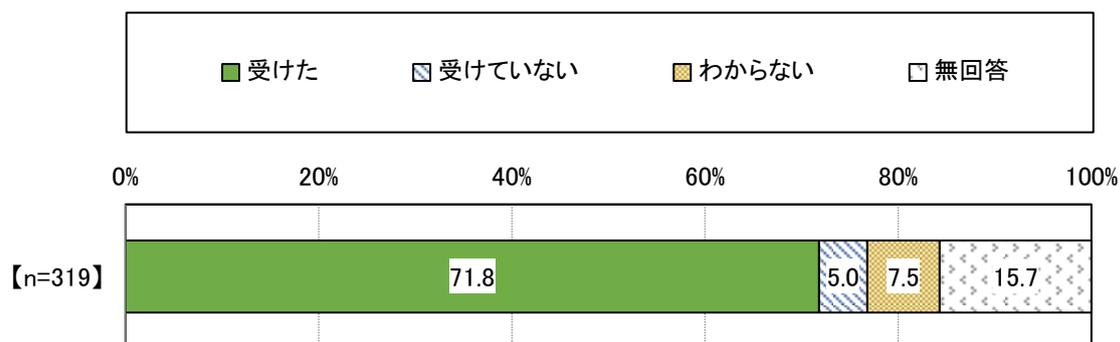
問6は、在宅の方(入院中の方含む)のみ回答。

(1)ケアマネジャーは、あなたや家族からのサービス利用に関する相談や、日常生活の悩みや不安の訴えについてどのように対応してくれていますか。[1つに○]



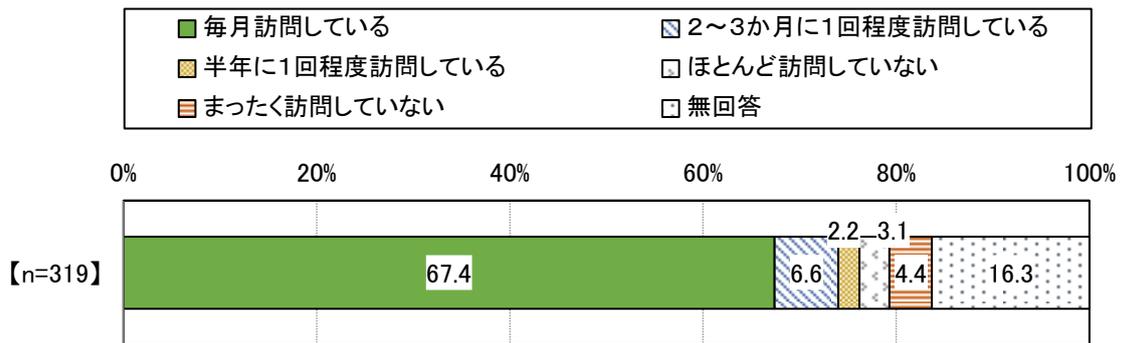
ケアマネジャーは、あなたや家族からのサービス利用に関する相談や、日常生活の悩みや不安の訴えについてどのように対応してくれているか尋ねたところ、「親身に聞いてくれ、又は対応してくれる」が 55.2%で最も多く、次いで「悩みや不安の緩和につながる対応をしてくれる」(11.0%)、「専門的立場から助言をくれる」(10.3%)となっています。

(2)介護サービスの利用を決定するにあたり、ケアマネジャーからご自身の心身の状況や生活環境に見合った介護サービスの利用の仕方について、提案や十分な説明を受けられましたか。[1つに○]



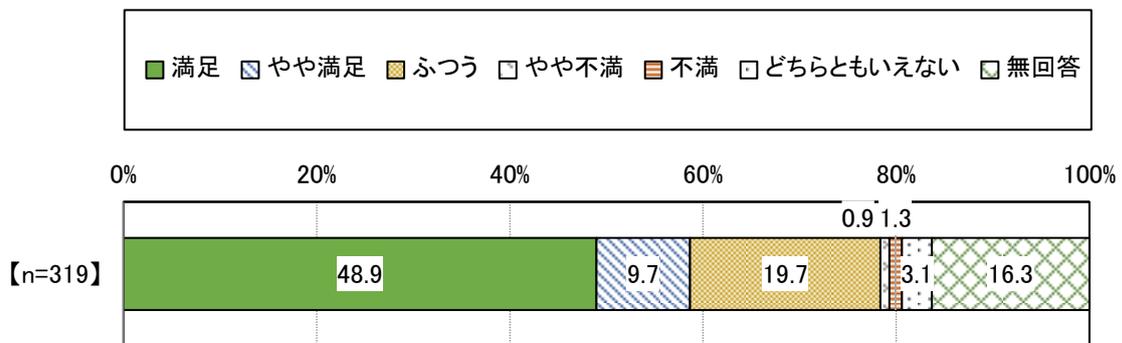
介護サービスの利用を決定するにあたり、ケアマネジャーからご自身の心身の状況や生活環境に見合った介護サービスの利用の仕方について、提案や十分な説明を受けられたか尋ねたところ、「受けた」が 71.8%、「受けていない」が 5.0%となっています。

(3) ケアマネジャーは、月に1回、あなたのお住まいを訪問していますか。[1つに○]



ケアマネジャーが月に1回、住まいを訪問しているか尋ねたところ、「毎月訪問している」が67.4%で最も多く、次いで「2~3か月に1回程度訪問している」(6.6%)、「まったく訪問していない」(4.4%)となっています。

(4) 担当ケアマネジャーについて、総合的な満足度を教えてください。[1つに○]

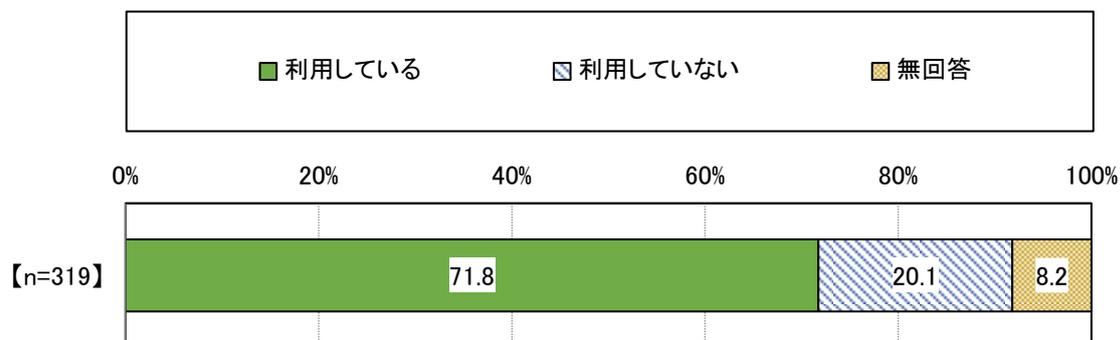


担当ケアマネジャーについて、総合的な満足度を尋ねたところ、「満足」が48.9%と最も多く、「やや満足」と合わせて総合的な満足度は5割を超えています。

問7 介護サービスについて

問7は、在宅の方(入院中の方含む)のみ回答。

(1)現在、あなたは介護サービス等を利用していますか。[1つに○]

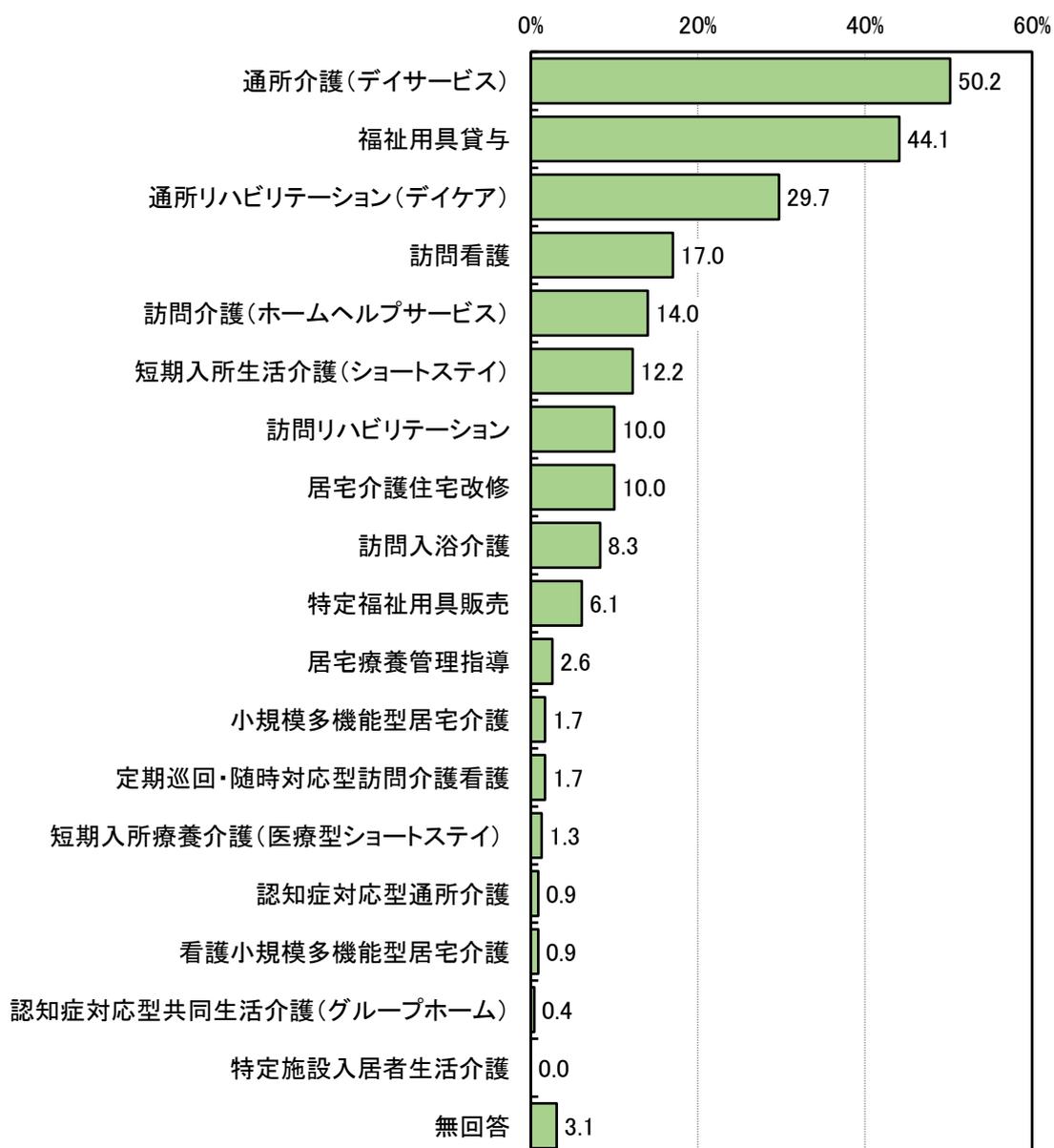


介護サービス等を利用しているか尋ねたところ、「利用している」が71.8%、「利用していない」が20.1%となっています。

【(1)で「1.利用している」と答えた方のみ】

(1)－① 現在、あなたが利用している介護サービスは何ですか。[あてはまるものすべてに○]

【n=229】

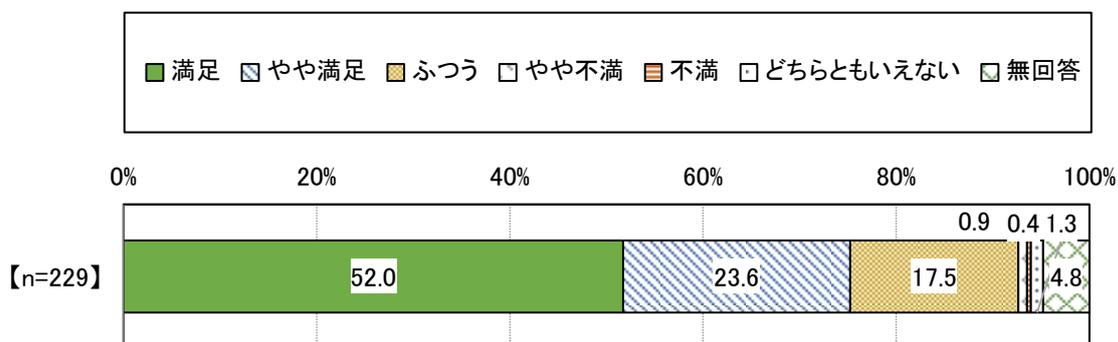


現在、利用している介護サービス等を尋ねたところ、「通所介護(デイサービス)」が 50.2%で最も多く、次いで「福祉用具貸与」(44.1%)、「通所リハビリテーション(デイケア)」(29.7%)となっています。

【(1)で「1.利用している」と答えた方のみ】

(1)－② 介護保険サービスを利用した満足度についてお聞かせください。

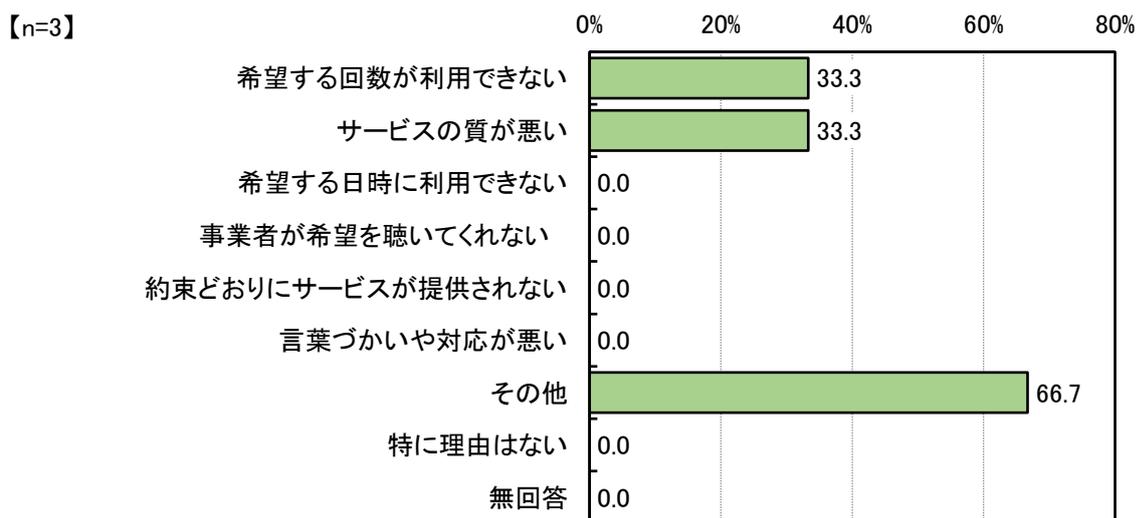
[あてはまるものすべてに○]



介護保険サービス等を利用した満足度を尋ねたところ、「満足」が52.0%で最も多く、次いで「やや満足」(23.6%)、「ふつう」(17.5%)となっています。大別して、『満足している人の割合』(「満足」及び「どちらかという満足」の合計)は75.6%となっています。

【(1)－②で「4. やや不満」、「5. 不満」と答えた方のみ】

(1)－③ サービスの内容に不満がある原因は何ですか。[あてはまるものすべてに○]

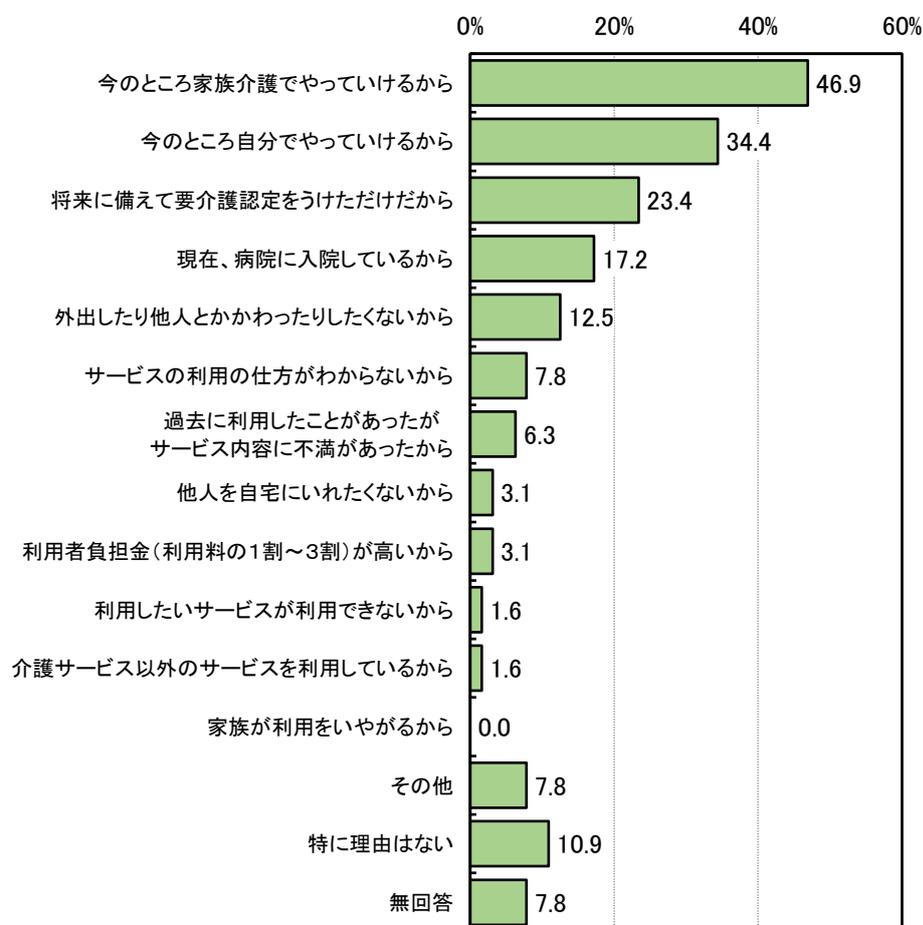


介護保険サービス等の内容に不満があるか尋ねたところ、「希望する回数が利用できない」、「サービスの質が悪い」が同率で 33.3%となっています。

【(1)で「2. 利用していない」と答えた方のみ】

(2)介護サービスを利用していない理由は何ですか。[3つに○]

【n=64】

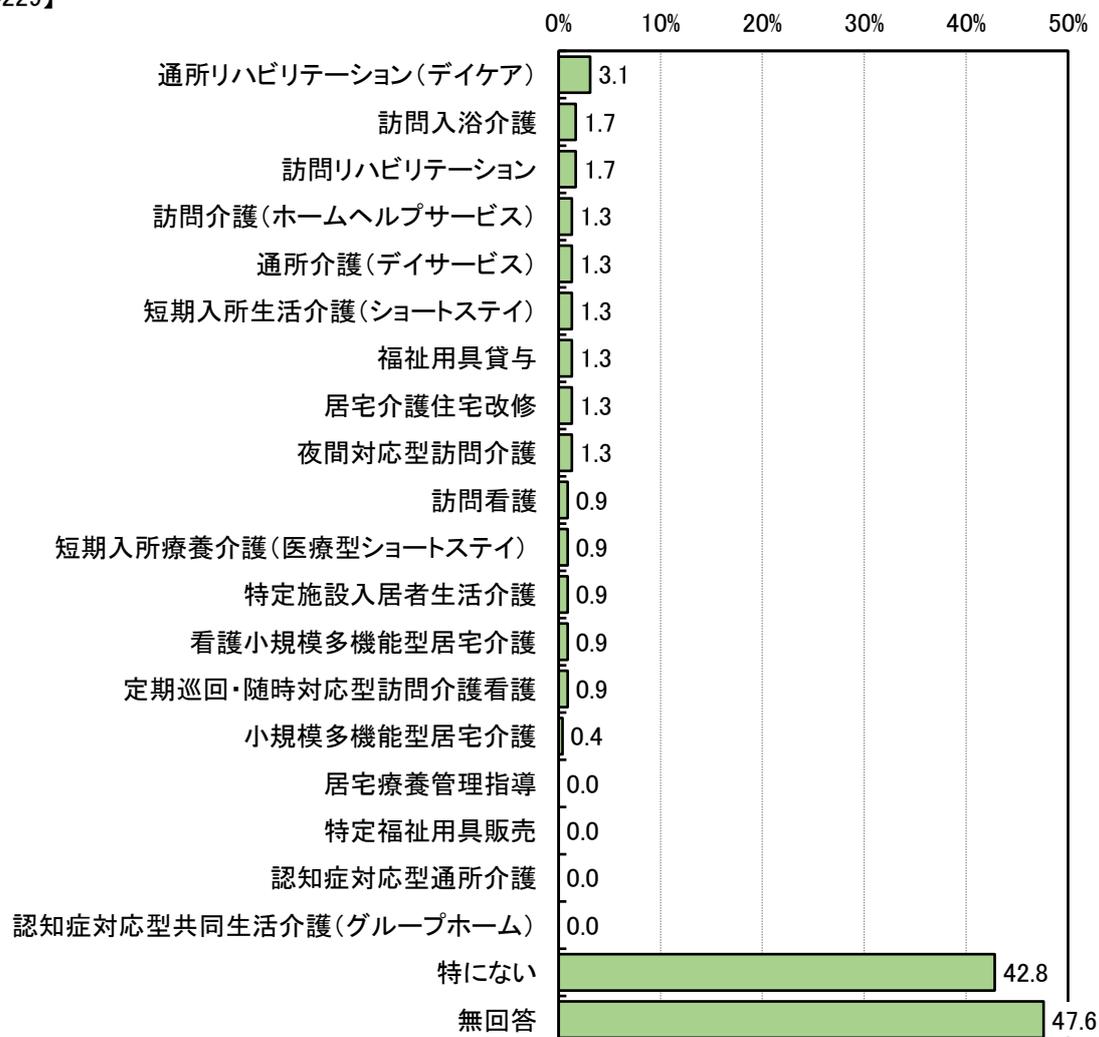


介護サービスを利用していない理由を尋ねたところ、「今のところ家族介護でやっていけるから」が 46.9%で最も多く、次いで「今のところ自分でやっていけるから」(34.4%)、「将来に備えて要介護認定をうけただけだから」(23.4%)となっています。

(3)現在、あなたが、利用したいのに利用できない在宅サービスはありますか。

[あてはまるものすべてに○]

【n=229】



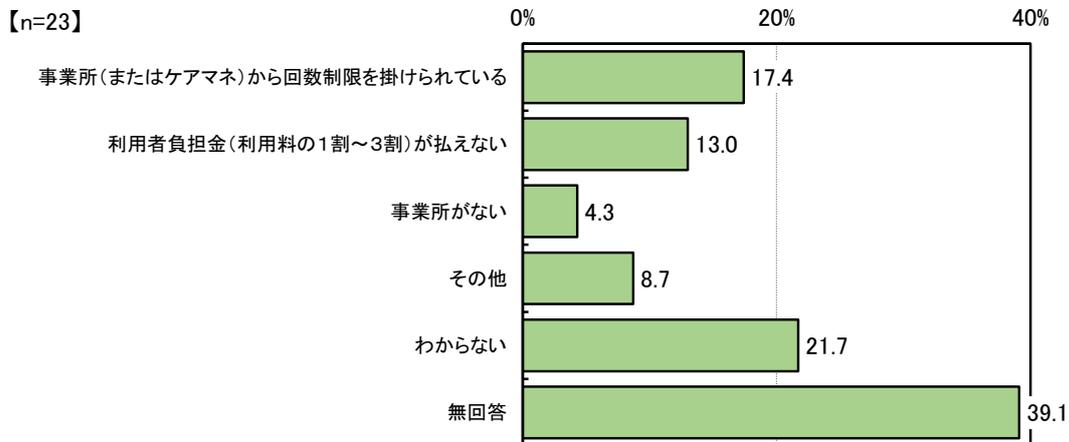
利用したいのに利用できない在宅サービスはあるか尋ねたところ、「通所リハビリテーション(デイケア)」が 3.1%で最も多く、次いで「訪問入浴介護」、「訪問リハビリテーション」(同率 1.7%)となっています。

なお、42.8%は「特にない」と回答しています。

【(3)で利用したいのに利用できない在宅サービスがあると答えた方のみ】

(3)－① 上記で利用したいのに利用できないのはなぜですか。

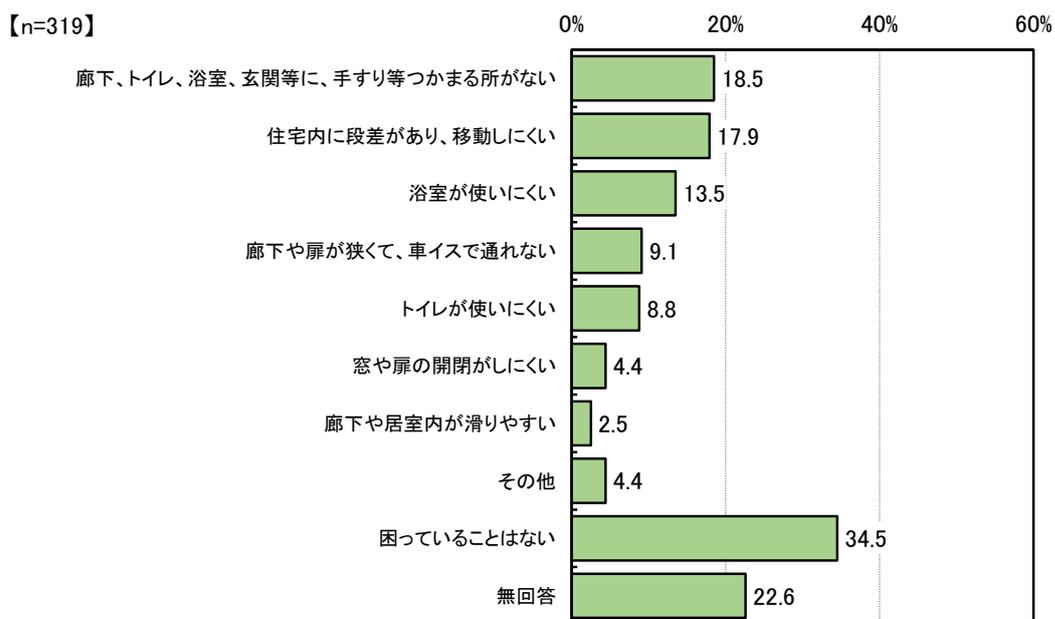
[あてはまるものすべてに○]



在宅サービスを利用したいのに利用できない理由を尋ねたところ、「事業所(またはケアマネ)から回数制限を掛けられている」が 17.4%で最も多く、次いで「利用者負担金(利用料の1割～3割)が払えない」(13.0%)、「事業所がない」(4.3%)となっています。

(4)あなたの住宅環境を整えるために、改善が必要なところがありますか。

[あてはまるものすべてに○]



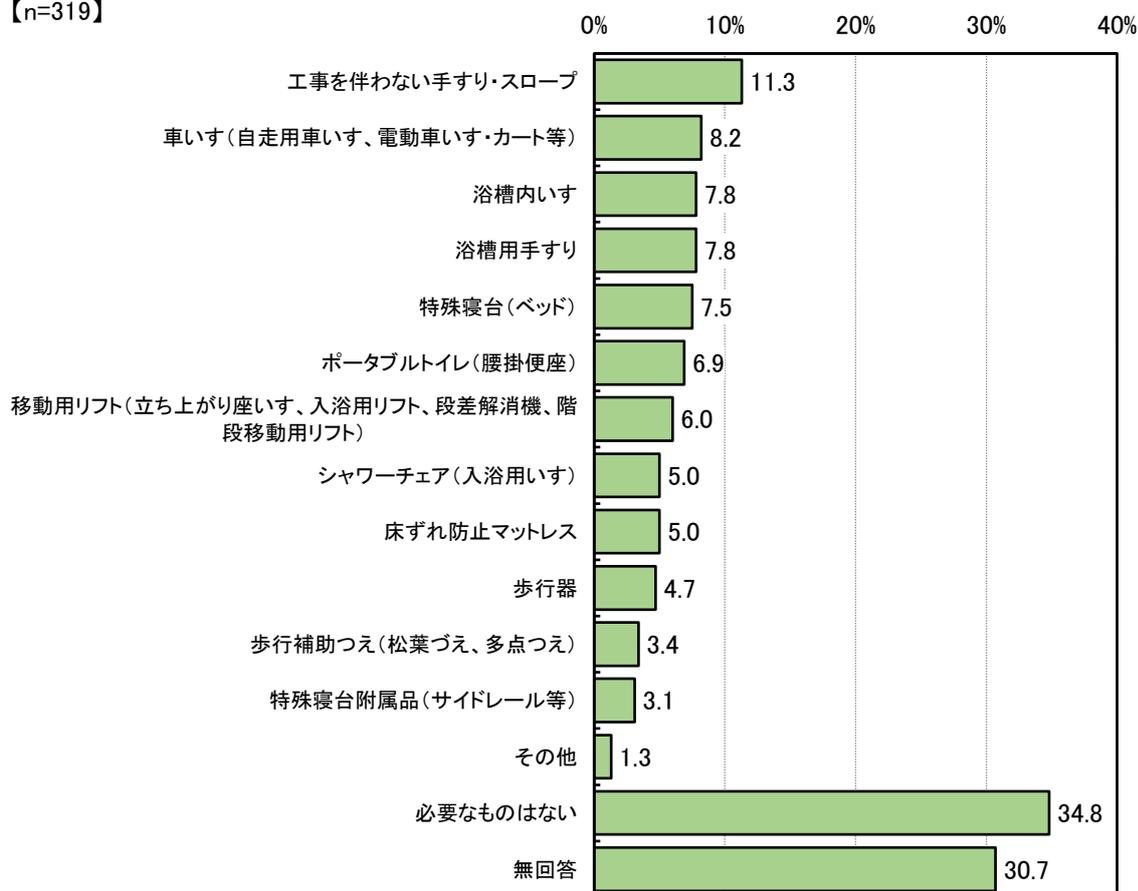
あなたの住宅環境を整えるために、改善が必要なところを尋ねたところ、「廊下、トイレ、浴室、玄関等に、手すり等つかまる所がない」が 18.5%で最も多く、次いで「住宅内に段差があり、移動しにくい」(17.9%)、「浴室が使いにくい」(13.5%)となっています。

なお、「困っていることはない」は 34.5%となっています。

(5)あなたの在宅での生活環境を整えるために、必要な福祉用具はありますか。

[現在使用しているもの以外で、あてはまるものすべてに○]

【n=319】

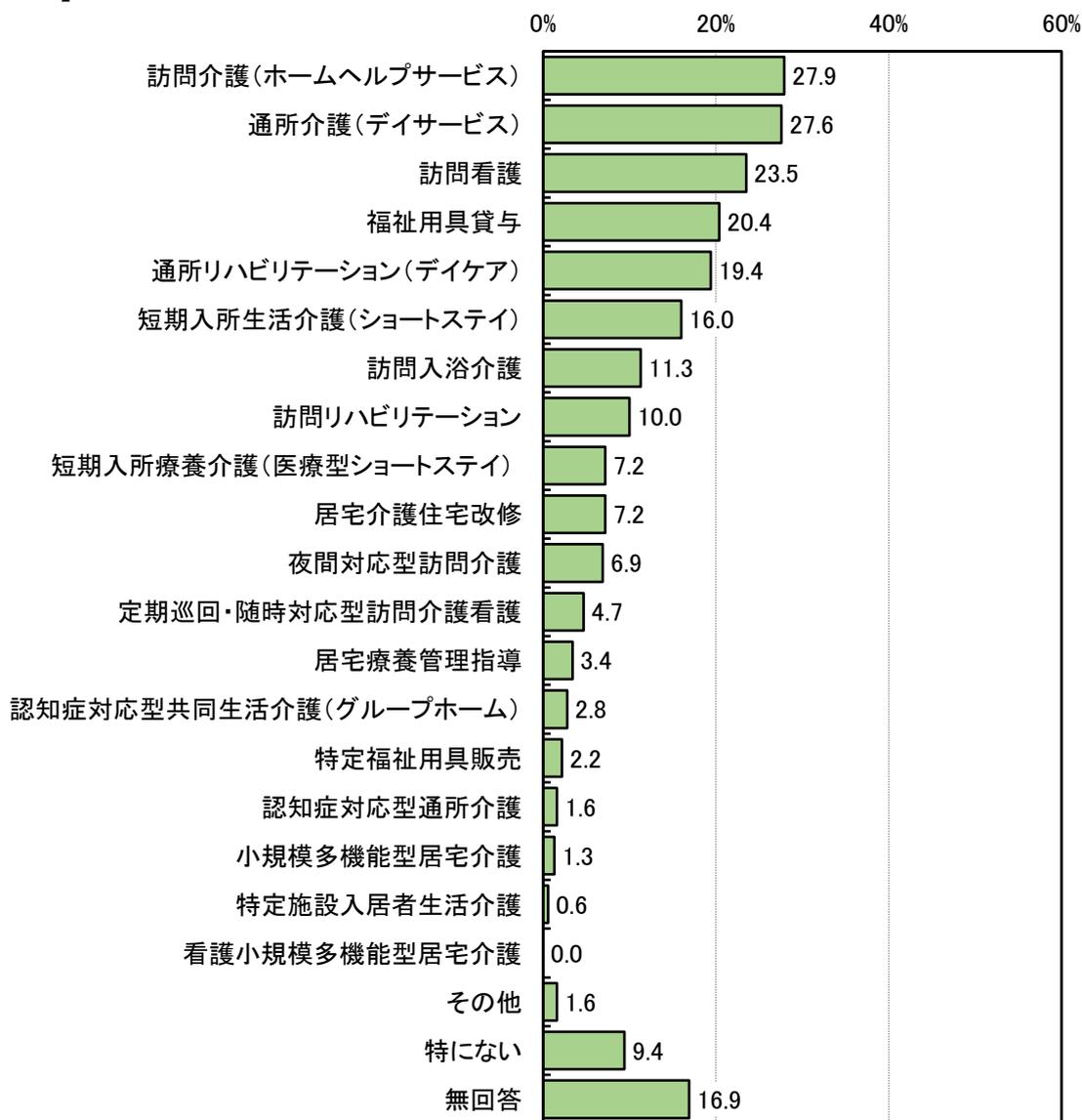


現在使用しているもの以外で、在宅での生活環境を整えるために、必要な福祉用具を尋ねたところ、「工事を伴わない手すり・スロープ」が 11.3%で最も多く、次いで「車いす(自走用車いす、電動車いす・カート等)」(8.2%)、「浴槽内いす」、「浴槽用手すり」(7.8%)となっています。

なお、「必要なものはない」は 34.8%となっています。

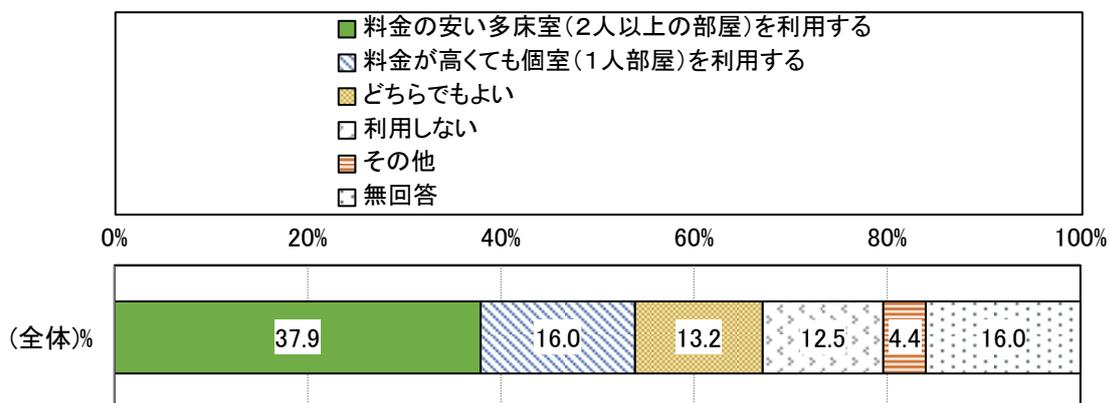
(6)あなたが、これからも在宅で安心して暮らし続けていくために、特に重要だと感じるサービスはどれですか。[3つに○]

【n=319】



これからも在宅で安心して暮らし続けていくために、特に重要だと感じるサービスを尋ねたところ、「訪問介護(ホームヘルプサービス)」が 27.9%で最も多く、次いで「通所介護(デイサービス)」(27.6%)、「訪問看護」(23.5%)となっています。

(7)あなたが、仮に特別養護老人ホーム等の介護保険施設に入所される場合の希望をお聞かせください。例えば、個室(1人部屋)の利用料金が月12万円、多床室(2人以上の部屋)の利用料金が月7万円としてお考えください。[1つに○]



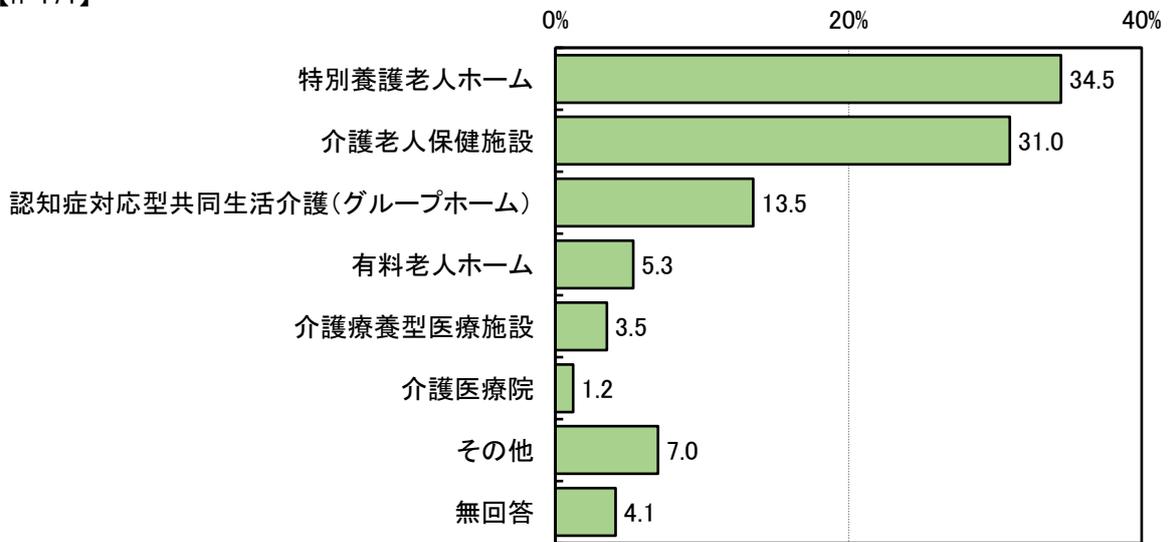
特別養護老人ホーム等の介護保険施設に入所される場合の希望を尋ねたところ、「料金の安い多床室(2人以上の部屋)を利用する」が37.9%で最も多く、次いで「料金が高くても個室(1人部屋)を利用する」(16.0%)、「どちらでもよい」(13.2%)、「利用しない」(12.5%)、「その他」(4.4%)となっています。

問8 施設入所者の方について

問8は、施設入所の方のみ回答。

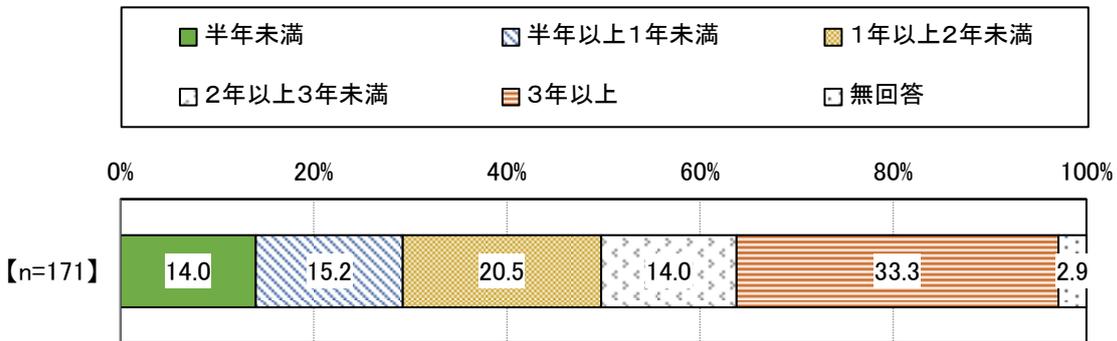
(1)現在どのような施設に入所していますか。[1つに○]

【n=171】



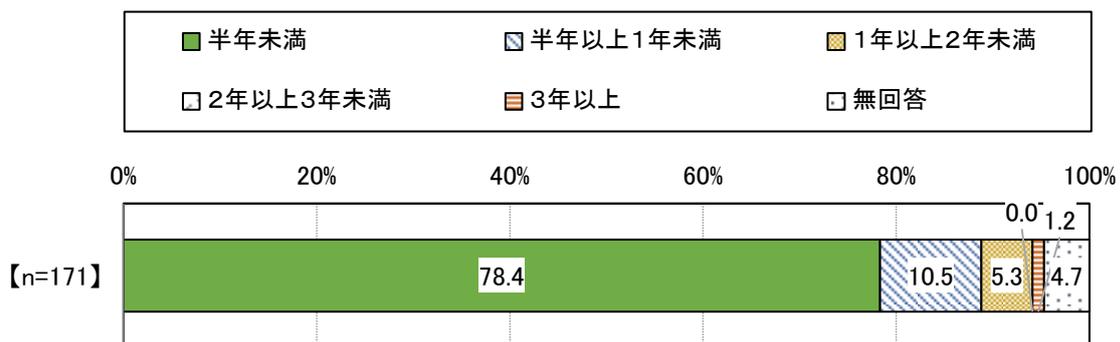
現在入所している施設は、「特別養護老人ホーム」が34.5%で最も多く、次いで「介護老人保健施設」(31.0%)、「認知症対応型共同生活介護(グループホーム)」(13.5%)となっています。

(2)現在入所中の施設に入所している期間はどれくらいですか。[1つに○]



施設に入所している期間は、「3年以上」が33.3%で最も多く、次いで「1年以上2年未満」(20.5%)、「半年以上1年未満」(15.2%)となっています。

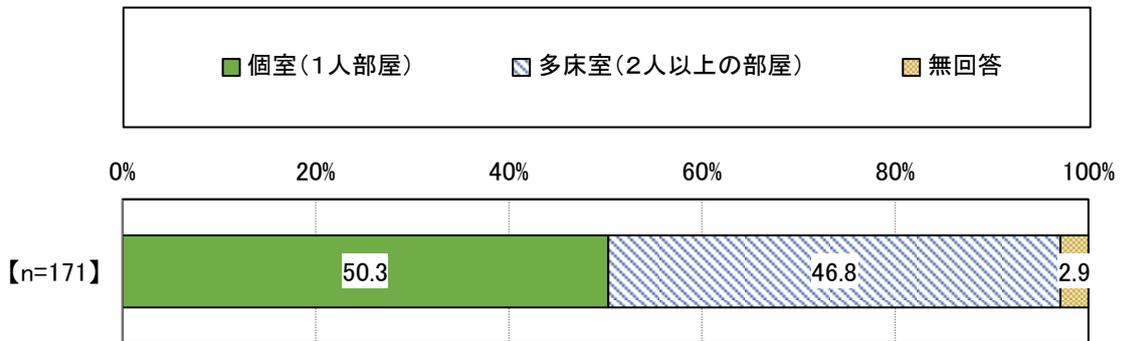
(3)現在入所中の施設へ申込みをしてから入所までの期間(待機期間)はどれくらいでしたか。
 [1つに○]



申込みをしてから入所までの期間(待機期間)は、「半年未満」が78.4%で最も多く、次いで「半年以上1年未満」(10.5%)、「1年以上2年未満」(5.3%)となっています。

(4)現在入所中の施設の居室は何人部屋ですか。[1つに○]

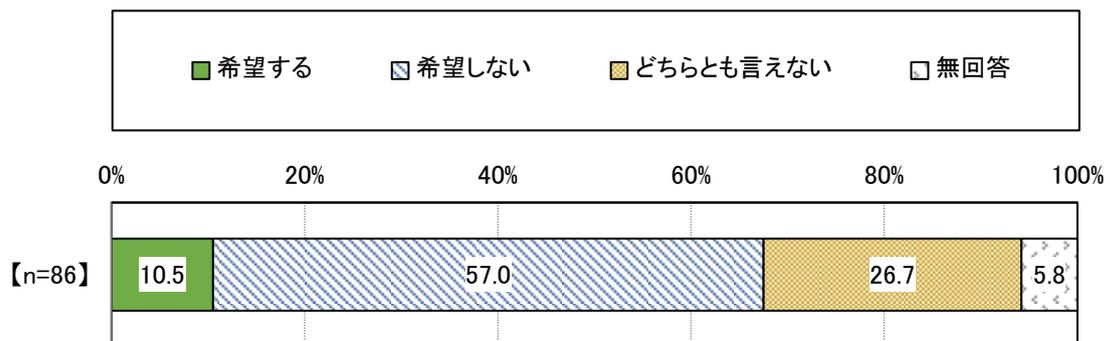
※共同生活スペースを併設している個室に準じた完全でない個室(ユニット型個室的多床室)は、「1. 1人部屋(個室)」を選択してください。カーテン等の仕切りでプライバシーに配慮した個室的なしつらえの場合は、「2. 多床室(2人以上の部屋)」を選択してください。



施設の居室は、「個室(1人部屋)」が50.3%、「多床室(2人以上の部屋)」が46.8%となっています。

【(4)で「1. 個室(1人部屋)」と答えた方のみ】

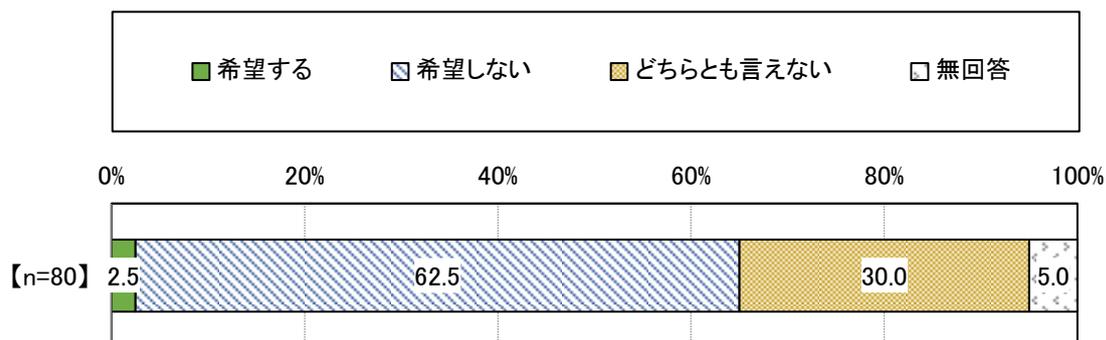
(4)－① 料金の安い、多床室(2人以上の部屋)を希望しますか。[1つに○]



料金の安い、多床室(2人以上の部屋)を希望するか尋ねたところ、「希望しない」が57.0%で最も多く、次いで「どちらとも言えない」(26.7%)、「希望する」(10.5%)となっています。

【(4)で「2. 多床室(2人以上の部屋)」と答えた方のみ】

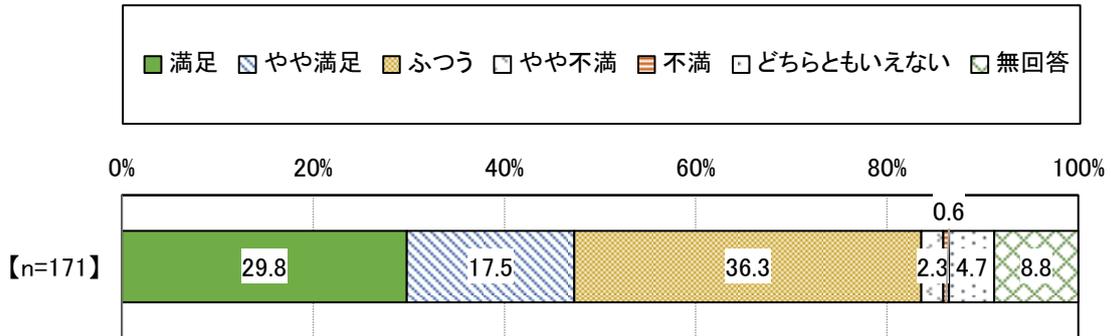
(4)－② 料金が高くても、1人部屋を希望しますか。[1つに○]



料金が高くても、1人部屋を希望するか尋ねたところ、「希望しない」が62.5%で最も多く、次いで「どちらとも言えない」(30.0%)、「希望する」(2.5%)となっています。

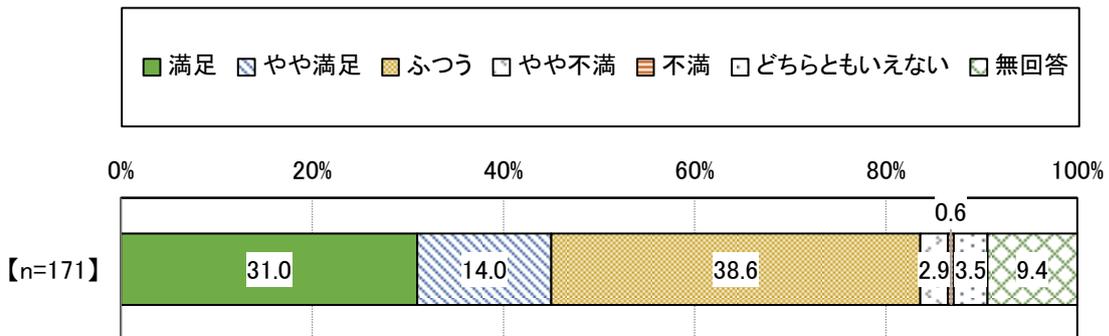
(5)以下のサービスについて満足度はどのくらいですか。[①～⑦それぞれに回答してください]

①施設での生活全般



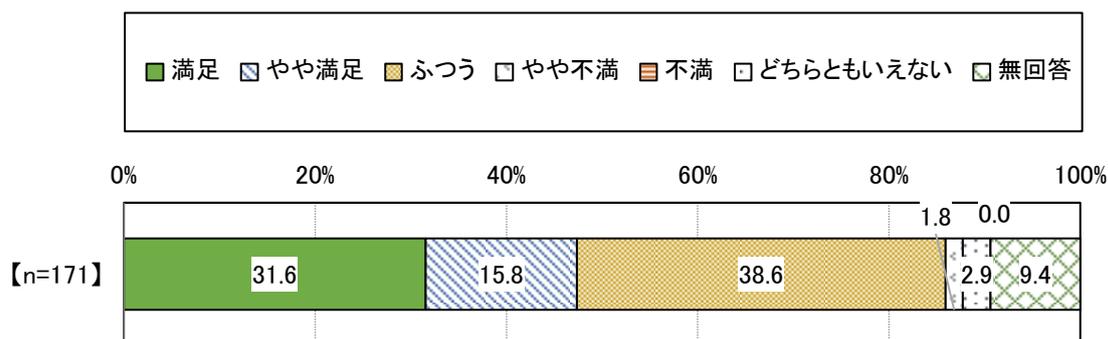
施設での生活全般の満足度を尋ねたところ、「ふつう」が36.3%で最も多く、次いで「満足」(29.8%)、「やや満足」(17.5%)となっています。

②食事



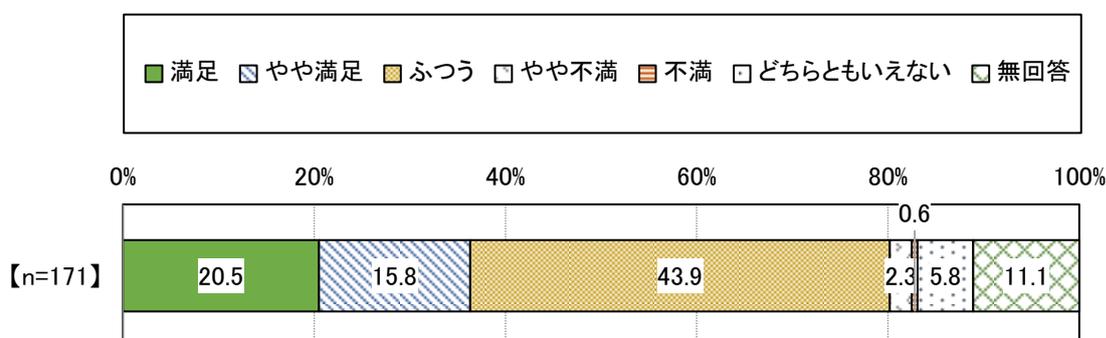
食事の満足度を尋ねたところ、「ふつう」が38.6%で最も多く、次いで「満足」(31.0%)、「やや満足」(14.0%)となっています。

③生活に必要な介護(トイレ・入浴・身だしなみ・移動等)



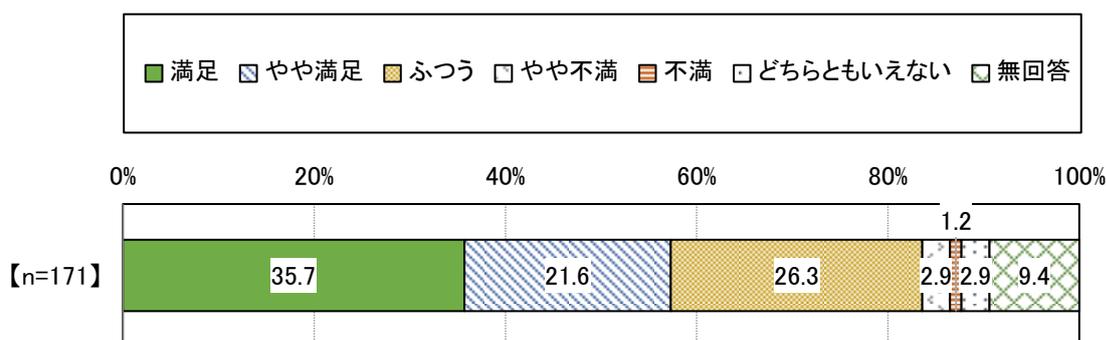
生活に必要な介護(トイレ・入浴・身だしなみ・移動等)の満足度を尋ねたところ、「ふつう」が38.6%で最も多く、次いで「満足」(31.6%)、「やや満足」(15.8%)となっています。

④日中の過ごし方(趣味・クラブ活動・散歩・外出等)



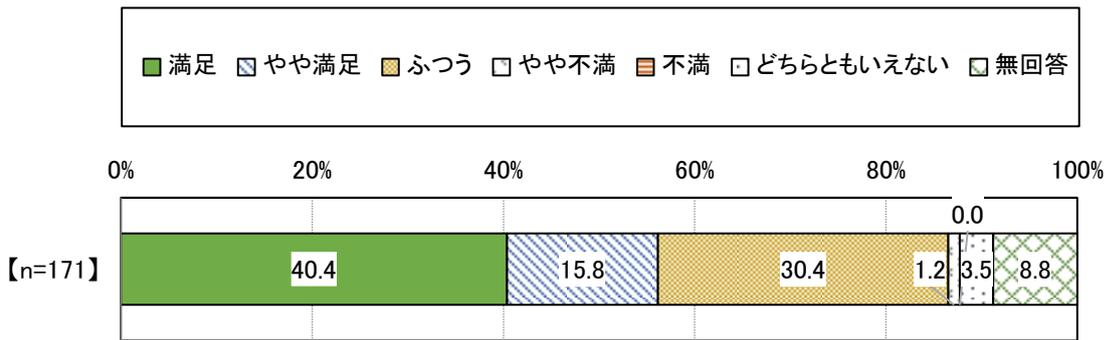
日中の過ごし方(趣味・クラブ活動・散歩・外出等)の満足度を尋ねたところ、「ふつう」が43.9%で最も多く、次いで「満足」(20.5%)、「やや満足」(15.8%)となっています。

⑤病気やけが等の緊急時の対応



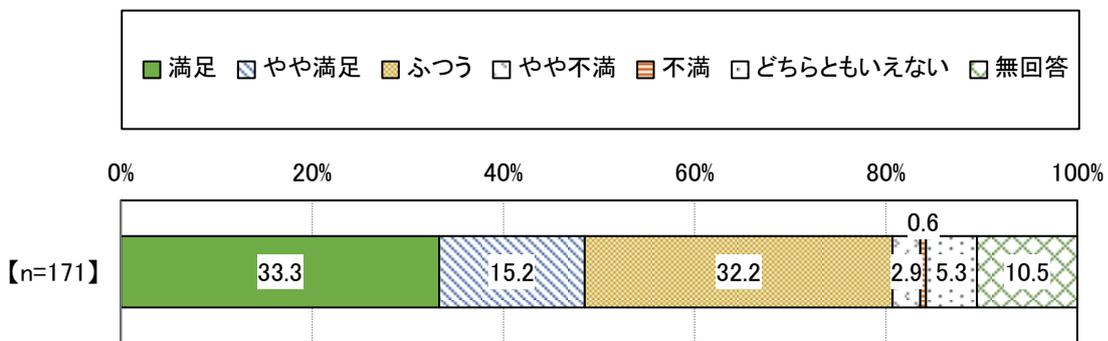
病気やけが等の緊急時の対応の満足度を尋ねたところ、「満足」が35.7%で最も多く、次いで「ふつう」(26.3%)、「やや満足」(21.6%)となっています。

⑥職員の言葉づかいや対応・態度



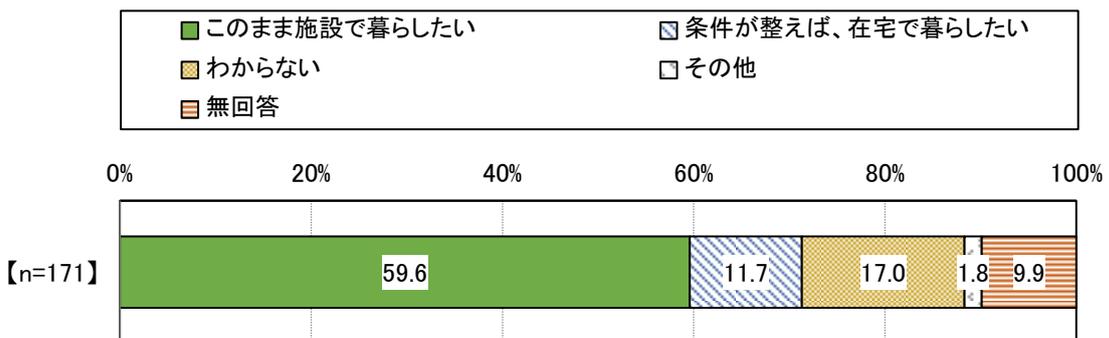
職員の言葉づかいや対応・態度の満足度を尋ねたところ、「満足」が40.4%で最も多く、次いで「ふつう」(30.4%)、「やや満足」(15.8%)となっています。

⑦気持ちや希望の尊重



気持ちや希望の尊重の満足度を尋ねたところ、「満足」が33.3%で最も多く、次いで「ふつう」(32.2%)、「やや満足」(15.2%)となっています。

(6) あなたの施設入所の考え方について教えてください。[1つに○]



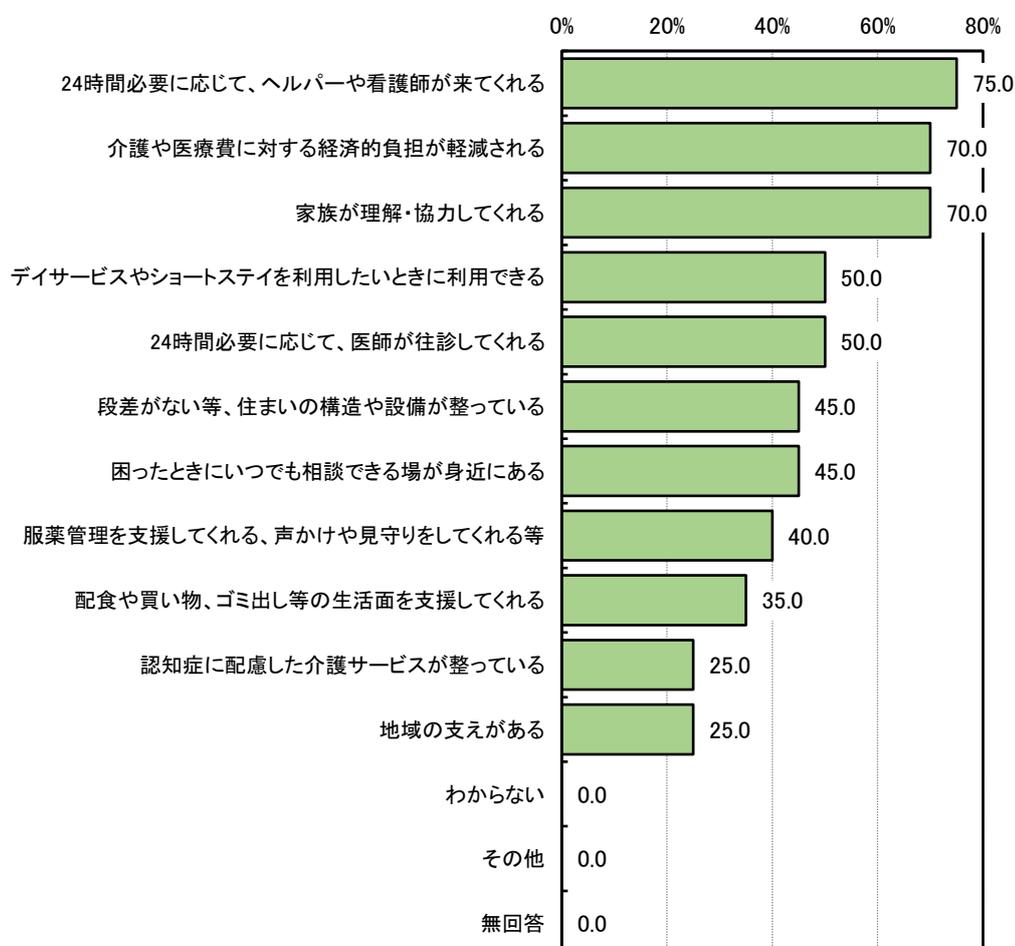
施設入所の考え方について尋ねたところ、「このまま施設で暮らしたい」が59.6%、「条件が整えば、在宅で暮らしたい」が11.7%となっています。

【(6)で「2. 条件が整えば、在宅で暮らしたい」と答えた方のみ】

(6)－① どのような条件が整えば、在宅で暮らすことができますか。

[あてはまるものすべてに○]

【n=20】



どのような条件が整えば、在宅で暮らすことができるか尋ねたところ、「24時間必要に応じて、ヘルパーや看護師が来てくれる」が75.0%で最も多く、次いで「介護や医療費に対する経済的負担が軽減される」(70.0%)、「家族が理解・協力してくれる」(70.0%)となっています。

Ⅲ 在宅介護実態調査

Ⅲ 在宅介護実態調査

在宅介護実態調査は別冊報告書に掲載。

笠間市高齢者福祉計画策定のための
アンケート調査結果報告書①

発行／笠間市 高齢福祉課
編集／笠間市 高齢福祉課
発行／令和5年3月
